

社会科学I (政治学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)朝倉 拓郎, 竹内 弘						

授業の概要

本講義の目的は、我々が市民（民主主義の担い手）としての力量を高めるために必要不可欠な政治的教養を身につけることにある。本講義の内容は、以下の三つのパートからなる。

- ①政治の概念：政治を理解したり、政治について議論する上で重要な概念をいくつか取り上げ、その意義について学ぶ。
- ②戦後日本の政治：戦後日本の政治状況がどのように形成されたのかを学ぶ。
- ③現代政治の諸問題：現在我々が直面している政治的課題について、上記の議論をふまえて考察する。

学生の到達目標

- ①政治を理解するための基本的概念と歴史的知識を身につけ、説明できる。
- ②過去の歴史的経緯をふまえた上で現在直面している政治的諸問題について理解し、自分なりの意見を持って説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
テキストは指定せず、毎回資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
資料の中で適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで相談を受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション 本講義の概要と、受講上の注意点等について説明する。	講義	(非)朝倉 拓郎		301 講義室
2	政治の概念 (1) 政治的共同体としての「国家」の特徴について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	主権国家、国民国家	301 講義室
3	政治の概念 (2) 政治における「公共性」の意義について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	公共性、法の支配	301 講義室

社会科学I (政治学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)朝倉 拓郎, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	政治の概念 (3) 「民主主義」における決め方 (多数決) について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	民主主義、多数決、一般意志	301 講義室
5	政治の概念 (4) 「権力」とそれを制御する考え方について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	権力、立憲主義	301 講義室
6	戦後日本の政治 (1) 占領期における日本の政治について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	新憲法の制定、冷戦、日米安保条約	301 講義室
7	戦後日本の政治 (2) 安保改定から高度成長までの歴史を学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	55年体制、安保条約の改定、高度成長	301 講義室
8	戦後日本の政治 (3) 沖縄返還の歴史的経緯について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	返還前の沖縄、ベトナム戦争、沖縄返還	301 講義室
9	戦後日本の政治 (4) 55年体制崩壊から現在までの歴史を学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	冷戦の終結、55年体制の崩壊、ポピュリズム	301 講義室
10	現代政治の諸問題 (1) 日本の安全保障をめぐる現状と課題について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	日米安保体制、日米安保の再定義、集団的自衛権	301 講義室
11	現代政治の諸問題 (2) 格差が拡大する要因とその政治的影響について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	貧困率、グローバリゼーション、規制緩和	301 講義室
12	現代政治の諸問題 (3) 日本の選挙制度の現状と課題について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	衆議院議員の選挙制度、投票率の低下	301 講義室
13	現代政治の諸問題 (4) 合意形成の方法について学ぶ	講義	(非)朝倉 拓郎	政治における合意形成の困難さ、生産的な合意形成	301 講義室
14	現代政治の諸問題 (5) 地域自治の意義と課題について学ぶ	講義	(非)朝倉 拓郎	限界集落、地域活性化、社会関係資本	301 講義室
15	確認テスト 本講義のまとめと確認テストを行う。	講義、確認テスト	(非)朝倉 拓郎		301 講義室

社会科学I(文化人類学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)徳安 祐子, 竹内 弘						

授業の概要

文化人類学とは、人間について文化的・社会的側面から理解しようとする学問である。本講義では、とくに医療人類学が対象とする健康や病気に関する領域を中心に取り上げる。文化人類学において重要な考え方は、当たり前のことを当たり前としない考え方である。健康や病気、身体に対する考え方も社会や文化によってさまざまである。授業ではさまざまな社会の死生観や伝統的医療、現代医療の社会的影響などを具体的に紹介し、近代的な医療や身体観を相対化する見方、それらを「当たり前」としない医療人類学の考え方について学ぶ。

学生の到達目標

- ①文化人類学の基本的な知識と考え方を身に付け、文化や価値観の多様性とその背景について説明することができる。
- ②現代社会のなかで起きている「文化」をめぐる新しい状況について理解し、異文化間の相互理解に向けた課題と自らとるべき姿勢について考えることができる。
- ③文化人類学の考え方や視点を獲得し、事象を相対化できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
随時、プリントを配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
医療人類学のレッスン	池田光穂・奥野克巳編	学陽書房
文化人類学【カレッジ版】	波平恵美子編	医学書院
文化人類学キーワード【改訂版】	山下晋司・船曳建夫編	有斐閣

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
毎回授業後に提出する小レポート	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】

- ・講義前、講義後の空き時間に相談に応じる。
- ・質問の受付、回答はEメールでも行う。

社会科学I(文化人類学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)徳安 祐子, 竹内 弘						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	文化人類学とはなにか 文化人類学とはなにか、また、文化人類学を学ぶことの意味について概説する。	講義	(非)徳安 祐子	文化人類学	301 講義室
2	文化人類学と医療人類学 文化人類学のなかでも医療に関するトピックを中心に扱う医療人類学について概説する。	講義	(非)徳安 祐子	文化相対主義	301 講義室
3	文化としての身体と病い 身体や病を文化的、社会的に捉えることの意味について、事例を用いて解説する。	講義	(非)徳安 祐子	医療人類学	301 講義室
4	生と死の人類学 1. 人の一生 人間の過ごす一生の時間が人々にどのように捉えられているのかを、文化的、社会的側面から考える。	講義	(非)徳安 祐子	ジェンダー	301 講義室
5	生と死の人類学 2. 誕生 出産や新生児に対する考え方など、人間の誕生について文化人類学的な視点から考える。	講義	(非)徳安 祐子	出産と医療	301 講義室
6	生と死の人類学 3. 死 「死後の世界」や死者儀礼など、人間の死に対する考え方について文化人類学的な視点から考える。	講義	(非)徳安 祐子	死者儀礼と祖先崇拜	301 講義室
7	近代医療と伝統医療 1. 伝統医療とは何か 医療人類学における多様な医療の捉え方や、伝統的な医療のあり方について解説する。	講義	(非)徳安 祐子	伝統医療	301 講義室
8	近代医療と伝統医療 2. 呪術 伝統医療としての呪術について解説し、呪術を通して近代医療について考える。	講義	(非)徳安 祐子	呪術	301 講義室

社会科学I (文化人類学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)徳安 祐子, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	近代医療と伝統医療 3. シャーマニズム 伝統医療としてのシャーマニズムについて解説し、現代のシャーマニズムについて考える。	講義	(非)徳安 祐子	シャーマニズム	301 講義室
10	近代医療と伝統医療 4. 憑依 憑依について解説し、憑依を通して病における身体や主体について考える。	講義	(非)徳安 祐子	憑依	301 講義室
11	文化人類学と心の問題 文化人類学における「心の問題」の捉え方について解説し、心の問題を社会・文化的側面から考える。	講義	(非)徳安 祐子	精神医学と医療人類学	301 講義室
12	医療人類学と現代社会 1. グローバル化と近代医療 国際公衆衛生の成立と医療人類学の果たした役割について解説し、医療人類学の社会への実践的関与について考える。	講義	(非)徳安 祐子	グローバル化	301 講義室
13	医療人類学と現代社会 2. 開発と医療人類学 開発援助、国際協力に対する医療人類学の立場について解説し、医療協力における医療人類学の役割について考える。	講義	(非)徳安 祐子	国際医療協力	301 講義室
14	医療人類学と現代社会 3. 現代医療と医療人類学 文化人類学を通して現代社会における医療を考える。健康や医療について文化的、社会的側面から捉えることの意味を検討する。	講義	(非)徳安 祐子	医療化	301 講義室
15	医療人類学と現代社会 4. 医療人類学と社会 医療人類学を通して現代社会の問題について検討する。現代社会において医療人類学の果たす役割について考える。	講義	(非)徳安 祐子	これまでの復習	301 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)檜崎 洋一郎, 竹内 弘						

授業の概要

この講義では、アジア（主に東アジア）の文化・習俗・思想などを、日本人がどのように受け入れてきたか、あるいは逆に、日本が周辺諸国に、どのような影響を与えてきたかを学ぶ。そこから、アジア諸国の文化上の共通点と相違点、および現在の各国民の相互認識における問題点にアプローチする。さらに、日本文化が、アジア世界、ひいては全世界の中で占める文化的・歴史的位置などについても、考えを深めていく。

学生の到達目標

- ①アジア諸国の文化・歴史などに対して、日本をその中に位置づけた上での、総合的な理解ができる。
- ②アジア諸国との過去・現在・将来にわたる関係のあり方について、広い視野から考えることができる。
- ③「世界の中の日本」ということについて、時間的・空間的に、複眼的・立体的な見方ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料プリントをMoodleを使用して開示する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
最終レポート（前期末）	70%
講義後小レポート（不定期）	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 講義時間前後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション アジア、そして東アジアとはどのような地域なのか。その一部である日本に対して、この地理的環境はどのような影響を与えてきたのか。東アジア地域についての概括的な基礎知識と、その中で日本が置かれてきた状況に関する知識を得る。	講義	(非)檜崎 洋一郎	アジア、東アジア、東洋、西洋	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)檜崎 洋一郎, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	東アジアにおける「国名」の歴史 東アジア諸国の「国名」やその由来、およびその「意味」について学ぶ。国家の名称と、そこに示された諸国民・諸民族の「アイデンティティ」について、歴史的・文化的な視点から考える。	講義	(非)檜崎 洋一郎	中国、中華、倭、日本	3 1 2 講義室
3	東アジアにおける「王権」の諸様相 東アジア諸国の「王権」のさまざまなあり方について、その沿革や意味などを学ぶ。第2回の授業内容を踏まえ、東アジア諸国民の国家認識・君主（元首）認識における、共通点と相違点について理解を深める。	講義	(非)檜崎 洋一郎	王、皇帝、天皇、元首	3 1 2 講義室
4	封建と中央集権 第3回の授業内容を踏まえ、中国史における中央政府と地方権力との関係について学ぶ。また、中国における「王」という称号の変遷、及び東アジアにおける「冊封体制」成立の思想的背景について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	封建、郡県、冊封体制	3 1 2 講義室
5	律令制と封建制 第2・3回の授業内容を踏まえ、日本の歴史における、中央政府と地方権力との関係について学ぶ。日本における天皇と征夷大將軍との関係や、「廃藩置県」の歴史的意義などについて考察を深め、日中韓三国の辿った歴史の相違についても理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	征夷大將軍、日明貿易、廃藩置県	3 1 2 講義室
6	アジア宗教史概論（仏教・儒教・道教） インド人・中国人の宗教観、死生観、霊魂観について、仏教・儒教・道教についての基本的知識と共に学ぶ。あわせて、中国・日本に伝播した仏教（大乘仏教）と、タイ・ミャンマーに伝播した南伝仏教（上座部仏教）との相違についても基礎的な知識を学ぶ。	講義	(非)檜崎 洋一郎	孔子、儒教、老子、道教	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)檜崎 洋一郎, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	日本宗教史概論（神道・仏教・儒教） 日本人の宗教観・死生観・霊魂観について、神道・仏教・儒教についての基本的知識と共に学ぶ。 日本古代における死生観・霊魂観と、仏教伝来後こうむった変容、儒教や国学（復古神道）興隆後の動向についても理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	神道、神仏習合、廃仏毀釈	3 1 2 講義室
8	東アジアにおける「文字」の諸様相① 中国における漢字の歴史や、それが「中国文明」の形成・維持・発展にあたって果たした役割について学ぶ。 甲骨文字に始まる漢字の書体の歴史、その使用法、及びその「文字」としての長所や欠点、中国・日本以外の「漢字文化圏」で、近代以降、漢字がどのような運命を辿ったかを理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	甲骨文字、象形、指し、転注、仮借	3 1 2 講義室
9	東アジアにおける「文字」の諸様相② 日本への漢字の伝来から、仮名文字の成立へと至る沿革について学ぶ。 渡来人・帰化人による漢字の伝承から、万葉仮名の成立、平仮名・片仮名の成立、「宣命書」を経由しての「漢字仮名混じり文」の確立、さらに現代の日本語表記（新かな・新漢字）へと至る経過について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	王仁（和邇）、万葉仮名、紀貫之	3 1 2 講義室
10	東アジアにおける「文字」の諸様相③ 「ハングル」誕生の経緯と、その他の諸民族の作った文字について学ぶ。 李朝において、どのような意図と経緯のもとで「ハングル」が作成されたか、それが日本の仮名文字とどのように相違していたか、また他の諸民族の作った文字がその後たどった運命について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	諺文、ハングル、朝鮮王朝（李朝）	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)檜崎 洋一郎, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	朝鮮半島における仏教と儒教 朝鮮半島における仏教と儒教の歴史について学ぶ。最初に日本に仏教を伝えた朝鮮半島において、その後、仏教がどのような歴史を辿ったか、仏教と儒教に関する、日本と朝鮮半島の共通点・相違点について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	華嚴宗、朱子学	3 1 2 講義室
12	ベトナムと中国 中国の「周辺」民族の中で、政治的・軍事的に緊張関係にあることが多かったベトナムの歴史を、中国との関係という視点から概観し、日本や朝鮮半島と比較しつつ、それぞれの特色について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	字喃 (チュノム)	3 1 2 講義室
13	「西洋の衝撃」と東アジア 西欧近代文明の衝撃に対して、東アジア諸国がどのように対応しようとしたかを学ぶ。「ウェスタン・インパクト」という事態を前にして、東アジア諸国が各々どのようにそれに対応しようとしたか、そのこととこれまでに見た諸国の文化的性格との関連などについて理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	蘭学、和魂洋才、洋務運動	3 1 2 講義室
14	「社会主義」と東アジア 東アジア諸国と「社会主義」との関係について、主に歴史的視点から考えていく。中国や北朝鮮はなぜ今でも「社会主義」体制を維持しているのか、そのことと古代以来の東アジアの歴史的・文化的伝統(儒教など)との間には、どのような関係があるのかについて思考を深める。	講義	(非)檜崎 洋一郎	マルクス・レーニン主義、毛沢東	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)檜崎 洋一郎, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	学習内容のまとめ 東アジア諸国と日本の過去と現在、そして将来について考える。これまでの授業内容を再確認した上で、主に文化的側面から、今後の諸国間の相互理解の望ましいあり方について考える。	講義	(非)檜崎 洋一郎		312 講義室

社会科学II(法学)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

授業の概要

我々の日常生活を規律する基本的な法の仕組みや、歯科医療福祉に関する法制度の沿革、内容、役割、医療をめぐる法律問題の状況、法律問題解決の技法について講義する。日常生活においても職業活動においても不可欠な法を知り、法を役立て、安心して職務に従事し、日常生活を営むことができる基盤を養う。

学生の到達目標

- ①日常生活関係を規律する法の存在や仕組み、基本的な考え方を説明できる。
- ②医療法の存在意義と役割を理解するとともに、基本的な知識を身につけることができる。
- ③歯科医師法、歯科衛生士法等職務関係法の存在意義と役割を理解するとともに、基本的な知識を身につけることができる。
- ④医療をめぐる法律問題を知り、その解決方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
医事法学入門 [第2版]	姫嶋瑞穂	成文堂
法学六法25	池田真朗他編	信山社

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科六法コンメンタール [第3版]	社会歯科学会編著	ヒョーロン・パブリッシャーズ (2024年)
法学入門	宍戸常寿＝石川博康編著	有斐閣 2021年
法学入門 [第4版新装版]	五十嵐 清著	日本評論社 2017年
法学入門 [第3版]	田中成明著	有斐閣 2023年
医療六法 令和7年版	中央法規出版	中央法規出版 2024年
医事法入門第6版	手嶋豊著	有斐閣 2022年
医事法講義 (新編第5版)	前田和彦著	信山社 2023年
医事法判例百選 [第3版]	甲斐克則＝手嶋豊編	有斐閣 2022年

社会科学II(法学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題合計	40%
試験	60%

その他

講義資料は事前にMoodleに掲載するので、受講の際に活用してほしい。課題レポートの提出もMoodleを使用すること。課題の提出期限については翌日の午前8時半とする。「法学六法25」は、毎講義に必ず持参すること。

【オフィスアワー】講義終了後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	社会規範の一つとしての法（1） —法とは何か ①法とは何かを学ぶ。 ②法の特徴、構造・機能、分類を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	道徳 公法 私法 強制力 平均性	301 講義室
2	社会規範の一つとしての法（2） —紛争解決のための法 ①法源を学ぶ。 ②法の解釈適用の方法を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	制定法 判例 条理 縮小解釈 類推解釈	301 講義室
3	憲法の役割と基本原則（1） ①基本的人権の保障、特に自由権の本質を知る。 ②社会権の内容と役割を知る。	講義	(非)小野 憲昭	公共の福祉 プライバシー権 自己決定権 生存権	301 講義室
4	憲法の役割と基本原則（2） ①司法制度について知る。 ②違憲審査制度の意義と役割を知る。	講義	(非)小野 憲昭	裁判制度 法律上の争訟 司法権の独立 違憲判決 統治行為	301 講義室
5	民法の役割と基本原則（1） ①民法の世界観、基本原理を知る。 ②私的自治の原則と過失責任の原則について考える。	講義	(非)小野 憲昭	所有権の絶対 契約自由の原則 過失責任の原則 家族法における意思絶対 損害賠償責任	301 講義室

社会科学II(法学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	民法の役割と基本原則（2） ①公共の福祉、信義則、権利濫用の役割を知る。 ②私権の公共性について考える。	講義	(非)小野 憲昭	公共の福祉 信義誠実の原則 安全配慮義務 契約の準備段階における過失 権利濫用	301 講義室
7	刑法の役割と基本原則（1） ①罪刑法定主義の原則を知る。 ②犯罪の成立要件を知る。 ③刑罰の本質について知る。	講義	(非)小野 憲昭	罪刑法定主義 慣習刑法の排斥 犯罪構成要件 違法性阻却事由 応報刑	301 講義室
8	刑法の役割と基本原則（2） 刑事手続き、裁判員裁判制度について知る。	講義	(非)小野 憲昭	一般予防 被疑者の権利 残虐な刑罰 被告人の権利 裁判員	301 講義室
9	医療法医療施設の規制に関する法を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	病院 広告 開設の規制 診療記録 医療計画	301 講義室
10	医療関係資格法（1） 歯科医師法を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	資格 試験 研修 業務	301 講義室
11	医療関係資格法（2） 歯科衛生士法等を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	資格 試験 研修 業務	301 講義室
12	医療行為と法（1） ①医療行為とは何かを学ぶ。 ②医師の権利義務、患者の権利義務について学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	診療契約 医療従事者の責務 患者の権利	301 講義室
13	医療行為と法（2） ①医療事故と医療過誤、その状況と対応を知る。 ②医療過誤と刑事責任について学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	医療事故 医療過誤 故意過失 刑事罰	301 講義室
14	医療行為と法（3） ①医療過誤と民事責任について学ぶ。 ②医療過誤と行政上の責任について学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	不法行為責任 契約責任 注意義務 使用者責任 免許取り消し	301 講義室

社会科学II(法学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	医療情報と法 ①診療情報の保護と利用について学ぶ。 ②個人情報の保護のあり方を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	自己決定権 インフォームド・コンセント 個人情報保護法 情報開示請求権	301 講義室

人文科学I (哲学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)清水 満, 竹内 弘						

授業の概要

ヨーロッパの哲学的伝統、思想史の概説を行う。三つの部に分けて、第1部は生命にかんする哲学、第2部は社会についての哲学、第3部は美と人倫についての哲学を概観する。

学生の到達目標

- ①ヨーロッパの近代哲学史の基本的な知識・概念を説明できる。
- ②医学的な視点と異なる哲学的な概念と視点から、生命や社会を考察できる。
- ③現実の問題に対して、哲学的思考が有効であることを理解し、自己の今後の生き方に役立てることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
毎回レジメのプリントを配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
毎回の講義でそのつど紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末レポート	59%
リフレクションカードへの考察の記入状況	31%
リフレクションカードなどの提出回数	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】質問その他は講義時間後とする。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	第1部 生命の哲学 第1講 地球の歴史と生命との関係を理解する	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	312 講義室
2	第2講 ばい菌論 微生物と他の生命の生態系を理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	312 講義室
3	第3講 生命はどこから来たか？宇宙と生命、生命の起源を哲学的に理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	312 講義室

人文科学I (哲学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)清水 満, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	第4講 ヨナスの生命の哲学 20世紀の医療倫理の確立に貢献が大きかったハンス・ヨナスの生命の哲学を概観する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
4	第5講 「表現のメディアとしての身体」 身体を現象学的に把握して、医学的な身体観を相対化する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
6	第2部 社会の哲学 第6講 ホブズの国家論 近代国家を初めて総合的に把握したトマス・ホブズの国家哲学を理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
7	第7講 ルソーの社会契約論 ルソーの国家、社会の把握を有名な「社会契約論」をもとに概観する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
8	第8講 カントの社会哲学 カントの「適法性」と「道徳性」の概念を学ぶ。カントは近代法学の定礎者でもあった。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
9	第9講 フィヒテの社会哲学 フランス革命の哲学者ともいえるフィヒテの思想を『自然法の基礎』を中心に学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
10	第10講 カール・シュミットの政治哲学 シュミットの有名な「例外状態」「政治神学」を理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
11	第3部 美と人倫 第11講 カントの美学 第3部は美学・芸術の哲学的考察を行う。まずはカントの美の概念を学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
12	第12講 シラーの美と人倫 シラーの美の概念、公共性と芸術の関係を学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室

人文科学I (哲学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)清水 満, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	第13講 マルクスのコミュニズム マルクスの思想が誤解されてきたこと、彼が提唱したのはコミュニケーション主義としてのコミュニズムであることを理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
14	第14講 ウィリアム・モリスの美の共同体 マルクスの継承者としてモダン・デザインの創始者モリスの民衆の芸術の思想を学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室
15	第15講 旅の哲学 デカルトなどのように、自ら思索の旅に出ることの重要性を考える。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	3 1 2 講義室

人文科学I(文学)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)大川内 夏樹, 竹内 弘						

授業の概要

本講義では、日本の近現代詩の作品の読解を行いながら、文学作品を解釈する上での手がかりとなるさまざまな視点についての理解を深める。文学作品を解釈するには、「何」が書かれているのかと考えると同時に、「どのように」書かれているのかについても考察する必要がある。そこで本講義においては、「レイアウト」、「押韻」、「オノマトペ」、「象徴」など、詩や文学一般を分析するためのいくつかの切り口を取り上げつつ、「どのように」書かれているのかという観点を重視しながら作品にアプローチすることを試みる。

学生の到達目標

- ①文学作品を自分なりに解釈することができる。
- ②文学作品について自分が考えたことを表現することができる。
- ③文学作品を解釈するための方法や視点について理解することができる。
- ④文学作品の読解を通じて、丁寧に言語表現を向き合うことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
使用しない。講義時に資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末レポート	50%
小レポート（毎回実施）	50%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義前後の空き時間及びメールで相談に応じる。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	「イントロダクション」 本講義の内容や進め方について説明する。また、詩を解釈するための基本的な方法を紹介する。	講義	(非)大川内 夏樹	詩の読み方	311 講義室

人文科学I(文学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)大川内 夏樹, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	「詩とレイアウト①」 レイアウトに関する表現上の特徴に注目しながら、新国誠一「雨」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わっているのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	新国誠一	311 講義室
3	「詩とレイアウト②」 レイアウトに関する表現上の特徴に注目しながら、萩原恭次郎「日比谷」などの詩を考察する。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わっているのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	萩原恭次郎	311 講義室
4	「詩と押韻」 押韻に関する表現上の特徴に注目しながら、原條あき子「春の歌」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わっているのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	原條あき子	311 講義室
5	「詩とオノマトペ」 オノマトペに関する表現上の特徴に注目しながら、草野心平「ごびらっふの独白」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わっているのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	草野心平	311 講義室
6	「詩と象徴」 象徴に関する表現上の特徴に注目しながら、北川冬彦「花」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わっているのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	北川冬彦	311 講義室

人文科学I(文学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)大川内 夏樹, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	「詩とイメージ」 イメージに関する表現上の特徴に注目しながら、竹中郁「ハンマー」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わるのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	竹中郁	311 講義室
8	「詩が描く労働(者)①」 労働(者)の描かれ方の特徴に注目しながら、石垣りん「経済」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わるのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	石垣りん	311 講義室
9	「詩が描く労働(者)②」 労働(者)の描かれ方の特徴に注目しながら、高橋順子「夏」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わるのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	高橋順子	311 講義室
10	「詩と地名」 地名の使い方の特徴に注目しながら、小野十三郎「雀」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わるのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	小野十三郎	311 講義室
11	「詩とユーモア」 ユーモアに関する表現上の特徴に注目しながら、平田俊子「誕生祝い」などの詩を読む。そして、そのような表現上の特徴と作品が発する意味やメッセージとが、どう関わるのかを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	平田俊子	311 講義室

人文科学I(文学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)大川内 夏樹, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	「詩と戦争①」 戦争の描かれ方に注目しながら、 小熊秀雄「時よ・早く去れ」などの 詩を読む。そして、そのような 表現上の特徴と作品が発する意味 やメッセージとが、どう関わるの かを考える。	講義	(非)大川内 夏樹	小熊秀雄	3 1 1 講義 室
13	「詩と戦争②」 戦争の描かれ方に注目しながら、 鮎川信夫「死んだ男」などの詩を 読む。そして、そのような表現上 の特徴と作品が発する意味やメッ セージとが、どう関わるのかを考 える。	講義	(非)大川内 夏樹	鮎川信夫	3 1 1 講義 室
14	「詩と戦争③」 戦争の描かれ方に注目しながら、 北園克衛「黒い肖像」などの詩を 読む。そして、そのような表現上 の特徴と作品が発する意味やメッ セージとが、どう関わるのかを考 える。	講義	(非)大川内 夏樹	北園克衛	3 1 1 講義 室
15	「まとめ」 これまでの講義を振り返る。また 、現代の詩の動向や発表されてい る作品について紹介する。	講義	(非)大川内 夏樹	現代の詩	3 1 1 講義 室

人文科学I (心理学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非), 竹内 弘						

授業の概要

本講義では、これまでの心理学の基礎的な知見を幅広く紹介しながら、心理学の主要領域について概説していく。基本的理論に触れることで、人間の心理や行動のメカニズムについての理解を深めつつ、それらを科学的に研究する方法を学ぶことを目的とする。更に、各テーマの理論を自分の生活に結びつけて考えることで、自分や周りの物事を客観的かつ多角的に見るための視点を養う。

学生の到達目標

- ①心理学の主要領域の基本的理論や重要な用語について説明できる。
- ②心理学の科学的な研究方法や議論・検証の流れについて説明できる。
- ③心理学の考え方に沿って、現実の具体的な事象を解釈することができる。
- ④実際の臨床における心理学の援用についての知識を習得できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
毎回、Moodle上で配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中、適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
最終試験	70%
授業内レポート・小テスト	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】メールにて質問や相談を行う。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション：心理学とは何か、歴史を踏まえながら学ぶ。	講義		心理学、基礎心理学、応用心理学	301 講義室
2	感覚・知覚・注意：人間はどのように外界を認識しているのか、注意をどのように向けるのかについて学ぶ。	講義		感覚の種類、知覚の恒常性、錯視、カクテルパーティ効果、ストループ効果	301 講義室
3	学習：学習と行動の関係性について学ぶ。	講義		条件づけ、強化、社会的学習	301 講義室

人文科学I(心理学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非), 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	記憶：記憶の過程と種類について学ぶ。	講義		記憶のモデル、短期記憶、長期記憶、忘却	301講義室
5	対人魅力：人間が他者に対して抱く感情について心理学的観点から学ぶ。	講義		近接性、好意の返報性、類似性	301講義室
6	ストレス理論；ストレスについて、その生起や特徴、影響について学ぶ。	講義		ストレッサー、ホメオスタシス、ストレス反応、コーピング	301講義室
7	モチベーション：人間の欲求と動機づけの基本的理論について学ぶ。	講義		生理的欲求、社会的欲求、葛藤	301講義室
8	パーソナリティ①：性格とは何か、類型や特性から学ぶ。	講義		類型論、特性論、測定法	301講義室
9	パーソナリティ②：性格とは何か、類型や特性から学ぶ。	講義		類型論、特性論、測定法	301講義室
10	発達：生涯をかけた心の成長と変化について学ぶ。	講義		発達段階、発達課題、アタッチメント	301講義室
11	社会的認知：人間が他者を認知するときの傾向の基礎を学ぶ。	講義		自尊感情、対人認知、原因帰属	301講義室
12	臨床心理学：心理学の分野のひとつである臨床心理学の概要について学ぶ。	講義		カウンセリング、心理療法	301講義室
13	精神医学：精神疾患や精神症状の概要について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	DSM-5、ICD-10、精神疾患、病態水準	301講義室
14	発達障害：発達障害の概念や、その特徴について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	ASD、ADHD、LD	301講義室
15	まとめ・最終試験：各回の講義内容についての試験をおこなう。	講義・試験	(非)唐 毓青		301講義室

人文科学II(倫理学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)清水 満						

授業の概要

日常の諸問題でどのように考えればよいのか、毎回、問題が課され、自分で解答を作成する。その後、事例を通して、現代倫理学の基本的な考え方を講義する。現代応用倫理学の主要なテーマ、概念から初め、後半は、歯科医療従事者に必要な医療倫理の基本的な考え方を講義する。

学生の到達目標

- ①現代社会で生きる一人の人間としての「倫理」とは何かを考え、個々の状況において、適切な対応ができる「判断力」を涵養できる。
- ②医療従事者、科学者としての基本的な倫理観を身につけることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
適宜、レジメのプリントを配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
その都度指示する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	59%
練習問題の回答内容評価	31%
練習問題の提出回数	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】質問その他は講義時間後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	倫理学序論 日常生活に倫理的判断があることを理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
2	応用倫理学の基礎（1） 功利主義難破船のパラドックス功利主義について事例をもとに学び、現実への適用ができるようにはかる。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室

人文科学II(倫理学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)清水 満						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	応用倫理学の基礎(2) 自由主義「人に迷惑をかけなければ何をしてもかまわない」は正しいか？ 現代倫理学の基礎である自由主義を学び、現実への適用を可能にする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
4	応用倫理学の基礎(3) カントの倫理学「ウソも方便」は正しいか？ カント倫理学の要諦を学び、現実への適用可能性をはかる。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
5	科学者の倫理(1) STAP細胞問題、ノバルティス社問題など、科学におけるデータ偽造、過度な業績主義の弊害などを素材に、科学者の倫理を学び、大学や社会で研究者倫理を実行できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
6	科学者の倫理(2) 核兵器開発、原発、731部隊など著名な事例を参考に、科学者の社会的責任を考察し、医療倫理、科学倫理に反した研究をしない判断力を身につける。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
7	医療倫理(1) インフォームド・コンセントと患者の権利、およびプロフェッションの自覚を学び、現場で応用できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
8	医療倫理(2) ケアの倫理学 医療における基本的な概念、「ケア」について考察する。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
9	医療倫理(3) ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
10	医療倫理(4) ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室

人文科学II(倫理学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)清水 満						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	医療倫理（5） エンハンスメントの倫理的問題を考察し、医療倫理に反する治療をしない判断力を身につける。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
12	医療倫理（6） 障害学 高齢者、障害者たちのノーマライゼーションを考察し、歯科治療の患者として対応できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
13	医療倫理（7） 優生学 医療において支配的だった優生学的な思考を過去の医療政策をもとに批判的に考察する。	講義 視聴覚教材	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
14	医療倫理（8） バザリアの実践などを見て、日本の精神医療の歴史を批判的に考察する。	講義 視聴覚教材	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
15	医療倫理（9） 医療法などの基礎的な理解を得る。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

授業の概要

大学の講義や実習では、データの解析やレポートの作成など、パソコンの活用とより一層の「情報の使いこなし」が求められる。また情報収集や発信においてAIを含む適切なインターネットの利活用とより高度な情報倫理(モラル)が求められる。本実習は、教本に沿ってPCを操作し、プレゼンテーション制作・発表、ドキュメントや表・グラフの作成を行ない、メールやWebの使い方についても学ぶ。また事例動画の視聴により情報倫理について適正な態度を醸成する。これらにより、歯学部学生がツールとしてのパソコンに習熟し、在学中から卒業後も情報倫理に配慮し適切に情報を利活用できることを目標にする。

学生の到達目標

- ①情報セキュリティや著作権、情報モラルについて問題を説明することができる。
- ②情報倫理に関わる問題について対応法を説明できる。
- ③理系学生として必要なオフィスソフト(ドキュメント・表計算・プレゼンテーション)を効率的に利用できる。
- ④メールやWebブラウザなどインターネットアプリケーションを適切に利用できる。
- ⑤必要な情報を収集することができる。
- ⑥収集した情報について自らが基準を持って判断できる。
- ⑦情報の利用や発信にあたって、倫理的な視点を持つことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
例題50+演習問題100でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキスト Windows11/Office2021対応版	定平誠	技術評論社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション制作と発表	30%
ドキュメント(課題について提出)	30%
表計算(課題について提出)	30%
レポート提出	10%

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】随時、本館9階総合診療学オフィスまたはメールにて受け付ける。 オフィスを訪問する際は事前にメールでアポイントを取ることが望ましい。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	【情報処理ガイダンス】 ・大学ネットワークの利用法（ID、パスワードの管理） ・PCの基本操作 ・本学におけるPCの操作方法、Moodle・Teams・Outlookの利用方法、プリンタ使用上の注意を含め、基本的な操作方法を学ぶ。	実習	永松 浩 小野 堅太郎 守下 昌輝 大谷 泰志 辻澤 利行 船原 まどか	【事前学修課題】 高校情報の教科書を読み直しておく 【事後学修課題】 PCの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
2	【情報リテラシー、情報セキュリティとは】 理系・医療系大学生として求められるリテラシーやインターネットを安全に安心して活用するために、セキュリティを確保する重要性と、トラブルへの対処法について学ぶ。 【授業における情報の受信・発信について】 ・電子メールの送受信（Outlook） ・e-learningシステムを利用した、課題の提出、アンケートの回答（forest of KDU: Moodle） ・リアルタイム遠隔講義システムの利用（Teams）を確認する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 ・「情報リテラシー」 ・「情報セキュリティ」 【事後学修課題】 Outlook、Moodle、Teamsの操作に慣れる。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	【情報倫理（モラル），著作権】 ・ネットワーク社会の中で遵守すべき規範 ・Webによる情報収集とメールの利用 ・生成系AIの利活用について ・著作権に配慮した適切な引用 ・ネット上の情報を検索エンジンや文献検索サイトなどを用いて、効率的に収集する方法について学ぶ。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 「情報倫理」 「著作権」 「適切な引用」 「生成系AI」 について調べておく。 【事後学修課題】 テーマについて検索し客観的・批判的に整理する。	コンピュータ演習室 Moodle
4	【情報社会におけるトラブル事例への対応】 SNSやブログなどで起きる、さまざまなトラブルについて事例ビデオを視聴しながらディスカッションを行い理解を深める。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 高校情報の教科書を読み直しておく。 【事後学修課題】 レポート提出「大学生となったあなたにとって、情報倫理とは何でしょうか」	コンピュータ演習室 Moodle
5	【プレゼンテーションソフトの利用】（PowerPoint①） PowerPointの基本操作、オブジェクトの配置、入力について各自で取り組む。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 プレゼンテーションの意義について調べる 【事後学修課題】 PowerPointの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint②) スライドの編集、レイアウト、デザインについて取り組むと共に、視覚的効果を学ぶ	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 分かりやすく印象に残るプレゼンテーションデザインを確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
7	【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint③) アニメーションを組み込み、より効果的なプレゼンテーションを作成する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 「効果的なプレゼンテーション」についてまとめる。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint④) 事前に与えられたテーマについてプレゼンテーションを制作する。班の中で発表し、代表のプレゼンを選考し、わかりやすくなるように、レイアウト (配置) ・デザイン (大きさ・色) などを検討し修正する。変更ポイントをまとめる。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 テーマに沿った素材を準備し、プレゼンを作成する。 【事後学修課題】 グループの中で指摘された事項についてブラッシュアップをおこなう。	コンピュータ演習室 テュートリアル演習室1 テュートリアル演習室2 テュートリアル演習室3 テュートリアル演習室4 テュートリアル演習室5 テュートリアル演習室6 テュートリアル演習室7 テュートリアル演習室8 Moodle
9	【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint⑤) グループごとにブラッシュアップしたプレゼンテーションを発表し、その後修正ポイントについても発表する。発表について相互に意見を述べ合うとともに評価する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 発表の練習をする。 【事後学修課題】 各自ブラッシュアップされたプレゼンテーションを提出する。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	【ワードプロセッサの利用】 (Word①) Wordの基本操作、文章の入力方法と文字飾りについて各自で取り組む。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 大学の学修で必要とされる文書作成について調べる。 【事後学修課題】 Wordの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
11	【ワードプロセッサの利用】 (Word②) ページのデザイン、図表の配置・レイアウトや、簡易な編集について実践する。 【アウトラインプロセッサ】 考え方をまとめるツールとしての「アウトラインプロセッサ」について説明する	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 見やすくわかりやすい文字の加工やレイアウトについてまとめる。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	【ワードプロセッサの利用】 (Word③) ・よりよいワープロ文書にするためのテクニックや、表の作成などについて取り組む。 ・グループ毎にテーマに沿ってディスカッションし、プロダクトを作成する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 グループ毎にテーマについて調べてくる。 。 【事後学修課題】 テーマに沿ったドキュメントを提出する。 。	コンピュータ演習室 テュートリアル演習室1 テュートリアル演習室2 テュートリアル演習室3 テュートリアル演習室4 テュートリアル演習室5 テュートリアル演習室6 テュートリアル演習室7 テュートリアル演習室8 Moodle
13	【表計算ソフトの利用】 (Excel①) Excelの基本操作、動作の原理、入力方法、計算方法について学ぶ。 。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 大学の学習で必要とされる表やグラフ、計算について調べる。 。 【事後学修課題】 Excelの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, ICT活用部会長小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行, 船原 まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 守下 昌輝 (第二総合診療科) 永松 浩 (口腔内科・口腔外科) 大谷 泰志 (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	【表計算ソフトの利用】 (Excel ②) 関数の利用、グラフの作成、表のデザインについて実践し、より見やすく理解できる成果物を目指す。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 データに応じた表やグラフの選択 についてまとめる。	コンピュータ演習室 Moodle
15	【表計算ソフトの利用】 (Excel ③) データペースの原理、データの扱い方と、Excelでの各機能との対応を学び、実際のデータを操作する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 あたえられたデータについて求められる分析やグラフ作成をおこない提出する。	コンピュータ演習室 Moodle

情報リテラシーII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, 大谷 泰志						

授業の概要

日常のあらゆる場面でコンピュータを利用するが、その原理や構造を知る機会は少ない。しかし、在学中はもとより卒業後もコンピュータやネットワークを使う以上、理解していくことは必須である。また、情報セキュリティやサイバー攻撃への対策についても、当然に必要な技術・知識となってきた。これから安全に生活し、仕事を進めていく上で必要な法律や技術について理解を深める授業を行うとともに、情報倫理、研究倫理についても触れる。

学生の到達目標

- ①コンピュータの原理が説明できる。
- ②インターネットの原理が説明できる。
- ③メディアの特性について区別することができる。
- ④情報セキュリティやネット犯罪について説明することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術) を活用できる。
C-6-3-1	ICTを安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスを理解している。
C-6-3-3	「人間中心のAI社会原則」のAI-Readyな社会における、情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
C-6-3-4	IoT技術やAI、データ活用等の基本的な概念と手法、医療・保健・介護分野への応用例について理解している。
C-6-3-5	発達し続ける情報社会を理解し、自身の学びや医療に活用する柔軟性を有する。
IT	情報・科学技術を活かす能力(Information Technology)/医療・医学研究をさらに発展させるために、発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。
IT-01	情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
IT-02	健康・医療・介護に関わる情報倫理を理解している。
IT-03	個人の情報コントロールビリティに基づいた、医療・保健・介護分野でのInternet of Things (IoT) 技術やAI等のデータの活用を理解している。
IT-04	数理・データサイエンス、AI等の基本的情報知識と実践的活用スキルを身に付ける。
IT-05	データサイエンス、AIを駆使したイノベーションの創出に関心を示す。
IT-06	歯科医療においてDigital Dentistryの活用を理解している。

情報リテラシーII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, 大谷 泰志						

テキスト

タイトル	著者	出版社
キーワードでわかる情報トピックス2025	久野靖 他	日経BP社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
小テスト	20%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】随時、病院棟2階診療情報管理室またはメールにて受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	コンピュータの原理 コンピュータの内部構造の説明。どのような構成部品があり、どのように性能が決まるのかを学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】高校情報の教科書を読み直しておく。	301 講義室
2	インターネットの仕組み インターネットは、どのように構築されているのか、メールやWebは、どのようにして伝送されるのかを学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】日常的に使用しているインターネットについて、その仕組みを自身で想像しまとめておく。	301 講義室
3	LANとWi-Fi インターネットを組織や家庭内で使う際に必要な設定や基本技術はどのようになっているかを学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】日常的に使用しているインターネットについて、その仕組みを自身で想像しまとめておく。	301 講義室
4	情報セキュリティ コンピュータウイルスやネット犯罪の例を元に、その対策方法を知る。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】1年以内にあった、情報に関する事件について調べておく。	301 講義室

情報リテラシーII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, 大谷 泰志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	Computer Aided Designと3Dプリント Computer Aided Designと3Dプリント、医療への応用について知る。	講義	大谷 泰志	【事前学修課題】インターネットで3Dプリントについて調べておく。	301 講義室
6	AIの進化と活用 人工知能の進化と活用、医療への応用について知る。	講義	大谷 泰志	【事前学修課題】インターネットでAIについて調べておく。	301 講義室
7	インターネットの活用 毎日使用しているインターネットの活用についてサービスの特徴を知る。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】SNSサービスについて調べておく。	301 講義室
8	情報社会 情報システムや自動化など、近年トピックスになっている技術について知る。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】ビッグデータ、ロボティクス、VR、ウェアラブルデバイスについて調べておく。	301 講義室

基礎生物学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

授業の概要

今後展開される生命科学系の講義および実習を学修するために必要な生物学的知識および技術を身につける。生物学の内容は多岐にわたり、情報量はあまりにも膨大である。本授業では、ヒトを含む生物が個体（生命活動）や種（生殖）を維持するために必要なメカニズム、および顕微鏡観察に必要な技術に重点を置く。

学生の到達目標

- ①生物の定義と種について説明できる。
- ②進化について説明できる。
- ③遺伝、遺伝子、DNA、染色体について説明できる。
- ④体細胞分裂および減数分裂について説明できる。
- ⑤生体膜における物質の輸送について説明できる。
- ⑥生命を維持するために必要なエネルギー変換、代謝について説明できる。
- ⑦メンデルの遺伝の法則、種々の遺伝現象について説明できる。
- ⑧ヒト臓器の基本的な構造と働きについて説明できる。
- ⑨光学顕微鏡を使用して観察できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリントを配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】月～金 16：00～17：00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	細胞細胞の種類および細胞の構造と働きについて学ぶ。	講義	吉野 賢一	生物の基本単位、細胞の構造と機能	Moodle 7 1 実習室
2	浸透圧と物質輸送細胞膜における物質輸送について学ぶ。	講義	吉野 賢一	浸透、拡散、促進、能動、受動輸送	Moodle 7 1 実習室
3	進化と学名進化についての一般的な概念、生物の分類、学名と命名法について学ぶ。	講義	吉野 賢一	進化の定義、学名、分類、種	Moodle 7 1 実習室

基礎生物学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	遺伝獲得形質のみが遺伝し、その遺伝情報を基にタンパク質が合成されることについて学ぶ。	講義	吉野 賢一	体細胞分裂、染色体、形質、DNA、遺伝子	Moodle 7 1 実習室
5	消化吸収①歯の構造・機能と生活様式多種の動物における歯の構造・機能と生活様式の関連について学ぶ。	講義	吉野 賢一	歯式、食性	Moodle 7 1 実習室
6	血液血液の組成と機能について学ぶ。	講義	吉野 賢一	血球の働き	Moodle 7 1 実習室
7	消化吸収②ヒトと動物の唾液ヒトと動物の唾液の機能について学ぶ。	講義	吉野 賢一	唾液	Moodle 7 1 実習室
8	消化吸収③ヒトと反芻動物の胃ヒトと反芻動物における胃の構造・機能について学ぶ。	講義	吉野 賢一	胃の構造と機能	Moodle 7 1 実習室
9	生物の観察Ⅰ光学顕微鏡および電子顕微鏡の基本的構造と光学系構成について学ぶ。	講義・演習	吉野 賢一	双眼・透過型・光学顕微鏡の操作法	Moodle 7 1 実習室
10	生物の観察Ⅱ光学顕微鏡の取り扱いを理解したうえで、標本の拡大像を作ることを学ぶ。	講義・演習	吉野 賢一	顕微鏡のコンデンサー、絞り、調光	Moodle 7 1 実習室
11	生物の観察Ⅲ光学顕微鏡を用いた生物学的スケッチの手技を学ぶ。	講義・演習	吉野 賢一	スケッチの意義	Moodle 7 1 実習室
12	生物の観察Ⅳ口腔内上皮細胞、細菌、白血球の染色、観察。	講義・演習	吉野 賢一	トルイジンブルー染色法	Moodle 7 1 実習室
13	代謝エネルギー産生について学ぶ。	講義	吉野 賢一	異化、同化	Moodle 7 1 実習室
14	呼吸脊椎動物および無脊椎動物の呼吸について学ぶ。	講義	吉野 賢一	肺呼吸、皮膚呼吸、鰓呼吸	Moodle 7 1 実習室
15	授業の総括および確認テスト	講義・演習	吉野 賢一	1～14回の内容のすべて	Moodle 7 1 実習室

化学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, (非)引地 尚子, 邵 仁浩						

授業の概要

化学は、物質の性質、構造、変化に関する学問である。歯科衛生士は、医療の現場で種々の歯科材料などを扱う立場にあり、化学の基礎知識が必要不可欠である。また生化学など他の専門科目を学ぶための基礎としても化学の知識は不可欠である。本講義ではまず原子や分子に関する基本概念を学ぶ。その知識をもとに、有機化合物についてその構造と反応性のもととなるいくつかの基本的概念を学ぶ。次いで、生体中にある重要な化合物の特徴や性質を学ぶ。最後に生体内の化学反応に欠かせないエネルギー、エンタルピー、エントロピーの概念について学ぶ。

学生の到達目標

- ①原子の電子構造を説明できる。
- ②化学結合を説明できる。
- ③有機化合物の構造と電子の偏りが化学反応に与える基本的な影響を説明できる。
- ④生体内の重要な化合物の特徴や性質を説明できる。
- ⑤エネルギーを説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	I. 化学で用いる数 化学で用いる数について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】質量、物質量、原子量、分子量	6 1 3 講義室 Moodle
2	II. 量子化学以前の「原子の構造」論 ボーアの原子モデルなどを元にした原子の構造について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】惑星型原子モデル	6 1 3 講義室 Moodle

化学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, (非)引地 尚子, 邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	II. 量子化学に基づく「原子の構造」論 微視的レベルで光や電子などは粒子と波の両方の性質を示すこと、原子の中の電子の波としての存在形態（原子軌道）と原子の中の電子の三次元的分布について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】量子化学、物質波、波動関数、原子軌道	6 1 3 講義室 Moodle
4	III. 量子化学以前の「化学結合」論 ボーアの原子モデルなどを元にしたのイオン結合や共有結合について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】化学結合、イオン、分子	6 1 3 講義室 Moodle
5	III. 量子化学に基づく「化学結合」論 分子の中の電子の波としての存在形態（分子軌道）、原子から分子が形成されるときに生ずる混成軌道、水分子の立体構造を混成軌道を用いて表すことを学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】分子軌道、共有結合、混成軌道	6 1 3 講義室 Moodle
6	IV. 化学反応 化学反応速度を決定する要因や化学平衡について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】化学反応速度、化学平衡	6 1 3 講義室 Moodle
7	V. 水① %濃度やモル濃度などの水溶液の濃度の種類、蒸気圧や浸透圧など希釈水溶液の性質について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】希釈水溶液、溶解性、濃度	6 1 3 講義室 Moodle
8	V. 水② 酸とアルカリ、酸化還元について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】酸、アルカリ、酸化還元	6 1 3 講義室 Moodle
9	VI. 気体 ボイルの法則など身近な気体の法則、空気の組成について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】ボイルの法則、ヘンリーの法則、空気組成	6 1 3 講義室 Moodle

化学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, (非)引地 尚子, 邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	VII. 無機化合物 無機化合物とは何かについて学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】無機化合物、金属	6 1 3 講義室 Moodle
11	VIII. 有機化合物① 有機化合物とは何かについて学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】炭素含有化合物、炭化水素、官能基	6 1 3 講義室 Moodle
12	VIII. 有機化合物② 分子の構造、特に立体異性体の種類とその表示法について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】異性体、フィッシャー投影式、絶対配置	6 1 3 講義室 Moodle
13	VIII. 有機化合物③ 医療系の知識として必要な代表的有機化合物について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】飽和、不飽和、アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸	6 1 3 講義室 Moodle
14	VIII. 有機化合物④ 医療系の知識として必要な代表的有機化合物について学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】エステル、油脂、糖質、アミン	6 1 3 講義室 Moodle
15	IX. エネルギーとエントロピー 物質の持つエネルギーについて学ぶ。	講義	引地 尚子	【事前・事後学修課題】エネルギー、エントロピー、エンタルピー	6 1 3 講義室 Moodle

数学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業の概要

これまで、数学があまり得意でなかった学生を念頭に、数学の本質を図なども用いて平明に解説する。具体的には、中学校もしくは高等学校文系程度の数学の知識を前提に、いろいろな数、距離、いろいろな関数、面積を題材に、数学の考え方、有用性を体験する。講義の理解を深めるために、毎回、簡単な演習を行う。

学生の到達目標

- ①数の概念、いろいろな数、数の演算を説明できる。
- ②距離の概念と計算法を体得できる。
- ③日常に現れるいろいろな関数を説明できる。
- ④関数の諸演算を体得できる。
- ⑤面積の定義を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリントを配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】

(学習相談) 深井康成：月、火、水、木 16:20--17:15

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2, 3	数の世界 ・数の概念、自然数、整数、有理数、実数について学ぶ。 ・実数の演算について学ぶ。 ・実数の性質について学ぶ。	講義・演習	深井 康成	【事前学修】高校の教科書で集合についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	613 講義室

数学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	数の世界 ・数の概念、自然数、整数、有理数、実数について学ぶ。 ・実数の演算について学ぶ。 ・実数の性質について学ぶ。	講義・演習		【事前学修】高校の教科書で集合についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	
3	数の世界 ・数の概念、自然数、整数、有理数、実数について学ぶ。 ・実数の演算について学ぶ。 ・実数の性質について学ぶ。	講義・演習		【事前学修】高校の教科書で集合についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	
4	距離 ・直線上の距離、平面上の距離、空間上の距離について学ぶ。	講義・演習	深井 康成	【事前学修】実数の上限と下限の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	6 1 3 講義室
5	数列 ・数列の定義と数列の極限について学ぶ。	講義・演習	深井 康成	【事前学修】直線上の距離についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	6 1 3 講義室
6, 7	関数 ・関数の定義といろいろな関数について学ぶ。 ・関数の極限と微分について学ぶ。	講義・演習	深井 康成	【事前学修】数列の極限の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	6 1 3 講義室
7	関数 ・関数の定義といろいろな関数について学ぶ。 ・関数の極限と微分について学ぶ。	講義・演習		【事前学修】数列の極限の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	
8	面積 ・いろいろな図形（とくに、曲線で囲まれた図形の面積）とその計算法を学ぶ。	講義・演習	深井 康成	【事前学修】三角関数、指数関数についての復習、関数の極限と微分の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	6 1 3 講義室

社会連携キャリアデザイン

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 船原 まどか						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動の内容の報告、成果	その他

社会連携キャリアデザイン

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 船原 まどか						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動の内容の報告、成果	その他

社会連携キャリアデザインII

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 船原 まどか						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動の内容の報告、成果	その他

社会連携キャリアデザインII

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 山口 紫乃						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動の内容の報告、成果	その他

社会連携キャリアデザインIII

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 船原 まどか						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動内容の報告、成果	その他

社会連携キャリアデザインIII

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 山口 紫乃						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動内容の報告、成果	その他

社会連携キャリアデザインⅣ

開講学科	口腔保健学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 船原 まどか						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動内容の報告、成果	その他

社会連携キャリアデザインⅣ

開講学科	口腔保健学科			開講年次	4年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 本田 尚郁, 船原 まどか						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ① 自主的および自発的に行動できる。
- ② 地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③ 他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④ 他者と適切なコミュニケーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】 随時受け付ける（本田 尚郁） Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合があります。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 本田 尚郁 船原 まどか	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集 【事後学修課題】各活動内容の報告、成果	その他

医療コミュニケーションI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	鬼塚 千絵						
担当教員	永松 浩, 鬼塚 千絵, 口腔保健学科長, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 海寶 康臣, 福田 晃, (非)大住 伴子, (非)灘光 洋子, (非)藤崎 和彦, (非)俣木 志朗, (非)吉田 登志子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、磯部 彩香、山口 紫乃 (口腔顎顔面外科) 福田 晃						

授業の概要

良好な歯科医療人－患者関係を築くのに必要なコミュニケーション能力の基礎を身につける。そのために、基本的なコミュニケーションスキルを医療コミュニケーションに活用できるような基本的態度を学ぶ。講義では医療面接に必要なコミュニケーションスキルを学び、演習ではロールプレイや模擬患者を活用した医療面接を行い、自分のもつコミュニケーションスキルを向上させ、省察（振り返り）の姿勢を育成する。

学生の到達目標

- ①医療コミュニケーションを説明できる。
- ②歯科医療人の態度を説明できる。
- ③医療コミュニケーションスキルを実践する。
- ④インフォームドコンセントの意義を説明できる。
- ⑤医療面接を実践する。
- ⑥患者の社会心理的背景を説明できる。
- ⑦歯科医療人となる自覚を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
保健医療におけるコミュニケーション行動科学	深井稜博編集	医歯薬出版
歯科医療面接の実際	伊藤孝訓・寺中敏夫編	クインテッセンス
はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方	斎藤清二	医学書院
メディカル・サポート・コーチング入門 医療者向けコミュニケーション法	奥田弘美	日本医療情報センター

医療コミュニケーションI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	鬼塚 千絵						
担当教員	永松 浩, 鬼塚 千絵, 口腔保健学科長, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 海寶 康臣, 福田 晃, (非)大住 伴子, (非)灘光 洋子, (非)藤崎 和彦, (非)俣木 志朗, (非)吉田 登志子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、磯部 彩香、山口 紫乃 (口腔顎顔面外科) 福田 晃						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト (筆記試験)	40%
事前学修課題	30%
事後学修課題 (レポート・小テスト)	30%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】：相談は授業時間外でも随時受け付け可能であるが、事前に、時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	概論 良好な患者－歯科医療人関係を築く必要性を学びその実践方法を学習する。省察 (振り返り) を行い、理解を深めるためのレポートの書き方を学習する。コミュニケーションの3つの条件を学習する。欧米の歯科医学教育学会で制定されているコンピテンシーを参考に、卒業時に求められるコミュニケーションのアウトカムについて学習する。	講義	永松 浩 鬼塚 千絵	コミュニケーションの条件、コンピテンシー、アウトカム基盤型教育	402 講義室
2	ロールプレイ演習1 (伝達と傾聴) 第一印象の大切さに気付き、効果的な自己紹介について学習する。伝達と傾聴の大切さに気付きその実践方法を学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。	演習	永松 浩 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 船原 まどか 磯部 彩香 山口 紫乃 福田 晃	第一印象、傾聴技法、インフォームドコンセント	402 講義室 テュートリアル演習室群 311 講義室 312 講義室

医療コミュニケーションI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	鬼塚 千絵						
担当教員	永松 浩, 鬼塚 千絵, 口腔保健学科長, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 海寶 康臣, 福田 晃, (非)大住 伴子, (非)灘光 洋子, (非)藤崎 和彦, (非)俣木 志朗, (非)吉田 登志子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、磯部 彩香、山口 紫乃 (口腔顎顔面外科) 福田 晃						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	ロールプレイ演習1の省察（振り返り） 演習の省察によりわからなかったこと、わかっているけどできなかったことについて理解を深める。コミュニケーションの種類（言語的、準言語的、非言語的）を学習する。コミュニケーションの3大コアスキルと留意点について学習する。消極的（受動的）傾聴法と積極的（能動的）傾聴法について学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。	講義	永松 浩	言語的・準言語的・非言語的コミュニケーションの特徴	402講義室
4	（学外講師講義）歯科医療人になるということ1 医療面接の3つの役割について学習する。医療面接の基本技術と知識について学習する。医療面接の基本及び医療面接時の留意事項について学習する。 doingとbeingにより治療的自我が向上することを学習する。	講義・演習	(非)俣木 志朗 鬼塚 千絵	敬語、適切な表現	402講義室
5	（学外講師講義）歯科医療人になるということ2 患者接遇、敬語、適切な表現について学習する。患者さんとの良好な関係を築く基本について学習する。ジョハリの窓について学習する。	講義	(非)俣木 志朗 鬼塚 千絵	医療面接の役割、治療的自我、ジョハリの窓	402講義室

医療コミュニケーションI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	鬼塚 千絵						
担当教員	永松 浩, 鬼塚 千絵, 口腔保健学科長, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 海寶 康臣, 福田 晃, (非)大住 伴子, (非)灘光 洋子, (非)藤崎 和彦, (非)俣木 志朗, (非)吉田 登志子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、磯部 彩香、山口 紫乃 (口腔顎顔面外科) 福田 晃						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	(学外講師講義) 医療面接、フィードバックについて 患者と医療者の解釈モデルについて学習する。医療面接の流れ、医療面接技法、医療面接のチェックポイントについて学習する。ロールプレイを行い、フィードバックができるようにする。	講義演習	(非)藤崎 和彦 鬼塚 千絵	解釈モデル、医療面接項目、SP、LEARNのアプローチ	402 講義室 講堂ホール
7	(学外講師講義) 行動変容のアプローチ 患者-歯科医療人関係 (レディネス、行動変容、寄り添う心、bad news telling) 行動変容を生む患者アプローチについて学習する。患者中心の患者教育法について学習する。ガツカリを分かち合うことの大切さを学習する。	講義演習	(非)藤崎 和彦 鬼塚 千絵	行動変容	402 講義室
8	医療面接について 患者中心の医療を実現するために良好な患者-医療者関係を構築する必要があることを学習する。医療コミュニケーションの三大コアスキルを学習する。医療者の基本的態度類型を学習する。SPの役割について学習し、フィードバックできるようにする。ロールプレイ準備 (シナリオ・質問項目・評価項目作成) を行う。	講義	鬼塚 千絵	医療コミュニケーションの三大コアスキル、医療者の基本的態度類型	402 講義室

医療コミュニケーションI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	鬼塚 千絵						
担当教員	永松 浩, 鬼塚 千絵, 口腔保健学科長, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 海寶 康臣, 福田 晃, (非)大住 伴子, (非)灘光 洋子, (非)藤崎 和彦, (非)俣木 志朗, (非)吉田 登志子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、磯部 彩香、山口 紫乃 (口腔顎顔面外科) 福田 晃						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	ロールプレイ演習2 (医療面接) 歯科医療者、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。	演習	永松 浩 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 海寶 康臣 磯部 彩香 山口 紫乃 福田 晃	ロールプレイ用のシナリオ、評価表、医療面接の流れ、フィードバック	402講義室 テュートリアル演習室群
10	(学外講師講義) 異文化コミュニケーション 他者の視点、自分の視点をより分析的に捉える姿勢を養う。1) 言語・非言語メッセージをより分析的に捉える努力をするようになる。2) 自分の内にあるステレオタイプがどのようにコミュニケーションに反映されているかに留意するようになる。3) 医者と患者のやりとりや関係性をより分析的に捉える努力をするようになる。	講義	(非)灘光 洋子 鬼塚 千絵	「異文化コミュニケーションについての体験と、その時の感想を述べよ」	402講義室
11	ロールプレイ演習3 (医療面接) 歯科医療者、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。	演習	永松 浩 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 海寶 康臣 磯部 彩香 山口 紫乃 福田 晃	ロールプレイ演習2の時よりも設定を深めたシナリオ、フィードバックの方法	402講義室 テュートリアル演習室群

医療コミュニケーションI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	鬼塚 千絵						
担当教員	永松 浩, 鬼塚 千絵, 口腔保健学科長, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 海寶 康臣, 福田 晃, (非)大住 伴子, (非)灘光 洋子, (非)藤崎 和彦, (非)俣木 志朗, (非)吉田 登志子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、磯部 彩香、山口 紫乃 (口腔顎顔面外科) 福田 晃						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	(学外講師演習) ロールプレイ演習4 (模擬患者との医療面接) 模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。	演習	(非)吉田 登志子 永松 浩 鬼塚 千絵 海寶 康臣 磯部 彩香 山口 紫乃 福田 晃	医療面接の流れ・技法・チェックポイント(復習) 初診時医療面接のフィードバック	402 講義室 テュートリアル演習室群 312 講義室 311 講義室
13	(学外講師演習) ロールプレイ演習5 (模擬患者との医療面接) 模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。	演習	(非)吉田 登志子 永松 浩 鬼塚 千絵 海寶 康臣 磯部 彩香 山口 紫乃 福田 晃	患者の行動変容へのアプローチ、動機づけのためのコミュニケーション	402 講義室 テュートリアル演習室群 312 講義室 311 講義室
14	ロールプレイ演習4・5の省察演習の省察によりわからなかったこと、わかっているけどできなかったことについて理解を深める。	講義	鬼塚 千絵	紹介状、照会状	402 講義室
15	総括 行動科学からみた患者のタイプとそのマネジメント、社会的スキルについて学習する。確認テストにより到達目標の達成度を認識する。	講義 確認テスト	永松 浩 鬼塚 千絵 磯部 彩香 山口 紫乃	省察(振り返り)	402 講義室 401 講義室

口腔保健学演習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科) ※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

3年次までに学んだ口腔保健の知識を総合的にまとめ、その理解を深める。

学生の到達目標

- ・ 歯科衛生士として必要な知識を総合的に理解し、説明できる。
- ・ 解剖学の基礎知識を説明できる。
- ・ 生理学の基礎知識を説明できる。
- ・ 病理学・薬理学の基礎知識を説明できる。
- ・ 微生物学の基礎知識を説明できる。
- ・ 口腔衛生学の基礎知識を説明できる。
- ・ 社会福祉概論の基礎知識を説明できる。
- ・ 衛生学・公衆衛生学の基礎知識を説明できる。
- ・ 栄養指導の基礎知識を説明できる。
- ・ 歯科予防処置の基礎知識を説明できる。
- ・ 歯科保健指導の基礎知識を説明できる。
- ・ 高齢者歯科の基礎知識を説明できる。
- ・ 障害者歯科の基礎知識を説明できる。
- ・ 摂食嚥下の基礎知識を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集〈2025年版（第29回～第33回）〉（2024年6月発売予定）	歯科衛生士国試問題研究会	医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】口腔保健学科長にメールで問合せ、その指示に従うこと。

口腔保健学演習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	解剖学 1～2年次に学んだ「基礎生命科学Ⅰ・Ⅲ、基礎摂食嚥下学Ⅰ・Ⅱ、基礎生命科学実習Ⅰ、基礎摂食嚥下学実習」における解剖学および組織学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。	演習	片岡 真司	【事前・事後学修課題】解剖学, 組織学	6 1 1 講義室
2	生理学 1～2年次に学んだ「基礎生命科学Ⅱ、基礎摂食嚥下学Ⅲ」における生理学および口腔生理学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。	演習	川上	【事前・事後学修課題】生理学、口腔生理学	6 1 1 講義室
3	薬理学 2年次に学んだ「薬理学・口腔薬理学」における病理学と薬理学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。	演習	東 泉	【事前・事後学修課題】病理学、薬理学	6 1 1 講義室
4	微生物学・感染症学 2年次に学んだ「感染と免疫Ⅰ」における微生物学・免疫学について、国家試験問題も参考に理解を深める。	演習	有吉 渉	【事前・事後学修課題】微生物学・免疫学	6 1 1 講義室
5	口腔衛生学・社会福祉概論 口腔健康増進学Ⅰ、Ⅱ、実習および社会福祉概論で学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。	演習	邵 仁浩	【事前・事後学修課題】口腔衛生学、社会福祉概論	6 1 1 講義室
6	衛生学・公衆衛生学 社会環境医学、医療健康政策学で学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。	演習	邵 仁浩	【事前・事後学修課題】社会環境医学、医療健康政策	6 1 1 講義室
7	栄養指導 食べ物と健康Ⅰ、Ⅱ、栄養学、栄養と食生活演習、ライフステージ歯科栄養学Ⅰ、Ⅱで学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。	演習	辻澤 利行	【事前・事後学修課題】栄養指導	6 1 1 講義室

口腔保健学演習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科) ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	高齢者歯科 高齢者歯科診療における全身及び歯科的基礎知識について国家試験問題を通じて確認する。あわせて摂食嚥下に関する知識も確認する。	演習	泉 繭依	【事前・事後学修課題】 高齢者歯科	6 1 1 講義室
9	障害者歯科 障害者歯科における基礎知識について国家試験問題を通じて確認する。あわせて摂食嚥下に関する知識も確認する。	演習	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 障害者歯科	6 1 1 講義室
10	歯科診療補助 その1 歯科診療補助の基礎と応用に関し、統合的な理解を深める。	演習	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 歯科診療補助	6 1 1 講義室
11	歯科診療補助 その2 その1に引き続き、歯科診療補助の基礎と応用に関し、統合的な理解を深める。	演習	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 歯科診療補助	6 1 1 講義室
12	歯科保健指導 その1 歯科保健指導に必要な基礎知識を確認し個別指導として統合する。	演習	船原 まどか	【事前・事後学修課題】 歯科保健指導	6 1 1 講義室
13	歯科保健指導 その2 多様なライフステージや生活・療養環境にある対象に応じた歯科保健指導について実践的理解を深める。	演習	船原 まどか	【事前・事後学修課題】 歯科保健指導	6 1 1 講義室
14	歯科予防処置 (う蝕) 歯科予防処置のうちう蝕予防の基礎と臨床について国家試験問題を通して理解を深める。	演習	山口 紫乃	【事前・事後学修課題】 歯科予防処置、う蝕	6 1 1 講義室
15	歯科予防処置 (歯周疾患) 歯周病予防の基礎知識、歯周診査、スケーリング・ルートプレーニング、歯面研磨、メンテナンスに至る予防処置の知識を確認する。	演習	本田 尚郁	【事前・事後学修課題】 歯科予防処置、歯周疾患	6 1 1 講義室

臨床歯科医学系総合演習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科) ※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

4年次前期までに学んだ臨床歯科医学の知識を総合的にまとめ、その理解を深めさせる。

学生の到達目標

歯科衛生士として必要な知識を総合的に理解し、説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集〈2022年版(2017~2021)〉(2021年6月発売予定)		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー(学習相談)】各担当教員にメールで問合せ、その指示に従うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	解剖学 これまで学習してきた解剖学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	片岡 真司	【事前・事後学修課題】解剖学	611講義室 Moodle
2	組織学 これまで学習してきた組織学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	片岡 真司	【事前・事後学修課題】組織学	611講義室 Moodle
3	生理学 人体(および口腔顔面領域)の機能に関する基本的知識を確認する。	演習	川上	【事前・事後学修課題】人体(および口腔顔面領域)の機能	611講義室 Moodle
4	薬理学 これまで学習してきた薬理学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	口腔保健学科長	【事前・事後学修課題】薬理学	611講義室 Moodle

臨床歯科医学系総合演習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科) ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	微生物学・感染症学 これまで学習してきた微生物学および免疫学に関する知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	有吉 渉 吉岡 香絵	【事前・事後学修課題】微生物学・免疫学	6 1 1 講義室 Moodle
6	栄養学 これまで学習してきた栄養学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	辻澤 利行	【事前・事後学修課題】栄養学	6 1 1 講義室 Moodle
7	生化学 これまで学習してきた生化学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	古株 彰一郎	【事前・事後学修課題】生化学	6 1 1 講義室 Moodle
8	病理学、口腔病理学 歯科臨床へとつながる疾患・病態について、国家試験問題を用いて、知識の整理を行う。	演習	矢田 直美	【事前・事後学修課題】病理学、口腔病理学	6 1 1 講義室 Moodle
9	臨床歯科医学（保存治療学）その1 歯・歯髄疾患の治療における保存修復治療、歯内治療に対する知識を確認する。	演習	邵 仁浩	【事前・事後学修課題】保存修復治療、歯内治療	6 1 1 講義室 Moodle
10	臨床歯科医学（保存治療学）その2 歯周疾患の治療に対する流れに応じた基礎から各論までの知識を確認する。	演習	邵 仁浩	【事前・事後学修課題】歯周疾患の治療	6 1 1 講義室 Moodle
11	臨床歯科医学（歯科補綴学）これまで学習してきた歯科補綴学について、国家試験問題を用い、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。	演習	有田 正博	【事前・事後学修課題】歯科補綴学	6 1 1 講義室 Moodle
12	臨床歯科医学（歯科臨床の基礎・口腔外科学）これまで学習してきた歯科臨床の基礎・口腔外科学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】口腔外科学	6 1 1 講義室 Moodle

臨床歯科医学系総合演習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科) ※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	臨床歯科医学(矯正歯科学) これまで学習してきた矯正歯科学について、国家試験問題をを用い、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。	演習	黒石 加代子 郡司掛 香織	【事前・事後学修課題】矯正歯科学	611講義室 Moodle
14	臨床歯科医学(小児歯科学) これまで学習してきた小児歯科学について、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。	演習	西田 郁子	【事前・事後学修課題】小児歯科学	611講義室 Moodle
15	まとめ これまでの学習してきた知識について自己分析を行い、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。	演習	口腔保健学科長	【事前・事後学修課題】学習成績自己評価	611講義室 Moodle

プロフェッショナリズムI

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 磯部 彩香						

授業の概要

新入生相互および教職員との親睦を深めるとともに、各セッションを通じて将来の歯科医療人としての意識を育む。研修を通じて時刻厳守や挨拶の重要性を学び、グループワークのなかで活発な意見交換を交わし、コミュニケーション能力を養う。

学生の到達目標

- ① 同学年の中で円滑な人間関係を構築できる。
- ② 卒業までの行動計画をイメージできる。
- ③ 歯科医療人としての社会貢献を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-2-1	歯科医師のプロフェッショナリズムを理解している。
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。
C-2-4	課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
LL	生涯にわたって共に学ぶ姿勢(Lifelong Learning)/より安全で質の高い歯科医療を実践するために、絶えず省察し、生涯にわたって自律的に学びながら他の歯科医師、医療者と研鑽し続けるとともに、積極的に医療者教育に関わっていく。
LL-01	生涯学修に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
LL-04	生涯を通じて新しい知識や技術を学び続けることができる。
LL-05	同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して助言、指導ができる。
PR	プロフェッショナリズム(Professionalism)/人々の命と健康を守るために、人間の多様性に配慮し、人間性を尊重しつつ、歯科医師の職責を十分に自覚し、利他的な態度で医療に関わりながら、歯科医師としての道を究めていく。
PR-01	歯科医師としての職責を理解し、倫理観、責任感、品格、思いやりを持って行動できる
PR-02	患者、生活者の心理的、社会的要因や社会背景に配慮し、尊厳を尊重し、利他的、誠実、正直、公平公正に行動できる。
PR-03	社会規範はもとより、歯科医師法及び関連法規、歯科医師に求められる規範・倫理を遵守できる。

プロフェッショナリズムI

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 磯部 彩香						

コアカリキュラム	内容
PR-04	自己の知識、技術、態度を恒常的に評価し、自己主導型学習を行い、自己評価能力を高めながら、常に自己の向上を図ることができる。
PR-05	医療従事者としてセルフマネジメント能力(レジリエンス、ストレスマネジメント)を養うことができる。
PR-06	同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して協調的にふるまうことができる。
PS	専門知識に基づいた問題解決能力(Problem Solving)/患者・家族の抱える問題に対応しつつ、医学・医療の発展に資するために、医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら問題解決に努めていく。

テキスト

タイトル	著者	出版社
WADSキャンプ実施要領		

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
⑤ 各セッションでの質疑応答	20%
① プレ・ポストアンケートの入力	20%
② 「どうしてこのメンバーなのか」プロダクト作成および発表	20%
③ 誓いの言葉の作成、発表および提出	20%
④ 行動計画表の提出	20%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】池田：月-金曜日の12:00-13:00。生体材料学オフィスまたはメールで連絡する。

【オフィスアワー（学習相談）】磯部：月-金曜日の8:00-16:45。61オフィスまたはメールで連絡する。

プロフェッショナリズムI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 磯部 彩香						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	事前説明会（実施要領の配布・概要説明）	講義	池田 弘 磯部 彩香	【事後学修】実施要領の精読	その他
2	プレ・アンケート入力	自記式調査	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】Moodleでのアンケート入力	その他
3	セッション1「開講式」	講義	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他
4	セッション2「自己紹介」	グループ実習	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】ネームカードの作成	その他
5	セッション3「どうしてこのメンバーなのか」	グループ実習	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他
6	セッション4「大学からのメッセージ」	講義	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他
7	セッション5「レクリエーション1」	実習	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他
8	セッション6「先輩たちからのメッセージ」	講義	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他
9	セッション7「学生の質問」	講義	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他
10	セッション8「歯科医療人になるための行動計画」	講義	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他
11	セッション9「誓いの言葉」作成	グループ実習	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】「誓いの言葉」の発表準備	その他
12	セッション10「レクリエーション2」	実習	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項	その他

プロフェッショナリズムI

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	セッション11「誓いの言葉」発表	グループ実習	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】報告書掲載用の「誓いの言葉」の作成・提出	その他
14	セッション12「閉校式」	講義	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】ネームカードの提出	その他
15	ポスト・アンケート入力	自記式調査	池田 弘 磯部 彩香	【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】Moodleでのアンケート入力	その他

プロフェッショナルリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

授業の概要

本科目では、一連の講義・演習を通して、学生が将来の歯科医療人像を明確にすることで、今後の情意教育、基礎医学教育、臨床基礎教育、および臨床実習で修得すべき知識・技能の重要性を理解する。あわせて歯科医療人像を具現化するための学習行動計画表を作成・ブラッシュアップし、歯科医療人になる歯学部学生として、さらには社会的責任を課せられた医療人として自覚することを目的としている。

学生の到達目標

- ①九州歯科大学憲章・基本理念を理解し、卒業時に求められるコンピテンシーを説明できる。
- ②卒業までに受講するカリキュラムを理解し、受講する講義・実習内容の重要性を自覚できる。
- ③歯科医療人として修得すべき情意・技能に関するスキルを説明できる。
- ④アンプロフェッショナルな事例の検討を通して、他者の多様な価値感を認めた上で、歯科医療人として自ら判断する力を醸成できる。
- ⑤歯科医療人としての将来像を明確にするために様々な歯科医学・医療領域について理解を深め、卒業までの行動計画表を作成・ブラッシュアップできる。
- ⑥上記の作業を通じて社会に役立つ社会人・歯科医療人としての自覚を涵養できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナルリズム教育 プロフェッショナルワークブック	日本歯科医学教育学会編	医歯薬出版株式会社
必要に応じ資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	40%
事例検討レポート（事前・事後）	20%
事前学習課題レポート	15%
事後テスト・振り返りレポート	15%
行動計画表ブラッシュアップ・提出	10%

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

その他

1. 出席認定要件：

(1) オンデマンド型遠隔講義では、期限までに、指示されたレポート等を提出すること（授業回により提出物、提出方法等が異なることがあるので、都度指示に従うこと）による。

(2) リアルタイム型遠隔講義では、対面型授業と同様に、記録された入退室時刻による。但し、講義時間中の呼びかけに応えない場合や、講義終了後に不自然に退室しない等の場合、出席を認めないことがある。

※通信環境、器材、システムの不具合等がある場合電話またはメール等で速やかに担当者に連絡すること。対応法を指示する。(担当：永松 浩)。

2. レポートの提出：

レポートは指定された用紙にボールペンまたは万年筆で手書きし、指示された方法で期限までに提出すること。オンラインでの提出時は別途指示する。

生成系AIは節度を持って利用し、内容と出典を必ず確認すること。

3. 【オフィスアワー（学習相談）】：

相談は授業時間外でも随時受け付け可能であるが、事前に、時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

科目責任者：歯学部長 竹内 弘、口腔保健学科長 邵 仁浩

科目担当者：総合診療学分野・永松 浩

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	<p>【概論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアと多職種連携をふまえた口腔保健学科・歯学科合同授業を行う本講義の位置づけについて理解する。 ・歯科医学教育の変化と本学の基本理念・カリキュラムを理解する。 ・歯学部学生としての責任ある行動について学修する。 <p>【 歯科医療人プロフェッショナリズム (1) 】</p> <p>動画事例検討1) : 学修ビデオ教材「落とし物は ヒトの歯」を視聴し、ワークブックの指定された関連事例とともに構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。</p>	講義 スライド 資料配布 演習 (動画視聴・事例検討)	歯学部長 口腔保健学科長 永松 浩	<p>【事前学修課題】 動画視聴「歯科医療人に求められる倫理・プロフェッショナリズム」(約21分)</p> <p>【事後学修課題】 ・本日の振り返り</p>	講義ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	<p>【プロフェッショナリズムってなあに】 プロフェッショナリズムの定義と変遷および歯科医学教育の変化と本学カリキュラムについて理解する。</p> <p>【歯科医療人プロフェッショナリズム (2)】 動画事例検討2) : 学修ビデオ教材「落とし物は ヒトの歯」についてグループ単位で意見交換を行い、全体尾発表での質疑応答を通して理解を深める。</p>	講義 スライド 資料配布 演習 (動画視聴・事例検討)	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナリズムの定義 <ul style="list-style-type: none"> ①Sternらの神殿モデル ②Hardenの Three Circle Model ③新ミレニアムにおける医療プロフェッショナリズム：医師憲章 ④歯学教育モデルコアカリキュラムとプロフェッショナリズム ・学修ビデオ教材「落とし物は ヒトの歯」(約10分)を視聴し構造的振り返りを行う。 <p>【事後学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の振り返り 	講堂ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	【歯科医療人プロフェッショナリズム (3)】 事例検討1)：よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナル教育 プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会 編」(医歯薬出版)に掲載されているアンプロフェッショナルな事例(倫理的検討事例)を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。他の人の意見を聞き質疑応答を通して理解を深める。	講義 スライド 資料配布 演習(事例検討)	永松 浩 (非)木尾 哲朗	【事前学修課題】 ワークブックの指定された事例について構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。 【事後学修課題】 他の人の意見を聞き、自分の意見との相違点と類似点を挙げ、自分の考えの変化をまとめる。	講堂ホール Moodle
4	【歯科医療人プロフェッショナリズム (4)】 事例検討2)：よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナル教育 プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会 編」(医歯薬出版)に掲載されているアンプロフェッショナルな事例(倫理的検討事例)を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。他の人の意見を聞き質疑応答を通して理解を深める。	講義 スライド 資料配布 演習(事例検討)	永松 浩 (非)木尾 哲朗	【事前学修課題】 ワークブックの指定された事例について構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。 【事後学修課題】 他の人の意見を聞き、自分の意見との相違点と類似点を挙げ、自分の考えの変化をまとめる。	講堂ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	【資格試験と学修方略】 国家試験、OSCEの位置づけを理解する。実施の日程とそれに向けてのスケジュール・準備方法を学修する。(※2学科は個別の講義とする)	講義 スライド 資料配付	口腔保健学科長	【事後学修課題】 (口腔保健学科) 国家試験までのタイムスケジュール作成 (歯学科) 本日の振り返り	614 講義室 Moodle
6	【歯科医療人の活躍(1)】 ：慢性期・回復期・生活期の患者対応を行う病院での歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。	講義 スライド 資料配付	(非)岩佐 康行 永松 浩	【事前学修課題】 ① 地域包括ケアシステムについて調べる ② 医科歯科連携や多職種連携における歯科の役割について考察する。 【事後振り返りレポートテーマ】 ・講義の学習後に事前に考察した②の他に、講義で考えたことを記述する。	601 講義室 Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	【歯科医療人の活躍 (2)】 ： 病棟でのNSTや口腔ケアの話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。	講義 スライド 資料配付	(非)岡留 朝子 口腔保健学科長 永松 浩	【事前学修課題】 ①歯科衛生士業務 ②周術期口腔機能管理 ③標準予防策と感染経路 【事後振り返りレポートテーマ】 ①歯科衛生士の3大業務を挙げなさい。 ②医科歯科連携と周術期口腔ケアの重要性を説明しなさい。 ③3つの感染経路を挙げなさい。 ④本日の講義で疑問に思った事・感想を2つ以上挙げなさい。	402 講義室 Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	<p>【歯科医療人の活躍（3）】： 急性期の患者対応を行う病院での歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。</p>	講義 スライド	(非)村木 祐孝 永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①病院歯科・口腔外科 ②有病者歯科医療 ③口腔癌 <p>【事後課題レポートテーマ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①本日の講義で印象に残った点に関して自由に記載して下さい。 ②歯科医療に従事する者にとって大切なものとは？あなたの考えを述べて下さい。 	402 講義室 Moodle
9	<p>【歯科医療人の活躍（4）】： 地域医療を実践する歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。</p>	講義 スライド	(非)甲斐 康晴 永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生涯研修 ②歯科診療所におけるチーム医療 <p>【事後課題レポートテーマ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①開業医として、かい歯科医院はどのように取り組んできましたか？ ②歯科医療人として、今国民からどのようなことを期待されていますか？私達に何ができるのでしようか？授業を受けて考えたことを書いてください。 	402 講義室 Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	<p>【歯科医療人の活躍（5）】： 公衆衛生・口腔衛生学を専攻する大学研究者の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。</p>	講義 スライド 資料配布	(非)濱寄 朋子 永松 浩	<p>【事前学修課題】 ①高齢者の低栄養</p> <p>【事後課題レポートテーマ】 ①「歯科医師—歯科衛生コミュニケーションは患者アウトカムに影響を与える」について、あなたの考えを述べよ。</p>	402 講義室 Moodle
11	<p>【歯科科医療人プロフェッショナリズム(5)】 動画事例検討3)： 臨床での倫理的問題を整理して解決する方法についてJonsenの臨床倫理4分割表を用いて学修し、動画教材の理解を深める。ビデオ教材「入れ歯はひとつ」を視聴し、構造的振り返りを行い自分の考えをまとめる。</p>	講義 スライド 資料配布 演習（動画視聴・事例検討）	永松 浩 (非)木尾 哲朗	<p>【事前学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Jonsenの臨床倫理4分割表 ・ 動画視聴 学修ビデオ教材「入れ歯はひとつ」（約18分） <p>【事後学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の振り返り ・ Jonsenの臨床倫理4分割表作成 	講堂ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	【歯科医療人プロフェッショナリズム (7) 事例検討3)、動画事例検討4)】 よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育 プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会 編」(医歯薬出版)に掲載されているアンプロフェッショナルな事例(倫理的検討事例)と学修動画事例を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。 他人の意見を聞き質疑応答を通して理解を深める。	講義 スライド 資料配布 演習 (事例検討)	永松 浩 (非)木尾 哲朗	【事前学修課題】 歯科医療倫理学修教材3 「そこで話していることは、なに？」とワークブックの指定された事例について構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。 【事後学修課題】 他人の意見を聞き、自分の意見との相違点と類似点を挙げ、自分の考えの変化をまとめる。	講堂ホール Moodle
13	【安心・安全・信頼のコミュニケーション】 患者の信頼を得るために必要なプロフェッショナリズムと医療コミュニケーションについて行動科学を通じた視点で学修する。	講義 スライド 資料配布 演習(動画視聴・事例検討)	永松 浩 (非)木尾 哲朗	【事前学修課題】 ・信頼に影響を与える因子(Thom) ・経験学習サイクル(Ko1b) 【事後学修課題】 本日の振り返り	講堂ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長 竹内 弘						
担当教員	歯学部長, 歯学部長竹内 弘, 口腔保健学科長, 口腔保健学科長 邵 仁浩, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 船原まどか, 本田 尚郁, (非)木尾 哲朗, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第二総合診療科) 永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	<p>【総括】 歯科医療人になる者としてすべきこと、歯科医療人になる者のあるべき姿について、総括する。</p> <p>【今後の学習課題と行動計画表修正】： 卒業時に求められるコンピテンシーを踏まえた上で、卒業までの学習課題を抽出する。本科目を中心に入学後に学修・経験した内容、及び自己学習の過程で収集した資料等を元に、歯科医療人としての将来像を明確にするための行動計画表を見直し、ブラッシュアップを行う。</p>	講義 演習（学習課題の抽出・行動計画表のブラッシュアップ）	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州歯科大学憲章 3つのポリシー 卒業コンピテンシー <p>1年のWADSキャンプ（プロフェッショナリズムI）で作成した行動計画表の準備と見直し</p> <p>【事後学修課題】 学修課題の抽出と行動計画表のブラッシュアップ仕上げ</p>	402 講義室 Moodle
15	学修内容の振り返り	確認テスト	永松 浩 鬼塚 千絵 船原 まどか 本田 尚郁		401 講義室 402 講義室 Moodle

キャリア・デザイン

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	18	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか(口腔保健科), (口腔保健学科長) 邵 仁浩(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

本講義は、キャリア教育である。学生自らが自分の人生を設計し、大学生活で取り組むべき課題を見つけ、解決していくことにより、大学生活およびその後の長い人生を有意義に送れる知識と能力を獲得することを目的とする。講義ではまず、医療系大学生としての心構えについて学ぶ。その後、大学における学習や就職活動に必要な能力であるクリティカル・シンキングとロジカル・ライティングを身に着ける。最後にキャリアデザインとして、社会で活躍する歯科衛生士の体験談も参考に、自分の進路についてレポートにまとめる。

学生の到達目標

- ①自分の人生について考え、人生（職業）を計画し、文章として分りやすく書くことができる。
- ②歯科衛生士の業務としてのチーム医療（プロフェッショナリズム、多職種連携）を説明できる。
- ③「大学での学びとは何か」を理解できる。
- ④クリティカルシンキングを実践できる。
- ⑤ロジカルライティングが実践できる。
- ⑥就職活動として、いつ、何をしたらよいのか説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
クリティカルシンキング・ロジカルライティング		ベネッセ
必要に応じて資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】（平日：9時～17時）内にメールまたは講義担当者の居室訪問で受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療系大学生としての心構えについて理解する。自己紹介を行う。	講義	口腔保健学科長 船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修】キャリア、キャリアガイド ンス【事後学修】課題レポート	613講義室 Moodle

キャリア・デザイン

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	18	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか(口腔保健科), (口腔保健学科長) 邵 仁浩(口腔保健科) ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	歯科医療人としての心構えについて理解する。 大学施設見学を行う。	講義、討論	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修】 本科目のシラバスを参照	6 1 3 講義室 Moodle
3	「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」とは何か、を学ぶ。 ロジカルライティングの技法を用い、自身の振り返りを筆記する。	講義、演習	船原 まどか	【事前学修】 ロジカルライティング【事後学修】 課題レポート	6 1 3 講義室 Moodle
4	相手の発言(文章)を正確に理解する「議論の明確化」について学修する。「議論の明確化」のやり方を、問題を通じて学ぶ。クリシンの要素の1つである「隠れた前提」について、概要を学修する。「隠れた前提」の見抜き方を、問題を通じて学ぶ。	講義、演習	船原 まどか	【事前学修】 議論の明確化、隠れた前提クリティカルシンキング・ロジカルライティング p14-29	6 1 3 講義室 Moodle
5	職能団体における歯科衛生士の役割について学ぶ。	講義	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修】 歯科衛生士会ホームページ参照【事後学修】 事後レポート	6 1 3 講義室 Moodle
6	歯科衛生士の大学院生のキャリアについて学ぶ。卒業生の卒業研究の紹介。	講義	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修】 大学院とは、修士課程、博士課程【事後学修】 事後レポート	6 1 3 講義室 Moodle
7	企業で活躍する歯科衛生士のキャリアについて学ぶ。	講義	船原 まどか	【事後学修】 事後レポート	6 1 3 講義室 Moodle
8	行政機関で働く歯科衛生士のキャリアについて学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前学修】 保健所、保健センター【事後学修】 事後レポート	6 1 3 講義室 Moodle
9	総合病院で働く歯科衛生士のキャリアについて学ぶ。	講義、演習	船原 まどか	【事前学修】 大学病院、基幹病院、中核病院【事後学修】 事後レポート	6 1 3 講義室 Moodle

歯科臨床概論

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	24	単位数	1.5
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 九州歯科大学長栗野 秀慈, 歯学部長竹内 弘, (非)引地 尚子						

授業の概要

歯科医療の特殊性・特徴、患者への対応、医療事故の防止について教授する。また、歯科疾患および診療の概要について教授し、その重要性を理解させる。併せて、薬事行政及び薬害について理解させる。

学生の到達目標

- ①口腔保健学科学士取得に向け、歯科衛生士の重要性を説明できる。
- ②歯科医療の概要を説明できる。
- ③歯科臨床の基礎知識を説明できる。
- ④画像検査の概要について説明できる。
- ⑤臨床検査法の概要を説明できる。
- ⑥薬事行政及び薬害の概要について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士のための歯科臨床概論 第2版	松井恭平・森崎市治郎・白鳥たかみ・船奥律子 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義内容以外の質問は科目担当責任者がメールで受け付ける。講義内容の質問は担当教員がメールで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

歯科臨床概論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	24	単位数	1.5
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 九州歯科大学長栗野 秀慈, 歯学部長竹内 弘, (非)引地 尚子						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科臨床とは歯科医療の特殊性および特徴 歯科医学の概念および実際の歯科臨床の概要について学ぶ。特に歯科医療の特殊性および特徴についてよく理解する。	講義	九州歯科大学長 栗野 秀慈	【事前・事後学修課題】口腔保健学士教育、歯科医療人、歯科衛生士業務、医科歯科連携教育、他職種連携	6 1 3 講義室 Moodle
2	歯科医療者が信頼されるために求められること 行動科学の第一歩として、コンテンツとコンテキストを学ぶことで、他者理解を深め、チーム医療を理解する。	講義	歯学部長 竹内 弘	【事前・事後学修課題】オートノミー、プロフェッショナルイズム、九州歯科大学附属病院の構成	6 1 3 講義室 Moodle
3	学士（口腔保健学）としての役割とその将来 歯科衛生士の社会的位置づけについて歴史的経緯及び現況を学習するとともに、学士としての歯科衛生士の役割、職業選択や大学院進学など進路選択の考え方を学ぶ。	講義	口腔保健学科長 邵 仁浩	【事前・事後学修課題】歯科衛生士、学士	6 1 3 講義室 Moodle
4	歯科患者 医療安全の概説と医療事故の防止の方策について説明するとともに本学の附属病院での医療安全への取り組みについて学ぶ。	講義	(非)引地 尚子	【事前・事後学修課題】医療安全管理、医療事故防止	6 1 3 講義室 Moodle
5	歯科臨床とエックス線 歯科診療における放射線およびそれを用いた検査の重要性を学ぶ。	講義	(非)引地 尚子	【事前・事後学修課題】エックス線	6 1 3 講義室 Moodle
6	臨床検査法の概要 歯科診療における検査の意義とその内容を学ぶ。	講義	(非)引地 尚子	【事前・事後学修課題】臨床検査法	6 1 3 講義室 Moodle
7	歯科臨床の概要（その1） 歯科臨床での実際の治療について、特に歯科保存・補綴の診療について学ぶ。また小児歯科学、矯正歯科学で扱う疾患及びその治療法を学ぶ。	講義	(非)引地 尚子	【事前・事後学修課題】歯科保存学、歯科補綴学、小児歯科学、矯正歯科学	6 1 3 講義室 Moodle

歯科臨床概論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	24	単位数	1.5
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 九州歯科大学長栗野 秀慈, 歯学部長竹内 弘, (非)引地 尚子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	歯科臨床の概要（その2） 歯科臨床での実際の治療について、特に口腔外科学・歯科麻酔学、高齢者歯科学、障害者歯科学で扱う疾患及びその治療法を学ぶ。	講義	(非)引地 尚子	【事前・事後学修課題】口腔外科学・歯科麻酔学、高齢者歯科学、障害者歯科学	613 講義室 Moodle
9	タバコと口腔疾患 一禁煙を目指して- タバコによる口腔疾患を通して健康被害を理解する。喫煙により周囲の者に害が及ぶ受動喫煙についても学ぶ。禁煙成功の秘訣を学習する。	講義 (歯学科1年合同)	(非)福田 仁一	【事前学習課題】タバコの害、受動喫煙 【事後学習課題】授業内容に関するレポート	301 講義室
10	薬害被害の現状と課題について 薬害被害に遭われた方の意見・体験を直接聞き、薬害の現状と医療倫理や人権における課題とあり方について学ぶ。被害	講義 (歯学科1年合同)	(非)間宮 清	【事前・事後学修課題】薬害	301 講義室
11	人権・ハラスメント・デートDV セクハラ・パワハラ・アカハラなどをキーワードに、人権・ハラスメントについて考える。また、現在、若い世代に起こっている「デートDV」とその防止について学ぶ。	講義 (歯学科1年合同)	(非)田中 裕望	【事前学習課題】セクハラ、パワハラ、デートDV	301 講義室
12	人権・同和問題について考える 社会構造の中に存在する差別を通じて、人権について考える。	講義 (歯学科1年合同)	学外講師	【事前学習課題】人権・同和問題 【事後学習課題】授業の感想文提出	301 講義室

口腔保健学概論

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか						

授業の概要

本科目は、卒業コンピテンシーの「プロフェッショナリズム」に該当する。歯科衛生とは何かを理解し、これから学ぶことが何のために必要なのかという各自の動機を明確にするものである。歯科衛生士が専門職として、保健・医療・介護・福祉に幅広く関わるために必要な素養や能力と4年間で何を学ぶのかという各自の道標を創ることを目標としている。

学生の到達目標

- ① 歯科衛生・歯科衛生学の概要を説明できる。
- ② 歯科衛生士の歴史を説明できる。
- ③ 歯科衛生活動のための理論を説明できる。
- ④ 歯科衛生過程の概要を説明できる。
- ⑤ 歯科衛生士法と歯科衛生士の義務について説明できる。
- ⑥ 歯科衛生士の役割と安全管理および感染予防対策の実際について説明できる。
- ⑦ 歯科衛生士に必要な医療倫理を説明できる。
- ⑧ 歯科衛生活動の実際について説明できる。
- ⑨ 歯科衛生士の組織を理解し自身の生涯学習について考えることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理	全国歯科衛生士教育協議会 監	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
確認テスト・レポート	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】（平日：9時～17時）内にメールまたは講義担当者の居室訪問で受け付ける。

口腔保健学概論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	【歯科衛生学とは】 歯科衛生士の業務遂行上の理論的・実践的根拠となる学問体系である歯科衛生学とは何かを学ぶ。歯科衛生活動の対象と領域を学び、将来業務として実践するために必要な能力について理解する。	講義	船原 まどか	【事前学習課題】 歯科衛生学、歯科衛生活動：教科書 p 1-7 【事後学習課題】 歯科衛生学、疾患の予防レベルと歯科衛生業務	6 1 3 講義室 Moodle
2	【歯科衛生の歴史】 歯科衛生士の誕生と業務の発展に関する歴史を学び、日本の歯科衛生士の特徴と社会的期待について理解する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学習課題】 歯科予防処置、歯科衛生業務の現状：教科書 p 8-19	6 1 3 講義室 Moodle
3	【歯科衛生活動のための理論】 歯科衛生士は口腔保健の専門職として予防のあらゆる局面に関わり、対象者の健康行動の変容を促進する。この歯科衛生活動を行うために必要な健康に関する各種理論の概要を学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学習課題】 予防の概念、保健行動、ヒューマンニーズ理論：教科書 p 20-31	6 1 3 講義室 Moodle
4	【歯科衛生過程】 歯科衛生活動を決定する科学的思考法である歯科衛生過程の概要を理解する。歯科衛生過程の各プロセス(歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価)の内容を学ぶ。歯科衛生過程の実践に必要な患者中心の医療における業務記録法：SOAPを学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前学習課題】 歯科衛生過程、患者中心、POS、SOAP：教科書 p 32-41 【事後学習課題】 歯科衛生アセスメント、主観的情報・客観的情報	6 1 3 講義室 Moodle
5	【歯科衛生士法と歯科衛生業務】 歯科衛生士の業務独占、名称独占および法的義務を学ぶ。さらに、歯科衛生士として求められる技能と職業役割としての安全管理を学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学習課題】 歯科衛生士法、歯科衛生士の三大業務、医療事故、リスクマネジメント、感染予防対策：教科書 p 42-59	6 1 3 講義室 Moodle

口腔保健学概論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	【歯科衛生士と医療倫理、コミュニケーション】歯科医療における倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、歯科衛生と職業倫理について学ぶ。また患者の権利、インフォームド・コンセント、インフォームド・アセントを学び、これらを実践するためのコミュニケーション技法を学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学習課題】医の倫理、患者の権利、職業倫理、インフォームド・コンセント：教科書 p 66-76	6 1 3 講義室 Moodle
7	【大学附属病院での歯科衛生士業務】九州歯科大学附属病院の各診療科の特徴と歯科衛生業務について紹介する。歯科衛生士活動の場面あるいは臨床実習の事前情報を理解する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学習課題】九州歯科大学附属病院診療科案内	6 1 3 講義室 Moodle
8	【歯科衛生士の活動と組織①】歯科衛生活動の場を通して我が国の歯科衛生士の現状について学ぶ。日本歯科衛生士会の学際的な活動や生涯研修制度により職能団体の意義を理解する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学習課題】日本歯科衛生士会、生涯学習、歯科衛生士としてのキャリア：教科書 p 77-97 【事後学習課題】職能団体、日本歯科衛生士会の活動	6 1 3 講義室 Moodle
9	【歯科衛生士の活動と組織②】歯科衛生活動の場を通して我が国の歯科衛生士の現状について学ぶ。日本歯科衛生士会の学際的な活動や生涯研修制度により職能団体の意義を理解する。	講義、演習	船原 まどか	【事前・事後学習課題】日本歯科衛生士会、生涯学習、歯科衛生士としてのキャリア：教科書 p 77-97 【事後学習課題】職能団体、日本歯科衛生士会の活動	6 1 3 講義室 Moodle
10	【歯科衛生士の業務①】歯科衛生士が行う業務のうち、歯科予防処置、歯科保健指導について、患者の立場から考える。	講義、演習	船原 まどか	【事前・事後学習課題】歯科予防処置の概要、歯科保健指導の概要	
11	【歯科衛生士の業務②】歯科衛生士が行う業務のうち、歯科予防処置、歯科保健指導について、患者の立場から考える。	講義、演習	船原 まどか	【事前・事後学習課題】歯科予防処置の概要、歯科保健指導の概要	

口腔保健学概論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	【歯科衛生士の業務③】 歯科衛生士が行う業務のうち、歯科予防処置、歯科保健指導について、患者の立場から考える。	講義、演習	船原 まどか	【事前・事後学習課題】 歯科予防処置の概要、歯科保健指導の概要	
13	【海外における歯科衛生士】 海外の歯科衛生士のあゆみや歯科衛生士の現状、社会におけるニーズと今後について学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学習課題】 海外の歯科衛生士の現状と自身の生涯学習およびキャリア形成	
14	【歯科衛生活動における感染予防対策】 歯科診療所における感染予防対策について、その医療的意義と実際を学修する。	講義	船原 まどか 本田 尚郁 (非)溝部 潤子	【事前・事後学修課題】 歯科衛生業務、スタンダードプリコーション；教科書 p 60-65	
15	歯科衛生士としてのアイデンティティについて学ぶ	講義	船原 まどか 中道 敦子 本田 尚郁	【事前・事後学修課題】 事前に提示	

臨床体験実習II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 磯部 彩香, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 白木 光, 安細 敏弘						
	第一総合診療科教員						

授業の概要

附属病院での患者体験・病院見学実習ならびにPBL実習を通して、患者の悩みや苦しみを理解し、患者本位の歯科医療を実践できる歯科医療人を育成することをめざす。更に、医療現場における問題点を指摘し、改善策が提案できる能力を引き出せるよう、また歯学科と口腔保健学科の学生との合同実習により歯科医師と歯科衛生士の役割を知り、チーム医療の重要性について理解できるよう、歯科医療人を目指す学生としてのプロフェッショナリズムを涵養する。

学生の到達目標

- ①患者の権利を認識できる。
- ②患者との信頼関係の重要性を認識できる。
- ③インフォームドコンセントの重要性を認識できる。
- ④医療行為においてコミュニケーションの大切さを認識できる。
- ⑤医療行為において優しさ、気遣いの重要性を認識できる。
- ⑥患者の置かれている心理的状況を説明できる。
- ⑦医療現場における問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
- ⑧課題の内容と問題点を抽出して、文章または口頭でわかりやすく表現し、自分の考えを説明できる。
- ⑨歯科医療における他の医療従事者の役割と連携を説明できる。
- ⑩病院システムを把握し、教育機関としての病院の役割と、その問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
- ⑪基本的診療器具を使用できる。
- ⑫口腔衛生指導を体験できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-2)-①	患者の権利を説明できる。
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-1-3)-①	歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。
A-1-3)-②	患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
A-2-2)-③	実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。
A-2-2)-④	先輩等へ適切に指導できる。
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。
A-3-④	患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを得ることができる。
A-4-2)-④	医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。

臨床体験実習II

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 磯部 彩香, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 白木 光, 安細 敏弘 第一総合診療科教員						

コアカリキュラム	内容
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
B-3-2)-③	ブランクコントロールの意義と方法を説明できる。
B-3-2)-⑤	歯科疾患のリスク因子を説明できる。
F-1-2)-①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。
F-3-2)-①	口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。
F-3-2)-③	適切な口腔衛生指導を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
学修資料をMoodleに掲載する		

参考書

タイトル	著者	出版社
賢い患者	山口育子	岩波新書

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】栗野 秀慈、村岡 宏祐（病院棟3階クリニカルクラークシップ開発学分野医局）：月～金 17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-2	総説 本授業に関する説明ならびに本学附属病院のシステムに関して学習する。	実習（説明）	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		401 講義室
3	テュートリアル（PBL）実習：歯科医療について、グループ毎に考察を行い学習する。	PBL実習発表・討論	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者からみた（歯科）医療の問題点	51 実習室

臨床体験実習II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 磯部 彩香, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 白木 光, 安細 敏弘						
	第一総合診療科教員						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	PBL実習（全体討論） 医療：歯科医療に関するテーマを全体討論し学習する。	発表・討論	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		5 1 実習室
5	患者体験・病院見学実習説明：本学附属病院における患者体験実習に関する説明をする。	説明	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】本学附属病院について	4 0 1 講義室 5 1 実習室
6	PBL実習：（患者体験・病院見学実習のための準備） 患者体験実習における課題をグループ毎に抽出する。	PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者から見た病院のチェックポイント	4 0 1 講義室 5 1 実習室
7-8	患者体験実： 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について学習する。	体験実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 大楠 弘通 角田 聡子 白木 光 安細 敏弘		診療室_病院
9-10	患者体験実習： 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習 PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 大楠 弘通 角田 聡子 白木 光 安細 敏弘	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 4 0 1 講義室
11-12	患者体験実習： 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習 PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 大楠 弘通 角田 聡子 白木 光 安細 敏弘	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 4 0 1 講義室

臨床体験実習II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 磯部 彩香, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 白木 光, 安細 敏弘						
	第一総合診療科教員						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13-14	患者体験実習：患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習 PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 大楠 弘通 角田 聡子 白木 光 安細 敏弘	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 401講義室
15-16	患者体験実習：患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習 PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 大楠 弘通 角田 聡子 白木 光 安細 敏弘	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 401講義室
17-18	患者体験実習：患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習 PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 大楠 弘通 角田 聡子 白木 光 安細 敏弘	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 401講義室
19	PBL実習：患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者体験の振り返り	401講義室
20	診療体験実習・口腔衛生指導体験実習説明 診療体験実習ならびに口腔衛生指導体験実習について説明し、事前に必要な知識を学習する。	実習（説明）	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 磯部 彩香		401講義室
21-22	診療体験実習 相互実習を通じて、ユニットの操作法、介助ならびに口腔内診査の方法を学習する。	相互実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 磯部 彩香	【事前学習課題】感染予防対策，ユニット操作法，口腔内診査に必要な解剖学的知識，う蝕の診断基準	相互実習室

臨床体験実習II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 磯部 彩香, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 白木 光, 安細 敏弘						
	第一総合診療科教員						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23-24	口腔衛生指導体験実習 口腔衛生指導体験を通じて、指導時に必要な基本的な知識、態度、技能を学習する。	相互実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 磯部 彩香	【事前学習課題】 歯口清掃法について	相互実習室
25	チュートリアル実習 (課題：歯科衛生士からみた信頼される歯科医師とは、歯科医師からみた信頼される歯科衛生士とは)について考察する。	PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝 磯部 彩香	【事前学習課題】 歯科衛生士の役割、チーム医療、多職種連携	401講義室
26	総括・アンケート・レポート作成授業の総括を行い、自分自身の歯科医療人としてのあり方について考察する。	実習 (総括)	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】 歯科衛生士の役割、チーム医療、多職種連携	401講義室

基礎生命科学I(解剖)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業の概要

本講義は、人体の正常な構造はどうなっているのかを学ぶ「解剖学」である。人体の正常な構造が分からなければ、患者の持つ異常な状態を理解できない。すなわち解剖学は、医学の基盤となる学問であり、これから医療従事者になる者にとって今後学ぶ講義を理解するための大事な基礎知識となる。本授業では、人体の正常な器官や臓器の構造を理解するとともに、人体におけるこれらの構造と、有する機能がどのような関係になっているのかを理解することを一番の目的として行う。

学生の到達目標

- ①細胞、組織の基本的な構造を説明できる。
- ②骨と筋の構造を説明できる。
- ③主な血管を列挙し、循環器系の構造を説明できる。
- ④呼吸器系の構造を説明できる。
- ⑤中枢神経系（脳、脊髄）の構造を説明できる。
- ⑥末梢神経系の構造を説明できる。
- ⑦感覚器系の構造を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
入門人体解剖学 改訂第6版	藤田恒夫	南江堂

参考書

タイトル	著者	出版社
新解剖学	加藤 征	日本医事新報社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】質問およびメールでの質問は、随時受け付ける。

基礎生命科学I(解剖)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	人体の構造・人体の構成 身体 の支持と運動 その1・骨の基本 構造について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第1、2章 (P1~4) 組織、器官系、第4章 (P23~30) 人体の部位、方向と位置、第5章 (P31~41) 緻密質と海綿質、リモデリング、関節	6 1 3 講義室 Moodle
2	身体の支持と運動 その2・骨格筋 の基本構造、体幹の骨と筋につ いて学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第5章 (P53~64) 脊柱、肋骨、第6章 (P83~88、P94~104) 骨格筋	6 1 3 講義室 Moodle
3	身体の支持と運動 その3・上肢 、下肢の骨と筋について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第5章 (P64~81)、第6章 (P104~119) 上肢帯、自由上肢、寛骨、下肢帯、自由下肢	6 1 3 講義室 Moodle
4	身体の支持と運動 その4・頭頸 部の骨について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第5章 (P41~53) 脳頭蓋、顔面頭蓋、内頭蓋底	6 1 3 講義室 Moodle
5	身体の支持と運動 その5・頭頸 部の筋について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第5章 (P88~94) 咀嚼筋、表情筋、頭頸部の筋	6 1 3 講義室 Moodle
6	循環器系の構造 その1・心臓の 構造、血管について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第7章 (P121~136) 循環器系、刺激伝道系、	6 1 3 講義室 Moodle
7	循環器系の構造 その2・動脈系 、静脈系について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第7章 (P136~156) 動脈系、静脈系	6 1 3 講義室 Moodle
8	循環器系の構造 その3・リンパ 管、リンパ性器官について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第7章 (P156~169) リンパ管、リンパ性器官	6 1 3 講義室 Moodle
9	生殖器系の構造・男性生殖器に ついて学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第11章 (P245~252) 精巣、精囊、前立腺、陰茎	6 1 3 講義室 Moodle

基礎生命科学I(解剖)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	生殖器系の構造 ・女性生殖器について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第11章（P252～263）卵巣、卵管、子宮、膣、性周期	6 1 3 講義室 Moodle
11	中枢神経系の構造 その1 ・神経系の基本構造、中枢神経系である脳について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第13章（P279～311）大脳、脳幹、小脳、脳室	6 1 3 講義室 Moodle
12	中枢神経系の構造 その2 ・神経系の基本構造、脊髄の構造、さらにその伝導路について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第13章（P283～287）脊髄、（P340～351）下行伝導路、上行伝導路	6 1 3 講義室 Moodle
13	末梢神経系の構造 ・脳神経について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第13章（P312～325）脳神経	6 1 3 講義室 Moodle
14	末梢神経系の構造 ・脳神経、脊髄神経、自律神経系について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第13章（P312～339）脳神経、脊髄神経、自律神経系	6 1 3 講義室 Moodle
15	感覚器系の構造 ・視覚器について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	テキスト第14章（P353～361）視覚器	6 1 3 講義室 Moodle

基礎生命科学II(生理I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋,						

授業の概要

本講義では、歯科医療人が学ぶべき生理学について講義する。本講義では基礎歯科生理学（第7版）の前半（生理学総論、興奮性組織、体液、体液の循環、呼吸、体温、内分泌、生殖、消化と吸収、感覚機能）について遠隔講義（Moodle）にて教授する。

学生の到達目標

- ①生理学学習に必要な生物学一般を説明できる。
- ②興奮性組織について説明できる。
- ③体液とその循環について説明できる。
- ④呼吸について説明できる。
- ⑤体温について説明できる。
- ⑥内分泌について説明できる。
- ⑦生殖について説明できる。
- ⑧消化と吸収について説明できる。
- ⑨感覚機能について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎歯科生理学 第7版	岩田幸一ら 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト+1回～7回の提出物（講義グラレコ最大14点）	50%
定期試験+9回～15回の提出物（講義グラレコ最大14点）	50%

その他

【オフィスアワー】学習内容に関する疑問・質問だけでなく、教科書や講義動画、小テストの間違いの指摘なども受け付ける。質問はTeamsチャットで24時間で受け付ける。Teamsでのオンライン質問が必要な場合は、教員のスケジュールをOutlookカレンダーで確認の上、会議設定をしてもらえれば受け付ける（ただし、勤務時間に限る）。直接会って質問したい場合は、Teamsチャットで事前にアポイントを取る。できれば、複数名同時での質問を歓迎する。

基礎生命科学II(生理I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋,						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	生理学総論、興奮性組織Ⅰ 生理学総論 (25分) と細胞膜と膜輸送 (27分) について学ぶ。	講義 (スマホ必須、できればPCもしくはタブレットを持参)	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 050	613 講義室
2	興奮性組織Ⅱ 膜電位 (17分)、活動電位 (24分)、電位依存性イオンチャネル (19分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 016～ P. 050	Moodle
3	興奮性組織Ⅲ 興奮伝導 (19分)、伝導速度と末梢神経分類 (19分)、シナプスと神経回路 (26分)、シナプス伝達 (12分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 016～ P. 050	Moodle
4	興奮性組織Ⅳ、体液Ⅰ 筋の収縮 (11分)、筋の収縮様式 (19分)、体液成分と血液型 (24分)、白血球機能と血液凝固 (22分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 016～ P. 075	Moodle
5	体液Ⅱ 体液の恒常性 (14分)、腎構造と尿生成 (15分)、尿細管の再吸収と分泌 (22分)、血流と排尿 (12分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 051～ P. 075	Moodle
6	体液の循環Ⅰ 血液循環と心臓構造 (17分)、刺激伝導系と心電図 (29分)、ポンプ機能と血管構造 (14分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 076～ P. 102	Moodle
7	体液の循環Ⅱ 血流と血圧 (23分)、浮腫 (11分)、循環調節 (24分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 076～ P. 102	Moodle
8	確認テスト (第1回から第7回までの内容の試験を行う。第9回以降の範囲は定期テストで行う。再試験の範囲は全範囲となる。)	テスト	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 102	コンピュータ演習室

基礎生命科学II(生理I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋,						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	呼吸 呼吸器の構造と機能 (16分)、換気の仕組み (14分)、ガス交換 (25分)、呼吸調節 (9分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 103～ P. 122	Moodle
10	体温、内分泌Ⅰ 体熱産生・放散 (14分)、体温調節 (14分)、内分泌総論 (11分)、視床下部一下垂体ホルモン (20分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 123～ P. 150	Moodle
11	内分泌Ⅱ、生殖 甲状腺、副甲状腺、膵臓からのホルモン (16分)、副腎、その他からのホルモン (13分)、ホルモンとホメオスタシス (15分)、性ホルモン (16分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 132～ P. 156	Moodle
12	消化と吸収Ⅰ 消化管の構造と全体機能 (23分)、消化酵素まとめ (21分)、消化管ホルモンと運動 (21分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 157～ P. 179	Moodle
13	消化と吸収Ⅱ、感覚機能Ⅰ 口腔と胃での消化 (23分)、小腸での消化 (24分)、大腸と排便反射 (11分)、感覚分類 (17分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 157～ P. 220	Moodle
14	感覚機能Ⅱ 感覚受容器と上行性伝導路 (25分)、眼球構造と運動 (19分)、光受容と視覚伝導路 (26分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 180～ P. 220	Moodle
15	感覚機能Ⅲ 聴覚 (20分)、平衡感覚 (5分)、内臓感覚 (15分)、痛覚 (25分) について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 180～ P. 220	Moodle

基礎生命科学III(組織)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業の概要

基礎生命科学IIIでは組織学を中心に授業を行う。組織学は、人体を構成する細胞、組織ならびに器官の構造を研究する学問である。その研究方法としては、肉眼の分解能をはるかにこえた微細構造を対象とするため、光学顕微鏡さらには電子顕微鏡が必要で、そのため顕微解剖学とも呼ばれる。本授業では、生体の微細な形態を理解するとともに、細胞(組織)の形態と、その細胞(組織)が有する機能がどのような関係になっているのかを理解することを一番の目的として行う。

学生の到達目標

- ①細胞膜、核、細胞内小器官の構造と機能を説明できる。
- ②単層上皮、重層上皮、細胞接着装置の組織構造と機能を説明できる。
- ③疎性結合組織と細胞成分の構造と機能および軟骨の組織構造と機能を説明できる。
- ④骨の組織構造と機能および骨の改造を説明できる。
- ⑤骨格筋の微細構造と筋収縮を説明できる。
- ⑥心臓の筋、平滑筋の組織構造と機能を説明できる。
- ⑦神経細胞、シナプスの組織構造と機能を説明できる。
- ⑧粘膜、皮膚の組織構造と機能を説明できる。
- ⑨消化管の一般構造、食道、胃の組織構造と機能を説明できる。
- ⑩小腸、大腸の組織構造と機能を説明できる。
- ⑪肝臓の組織構造と機能を説明できる。
- ⑫膵臓およびランゲルハンス島の組織構造と機能を説明できる。
- ⑬肺における血液空気関門と組織構造と機能を説明できる。
- ⑭腎臓における血液尿関門の組織構造と機能を説明できる。
- ⑮下垂体、副腎、甲状腺、上皮小体の組織構造とホルモンの機能を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
入門組織学	牛木辰雄	南江堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】質問およびメールでの質問は、随時受け付ける。
感染症による出席停止に関しては、遠隔講義で対応可能な場合があるので連絡すること。

基礎生命科学III(組織)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	細胞学 細胞膜、核、細胞内小器官の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	細胞膜、ミトコンドリア、ゴルジ体、リボゾーム、リソソーム 「入門組織学」：p1-28	6 1 3 講義室 Moodle
2	上皮組織 単層上皮、重層上皮、細胞接着装置の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	単層円柱上皮、線毛上皮、移行上皮、重層扁平上皮 「入門組織学」：p29-44	6 1 3 講義室 Moodle
3	支持組織(1) 疎性結合組織の細胞成分、膠原線維、弾性線維の機能および、軟骨の組織構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	膠原線維、弾性線維、疎性結合組織、線維芽細胞、プロテオグリカン、軟骨組織、コンドロイチン硫酸 「入門組織学」：p45-61	6 1 3 講義室 Moodle
4	支持組織(2) 骨の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	骨細胞、骨芽細胞、破骨細胞 「入門組織学」：p61-67	6 1 3 講義室 Moodle
5	筋組織(1) 骨格筋における微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	随意筋、横紋、筋繊維、筋原繊維、筋小胞体 「入門組織学」：p69-76	6 1 3 講義室 Moodle
6	筋組織(2) 心臓の筋、平滑筋の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	不随意筋、心筋、平滑筋、介在板、強縮 「入門組織学」：p77-82	6 1 3 講義室 Moodle
7	神経組織 神経細胞、シナプスと神経伝達物質の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	シナプス、神経伝達物質、グリア細胞、髄鞘、跳躍伝導 「入門組織学」：p83-101	6 1 3 講義室 Moodle
8	粘膜および皮膚 粘膜および皮膚の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	ケラチノサイト、角化、ランゲルハンス細胞、知覚装置 「入門組織学」：p295-317	6 1 3 講義室 Moodle

基礎生命科学III(組織)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	消化器(1) 消化管の一般構造、食道、胃の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	α-アミラーゼ、主細胞、ペプシン、壁細胞、ガストリン 「入門組織学」： p147-172	6 1 3 講義室 Moodle
10	消化器(2) 小腸、大腸の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	十二指腸、腸絨毛、陰窩、門脈、杯細胞 「入門組織学」： p173-183	6 1 3 講義室 Moodle
11	消化器(3) 肝臓の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	肝小葉、グリコーゲン、胆汁「入門組織学」： p183-192	6 1 3 講義室 Moodle
12	消化器(4) 膵臓およびランゲルハンス島の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	膵液、インスリン、第十二指腸乳頭、ランゲルハンス島 「入門組織学」： p192-198	6 1 3 講義室 Moodle
13	呼吸器 鼻腔、喉頭、気管、肺、血液・空気関門の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	気管支、線毛細胞、肺胞、血液・空気関門、表面活性剤 「入門組織学」： p199-210	6 1 3 講義室 Moodle
14	泌尿器 腎臓、尿管、膀胱および血液・尿関門の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	ネフロン、腎小体、尿細管、血液・尿関門、糸球体傍装置 「入門組織学」： p211-226	6 1 3 講義室 Moodle
15	内分泌 下垂体、副腎、甲状腺、上皮小体の微細構造とホルモンについて学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	前葉、後葉、成長ホルモン、バソプレッシン、アドレナリン、甲状腺ホルモン、濾胞傍細胞、カルシトニン、パラトルモン 「入門組織学」： p267-289	6 1 3 講義室 Moodle

基礎生命科学 (生化学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

授業の概要

学習内容は生命科学および生化学に該当する。授業の目的は二つある。一つは、医学歯学の基礎学問としての細胞生物学および分子生物学（口腔生化学を含む）の知識を習得することである。二つ目は、歯科衛生士として栄養指導をする際に必要な基礎知識としての栄養代謝の知識を習得することである。最初に生体成分、生体成分の代謝、代謝調節、遺伝子発現を含む生体の応答反応、遺伝子工学、さらに口腔生化学などについて学ぶ。

学生の到達目標

- ① 人体の構成成分について説明できる。
- ② 細胞の構造と機能について説明できる。
- ③ 遺伝子とタンパク質、細胞分裂について説明できる。
- ④ 物質代謝と酵素、エネルギー代謝について説明できる。
- ⑤ 消化と吸収について説明できる。
- ⑥ ホルモンの産生器官と作用について説明できる。
- ⑦ 歯の構造と組成、硬組織の石灰化、歯の脱灰と再石灰化を説明できる。
- ⑧ 歯周組織の構造と組成を説明できる。
- ⑨ 唾液の成分と作用を説明できる。
- ⑩ がんの病態や治療法について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード生化学・口腔生化学	荒川俊哉ほか共著	学建書院
ビジュアル生化学・分子生物学	大塚吉兵衛ほか共著	日本医事新報社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義内容の質問は担当教員へのe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

基礎生命科学 (生化学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	生体の構成要素生体の構成要素および主要な成分として水、糖質、脂質、タンパク質について学ぶ。	講義・確認テスト	古株 彰一郎	キーワード：水、糖質、脂質、タンパク質	6 1 3 講義室 Moodle
2	細胞と細胞内小器官および酵素代謝の場としての細胞と細胞内小器官および酵素の役割、代謝と代謝調節について学ぶ。	講義・確認テスト	松原 琢磨	キーワード：細胞内小器官、酵素、代謝調節	6 1 3 講義室 Moodle
3	消化と吸収、糖質代謝その1 消化と吸収、糖、脂質、タンパク質の消化酵素とそれぞれの分泌器官について学ぶ。糖質代謝のうち解糖系について学ぶ。	講義・確認テスト	松原 琢磨	キーワード：消化、吸収、解糖系	6 1 3 講義室 Moodle
4	糖質代謝その2、脂質代謝糖質代謝のうちTCA回路、電子伝達系について学ぶ。脂肪酸とステロイドの代謝について学ぶ。	講義・確認テスト	松原 琢磨	キーワード：TCA回路、電子伝達系、脂肪酸、ステロイド	6 1 3 講義室 Moodle
5	タンパク質とアミノ酸代謝タンパク質の分解とアミノ酸の分解について学ぶ。	講義・確認テスト	松原 琢磨	キーワード：タンパク質、アミノ酸、分解	6 1 3 講義室 Moodle
6	遺伝子とDNA複製・修復核酸の構造、セントラルドグマ、染色体、クロマチン、および遺伝子の複製・修復について学ぶ。	講義・確認テスト	松原 琢磨	キーワード：核酸構造、セントラルドグマ、染色体、クロマチン、遺伝子	6 1 3 講義室 Moodle
7	転写、翻訳、修飾遺伝発現のしくみ、転写調節機構、タンパク質合成の機序について学ぶ。	講義・確認テスト	松原 琢磨	キーワード：転写、翻訳	6 1 3 講義室 Moodle
8	遺伝子工学の概要遺伝子工学の進歩を通して、形質転換、トリプレットコドン、制限酵素、PCR法について学ぶ。	講義・確認テスト	松原 琢磨	キーワード：形質転換、トリプレットコドン、制限酵素、PCR法	6 1 3 講義室 Moodle
9	免疫の遺伝子抗体遺伝子、T細胞受容体遺伝子とその発現、およびMHCクラスI、II遺伝子とその遺伝子産物について学ぶ。	講義・確認テスト	古株 彰一郎	キーワード：抗体遺伝子、T細胞受容体遺伝子、MHC	6 1 3 講義室 Moodle

基礎生命科学 (生化学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	結合組織 コラーゲンの構造と合成過程、ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸について学ぶ。	講義・確認テスト	古株 彰一郎	キーワード：コラーゲン、ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸	6 1 3 講義室 Moodle
11	歯の無機成分と有機成分ハイドロキシアパタイトの組成と有機成分の特徴について学ぶ。	講義・確認テスト	古株 彰一郎	キーワード：ハイドロキシアパタイト、カルシウム、リン	6 1 3 講義室 Moodle
12	石灰化のしくみ押し上げ説、エピタキシー説、基質小胞説について学ぶ。	講義・確認テスト 使用言語：英語	Addison William	キーワード：押し上げ説、エピタキシー説、基質小胞説	6 1 3 講義室 Moodle
13	唾液の生化学唾液の成分、抗菌因子について学ぶ。	講義・確認テスト	古株 彰一郎	キーワード：アミラーゼ。ムチン、リゾチーム	6 1 3 講義室 Moodle
14	細胞情報伝達系受容体を介するホルモン、成長因子およびサイトカインによる細胞間の情報伝達機構について学ぶ。	講義・確認テスト	古株 彰一郎	キーワード：ホルモン、サイトカイン、神経伝達物質	6 1 3 講義室 Moodle
15	がんの生化学・分子生物学、細胞周期、アポトーシス細胞周期の制御機構、癌遺伝子と癌抑制遺伝子および発癌の制御機構について学ぶ。	講義・確認テスト	古株 彰一郎	キーワード：がん、細胞周期、アポトーシス	6 1 3 講義室 Moodle

基礎生命科学実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科), 佐藤 毅(口腔保健科), 辻澤 利行, 本田 尚郁(口腔保健科), 磯部 彩香(口腔保健科), 山口 紫乃(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

本実習では、生物学の基本的知識と手技を学ぶ。光学顕微鏡の基本機能と光学系構成について理解したうえで、生命維持に必要な細胞の構造や機能について学習する。本実習を通じて、基礎生命科学実験に関する基本的手技の習得、免疫反応の基本的原理の理解を深める。また、実習結果をレポートにまとめ、考察することにより、科学的文章の組み立て方を習得する。なお、本実習は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働生理 m. 人体の組織及び機能」に対応している。

学生の到達目標

- ①実験の目的と原理を理解し、問題点を論理的に整理し、自ら解決法を導くことができる。
- ②実習結果を科学的文章や図表として表現することができる。
- ③光学顕微鏡により標本の拡大像を作ることができる。
- ④体細胞分裂について説明できる。
- ⑤口腔上皮細胞および真正細菌について説明できる。
- ⑥赤血球と白血球の構造と機能について説明できる。
- ⑦PCRの原理や検査法としての意義を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎生命科学実習 I 実習書		(オリエンテーション時に配付)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事前レポート	40%
実習レポート	60%

その他

【オフィスアワー(学習相談)】口腔保健学科長：相談は随時受け付け可能

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション(実習書の配布、指導員紹介、実習全体の説明、注意事項などについて)	講義	口腔保健学科長 矢田 直美 佐藤 毅 辻澤 利行		6 1 3 講義室 7 1 実習室

基礎生命科学実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科), 佐藤 毅(口腔保健科), 辻澤 利行, 本田 尚郁(口腔保健科), 磯部 彩香(口腔保健科), 山口 紫乃(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2, 3	組織学実習1(口腔領域) 舌、顎舌腺、歯、マウスの歯胚の組織標本を観察し、口腔領域の組織構造と機能を学ぶ。	実習	矢田 直美 口腔保健学科長	【事前学習課題】染色、細胞、細菌	7 1 実習室
4, 5	組織学実習2(全身臓器) 消化管、肝、脾、腎、肺の組織標本を観察し、各臓器の組織構造と機能を学ぶ。	実習	矢田 直美 口腔保健学科長	【事前学修課題】「解剖学・組織発生学・生理学」で、消化管、肝、脾、腎、肺の位置と機能の確認をすること。	7 1 実習室
6, 7	ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)法を用いた遺伝子多型の検出1	実習	口腔保健学科長 佐藤 毅 辻澤 利行 本田 尚郁 磯部 彩香 山口 紫乃	【事前学習課題】ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)法	7 2 実習室
8, 9	血液型判定 検査用抗体を用いた凝集反応によってABO式及びRh式血液型判定を行う。これにより、凝集反応の原理と血液型判定の意義を理解する。 ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)法を用いた遺伝子多型の検出2	実習	口腔保健学科長 佐藤 毅 辻澤 利行 本田 尚郁 磯部 彩香 山口 紫乃	凝集反応の原理と血液型判定の意義	7 1 実習室
10, 11	肺機能を調べてみよう。①スパイログラフィーのとり方を学ぶ。②自分の肺機能、肺年齢を知り、その意味を学ぶ。	実習	口腔保健学科長 本田 尚郁 磯部 彩香 山口 紫乃	呼吸、肺気量分画、肺機能	7 1 実習室
12, 13	血球の観察 血液を用いた試料作成法、赤血球と白血球の構造について学ぶ。	実習	口腔保健学科長 辻澤 利行 矢田 直美 本田 尚郁 磯部 彩香 山口 紫乃	【事前学習課題】赤血球、好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球	7 1 実習室
14, 15	まとめ	講義	口腔保健学科長		6 1 3 講義室 7 1 実習室

基礎摂食嚥下学Ⅰ(口腔解剖)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	片岡 真司						
担当教員	片岡 真司						

授業の概要

基礎摂食嚥下学Ⅰ（口腔解剖）では、口腔解剖学、歯の解剖学を中心に授業をおこなう。頭頸部の骨、筋、血管、神経などの構造や、歯と歯周組織なども含めた口腔の構造について学修させ、歯科医療に必要となる解剖学的知識を習得させることを目的とする。

学生の到達目標

- ① 消化器としての口腔、舌、唾液腺、咽頭、喉頭の構造について説明できる。
- ② 咀嚼・嚥下に関与する顎関節および筋の構造について説明できる。
- ③ 頭頸部の血管やリンパ系について説明できる。
- ④ 脳神経、特に三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経について説明できる。
- ⑤ 歯の形態、歯種・歯式、咬合について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間試験（講義1～8までの内容；50%）および定期試験（講義10～15までの内容；50%）の合計点	100%
	0%

その他

- 【オフィスアワー（学習相談）】 質問については随時、メールなどで受付けをおこなう。
【公欠相当の事由による遠隔対応】 可：講義動画による対応。

基礎摂食嚥下学Ⅰ(口腔解剖)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	片岡 真司						
担当教員	片岡 真司						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔解剖学総論：口腔およびその周囲の局所解剖についてその概要を学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：口腔 p10-18	6 1 3 講義室
2	口腔を構成する骨：口腔を構成する骨とその特徴、役割について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：頭蓋骨 p18-34	6 1 3 講義室
3	頭頸部の筋1：表情筋と咀嚼筋について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：頭頸部の筋 p34-42	6 1 3 講義室
4	頭頸部の筋2と顎関節：舌骨上筋群、舌骨下筋群ならびに顎関節について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：顎関節 p42-45	6 1 3 講義室
5	口腔付近の脈管系：頭頸部の動脈、静脈、リンパ系について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：頭頸部の脈管 p45-56	6 1 3 講義室
6	頭頸部の神経1：頭頸部に関わる脳神経、特に三叉神経と顔面神経について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：頭頸部の神経 p57-62	6 1 3 講義室
7	頭頸部の神経2：舌咽神経、迷走神経、舌下神経、頭頸部に関わる脊髄神経、ならびに自律神経について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：頭頸部の神経 p62-67	6 1 3 講義室
8	嚥下に関わる構造：嚥下に関わる神経や筋とそれぞれの機能について学ぶ。喉頭について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：軟口蓋、咽頭、喉頭の筋群 p109-112	6 1 3 講義室
9	中間試験：講義1~8までの学習内容の確認試験。	講義	片岡 真司	講義1~8までの講義内容、配布資料	6 1 3 講義室

基礎摂食嚥下学Ⅰ(口腔解剖)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	片岡 真司						
担当教員	片岡 真司						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	歯牙解剖学総論：歯の表記法、歯種、萌出順、解剖学的名称について学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：歯の形態 p148－157	6 1 3 講義室
11	永久歯1：上・下顎切歯と犬歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：上・下顎切歯と犬歯 p157－165	6 1 3 講義室
12	永久歯2：上・下顎小白歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：上・下顎小白歯 p165－173	6 1 3 講義室
13	永久歯3：上・下顎大白歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：上・下顎大白歯 p173－180	6 1 3 講義室
14	乳歯：乳歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：乳歯 p180－198	6 1 3 講義室
15	歯列と咬合：特色のある歯の形態、歯列や咬合の特徴や分類を学ぶ。	講義	片岡 真司	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：歯列や咬合 p198－207	6 1 3 講義室

基礎摂食嚥下学II(口腔組織)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業の概要

組織学の一分野である口腔組織学は、消化管の入り口である口腔の構成諸器官、すなわち口唇、頬、口蓋、唾液腺、舌、歯ならびに歯周組織の組織構造について研究する学問である。さらに顔面や口腔諸器官の正常の発生過程について、微細構造や分子生物学と関連させて理解を深め、臨床歯科学において重要である先天異常をはじめとした様々な疾患についての基礎的知識を得させることを目的とする。

学生の到達目標

- ①人体の発生の受精から胎児期までを説明できる。
- ②顔面および口蓋の発生を説明できる。
- ③舌および唾液腺の発生を説明できる。
- ④歯の発生の蕾状期から帽状期を説明できる。
- ⑤歯の発生の鐘状期から硬組織形成初期を説明できる。
- ⑥エナメル質の組織構造と機能を説明できる。
- ⑦象牙質の組織構造と機能を説明できる。
- ⑧歯髄の組織構造と機能を説明できる。
- ⑨セメント質の組織構造と機能を説明できる。
- ⑩歯根膜および歯槽骨の組織構造と機能を説明できる。
- ⑪歯肉の組織構造と機能を説明できる。
- ⑫口腔粘膜の組織構造と機能を説明できる。
- ⑬舌の組織構造と機能を説明できる。
- ⑭唾液腺の組織構造と機能を説明できる。
- ⑮乳歯の脱落と歯の萌出機構を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	最新歯科衛生士教本	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】質問およびメールでの質問は、随時受け付ける。
感染症による出席停止に関しては、遠隔講義で対応可能な場合があるので連絡すること。

基礎摂食嚥下学II(口腔組織)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	人体の発生 受精から胎児期における発生過程の微細構造について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	受精、着床、外胚葉、中胚葉、内胚葉	6 1 3 講義室 Moodle
2	顔面と口腔の発生-1 顔面・顎・口蓋の発生過程の微細構造について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	内側鼻突起、上顎突起、口蓋突起、口唇裂、口蓋裂 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p170-176	6 1 3 講義室 Moodle
3	顔面と口腔の発生-2 舌・唾液腺の発生過程の微細構造について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	鰓弓、分界溝、舌盲孔、甲状腺、大唾液腺 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p170-172, p176-178	6 1 3 講義室 Moodle
4	歯の発生-1 歯胚の蕾状期、帽状期の微細構造について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	歯堤、歯胚、エナメル器、歯乳頭、歯小のう 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p180-182	6 1 3 講義室 Moodle
5	歯の発生-2 歯胚の鐘状期から硬組織形成初期の微細構造について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	エナメル芽細胞、象牙芽細胞、ヘルトウイッチの上皮鞘、マラッセの上皮遺残 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p182-185	6 1 3 講義室 Moodle

基礎摂食嚥下学II(口腔組織)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	歯の構造(エナメル質) エナメル質の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	横紋、レチウス条、周波条、エナメル紡錘、エナメル叢 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p135-142	613講義室 Moodle
7	歯の構造(象牙質) 象牙質の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	象牙細管、象牙前質、球間象牙質、トームス顆粒層、修復象牙質 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p143-148	613講義室 Moodle
8	歯の構造(歯髄) 歯髄の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	象牙芽細胞層、細胞希薄層(ワイル層)、細胞稠密層 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p148-152	613講義室 Moodle
9	歯周組織(セメント質) セメント質の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	無細胞セメント質、有細胞セメント質、セメント細胞、セメント芽細胞、セメント小舌 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p153-156	613講義室 Moodle
10	歯周組織(歯根膜、歯槽骨) 歯根膜および歯槽骨の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	脈管神経隙、マラッセの上皮遺残、固有歯槽骨、支持歯槽骨、シャーピー線維 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p157-163	613講義室 Moodle

基礎摂食嚥下学II(口腔組織)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	歯周組織（歯肉） 歯肉の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	遊離歯肉、付着歯肉、ステッピング、歯肉溝上皮、付着上皮「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p163-167	6 1 3 講義室 Moodle
12	口腔粘膜 口腔粘膜の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	咀嚼粘膜、被覆粘膜、特殊粘膜、硬口蓋、軟口蓋 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p2-6, p14	6 1 3 講義室 Moodle
13	舌 舌の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	糸状乳頭、茸状乳頭、葉状乳頭、有郭乳頭、味蕾 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p6-11, p203-205	6 1 3 講義室 Moodle
14	唾液腺 唾液腺の微細構造と機能について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	大唾液腺、小唾液腺、終末部、導管、エブネル腺 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p62-63, p260-263	6 1 3 講義室 Moodle
15	歯の萌出と脱落 乳歯の脱落と歯の萌出機構について学習する。	講義、小テスト	豊野 孝	退縮エナメル上皮、破歯細胞、代生歯、加生歯 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p185-190	6 1 3 講義室 Moodle

基礎摂食嚥下学Ⅲ(生理Ⅱ)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋,						

授業の概要

本講義では、歯科医療人が学ぶべき生理学・口腔生理学について講義する。本講義では基礎歯科生理学（第7版）の後半（運動機能、高次機能、自律機能、口腔生理学総論、顎・口腔・顔面の体性感覚、味覚、嗅覚、顎運動、舌・口唇・頬・顔面運動、咀嚼、嚥下、吸啜、嘔吐、唾液・唾液腺、発声と構音）について遠隔講義（Moodle）にて教授する。

学生の到達目標

- ①運動機能について説明できる。
- ②高次機能について説明できる。
- ③自律機能について説明できる。
- ④顎・口腔・顔面の体性感覚について説明できる。
- ⑤味覚と嗅覚について説明できる。
- ⑥顎運動や舌・口唇・頬・顔面運動について説明できる。
- ⑦咀嚼と嚥下について説明できる。
- ⑧吸啜と嘔吐について説明できる。
- ⑨唾液・唾液腺について説明できる。
- ⑩発声と構音について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎歯科生理学 第7版	岩田幸一ら 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト+1回～4回の提出物（講義グラレコ最大8点）	50%
定期試験+8回～15回の提出物（講義グラレコ最大16点）	50%

基礎摂食嚥下学Ⅲ(生理Ⅱ)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋,						

その他

【オフィスアワー】学習内容に関する疑問・質問だけでなく、教科書や講義動画、小テストの間違いの指摘なども受け付ける。質問はTeamsチャットで24時間で受け付ける。Teamsでのオンライン質問が必要な場合は、教員のスケジュールをOutlookカレンダーで確認の上、会議設定をしてもらえれば受け付ける（ただし、勤務時間に限る）。直接会って質問したい場合は、Teamsチャットで事前にアポイントを取る。できれば、複数名同時での質問を歓迎する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	運動機能Ⅰ 運動ニューロン（10分）、脊髄反射（22分）、姿勢反射（9分）、運動性下行性伝導路（16分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 221～ P. 245	Moodle
2	運動機能Ⅱ、高次脳機能Ⅰ 運動野、大脳基底核、小脳（17分）、大脳皮質の機能局在（18分）、学習、記憶、情動（18分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 221～ P. 278	Moodle
3	高次脳機能Ⅱ、自律機能Ⅰ 睡眠と覚醒（15分）、言語（16分）、自律神経遠心路（23分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 246～ P. 294	Moodle
4	自律機能Ⅱ 自律神経系の受容体（16分）、自律神経求心路と自律神経反射（12分）、自律神経上位中枢としての視床下部（17分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 279～ P. 294	Moodle
5	復習① 生理学総論～呼吸について復習する。生理Ⅰ（前期）本試合格者はオンライン、不合格者（再試験受験者）は講義室で受講	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 122	Moodle 613講義室
6	復習② 体温～自律機能について復習する。生理学Ⅰ（前期）本試合格者はオンライン、不合格者（再試験受験者）は講義室で受講	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 123～ P. 294	Moodle 613講義室

基礎摂食嚥下学Ⅲ(生理Ⅱ)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋,						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	確認テスト（第1回から第4回までの内容[60点]と前期科目である基礎生命科学Ⅱ（生理1）全範囲[40点]の試験を行う。第8回以降の範囲は定期テストで行う。再試験の範囲は全範囲となる。）	テスト	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 294	コンピュータ演習室
8	口腔生理学総論、顎・口腔・顔面の体性感覚、口腔生理学総論、口腔顔面領域の体性感覚（26分）、口腔顔面痛（20分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 296～ P. 321	Moodle
9	味覚、嗅覚 質受容機構（27分）、味覚伝導路、味覚検査（15分）、嗅覚（19分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 322～ P. 355	Moodle
10	顎運動、舌・口唇・頬・顔面運動 下顎位（5分）、下顎運動（13分）、下顎限界運動、下顎の位置感覚（11分）、顎反射と咀嚼野（18分）、口腔顔面の運動（9分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 356～ P. 378	Moodle
11	咀嚼 咀嚼能力の評価（29分）、咀嚼運動の調節（21分）、咀嚼調節（21分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 379～ P. 399	Moodle
12	嚥下 嚥下運動（20分）、嚥下の神経機構（12分）、嚥下と関連する機構（11分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 400～ P. 412	Moodle
13	吸啜、嘔吐、唾液・唾液腺Ⅰ 吸啜（14分）、嘔吐（13分）、唾液腺の構造（24分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 413～ P. 441	Moodle
14	唾液・唾液腺Ⅱ 唾液分泌機構（35分）、唾液の性状・機能・口腔疾患（21分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 426～ P. 441	Moodle
15	発声と構音 発声（20分）、構音（10分）、発声・構音の中枢性制御機構（14分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋	【事前・事後学修】 教科書 P. 442～ P. 462	Moodle

基礎摂食嚥下学実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。 (口腔保健科) 邵 仁浩						

授業の概要

4系統、9課題からなる実習を行う。微生物学系（Ⅰ．微生物学に関わる実習手技、Ⅱ．スタンダードプリコーションに関する基礎実習の2課題）、口腔解剖学系（Ⅰ．歯のスケッチ、Ⅱ．歯型彫刻、Ⅲ．骨学実習、Ⅳ．人体解剖見学実習、Ⅴ．口腔観察と歯列模型の分析の4課題）、口腔病理学系（Ⅰ．代表的な口腔疾患の鏡検実習、Ⅱ．口腔粘膜の細胞診実習の2課題）、口腔生理学系（Ⅰ．味覚修飾物質に関する実習）を行う。以上の実習を行うことによって、今まで講義で学んだ摂食嚥下に関する知識を実践的なものにしていく。

学生の到達目標

微生物学系

- ①細菌と真菌の培養法と形態を説明できる。
- ②口腔細菌の形態と病原性を説明できる。
- ③微生物学実験に必要な無菌操作について説明できる。

口腔解剖学系

- ①頭頸部、口腔内の構造を解剖学的に説明できる。
- ②歯、歯列の構造を解剖学的に説明できる。
- ③全身骨格および臓器の構造を解剖学的に説明できる。

口腔病理学系

- ①代表的な口腔疾患を病理学的に説明できる。
- ②口腔細胞診を通じて、口腔粘膜の上皮構造と口腔疾患とのつながりを説明できる。

口腔生理学系

- ①味覚について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ「微生物学」	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
歯科衛生学シリーズ「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
歯科衛生学シリーズ「病理学・口腔病理学」	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔微生物学・免疫学第5版	川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊 編集	医師薬出版
最新歯科衛生士教本「解剖学・組織発生学・生理学」	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
系統看護学講座 解剖生理学	坂井健雄、岡田隆夫	医学書院

基礎摂食嚥下学実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。 (口腔保健科) 邵 仁浩						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
提出物	100%

その他

口腔保健学科長：月～金16：30～18：00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	オリエンテーション 微生物学系Ⅰ. ・実習書配布ならびに実習概要説明	実習	口腔保健学科長 有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】微生物の種類と特徴【事後学修】実習レポート	5 1 実習室
3, 4	微生物学系Ⅱ. ・微生物学に関わる実習手技 微生物学系Ⅲ. ・スタンダードプリコーションに関する基礎実習	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】グラム染色、実習書記載の予習項目【事後学修】実習レポート	5 1 実習室
5, 6	口腔生理学系Ⅰ. 味覚の機序について学ぶ。・味覚修飾物質が味覚に及ぼす変化を評価し、味覚の機序について学ぶ。	実習	川上	【事前学修】五基本味および味覚の神経支配【事後学修】実習レポート	7 2 実習室
7, 8	口腔解剖学系Ⅰ. 歯のスケッチ・上顎の中切歯、第一小臼歯、第一大臼歯、下顎の第一大臼歯の歯型モデルをスケッチすることで歯の形態学的特徴を学ぶ。	実習	片岡 真司	【事前学修】「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」p 157-180、254-255【事後学修】実習レポート	5 1 実習室
9, 10	口腔解剖学系Ⅱ. 歯型彫刻・歯型モデルを参考に上顎中切歯を削り出すことで歯の三次元的構造を学ぶ。	実習	片岡 真司	【事前学修】「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」p 157-180、255-257【事後学修】実習レポート	5 1 実習室

基礎摂食嚥下学実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。 (口腔保健科) 邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11, 12	口腔解剖学系Ⅲ. 骨学実習・骨標本を観察して頭頸部を中心に、全身の骨の構造を学ぶ。	実習	片岡 真司 松山 佳永 口腔保健学科長	【事前学修】「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」p 18-34 【事後学修】実習レポート	解剖棟
13, 14	口腔解剖学系Ⅳ. 人体解剖見学・実習歯科学科生が解剖した御献体を観察して人体の構造を学ぶ。	実習	片岡 真司 松山 佳永 口腔保健学科長	【事前学修】「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」p 10-18、34-67 【事後学修】実習レポート	解剖棟
15, 16	口腔解剖学系Ⅴ. 口腔観察と歯列模型の分析・自分の口腔内の観察および歯列模型の分析を行うことで口腔の構造を学ぶ。	実習	片岡 真司 松山 佳永	【事前学修】「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」p 10-18、201-206 【事後学修】実習レポート	5 1 実習室
17, 18	口腔病理学系Ⅰ. 代表的な口腔疾患の鏡検・実習 う蝕、歯髄炎、エプーリス、歯根嚢胞の病理組織像について学ぶ。	実習	矢田 直美 口腔保健学科長	【事前学修】「病理学・口腔病理学」p 88-96、105-121 【事後学修】実習レポート	7 1 実習室
19, 20	口腔病理学系Ⅱ. 口腔粘膜の細胞診実習・口腔扁平上皮癌、白板症の病理組織像について学ぶ。口腔粘膜の細胞採取法、染色法、細胞像と細胞診に関連した疾患について学ぶ。	実習	矢田 直美 口腔保健学科長	【事前学修】「病理学・口腔病理学」p 146-151 【事後学修】実習レポート	7 1 実習室

歯科材料学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀						

授業の概要

歯科医療従事者は日常の臨床で使用する各歯科材料について、諸性質や標準的取扱い法、注意事項などを理解する必要がある。また、歯科材料を用いた診療補助において、適切な準備・操作に加えて、的確なタイミングも要求される。歯科衛生士に必要な各種歯科材料の材料学的知識を深めることで、臨床における材料の適切な保管・取扱い法の習得に繋げることを目的とする。

学生の到達目標

- ①有機材料、無機材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。
- ②歯科材料の機械的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
- ③印象材の種類と特性および取扱い方を説明できる。
- ④模型材の種類と特性および取扱い方を説明できる。
- ⑤合着材・接着材の種類と特性および取扱い方を説明できる。
- ⑥歯冠修復用材料の種類と特性および取扱い方を説明できる。
- ⑦その他の歯科材料の種類と特性および取扱い方を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯科材料	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード歯科理工学 第7版	中畠 裕他編	学建書院
最新歯科衛生士教本 歯科診療補助	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
すぐひける、現場で役立つ 歯科衛生士のための ポケット版 最新歯科用後辞典	栢 豪洋ら 編	クインテッセンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
確認テスト	10%
レポート	10%

歯科材料学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 池田（本館11階生体材料学准教授室）： 月～金12：00～13：00、16：30～18：00、 永松（本館11階生体材料学オフィス）：月・水・木・金12:00～13:00、16：30～18：00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	序論 歯科材料の種類とその用途、諸性質を学ぶ。	講義	永松 有紀 池田 弘	有機材料、無機材料、金属材料、複合材料	6 1 3 講義室 Moodle
2	歯科材料の基礎的性質 歯科材料の基礎的性質、用途に応じた所要性質を学ぶ。	講義	永松 有紀	機械的性質、物理的性質、化学的性質、生体安全性	6 1 3 講義室 Moodle
3	印象材① 歯科で使われる弾性印象材の種類、成分とその用途、性質を学ぶ。	講義 確認テスト	永松 有紀	アルジネート印象材、寒天印象材、縮合型シリコーンゴム印象材、付加型シリコーンゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材	6 1 3 講義室 Moodle
4	印象材② 歯科で使われる非弾性印象材の種類、成分とその用途、性質を学ぶ。	講義	永松 有紀	酸化亜鉛ユージノール印象材、モデリングコンパウンド、印象用石膏、機能印象材	6 1 3 講義室 Moodle
5	模型材 主に歯科用石膏の成分、性質、用途などを学ぶ。	講義	永松 有紀	普通石膏、硬質石膏、水和反応、硬化時間、硬化膨張	6 1 3 講義室 Moodle
6	合着材・接着材 合着材・接着材の種類とその成分、性質、その接着機構などを学ぶ。	講義 確認テスト	永松 有紀	ガラスアイオノマーセメント、レジンセメント、接着前処理	6 1 3 講義室 Moodle
7	歯冠修復材 成形修復材およびその他歯冠修復材の種類と用途、その特徴などを学ぶ。	講義	永松 有紀	コンポジットレジン、ガラスアイオノマーセメント、金属、歯科用陶材、ニューセラミックス	6 1 3 講義室 Moodle

歯科材料学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	仮封材・その他の材料（裏層材、ワックス）これらの種類と用途、その性質などを学ぶ。	講義 確認テスト	永松 有紀	仮封材、裏層材、ワックス、小窩裂溝充填材、CAD/CAM	6 1 3 講義室 Moodle

歯科材料学実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀						

授業の概要

歯科医療従事者は日常の臨床で使用する各歯科材料について、諸性質や標準的取扱い法、注意事項などを理解する必要がある。また、歯科材料を用いた診療補助において、適切な準備・操作に加えて、的確なタイミングも要求される。歯科衛生士にとって使用頻度が高い歯科材料について、実際に使用しながら、それらの適切な取扱い（保管・練和・後始末等）法を体得することを目的とする。

学生の到達目標

- ①印象材の適切な取扱いができる。
- ②石膏の適切な取扱いができる。
- ③合着用セメントの適切な取扱いができる。
- ④コンポジットレジンの適切な取扱いができる。
- ⑤仮封材の適切な取扱いができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯科材料	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード歯科理工学 第7版	中畠 裕他編	学健書院
新歯科衛生士教本 歯科診療補助	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
確認テスト	40%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 池田（本館11階准教授室）：月～金12:00～13:00、16:30～18:00 永松（本館11階生体材料学オフィス）：月・水・木・金12:00～13:00、16:30～18:00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション 実習書配布、実習概要の説明、歯科材料についての復習を行う。	講義資料配布	永松 有紀 池田 弘	歯科材料の分類	技工室 石膏室

歯科材料学実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	アルジネート印象材 適切な練和法を体得後、混水比、練和水温が変動した場合の硬化時間等への影響を学ぶ。	実習	永松 有紀 池田 弘	アルジネート印象材の計量誤差、硬化機構、練和条件、硬化特性	技工室 石膏室
3, 4	歯科用石膏 適切な練和法を体得後、混水比、練和水温が変動した場合の硬化時間等への影響を学ぶ。	実習	永松 有紀 池田 弘	歯科用石膏の硬化機構、練和条件、硬化特性	技工室 石膏室
5, 6	合着用セメント リン酸亜鉛セメントおよびガラスイオノマーセメントの適切な練和法を体得後、粉液比が変動した場合の粘稠度等への影響を学ぶ。	実習	永松 有紀 池田 弘	各歯科用セメントの硬化機構、使用器材、練和条件、コンシステンシー	技工室 石膏室
7	コンポジットレジン 化学重合型と光重合型の操作の違いを学ぶ。	実習	永松 有紀 池田 弘	コンポジットレジンの重合様式、化学重合、光重合	技工室 石膏室
8	仮封材 仮封材（酸化亜鉛ユージノールセメントほか）の適切な取扱い法を体得後、使用条件の変動による物性（硬化時間ほか）への影響を学ぶ。 歯科材料について総括し、各材料の特徴を比較しながら学ぶ。	実習確認テスト（全実習内容）	永松 有紀 池田 弘	印象材、模型材、合着材、成形修復材、仮封材、特徴、歯科材料の比較	技工室 石膏室

口腔健康増進学I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

健康の概念を理解し、口腔の解剖・生理の基礎的な知識を学ぶ。口腔内の付着物とその除去方法の理論と実際、歯科領域の2大疾患の1つであるう蝕の病態と予防方法、また、う蝕予防として最も汎用されている薬剤であるフッ化物について、これらの基礎から応用までを理解する。

学生の到達目標

- ①口腔衛生の意義が説明できる。
- ②口腔と健康について説明できる。
- ③歯と口の発育と歯科疾患等に伴う変化について説明できる。
- ④歯と口腔環境について説明できる。
- ⑤歯・口腔の不潔について説明できる。
- ⑥口腔清掃の意義と方法について説明できる。
- ⑦口腔清掃用具について説明できる。
- ⑧歯磨剤・洗口剤について説明できる。
- ⑨ブラッシングの方法について説明できる。
- ⑩う蝕の病因論、診断方法、疫学について説明できる。
- ⑪う蝕の予防方法について説明できる。
- ⑫フッ化物の基礎と応用について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間テスト	30%
定期試験	40%
事後レポート	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】・秋房住郎（本館6階教授室）：月～金7:00～16:30

口腔健康増進学I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	講義概要と講義計画 各回講義内容と教科書相当部分を理解する。 健康の概念について 健康の概念について概説し、疾病の自然的経過と予防段階について理解する。	講義	秋房 住郎	疾病の自然史、健康の定義	6 1 3 講義室 Moodle
2	口腔の成り立ちとその環境（1） 歯・口腔の基本的な生理機能の概要と共に、歯・口の健康と全身の健康との関わりについて理解する。	講義	秋房 住郎	歯の解剖、唾液の性質	6 1 3 講義室 Moodle
3	口腔の成り立ちとその環境（2） 歯・口腔の構造、発生・成長、機能の概要を理解する。	講義	秋房 住郎	歯の発生、歯の萌出時期、嚥下	6 1 3 講義室 Moodle
4	口腔の健康と疾病予防 歯・口腔の付着物・沈着物を疾患との関連において理解するとともに、プラークの細菌学的特徴について理解する。	講義	秋房 住郎	縁上プラーク、縁下プラーク、バイオフィルム、歯石	6 1 3 講義室 Moodle
5	口腔清掃（1） 口腔清掃の意義と各口腔清掃方法の種類と理論について理解する。また、不適切な清掃方法の有害性についても概説する。	講義	秋房 住郎	スクラビング法、バス法、スティルマン法、チャーターズ法	6 1 3 講義室 Moodle
6	口腔清掃（2） 歯磨剤・洗口剤の種類、組成、特に薬用成分について成分ごとの作用機序を含めて理解する。また、薬事法上の位置づけについても理解する。	講義	秋房 住郎	歯磨剤の基本成分、医薬部外品	6 1 3 講義室 Moodle
7	う蝕の症状、分類、疫学 う蝕の疫学的な特徴、臨床的分類について概説する。また、う蝕の疫学指標を理解する。	講義	秋房 住郎	歯科疾患実態調査、う蝕の罹患率・有病率	6 1 3 講義室 Moodle

口腔健康増進学I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	う蝕の発症機序 う蝕発症に関わる細菌学的・社会的要因を理解するとともに、う蝕の発症機序を分子生物学的に説明する。	講義	秋房 住郎	う蝕原性細菌（Mutans streptococci、乳酸菌）	613講義室 Moodle
9	う蝕の活動性と発症リスク う蝕活動性試験の種類と理論を理解し、う蝕リスク検査への応用の理論と実際を概説する。う蝕予防方法の実際と術式 う蝕予防における1~3次予防の理論と実例を理解し、それぞれの予防段階における予防術式の理論を概説する。	講義	秋房 住郎	う蝕リスク検査、フッ化物、シーラント、疾病の自然史	613講義室 Moodle
10	バイオフィームと感染症 口腔内細菌が構成するバイオフィームの細菌学的・分子生物学的特徴について概説し、口腔内の感染症におけるバイオフィームの病原性について理解する。	講義	秋房 住郎	バイオフィーム、菌体外多糖、クオラムセンシング	613講義室 Moodle
11	中間テスト 1~10回の講義内容について理解度を確認するため試験を行う。	講義	秋房 住郎	1~10回の復習	613講義室 Moodle
12	フッ化物のフッ化物の基礎知識 フッ化物の化学的な特徴と取り込まれた際の代謝機序、および毒性について概要を理解する。	試験	秋房 住郎	フッ素、自然界のフッ化物	613講義室 Moodle
13	フッ化物のう蝕予防機序 フッ化物によるう蝕の予防機序について特に歯の硬組織の化学組成との関連から説明し、その効果を理解する。	講義	秋房 住郎	フルオロオパタイト、ヒドロキシアパタイト、	613講義室 Moodle
14	フッ化物の応用方法 う蝕予防のためのフッ化物応用方法である局所的・全身的応用方法について、実施方法と理論について理解する。	講義	秋房 住郎	フッ化物塗布、フッ化物洗口、上水道フッ化物添加、全身応用、局所応用	613講義室 Moodle

口腔健康増進学I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	真鶴花子さんのう蝕予防方法について発表する。 シナリオベース講義ハンドブックの学童期に対するう蝕予防に関する保健指導を発表する。	講義	秋房 住郎	教科書のフッ化物に関する記載やWebで検索して、発表の準備を行う。	613講義室 Moodle

口腔健康増進学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

我が国の成人の80%以上が罹患しているとされる歯周疾患の病態とその疫学、また近年注目されている口臭や口腔乾燥などの口腔内病態、及び、これら口腔の病態が全身に与える影響について理解する。また、地域保健については、ライフステージごとに展開されている保健施策に係る制度と実際について理解する。産業保健に関しては、職業性疾病とその予防に係る産業保健管理等についての知識を得る。

学生の到達目標

- ①歯周疾患の病因論、症状と分類、疫学が説明できる。
- ②歯周疾患の予防方法が説明できる。
- ③口臭・口腔乾燥の症状と分類、予防と処置について説明できる。
- ④不正咬合、顎関節症について説明できる。
- ⑤地域口腔保健活動の意義と制度について説明できる。
- ⑥地域口腔保健活動の方法と実際について説明できる。
- ⑦地域口腔保健における市町村と都道府県の役割について説明できる。
- ⑧地域口腔保健における国の施策と実際について説明できる。
- ⑨母子保健（歯科を含む）について説明できる。
- ⑩学校保健（歯科を含む）について説明できる。
- ⑪産業保健（歯科を含む）について説明できる。（職業性疾病、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、健康の保持増進対策、および関連法規（労働基準法、労働安全衛生法、作業環境測定法、じん肺法並びにこれらに基づく命令中の関係条項）を含む）
- ⑫介護保険制度を含む高齢者保健（歯科を含む）について説明できる。
- ⑬障がい者保健（歯科を含む）について説明できる。
- ⑭災害歯科保健について説明できる。
- ⑮国際歯科保健について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
事後レポート	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】・秋房住郎（本館6階教授室）：月～金7:00～16:30

口腔健康増進学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯周疾患の疫学 歯周疾患の疫学的特徴と疫学的指数について理解する。歯周疾患の症状と分類 日本歯周病学会の分類にもとづき病態ごとの症状を理解する。	講義	秋房 住郎	歯科疾患実態調査、歯周疾患のステージ、グレード	6 1 5 講義室 Moodle
2	歯周疾患の発症機序と病態 歯周疾患の発症要因やリスク因子について概説する。歯周疾患の全身に与える影響 歯周医学の観点から、歯周疾患と全身的疾患との関連について理解する。	講義	秋房 住郎	歯周病原性細菌、外毒素、内毒素、サイトカイン	6 1 5 講義室 Moodle
3	歯周疾患の予防手段と処置 歯周疾患における各予防段階の具体例を示し、それぞれの処置方法の理論と実際について理解する。	講義	秋房 住郎	疾病の自然史、スケーリング	6 1 5 講義室 Moodle
4	口臭、口腔乾燥、口腔粘膜疾患、不正咬合 それぞれの口腔内疾患の疫学的特徴と発症要因について概説する。特に、口臭と口腔乾燥はその病態の分類について理解する。	講義	秋房 住郎	口臭の原因（局所、全身）、口腔乾燥、口腔がん	6 1 5 講義室 Moodle
5	母子歯科保健 母子保健法で定められた乳幼児歯科保健の制度と様式を講義する。特に歯科健診と保健指導について理解する。	講義	秋房 住郎	母子保健法、乳幼児歯科検診、母子歯科保健指導	6 1 5 講義室 Moodle
6	学校歯科保健 学校における歯科保健の課題と学校保健安全法で定められた学校保健の制度と様式について理解する。	講義	秋房 住郎	学校歯科検診、学校保健の3大活動	6 1 5 講義室 Moodle

口腔健康増進学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	高齢者歯科保健 高齢者の歯科保健的課題と特に介護保険における歯科の意義や取組について理解する。また、口腔機能低下症について理解する。	講義	秋房 住郎	介護保険、口腔機能低下症	6 1 5 講義室 Moodle
8	成人・産業保健 成人歯科保健の課題と対応方策について概説するとともに、産業保健における歯科の位置づけについて理解する。職業性疾病、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、健康の保持増進対策についてそれぞれ歯科保健の観点から理解する。	講義	秋房 住郎	作業環境管理、作業管理、健康管理	6 1 5 講義室 Moodle
9	災害歯科保健・国際歯科保健 災害時の歯科衛生士の役割を理解する。国際歯科保健の現状を理解する。	講義	秋房 住郎	災害歯科保健の実際、国際保健機関	6 1 5 講義室 Moodle

口腔健康増進学実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

口腔健康増進学1、2で学習した内容の実際について実習する。口腔内観察では学校歯科健康診断とWHO方式およびDMFを習得する。齲蝕活動試験を行い、齲蝕リスクを判定する。歯周疾患にかかる検査として、歯肉炎、歯周炎の疫学的指標であるPMA、CPIを習得する。最後に自身のデータを基に歯科衛生診断を行う。

学生の到達目標

- ①学校歯科健康診断の様式に基づいて口腔内の観察ができる。
- ②齲蝕経験歯にかかる指数を説明できる。
- ③齲蝕活動性試験（DENTCULTシリーズ、グルコースクリアランステストおよびRDテスト）を説明できる。
- ④歯口清掃度の指数について説明できる。
- ⑤ブラッシング方法を実践できる。
- ⑥歯周疾患の指数のうちPMAとCPIについて説明できる。
- ⑦口腔乾燥の検査法について説明できる。
- ⑧口腔の検査結果に基づいて歯科保健指導ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔健康増進学実習書		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	50%
事後レポート	50%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】・秋房住郎（本館6階教授室）：月～金7:00～16:30

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔診査法（学校歯科健診）、DMF（1） 学校保健安全法で定められた歯科健康診断用の様式を用いて口腔内の診査内容を記述し、DMFを算出する。	実習	秋房 住郎	学校歯科健診 レポート提出	相互実習室

口腔健康増進学実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	口腔診査法（学校歯科健診）、DMF（2） 学校保健安全法で定められた歯科健康診断用の様式を用いて口腔内の診査内容を記述し、DMFを算出する。	実習	秋房 住郎	学校歯科検診 レポート提出	相互実習室
3	口腔清掃法、フッ素配合歯磨剤の使用法 スクラビング法、バス法、フオーンズ法、スティルマン法、スティルマン改良法、チャーターズ法について術者磨きできるようになる。また、フッ化物配合歯磨剤の使用法を実習する。	実習	秋房 住郎	各歯磨き方法 レポート提出	相互実習室
4	齲蝕活動性試験 RDテスト、グルコースクリアランステストを行いその実施方法を理解し、得られた結果の意味を考察する。	実習	秋房 住郎	う蝕活動試験 レポート提出	相互実習室
5	歯口清掃度の指数、歯肉炎、歯周疾患の指数（1） OHI (Oral Hygiene Index) を相互に記録して、歯口清掃の指数についての理解を深める。また、歯肉炎の指標であるPMA、歯周疾患の疫学的指標であるCPIを用いて相互の口腔内を記述する。	実習	秋房 住郎	OHIの特徴 PMA、CPIの特徴 レポート提出	相互実習室
6	歯口清掃度の指数、歯肉炎、歯周疾患の指数（2） OHI (Oral Hygiene Index) を相互に記録して、歯口清掃の指数についての理解を深める。また、歯肉炎の指標であるPMA、歯周疾患の疫学的指標であるCPIを用いて相互の口腔内を記述する。	実習	秋房 住郎	OHIの特徴 PMA、CPIの特徴 レポート提出	相互実習室
7	口臭、口腔乾燥の評価 口臭の官能試験を実習する。口腔乾燥の簡易測定法や、口腔水分計ムーカスを用いて相互の口腔内の乾燥状態を評価する。	実習	秋房 住郎	官能試験、口臭の診断基準、口腔乾燥症の診断基準 レポート提出	相互実習室

口腔健康増進学実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	自分の口腔内の総合評価 これまでの実習を通じて自分の口腔内を総合的に評価して歯科衛生診断を行う。	実習	秋房 住郎	歯科衛生診断 レポート提出	相互実習室

社会福祉概論

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

社会福祉の歴史とその過程で醸成された概念群を理解し、国際的動向を踏まえつつ、生活者のニーズと人間性を支援するための社会的資源と制度について学ぶ。ライフステージごとの生活課題やリスクの現状を理解し、我が国における当該福祉の措置のための法律群の概要を理解するとともに、現状の課題とこれを解消するための事業・施策の実際を学ぶ。また、最近の人権・同和問題については、福岡県講師団が当該問題に関する事例を紹介しながら概説する。

学生の到達目標

- ① 社会保障制度と実際について概説できる。
- ② 社会保険制度と行政について概説できる。
- ③ 医療保険制度について概説できる。
- ④ 年金制度について概説できる。
- ⑤ 雇用保険及び労働者災害補償保険制度について概説できる。
- ⑥ 介護保険制度について概説できる。
- ⑦ 社会福祉の歴史と国際的な動向について概説できる。
- ⑧ 社会福祉の制度と行政について概説できる。
- ⑨ 公的扶助について概説できる。
- ⑩ 児童と家庭の福祉制度について説明できる。
- ⑪ 障害者の福祉制度について説明できる。
- ⑫ 老人の福祉制度について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Moodleで資料を配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
シリーズ・基礎からの社会福祉 1 社会福祉概論		ミネルヴァ書房
最新歯科衛生士教本／歯科衛生士と法律		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
事後レポート	30%

その他

オフィスアワー（学習相談） ・ 秋房住郎（本館 6 階教授室）：月～金7:00～9:00・16:30～17:30

社会福祉概論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	社会保障の定義と制度 近代ヨーロッパで確立した社会保障の成り立ちと日本における社会保障の概念について理解する。また、所得再分配機能の理論と実際について学ぶ。	講義	秋房 住郎	社会保障、所得再分配	6 1 3 講義室 Moodle
2	現代社会における社会福祉のニーズ ニーズの定義、マズローの階層説、フォーダーの6分類、社会生活の基本的欲求を概説し、社会福祉的課題となるニーズの条件について考える。	講義	秋房 住郎	ニーズの定義、マズローの階層説、フォーダーの6分類	6 1 3 講義室 Moodle
3	社会福祉の概念 ノーマライゼーションに関する理論と実際について理解する。また、公的、公共的、私的の3領域からみた福祉施策のあり方について考える。	講義	秋房 住郎	ノーマライゼーション	6 1 3 講義室 Moodle
4	社会福祉の歴史 日本における福祉の歴史を繙くとともにイギリスで生まれたセツルメント活動とチャリティー活動の違いについて歴史的背景から考察する。また、アメリカに代表されるソーシャルワーク技法と、北欧モデルに見られる福祉国家の歴史的背景を理解する。	講義	秋房 住郎	セツルメント活動、チャリティー活動	6 1 3 講義室 Moodle
5	社会福祉行政と関連法規 社会福祉六法（児童福祉法、身体障害者福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、知的障害者福祉法、生活保護法）を概説する。公的扶助 公的扶助の意義と生活保護制度の概要を理解する。また自立支援にかかる施策の実際について説明する。	講義	秋房 住郎	社会福祉六法、公的扶助	6 1 3 講義室 Moodle

社会福祉概論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	社会福祉の実際 児童福祉、及び母子・寡婦福祉、高齢者、及び障害者に関連する法律群について概説した後、地域における当該施策の実例を収集・解析し発表する。	講義	秋房 住郎	社会福祉六法、webを検索するなどして社会福祉の現状を調べて発表の準備を行う	6 1 3 講義室 Moodle
7	社会保障の制度と実際 社会保障制度に関する法体系と内容について概説する。医療保険制度の実際 医療保険制度に関する法体系と内容について概説する。雇用保険と労働者災害補償保険制度 労働者の福祉にかかる雇用保険と労働災害補償保険の制度の概要について理解する。	講義	秋房 住郎	雇用保険、労働者災害補償保険	6 1 3 講義室 Moodle
8	年金制度 年金制度に関する法体系と内容について概説する。 高齢者福祉と介護保険制度 介護保険法の概要と地域包括ケアにおける歯科衛生士の役割について理解する。	講義	秋房 住郎	年金制度 介護保険、地域包括ケアシステム	6 1 3 講義室 Moodle

薬理学・口腔薬理学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	東 泉						
担当教員	東 泉						

授業の概要

薬理学では、薬と生体のかかわりについての基本的知識を習得するとともに薬物治療の重要性を理解する。総論では薬理学の基本的な用語、薬の生体内運命、薬の作用の仕方、薬の効き方に影響する因子、薬の有害作用について学習する。また、医薬品の分類や正しい保管や取り扱いについても学ぶ。各論では、よく使用される薬を中心に薬理作用や副作用等を学び、薬物療法の基本的知識を得る。

学生の到達目標

- ①薬物療法の種類と薬理作用の基本様式について説明できる。
- ②薬物の作用機序を説明できる。
- ③薬物の適用方法の種類と特徴について説明できる。
- ④薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について説明できる。
- ⑤薬理作用を規定する要因を説明できる。
- ⑥薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）について説明できる。
- ⑦薬物の連用の影響（蓄積、耐性、薬物依存）について説明できる。
- ⑧薬物の一般的な副作用、有害作用、特に口唇・口腔・顎顔面領域に出現する副作用について説明できる。
- ⑨医薬品の分類について説明でき、劇薬、毒薬、麻薬等の表示と保管を説明できる。
- ⑩日本薬局方を説明できる。
- ⑪薬物の配合変化や保存方法が説明できる。
- ⑫代表的な中枢神経作用薬の作用機序、薬理作用、適応について概説できる。
- ⑬代表的な末梢神経作用薬の作用機序、薬理作用、適応について説明できる。
- ⑭代表的な局所麻酔薬の種類、作用機序、副作用、血管収縮薬を配合する意義について説明できる。
- ⑮代表的な循環器系作用薬について作用機序、薬理作用、適応について概説できる。
- ⑯代表的な呼吸器系作用薬について作用機序、薬理作用、適応について概説できる。
- ⑰代表的な止血薬、抗血栓薬の種類、薬理作用、特徴について説明できる。
- ⑱代表的な抗炎症薬の作用機序、薬理作用、副作用について説明できる。
- ⑲代表的な抗感染症薬の作用機序、薬理作用、副作用について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
現代歯科薬理学 第7版	鈴木 邦明 監修	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	85%
小テスト	15%

薬理学・口腔薬理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	東 泉						
担当教員	東 泉						

その他

- 【オフィスアワー（学習相談）】講義の後、質問時間を設ける。メールでも受け付ける。
【公欠相当の事由による遠隔対応】講義内容によって異なる。前日までに相談のこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	薬理学総論 目標) 医薬品とはなにかを理解する。薬物療法の種類、薬理作用の基本様式、薬物の作用機序を理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】医薬品、医薬部外品、薬物療法、薬物受容体	6 1 5 講義室
2	薬理学総論 目標) 薬物の適用方法の種類と特徴、薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】初回通過効果、バイオアベイラビリティ、AUC、生物学的半減期、CYP テキストの該当箇所(範囲は初回に配布)の予習	6 1 5 講義室
3	薬理学総論 目標) 薬理作用を規定する因子である薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)、連用(蓄積、耐性、薬物依存)について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】蓄積、耐性、依存 テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
4	薬理学総論 目標) ライフステージ、遺伝的素因など生体側要因の薬理作用への影響について理解する。薬物の一般的な副作用、有害作用、特に口唇・口腔・顎顔面領域に出現する副作用について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】医薬品相互作用、唾液の分泌、歯肉増殖 テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
5	薬理学総論 目標) 劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬、処方箋、薬物の配合変化と適切な保存方法について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】麻薬、向精神薬 テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室

薬理学・口腔薬理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	東 泉						
担当教員	東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	薬理学総論 目標) 自律神経系作用薬(アドレナリン作動薬、抗アドレナリン薬)の薬理作用、作用機序、副作用について理解する。	講義 資料・小テスト(Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】自律神経、アドレナリン、ノルアドレナリン、アドレナリン受容体テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
7	薬理学各論 目標) 自律神経系作用薬(コリン作動薬、抗コリン薬)、筋弛緩薬の薬理作用、作用機序、副作用について理解する。	講義 資料・小テスト(Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】自律神経、アセチルコリン、アセチルコリン受容体テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
8	薬理学各論 目標) 局所麻酔薬の薬理作用、作用機序、副作用、血管収縮薬の配合意義について理解する。	講義 資料・小テスト(Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】末梢神経系の復習、神経伝導、神経伝達、Naチャンネルテキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
9	薬理学各論 目標) 主な循環器系作用薬の薬理作用、作用機序、副作用について理解する。	講義 資料・小テスト(Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】自律神経系の復習 テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
10	薬理学各論 目標) 抗炎症薬(ステロイド系、非ステロイド系)、抗ヒスタミン薬の作用機序、薬理作用、副作用について理解する。	講義 資料・小テスト(Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】炎症、ケミカルメディエーターテキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
11	薬理学各論 目標) 主な呼吸器系作用薬および血液系作用薬(止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬)について理解する。	講義 資料・小テスト(Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】気管支喘息、虚血性疾患、貧血、血液凝固系・線溶系の因子テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室

薬理学・口腔薬理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	東 泉						
担当教員	東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	薬理学各論 目標) 主な中枢神経作用薬 (全身麻酔薬、向精神薬、抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬) の特徴と口腔領域に出現する副作用について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】 統合失調症、てんかん、パーキンソン病 テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
13	薬理学各論 目標) 抗感染症薬の分類と作用機序、副作用について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】 細菌、真菌、ウイルス テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
14	薬理学各論 目標) 消毒薬の分類や有効範囲について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】 消毒薬の分類 テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室
15	薬理学各論と総括 目標) 代謝性疾患治療薬について理解する。様々な痛みの治療薬について理解する。	講義 資料・小テスト (Moodleに掲載)	東 泉	【事前学修】 テキストの該当箇所の予習	6 1 5 講義室

疾病とその病態

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

授業の概要

病理学は医療系の学生が疾患の概念を最初に学ぶ学問で、基礎医学の分野に属するが臨床医学に最も密接した内容を取り扱い、病気の原因、発生機序、経過および転帰など、病気の本体について学修する。この講義では病理学総論と口腔病理学を中心に講義するが、病理学総論においては可能な限り関連する臓器各論についても解説する。また、労働生理の内容（環境条件による人体の機能の変化、疲労及びその予防）は1回目の講義で解説する。

学生の到達目標

- ① 病因論：内因と外因を説明できる。
- ② 遺伝性疾患と先天異常：染色体異常と先天異常を説明できる。
- ③ 循環障害：全身の循環障害と局所の循環障害（循環血液量の障害、閉塞性の障害）を説明できる。
- ④ 細胞・組織の障害：変性、萎縮、壊死（ネクローシス）、アポトーシスを説明できる。
- ⑤ 増殖と修復：肥大と増生（過形成）、化生、再生、創傷の治癒と異物の処理、肉芽組織と器質化を説明できる。
- ⑥ 炎症：炎症の概念と徴候、炎症の原因、炎症の機序と病態、炎症の分類（急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性炎）を説明できる。
- ⑦ 免疫異常と移植：アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症候群、移植免疫を説明できる。
- ⑧ 腫瘍：腫瘍の概念と疫学、腫瘍の原因と発生・進展の機序、腫瘍の組織学的特徴、腫瘍の分類（上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍、良性腫瘍と悪性腫瘍、前癌病変）を説明できる。
- ⑨ 歯の発育異常：大きさの異常、形の異常、数の異常、構造の異常、色の異常、萌出の異常を説明できる。
- ⑩ う蝕：エナメル質う蝕、象牙質う蝕、セメント質う蝕を説明できる。
- ⑪ 象牙質、セメント質の増生：第二象牙質（生理的象牙質、病的象牙質（第三象牙質））、象牙粒、セメント質増生とセメント粒を説明できる。
- ⑫ 歯髄の病変：歯髄充血、歯髄の変性、歯髄壊死、歯髄炎の分類と特徴（急性漿液性歯髄炎、急性化膿性歯髄炎、慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎、上行性歯髄炎）、歯髄壊疽を説明できる。
- ⑬ 根尖部歯周組織の病変：根尖性歯周炎の分類と特徴（急性根尖性歯周炎、慢性根尖性歯周炎）を説明できる。
- ⑭ 歯周組織の病変：歯周病の分類と特徴（歯肉病変、歯周炎、壊死性歯周疾患、歯周組織の膿瘍、歯周-歯肉病変、歯肉退縮、咬合性外傷）を説明できる。
- ⑮ 口腔創傷の治癒：口腔粘膜傷の治癒、拔牙創の治癒を説明できる。
- ⑯ 歯・口腔の嚢胞と腫瘍：歯源性嚢胞（歯根嚢胞、含歯性嚢胞）、非歯源性嚢胞（粘液嚢胞、術後性上顎嚢胞）、歯源性腫瘍（エナメル上皮腫、歯牙腫）、非歯源性腫瘍、唾液腺腫瘍（多形腺腫）を説明できる。
- ⑰ 労働生理：環境条件による人体の機能の変化、疲労及びその予防について説明できる（第1種衛生管理者資格指定科目 労働生理「環境条件による人体の機能の変化」および「疲労及びその予防」を含む）。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ちおよび回復過程の促進1 病理学・口腔病学		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
病理学総論にもとづく口腔病理学第3版		永末書店
要説 病理学総論		医学情報社

疾病とその病態

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
確認レポート	10%

その他

事前学習はキーワードについて、教科書を一読しておくこと。

【オフィスアワー（学修相談）】 月～金：メールで随時問合せ可

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	病理学序論と病因論 疾患の多様性と共通性、疾病の経過と転帰、内因と外因について学習する。労働生理環境条件における人体の機能変化と疲労及びその予防について学習する。	講義 資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】内因、外因、職業性疾患	6 1 5 講義室
2	歯の発育異常 歯の発育異常の種類、大きさ・歯数・構造(形成不全)・萌出時期・位置・咬合の異常を学習する。歯の損傷と付着物 歯の損傷の種類、咬耗症と摩耗症、歯の着色や変色の原因、プラークの病原性について学習する。	講義 資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】歯の形態異常、磨耗・咬耗、歯の着色、プラーク、歯石	6 1 5 講義室
3	遺伝性疾患と奇形・口腔領域の奇形 遺伝子の働き、先天異常、奇形の成因、口腔領域の奇形の特に唇顎口蓋裂の成因・病態について学習する。	講義 資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】染色体異常、単一遺伝子異常、口唇口蓋裂	6 1 5 講義室
4	う蝕 う蝕の疫学・発生にかかわる要因・分類・組織学的変化について学習する。	講義 資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】う蝕の成因、エナメル質う蝕、象牙質う蝕	6 1 5 講義室

疾病とその病態

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	炎症と免疫応答異常 炎症とは、炎症の臨床症状・原因と機序・継時的変化・分類と各炎症の特徴、免疫応答、液性免疫と細胞性免疫の特徴、アレルギー・自己免疫疾患・免疫不全症について学習する。	講義資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】炎症の経過と分類、感染経路、細胞性免疫・液性免疫、アレルギー	6 1 5 講義室
6	象牙質・歯髄複合体の病態 歯髄炎の臨床病態・原因・分類・病理組織像・退行性変化、象牙質の増生、象牙質知覚過敏症について学習する。	講義資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】歯髄炎の原因、分類、経過	6 1 5 講義室
7	代謝障害と退行性病変 細胞障害による変化、変性の種類、代謝障害の種類、壊死と壊疽、壊死とアポトーシスの違いについて学習する。	講義資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】糖尿病、脂質異常症、黄疸、壊死、アポトーシス	6 1 5 講義室
8	歯周組織の病態 根尖性歯周炎の病因と分類、歯根肉芽腫と歯根嚢胞の病理組織像の違い、歯性上顎洞炎の病因、歯周炎の病因・分類、歯肉炎の病因・分類、歯肉炎と歯周炎の相違点、歯肉増殖症、咬合性外傷について学習する。	講義資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】辺縁性歯周炎、根尖性歯周炎	6 1 5 講義室
9	増殖と修復 進行性病変の種類と意義、創傷治癒や再生、進行性病変において重要な肉芽組織の構成と機能、口腔粘膜の損傷・治癒について学習する。	講義資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】肥大、過形成、化生、再生	6 1 5 講義室
10	口腔粘膜の病変 口腔粘膜の病変・真菌感染症・ウイルス感染症の種類とその特徴、白色病変の種類と病態、舌に見られる代表的な病変と原因、全身性疾患の徴候として見られる口腔粘膜病変について学習する。	講義資料及び確認レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】口腔粘膜の特徴、ウイルス性疾患、カンジダ症、口腔扁平苔癬	6 1 5 講義室

疾病とその病態

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	腫瘍腫瘍の定義・原因と発生機序、がん遺伝子とがん抑制遺伝子、腫瘍の組織学的特徴(上皮・非上皮性腫瘍)、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、前がん病変について学習する。	講義 資料及び確認 レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】腫瘍とは、腫瘍の原因、腫瘍の組織像	6 1 5 講義室
12	口腔の領域の嚢胞と腫瘍 嚢胞の定義と構造、歯原性嚢胞と非歯原性嚢胞、歯原性腫瘍の定義と分類・代表的な組織像、非歯原性腫瘍、口腔領域の悪性腫瘍(癌腫・肉腫)について学習する。 口腔癌 口腔潜在的悪性疾患、白板症・紅板症、上皮性異形成、上皮内癌、扁平上皮癌について学習する。	講義 資料及び確認 レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】歯根嚢胞、エナメル上皮腫、口腔潜在的悪性疾患、扁平上皮癌	6 1 5 講義室
13	循環障害 体液の循環、虚血・うっ血・充血、浮腫、ショック、梗塞について学習する。	講義 資料及び確認 レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】虚血・充血・うっ血、浮腫、出血・止血、血栓症・梗塞	6 1 5 講義室
14	唾液腺の病変 唾液腺に発生する病変、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石症、粘液嚢胞、唾液腺腫瘍の病態・症状について学習する。	講義 資料及び確認 レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】唾石症、粘液嚢胞、シェーグレン症候群、唾液腺腫瘍	6 1 5 講義室
15	顎骨の病変 化膿性骨髄炎、慢性硬化性骨髄炎、顎放線菌症、放射線骨壊死、ビスフォスフォネート関連顎骨壊死、線維性骨異形成症、顎関節の病変について学習する。口腔組織の加齢変化 口腔組織・歯・歯髄・歯周組織・顎骨・歯槽骨・唾液腺に生じる加齢変化、加齢変化と高齢者の口腔内にみられる所見の関連性について学習する。	講義 資料及び確認 レポート (Moodle)	矢田 直美	【事前学修課題】骨髄炎、外傷、顎関節症、硬組織の加齢変化、軟組織の加齢変化	6 1 5 講義室

微生物学・感染症学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太						

授業の概要

将来、全身を理解したうえで歯科医療人として活動していくために必要不可欠な感染症の知識として、病原微生物の特徴とそれに対する生体の抵抗力（免疫システム）を中心に教える。また歯学に関連深い内容として、口腔内に常在する微生物のプラーク形成およびう蝕や歯周炎をはじめとする口腔感染症の病態形成との関連について解説する。

学生の到達目標

- ① 微生物の形態学的特徴と生理学的性状を説明できる。
- ② 微生物の病原性、宿主の抵抗性、感染と発症、感染経路、感染の種類を説明できる。
- ③ 免疫の種類、免疫機構、抗原抗体反応、アレルギーについて説明できる。
- ④ 化学療法の目的、原理および作用機序を説明できる。
- ⑤ 滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。
- ⑥ 主要な病原細菌、病原真菌、病原原虫、病原ウイルスについて説明できる。
- ⑦ 口腔環境と口腔常在微生物を説明できる。
- ⑧ 歯のバイオフィルムの形成過程とその意義を説明できる。
- ⑨ う蝕や歯周病の原因細菌について説明できる。
- ⑩ 口腔領域の感染症について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士協議会 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔微生物学・免疫学 第5版	川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊 編集	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	85%
小テスト	15%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで随時受け付ける。

【公欠相当の事由による遠隔対応】可：Microsoft Teamsで配信可（事由発生時に担当教員へ事前連絡すること）

微生物学・感染症学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	感染症学・免疫学総論：感染症学・免疫学の学問体系について理解する。 感染と発症：感染の成り立ちと発病、宿主-寄生体相互作用について理解する。	講義 小テスト	有吉 渉	【事前学修】教科書 P. 2-12, P. 192-196 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
2	微生物学総論：微生物の特徴および常在微生物叢について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 13-39 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
3	免疫学各論1：免疫担当細胞と自然免疫について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 162-170 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
4	免疫学各論2：獲得免疫について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 171-174 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
5	免疫学各論3：粘膜免疫、免疫疾患について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 178-191 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
6	免疫学各論4：ワクチンについて理解する。 化学療法薬：化学療法薬の作用機序について理解する。	講義 小テスト	山崎 亮太	【事前学修】教科書 P. 175-178, P. 40-50 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
7	滅菌と消毒：滅菌法と消毒法、標準予防策について理解する。	講義 小テスト	山崎 亮太	【事前学修】教科書 P. 51-61 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
8	細菌学各論1：グラム陽性細菌感染症について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 108-120 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle

微生物学・感染症学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	細菌学各論2：グラム陰性細菌感染症について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 120-130 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
10	真菌学各論：真菌感染症について理解する。 原虫学各論：原虫感染症について理解する。 ウイルス学各論1：DNAウイルス感染症について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 155-160, P. 131-138 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
11	ウイルス学各論2：RNAウイルス感染症について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 138-153 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
12	口腔細菌の特徴1：口腔常在細菌とその特徴について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 64-74 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
13	口腔細菌の特徴2：プラークの成熟過程とその特徴について理解する。 う蝕の細菌学：う蝕の発症過程と関連細菌について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 75-90 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
14	歯周病の細菌学：歯周炎の発症過程と関連細菌について理解する。	講義 小テスト	吉岡 香絵	【事前学修】教科書 P. 91-100 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle
15	口腔感染症各論：口腔細菌が関連する感染症について理解する。	講義 小テスト	有吉 渉	【事前学修】教科書 P. 101-105 【事後学修】小テスト出題項目	6 1 5 講義室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将						

授業の概要

歯科医学・医療のコアである保存修復治療学、歯内治療学について教授する。各治療の基本手技、使用器具や材料特性の基本理論、各治療に共通する審美、診査・診断、基礎歯学との関連について教授する。講義を通して学生は歯の治療について統合した知識を享受する。

学生の到達目標

- ① 保存修復治療、歯内治療の対象疾患を説明できる。
- ② 保存修復治療、歯内治療における診査・診断法を説明できる。
- ③ 保存修復治療、歯内治療に必要な器機・器具および薬剤を説明できる。
- ④ 各種保存修復治療法を説明できる。
- ⑤ 各種歯内治療法を説明できる。
- ⑥ 保存修復治療、歯内治療における安全対策を説明できる。
- ⑦ 保存修復治療、歯内治療における予防・早期治療・メンテナンスを説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法	松井恭平 他編	医歯薬出版
歯科衛生士講座 保存修復学・歯内療法学	古澤成博 他編	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
保存修復学 第7版	千田彰 他 編	医歯薬出版
歯内治療学 第5版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス 第6版	興地隆史 他編	永末書店
マイクロエンドをはじめよう 超入門テキスト	北村知昭 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】
相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
代表：北村知昭

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷲尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	「保存修復治療学, 歯内治療学」 総論 保存修復治療学、及び歯内治療学 で学習する内容を俯瞰し、これか ら受講する各講義・実習の基盤を 学習する。	テキストに沿 ったスライド での講義	北村 知昭	【事前学修課題】保 存修復治療、歯内治 療の概論を教科書で 予習。 【事後学修課題】各 自のノート・教科 書で講義内容を復習 。	6 1 5 講義 室 Moodle
2	修復治療 (1) う蝕概論と窩洞形 成/切削器具・器機保存修復治療 の全体像と各種修復法の違い、窩 洞形成方法と形態、切削機器を学 習する。	テキストに沿 ったスライド での講義	折本 愛	【事前学修課題】保 存修復治療、歯内治 療の概論を教科書で 予習。 【事後学修課題】各 自のノート・教科 書で講義内容を復習 。	6 1 5 講義 室 Moodle
3	修復治療 (2) 前準備/う蝕除去 法 保存修復治療を行う際に歯科衛生 士が実施する前準備を学習する。 また、新しいう蝕除去法を学習す る。	テキストに沿 ったスライド での講義	相原 良亮	【事前学修課題】保 存修復治療、歯内治 療の概論を教科書で 予習。 【事後学修課題】各 自のノート・教科 書で講義内容を復習 。	6 1 5 講義 室 Moodle
4	修復治療 (3) コンポジットレ ジン修復/セメント修復/その他の 成形修復 成形修復材であるコンポジットレ ジン、セメント、その他の材料に よる各修復法について、種類、性 質、接着操作方法、適応症等を学 習する。	テキストに沿 ったスライド での講義	折本 愛	【事前学修課題】保 存修復治療、歯内治 療の概論を教科書で 予習。 【事後学修課題】各 自のノート・教科 書で講義内容を復習 。	6 1 5 講義 室 Moodle
5	修復治療 (4) インレー修復 (メ タル・セラミックス・レジン) インレー修復法について、成形修 復との違い、使用材料の性質、窩 洞形成、技工操作、適応症等を学 習する。	テキストに沿 ったスライド での講義	折本 愛	【事前学修課題】保 存修復治療、歯内治 療の概論を教科書で 予習。 【事後学修課題】各 自のノート・教科 書で講義内容を復習 。	6 1 5 講義 室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	歯内治療（1）歯内治療概論／歯髄保存・保護法／断髄法 歯髄・根尖歯周組織の治療法である歯内治療の全体像を学習する。また、歯髄を保存する意義、その治療法、治療に用いられる材料、及び適応症等を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	鷺尾 絢子	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle
7	歯内治療（2）抜髄法・感染根管処置法 歯髄除去（抜髄）、根尖性歯周炎に対する治療（感染根管処置法）の違い、治療の各ステップ等を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	鷺尾 絢子	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle
8	歯内治療（3）歯内治療に用いられる薬剤と器具 各種歯内治療で用いられる各種材料・薬剤等を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	相原 良亮	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle
9	歯内治療（4）根管充填法と支台築造 抜髄・感染根管処置後に行われる根管充填法と支台築造について学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	村田 一将	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle
10	歯内治療（5）外科的歯内治療／外傷歯の治療 急性症状症例や通常の歯内治療で改善しない病態に対する外科的歯内治療法を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	村田 一将	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷲尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	総合(1) 審美治療概論 保存修復治療、歯内治療で学習した知識を元に、審美修復治療、歯の漂白法を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	北村 知昭	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle
12	総合(2) 歯の治療における偶発症/高齢者での注意点歯の治療時に注意すべき合併症・偶発症に関する知識、および高齢者における歯の治療の注意点を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	村田 一将	”【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle
13	総合(3) 微生物の関与と予防・メンテナンス 歯の疾患発症と微生物の関係、疾患発症の予防法、検査法、早期治療、メンテナンス法を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	相原 良亮	”【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle
14	歯・歯髄・根尖歯周組織疾患の診査・診断/歯の特徴歯の治療法を選択する上で最も重要な、硬組織疾患・歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の診断を学習する。また、臨床的に重要な歯の構造等の特徴を学習する。	テキストに沿ったスライドでの講義	折本 愛	”【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	「保存修復治療学，歯内治療学」 まとめ 本講義で学習した内容をまとめとして俯瞰し，これまでに受講した保存修復治療、歯内治療に関する知識を統合する。	テキストに沿ったスライドでの講義	鷺尾 絢子	”【事前学修課題】 保存修復治療、歯内治療の概論を教科書で予習。 【事後学修課題】各自のノート・教科書で講義内容を復習。	615講義室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学II(歯周病)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)久保田 浩三						

授業の概要

歯科保存学は、歯の硬組織および歯髄組織や歯周組織の疾病や異常に対して、治療を行うと共に疾病の進行抑制をはかり、また疾病が起こるのを予防する臨床の学問である。歯科保存学の3分野の1つである歯周治療学では、歯周病の分類や原因、治療法について学ぶ。歯周組織の病気である歯周病は、デンタルカリエスとともに歯を喪失する原因として重要視されている。この疾患の予防と治療に関して包括的に学び、歯を保存し維持していくことを教授する。また、歯を保存することによる全身の健康維持に関与することを教授する。

学生の到達目標

- ①歯周病と歯周治療の概要を説明できる。
- ②歯周病の分類とその症状について説明できる。
- ③歯周病の原因・発症を説明できる。
- ④歯周病検査法を理解し、歯周治療に使用する器具名、薬品名の使用法を理解し説明できる。
- ⑤スケーリング・ルートプレーニングについて理解し、スケーラーの構造、特性、操作法について説明できる。
- ⑥歯周外科について理解し、そのアシスタント法に関し理解し説明できる。
- ⑦歯周治療のメンテナンスの重要性を理解するとともに歯科衛生士としての役割を理解し、説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯周病学	申基喆 他編	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
ザ・ペリオドントロジー (第3版)	沼部幸博 他編	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
確認テスト	20%
講義後レポート課題	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールにより随時質問を受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯周病に罹患した歯周組織について、歯周組織の正常像と罹患組織について比較し、学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	歯周組織	615 講義室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学II(歯周病)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)久保田 浩三						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	歯周病の分類・症状過去の歯周病の分類と現在の歯周病学会分類について説明しその症状について学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	歯周病の分類	6 1 5 講義室 Moodle
3	歯周病の病因・病態歯周病の発症について概説すると共に病態を学ぶ。歯周病と全身疾患歯周病と関連性があると言われていた全身疾患との関連性、治療時の注意事項、管理法等について学ぶ。	講義スライド 資料配布 後レポート課題	邵 仁浩	歯周疾患の病因、ペリオドンタル・メディシン	6 1 5 講義室 Moodle
4	歯周疾患の診査の意義と方法歯周疾患の診査の意義と方法について説明し、歯周治療の進め方を学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	歯周疾患の診査方法	6 1 5 講義室 Moodle
5	歯周基本治療1 原因除去療法としての歯周基本治療の意義と必要性と効果特にプラークコントロール、スケーリングとルートプレーニングについて学ぶ。確認テスト	講義 スライド資料 配布 確認テスト	邵 仁浩	歯周基本治療、第1回から第4回までの復習	6 1 5 講義室 Moodle
6	歯周基本治療2 デブライドメントの効果について学ぶ。	講義スライド 資料配布	邵 仁浩	歯周基本治療、デブライドメント	6 1 5 講義室 Moodle
7	歯周外科療法歯周治療における歯周外科の位置付け、歯周外科の種類について学ぶ。各歯周外科の目的、術式、方法、および適応症等について学ぶ。	講義 スライド資料 配布	(非)久保田 浩三	歯周外科の種類	6 1 5 講義室 Moodle
8	歯周外科の器具とアシスタント法歯周外科に使用される外科器具について、使用法、使用目的また、歯周外科時のアシスタント法について学ぶ。	講義 スライド資料 配布	(非)久保田 浩三	歯周外科のアシスタント法	6 1 5 講義室 Moodle
9	メンテナンスとは歯周治療で基本治療と共に必ず行う必要がある治療過程でその治療法、間隔とアセスメントについて学ぶ。	講義 スライド資料 配布 確認テスト	邵 仁浩	メンテナンス、第6回から第8回までの復習	6 1 5 講義室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学III(歯科補綴)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博						

授業の概要

咀嚼障害・咬合異常に対する補綴歯科治療を理解するために、顎口腔機能についての形態的、機能的基礎知識、補綴装置（クラウン・ブリッジ、パーシャルデンチャー、コンプリートデンチャー、インプラント補綴、アタッチメントなどの特殊義歯、顎顔面補綴など）の基本的構造と使用材料、口腔機能障害に応じた補綴装置の選択とその製作方法と製作に必要な器具と材料、補綴歯科における歯科衛生士の役割（アシスタント業務、患者教育、補綴装置の口腔衛生管理など）について学修する。

学生の到達目標

- ①咀嚼障害・咬合異常に対する補綴治療に関する基礎的事項を説明できる。
- ②補綴治療の種類を説明できる。
- ③クラウンの種類を説明できる。
- ④ブリッジの種類を説明できる。
- ⑤床義歯の構成要素を説明できる。
- ⑥補綴治療の流れを説明できる。
- ⑦補綴治療における歯科衛生士の役割について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助	【編集委員】 松村英雄 大久保力廣 二川浩樹 吉田直美	永松書店

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴	一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	85%
講義後レポート課題	15%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 講義終了後10分間、担当教員へのメール

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅲ(歯科補綴)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	補綴治療の目的・顎口腔系の機能と構造について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】補綴治療とは？顎口腔系の機能と構造とは？教科書P2～25	6 1 5 講義室 Moodle
2	補綴装置の分類について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】補綴装置とは？その種類には何があるか。教科書P26～33	6 1 5 講義室 Moodle
3	クラウン・ブリッジの構造と技工操作（クラウンと支台築造）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】クラウンおよび築造体の種類、目的、製作方法。教科書P34～57	6 1 5 講義室 Moodle
4	クラウン・ブリッジの構造と技工操作（ブリッジ）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】ブリッジの種類、製作方法。教科書P34～57	6 1 5 講義室 Moodle
5	有床義歯の構造と技工操作（全部床義歯）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】全部床義歯とは？教科書P58～77	6 1 5 講義室 Moodle
6	有床義歯の構造と技工操作（部分床義歯）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】部分床義歯とは？教科書P58～77	6 1 5 講義室 Moodle
7	クラウン・ブリッジの治療の臨床ステップ（検査から印象採得まで）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】クラウン・ブリッジ製作の前検査、形成から印象採得まで。教科書P78～101	6 1 5 講義室 Moodle
8	クラウン・ブリッジの治療の臨床ステップ（試適から装着まで）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】クラウン・ブリッジの試適から装着まで。教科書P102～113	6 1 5 講義室 Moodle
9	クラウン・ブリッジの治療の臨床ステップ（インプラント補綴装置）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】インプラント補綴装置。教科書P114～121	6 1 5 講義室 Moodle

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅲ(歯科補綴)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	デジタルデンティストリーによるクラウン・ブリッジの治療の臨床ステップについて学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】デジタルワークフローとは？。教科書P122～133	6 1 5 講義室 Moodle
11	有床義歯の治療の臨床ステップ（検査から印象採得まで）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】有床義歯製作のための前検査、印象採得、模型の製作の留意点。教科書P134～141	6 1 5 講義室 Moodle
12	有床義歯の治療の臨床ステップ（咬合採得から試適まで）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】有床義歯製作における咬合採得、試適の留意点。教科書P142～153	6 1 5 講義室 Moodle
13	有床義歯の治療の臨床ステップ（装着、調整、リライン、リベース、修理）について学ぶ。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】有床義歯製作の装着、調整手順、装着後の対応について。教科書P153～165	6 1 5 講義室 Moodle
14	歯科衛生士過程と補綴治療における患者指導について考える。	講義、レポート	有田 正博	【事前学修課題】歯科衛生士過程とは？患者指導を補綴装置ごとにどのように変えるか？教科書P166～203	6 1 5 講義室 Moodle
15	本授業のまとめプリントを作成し、過去問にトライする。	講義、演習（まとめプリントの作成）	有田 正博	配布プリントをまとめましょう。	6 1 5 講義室 Moodle

歯科放射線学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒						

授業の概要

講義項目は放射線物理学、放射線生物学、写真工学、画像検査法、エックス線解剖学、放射線防護学及び医療法である。その中でも、画像検査法と放射線防護学における歯科衛生士の役割について中心に教授する。適切な画像撮影を行う為に歯科衛生士が知るべき画像検査における知識と実践を教授する。同時に、効果的な防護方法を教授することで、出来るだけ患者さんの被曝量を軽減すること及びその大切さを教授する。

学生の到達目標

- ①放射線の有用性を説明できる。
- ②放射線の定義、性質を説明できる。
- ③デジタル画像を含めたエックス線撮影装置の構造及びエックス線発生装置の構造を説明できる。
- ④デジタル画像を含めたエックス線撮影を行う際に使用する器具及びその役割について説明できる。
- ⑤口内法エックス線撮影とはどのようなものか説明できる。
- ⑥口内法エックス線写真の実際の撮影方法について歯ごとに説明できる。
- ⑦CT、MRI及び超音波検査を含めた口外法エックス線撮影の種類及びその検査目的を説明できる。
- ⑧画像検査後のフィルム処理の過程を説明できる。
- ⑨画像検査前後のフィルムの保管法を説明できる。
- ⑩放射線の生物学的作用とその防護方法について説明できる。
- ⑪悪性腫瘍に対する放射線治療における口腔粘膜炎や口腔内感染症の予防とそれに対する口腔保健管理を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
F-1-2)-0	一般目標：画像検査法の特徴と適応ならびに画像の解釈を理解するとともに、放射線の人体に対する影響と放射線防護の方法を併せて理解する。
F-1-2)-1	到達目標：①放射線の種類と性質を説明できる。
F-1-2)-2	到達目標：②放射線の人体への影響を説明できる。
F-1-2)-3	到達目標：③放射線防護の基準と方法を説明できる。
F-1-2)-4	到達目標：④エックス線画像の形成原理を説明できる。【画像不良の原因を含む。】
F-1-2)-5	到達目標：⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。
F-1-2)-6	到達目標：⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。
F-1-2)-7	到達目標：⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。
F-1-2)-8	到達目標：⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。
F-1-2)-9	到達目標：⑨超音波装置、エックス線CTおよび磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

歯科放射線学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒						

テキスト

タイトル	著者	出版社
新歯科衛生士教本 歯科臨床補助 歯科放射線学		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士講座 歯科放射線学		永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

実習の確認問題はMoodle上で行います。

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて常に相談を受け付ける。分からないことはそのままにせず納得のいく迄質問しに来ること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	概論、歯科医療と放射線 (I) : 放射線 (特にエックス線) とはどのようなものであるかについて理解する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、放射線、エックス線、電離放射線 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
2	歯科医療と放射線 (II) : エックス線の臨床応用について理解する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、画像診断、放射線治療 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
3	エックス線画像の形成 (I) : エックス線の発生原理とその際利用する装置について理解する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、エックス線の発生、エックス線管、陽極、熱電子 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle

歯科放射線学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	エックス線画像の形成 (II) : エックス線写真がどのようにして画像化されるかを理解する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、光電効果、コンプトン散乱、現像、定着 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
5	歯科におけるエックス線検査 (I) : 歯科独特の口内法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、口内法、二等分法、正放線投影、平行法 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
6	歯科におけるエックス線検査 (II) : 歯科独特の口外法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、パノラマエックス線撮影、CT、MRI、超音波検査 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
7	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 (I) : 口内法エックス線撮影についてその検査方法を理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、二等分法、正放線投影、偏心投影 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
8	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 (II) : 口内法エックス線撮影についてその検査方法を理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。	講義	森本 泰宏	【事前学修課題】 : 配布資料、平行法、咬翼法、咬合法 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
9	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 : パノラマエックス線写真撮影についてその検査方法を理解し歯科衛生士としての役割を把握する。	講義	若杉 奈緒	【事前学修課題】 : 配布資料、断層方式パノラマエックス線撮影、口腔内線源方式パノラマエックス線撮影 【事後学修課題】 : 配布資料	6 1 5 講義室 Moodle

歯科放射線学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	写真処理と画像保管の実際：エックス線写真撮影を行った後それを画像化するために必要な処理方法と保管方法を理解する。	講義	若杉 奈緒	【事前学修課題】：配布資料、現像、定着、乾燥、黒化度 【事後学修課題】：配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
11	放射線治療と口腔管理：口腔癌の放射線治療についてその方法、作用機序及び効果的な腫瘍の種類について理解する。	講義	小田 昌史	【事前学修課題】：配布資料、外部照射、内部照射、ライナック、口腔ケア 【事後学修課題】：配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
12	画像診断学：歯科臨床において遭遇する各種疾患の特徴的画像所見を理解する。	講義	小田 昌史	【事前学修課題】：配布資料、カリエス、辺縁性歯周炎、根尖性歯周炎、歯根嚢胞、エナメル上皮腫の画像 【事後学修課題】：配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
13	歯科放射線学総合（I）：歯科衛生士国家試験で歯科放射線学に関連する問題を解説する。	講義	小田 昌史	【事前学修課題】：配布資料、歯科衛生士国家試験問題 【事後学修課題】：配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
14	歯科放射線学総合（II）：歯科衛生士国家試験で歯科放射線学に関連する問題を解説する。	講義	小田 昌史	【事前学修課題】：配布資料、歯科衛生士国家試験問題 【事後学修課題】：配布資料	6 1 5 講義室 Moodle
15	総まとめ：全講義をまとめて質疑応答を行う。	講義	小田 昌史	【事前学修課題】：配布資料、歯科衛生士国家試験問題 【事後学修課題】：配布資料	6 1 5 講義室 Moodle

口腔成長発育系歯科医学I(小児歯科)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	西田 郁子						
担当教員	西田 郁子, 森川 和政, 藤田 優子, 佐伯 桂						

授業の概要

小児は成長発育過程にあるため、その身体的および精神的発育の特徴について理解し、小児の歯科治療を安全に行えるよう、その対応法について学修する。また、小児期の主な疾患異常（齲蝕、歯周疾患、感染性疾患、軟組織疾患、歯列不正）とその治療の特徴および予防法について学修する。

学生の到達目標

- ①小児の身体的および精神的発育の特徴について説明できる。
- ②歯の発育およびその異常について説明できる。
- ③小児の歯列および咬合の発育について説明できる。
- ④乳歯および幼若永久歯の特徴について説明できる。
- ⑤小児期の主な疾患異常について説明できる。
- ⑥小児期の歯科治療について説明できる。
- ⑦小児の口腔管理について説明できる。
- ⑧小児への対応法について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
新・歯科衛生士教育マニュアル 小児歯科学		クインテッセンス出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
新小児歯科学		クインテッセンス出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 随時受け付け可能（原則、日程予約をメールにて行う）。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	発育概論小児の精神的および運動機能の発達小児歯科の特徴と意義・目的を学習する。発達の原則を学習し、各発育段階における特徴（身体的、精神的、運動機能、言語、情動の発達）について学習する。	講義（教科書・スライド）	西田 郁子	スキヤモンの臓器別発育曲線、小児の発育状態の評価方法、言語・情動・運動機能・摂食嚥下機能の発達	615講義室 Moodle

口腔成長発育系歯科医学I(小児歯科)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	西田 郁子						
担当教員	西田 郁子, 森川 和政, 藤田 優子, 佐伯 桂						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	小児の生理的特徴顎顔面と頭蓋の成長発育小児のバイタルサインとその特徴を学習する。脳頭蓋、顔面頭蓋の発育の特徴およびその発育様式を学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	小児のバイタルサイン、脳頭蓋と顔面頭蓋の発育、上下額の発育・成長様式	6 1 5 講義室 Moodle
3	歯の発育および異常歯の発育段階と形成異常について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	歯の発育の概要、歯の形成異常	6 1 5 講義室 Moodle
4	歯列および咬合の発育歯列および咬合の発育段階とその特徴について学習する。	講義(教科書・スライド)	佐伯 桂	ヘルマンの咬合発育段階、各発育段階の特徴(顎間空隙、霊長空隙、ターミナルプレーン、みにくいあひるの子の時代、リーウェイスぺース)	6 1 5 講義室 Moodle
5	乳歯および幼若永久歯の特徴乳歯および幼若永久歯の形態的特徴、組織学的・物理化学的特徴を学習する。	講義(教科書・スライド)	藤田 優子	乳歯・幼若永久歯の形態的特徴、組織学的特徴、物理化学的特徴、歯髄の特徴	6 1 5 講義室 Moodle
6	小児期の齲蝕の特徴齲蝕の病因を学習し、乳歯齲蝕および幼若永久歯の齲蝕の特徴について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	乳歯う蝕の罹患率、好発部位、乳歯う蝕の分類、幼若永久歯う蝕の罹患率	6 1 5 講義室 Moodle
7	小児期の齲蝕予防乳歯齲蝕の為害作用について学習し、小児期に行われる齲蝕予防処置(プラークコントロール、フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、食事指導)について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	フッ化物の応用、フッ化ジアンミン銀、小窩裂溝填塞法、間食指導	6 1 5 講義室 Moodle
8	小児期の歯周疾患小児の歯周組織の特徴を学習し、小児期にみられる歯周疾患について学習する。	講義スライド(教科書・スライド)	森川 和政	小児の歯周組織の特徴、小児期の歯肉炎・歯周炎・全身疾患を伴う歯周炎	6 1 5 講義室 Moodle
9	感染性疾患・軟組織疾患小児の口腔粘膜や歯肉にみられる疾患について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	小児にみられる口腔粘膜疾患、歯肉にみられる疾患、口唇にみられる疾患、小帯異常	6 1 5 講義室 Moodle

口腔成長発育系歯科医学I(小児歯科)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	西田 郁子						
担当教員	西田 郁子, 森川 和政, 藤田 優子, 佐伯 桂						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	小児期の歯科治療体系総論小児歯科診療の特徴、流れを学習し、母親教室、定期健診の目的・意義について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	小児歯科診療の流れ、母親教室、検査の目的と方法、定期健診	6 1 5 講義室 Moodle
11	小児の対応法小児期の年齢別対応法、歯科治療時の対応法の種類と特徴について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	年齢別対応法、行動変容療法、笑気吸入鎮静法	6 1 5 講義室 Moodle
12	小児期における歯冠修復乳歯と幼若永久歯の臨床的特徴と歯冠修復時の特徴について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	レジン修復、ガラスアイオノマー修復、乳歯用既製冠、クラウンフォーム	6 1 5 講義室 Moodle
13	小児期における歯内療法乳歯と幼若永久歯の歯内療法の特徴、診療補助について学習する。	講義(教科書・スライド)	藤田 優子	生活歯髄切断法、暫間的間接覆髄法、アペキシゲネーシス、アペキシフィケーション	6 1 5 講義室 Moodle
14	小児期における外科的処置小児期の外科的処置(抜歯、膿瘍切開)の特徴および診療補助について学習する。小児期の歯の外傷について学習する。	講義(教科書・スライド)	佐伯 桂	乳歯抜歯、乳歯外傷、幼若永久歯外傷	6 1 5 講義室 Moodle
15	咬合誘導咬合誘導の意義・目的、保隙装置の種類および特徴について学習する。	講義(教科書・スライド)	西田 郁子	クラウンループ保隙装置、クラウンディスタルシュー保隙装置、リングアーチ、ナンスのホールディングアーチ、小児義歯	6 1 5 講義室 Moodle

口腔成長発育系歯科医学II(歯科矯正学)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 宮本 順						

授業の概要

歯科矯正学の概要を理解し、将来の診療補助、患者指導などの基礎知識を教授する。また、矯正歯科における歯科衛生士の役割を十分理解したうえでの口腔管理、口腔習癖排除の指導、歯科矯正治療の補助・介助などの基礎知識を教授する。

学生の到達目標

- ①顔面頭蓋、上顎および下顎の成長発育の時期や違いを説明できる。
- ②正常咬合の種類や成因を理解でき、下顎位や咬合の概要も説明できる。
- ③不正咬合の種類と分類を知ること、不正咬合の成因を説明できる。
- ④症例分析法・治療方針の立て方を知ること、矯正治療の流れを説明できる。
- ⑤歯に矯正力を加えた場合の歯の組織変化を説明できる。
- ⑥歯を移動するときの抵抗源や移動後の変化を説明できる。
- ⑦矯正装置の種類および特徴や矯正治療を知ること、患者の指導を実施できる。
- ⑧矯正歯科治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科矯正学 第7版	後藤滋巳他 編集	医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】顎口腔機能矯正学分野研究室：月～金 8:30～17:15 メールは随時受付。

口腔成長発育系歯科医学II(歯科矯正学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 宮本 順						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科矯正学の概要 歯科矯正学の定義、不正咬合による障害、矯正歯科治療の意義と目的、一般的なプロセス、種類と時期、歯科衛生士の役割について学ぶ。	講義	水原 正博 川元 龍夫	【事前学修課題】 不正咬合による障害、矯正歯科治療の意義と目的、一般的なプロセス、種類と時期 【事後学修課題】 授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
2	成長発育 成長発育概論、頭蓋顎顔面の成長発育、歯・歯列・咬合の成長発育、顎口腔機能の発達について学ぶ。	講義	白川 智彦 川元 龍夫	【事前学修課題】 Scammonの臓器発育曲線、生理的年齢、顎顔面の成長発育 【事後学修課題】 授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
3	咬合 1 正常咬合について、静的あるいは動的な状態を踏まえながら、成立の条件と種類を学ぶ。また不正咬合について、垂直的、水平的あるいは前後の異常を踏まえながら、その状態を理解する。	講義	郡司掛 香織 川元 龍夫	【事前学修課題】 正常咬合の概念、下顎位、咬合位、不正咬合の種類、Angleの不正咬合の分類 【事後学修課題】 授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
4	咬合 2 不正咬合の原因と成因を踏まえながら、不正咬合の予防について学ぶ。	講義	郡司掛 香織 川元 龍夫	【事前学修課題】 不正咬合の先天的・後天的原因 【事後学修課題】 授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
5	検査と診断 1 矯正歯科治療における検査・診断のプロセスとその利用方法について学ぶ。	講義	水原 正博 川元 龍夫	【事前学修課題】 口腔内写真、顔面規格写真、口腔模型分析 【事後学修課題】 授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle

口腔成長発育系歯科医学II(歯科矯正学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 宮本 順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	検査と診断2 セファロ分析法、機能的検査・分析、矯正歯科治療における抜歯、検査と診断に関わる歯科診療の補助について学ぶ。	講義	水原 正博 川元 龍夫	【事前学修課題】頭部エックス線規格写真分析、抜歯基準 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
7	矯正歯科治療における生体力学と生体反応1 矯正力の種類、歯の移動様式について学ぶ。	講義	白川 智彦 川元 龍夫	【事前学修課題】器械的矯正力と機能的矯正力、顎整形力、持続的・断続的・間歇的な力、歯の移動様式 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
8	矯正歯科治療における生体力学と生体反応2 歯の移動と固定の考え方、歯の移動に伴う組織反応について学ぶ。	講義	白川 智彦 川元 龍夫	【事前学修課題】固定の種類、歯の移動と組織反応、顎整形力 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
9	矯正装置1 器械的矯正装置ー固定式矯正装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。	講義	宮本 順 川元 龍夫	【事前学修課題】マルチブラケット装置、リングルアーチ、急速拡大装置、緩徐拡大装置、パラタルアーチ、ナンスのホールディングアーチ 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle

口腔成長発育系歯科医学II(歯科矯正学)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 宮本 順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	矯正装置 2 器械的矯正装置一可撤式矯正装置、顎外固定装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。	講義	郡司掛 香織 川元 龍夫	【事前学修課題】床矯正装置、咬合斜面板、咬合挙上板、ヘッドギア、チンキャップ、上顎前方牽引装置 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
11	矯正装置 3 機能的矯正装置、保定装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。	講義	黒石 加代子 川元 龍夫	【事前学修課題】アクチバートル、バイオネーター、フレネル装置、リップバンパー、タングクリブ、保定装置 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
12	矯正治療の実際 1 上下顎の前後的、垂直的な不調和に対する様々な生理的年齢での治療の実際について学ぶ。	講義	宮本 順 川元 龍夫	【事前学修課題】叢生、上顎前突、下顎前突、上下顎前突、過蓋咬合、開咬、交叉咬合 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
13	矯正歯科治療の実際 2 口腔顎顔面の形成異常と変形、MTMなどの矯正治療の実際について学ぶ。矯正歯科治療に伴うリスクとその対応について学ぶ。	講義	宮本 順 川元 龍夫	【事前学修課題】口唇・口蓋裂、顎変形症、MTM 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle
14	矯正歯科治療に用いる器材と使用の手順を学び、その準備と取り扱いを理解する。	講義	黒石 加代子 川元 龍夫	【事前学修課題】矯正歯科用器具、矯正歯科用材料 【事後学修課題】授業内容に関する小テストを実施	6 1 5 講義室 Moodle

口腔成長発育系歯科医学II(歯科矯正学)

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 宮本 順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	矯正歯科治療の手順、口腔筋機能療法、矯正歯科治療における口腔衛生管理について学ぶ。	講義	黒石 加代子 川元 龍夫	【事前学修課題】 矯正歯科診療時の業務、口腔筋機能療法（MFT）、口腔衛生管理 【事後学修課題】 授業内容に関する小テストを実施	615講義室 Moodle

外科系歯科医学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

授業の概要

『外科系歯科医学』では、いろいろな口腔外科的疾患の特徴・病態の概要について教授する。また、これらの疾患に対する疫学的特徴、治療法についても解説する。全身の健康の維持・向上に寄与する歯科医療が望まれ、歯科衛生士も周術期管理の口腔領域を担当することが増えている近年の状況を踏まえ、全身及び口腔全体を捉える思考法を教授する。

学生の到達目標

- ①顎顔面口腔領域の先天異常・発育異常の概要を説明できる。
- ②顎口腔領域の損傷病変の概要を説明できる。
- ③口腔粘膜疾患の概要を説明できる。
- ④顎口腔領域の炎症性疾患の概要を説明できる。
- ⑤顎口腔領域の嚢胞性疾患の概要を説明できる。
- ⑥顎口腔領域の腫瘍性疾患および腫瘍類似性疾患の概要を説明できる。
- ⑦顎関節疾患の概要を説明できる。
- ⑧唾液腺疾患の概要を説明できる。
- ⑨血液疾患の概要法を説明できる。
- ⑩局所麻酔法の概要を説明できる。
- ⑪抜歯・その他の小手術の内容を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新 歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔	全国歯科衛生士教育協議会監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学 第3版	白砂兼光、古郷幹彦 編集	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 質問は随時対応。担当教員へメールすること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔外科学についての概要、抜歯術について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】口腔外科の領域と総論、抜歯術	615講義室 Moodle

外科系歯科医学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	口腔領域の先天異常・発育異常の疾患（主に顎の領域の疾患）について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】口唇裂、口蓋裂、顎変形症	6 1 5 講義室 Moodle
3	口腔領域の硬組織外傷を中心とする損傷に対する診断・治療法を理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】歯の損傷、骨折	6 1 5 講義室 Moodle
4	口腔粘膜疾患（その1）アフタなどの口腔粘膜疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】潰瘍、水疱	6 1 5 講義室 Moodle
5	口腔粘膜疾患（その2）白板症などの口腔粘膜疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】白板症、口腔カンジダ症、シェーグレン症候群	6 1 5 講義室 Moodle
6	口腔粘膜疾患（その3）舌・口唇領域の口腔粘膜疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】地図状舌、クインケ浮腫	6 1 5 講義室 Moodle
7	顎骨の炎症などの口腔の炎症性疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】ドライソケット	6 1 5 講義室 Moodle
8	顎骨周囲炎などの口腔の炎症性疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】骨髄炎、蜂窩織炎	6 1 5 講義室 Moodle
9	顎・口腔領域の嚢胞性疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】歯根嚢胞、含歯性嚢胞、粘液嚢胞	6 1 5 講義室 Moodle
10	顎・口腔領域の良性腫瘍性疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】エナメル上皮腫、角化嚢胞性歯原性腫瘍、血管腫	6 1 5 講義室 Moodle
11	顎・口腔領域の悪性腫瘍性疾患および腫瘍類似疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】扁平上皮癌、TNM分類、エプーリス	6 1 5 講義室 Moodle
12	唾液腺炎などの唾液腺疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】唾液腺炎、唾石症、多型腺腫、腺様嚢胞癌	6 1 5 講義室 Moodle

外科系歯科医学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	顎口腔領域の神経系疾患、顎関節疾患、三叉神経痛などの神経系疾患について理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】三叉神経痛、顔面神経麻痺、舌痛症、顎関節症	6 1 5 講義室 Moodle
14	血友病のような血液疾患について理解する。局所麻酔法の概要を理解する。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】貧血、白血病、血友病、局所麻酔	6 1 5 講義室 Moodle
15	主に抜歯などの口腔外科小手術の概要と歯科衛生士補助業務について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前学修課題】口腔外科小手術	6 1 5 講義室 Moodle

障害者歯科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, (非) 石倉 行男						

授業の概要

超高齢社会の日本において、高齢者数の増加とともに障害者数が増加している。また、発達障害児の高齢化は社会的に問題となっている。さらに、人生の最終段階においても歯科医師・歯科衛生士の役割は拡大している。このような対象者における口腔の健康の維持・回復・増進は生活の質（QOL）に大きく関与する。ゆえに、歯科衛生士がこのような対象者に対する口腔衛生管理・口腔機能管理を中心とした健康支援を行うことは責務である。そこで、身体的、精神的及び心理的特徴を理解した上で診療補助や保健指導（口腔衛生管理・口腔機能管理）を含めた各種歯科医療上の留意点について系統的に学修する。 ※本講義により得られる卒業コンピテンシー：3. 口腔保健学の知識

学生の到達目標

- ① 高齢者における社会福祉、介護保険、介護予防なども含む法規を説明できる。
- ② 加齢に伴う身体機能や心理変化、多くの高齢者に認められる疾患を説明できる。
- ③ 高齢者の口腔疾患、機能的や障害について説明できる。
- ④ 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
- ⑤ 地域における高齢者、障害児・者における口腔保健活動が説明できる。
- ⑥ 障害児・者に関する衛生行政、社会福祉を説明できる。
- ⑦ 多職種連携について説明できる。
- ⑧ 障害の原因疾患、症候群について説明できる。
- ⑨ 障害者の歯科診療について説明できる。
- ⑩ 高齢者、障害児・者、人生の最終段階における歯科診療での歯科衛生士の役割（診療補助・歯科保健指導（口腔衛生管理））が説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士講座 障害者歯科学第3版		永末書店
歯科衛生士講座 高齢者歯科学第3版		永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
レポート（小テストを含む）	10%

障害者歯科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, (非) 石倉 行男						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義内容の質問は、講義前後またはe-mailにて受け付ける。
レポートの評価については、別に示すループリックなどを使用して行う。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	高齢者歯科医学総論 加齢による身体機能の変化や心理変化、高齢者に多くみられる全身疾患を理解する。また、高齢者で多くみられる口腔疾患や機能低下、それにより生じる口腔機能の障害について理解する。	講義	藤井 航	全身の加齢変化や機能低下、口腔内の加齢変化や機能低下	6 1 5 講義室 Moodle
2	障害児・者総論 障害者の現状や、衛生行政、社会福祉について学修し、歯科衛生士の役割を理解する。	講義	藤井 航	障害者、ICF、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、重症心身障害児	6 1 5 講義室 Moodle
3	各現場での口腔保健活動 地域における口腔保健教育活動と医療の関わりについて理解する。	講義	藤井 航 (非)石倉 行男	地域口腔保健教育活動	6 1 5 講義室 Moodle
4	障害児・者への対応 障害児・者の歯科診療補助に必要な配慮について学修する。	講義	藤井 航	障害児・者の歯科診療補助に必要な配慮方法	6 1 5 講義室 Moodle
5	高齢者・障害児・者への口腔衛生管理 高齢者・障害児・者における口腔衛生管理について、健常者と異なる点や注意を要する事項について学修する。	講義	藤井 航	高齢者の口腔衛生管理、障害児・者の口腔衛生管理	6 1 5 講義室 Moodle
6	歯科診療で特別な支援が必要な疾患1 循環器疾患（高血圧、虚血性心疾患、不整脈など）の歯科治療時の対応方法について学修する。	講義	藤井 航	高血圧、虚血性心疾患、不整脈、心臓弁膜症、心不全	6 1 5 講義室 Moodle
7	歯科診療で特別な支援が必要な疾患2 脳血管障害、糖尿病、慢性腎臓病などの歯科治療時の対応方法について学修する。	講義	藤井 航	脳血管障害、糖尿病、慢性腎臓病	6 1 5 講義室 Moodle

障害者歯科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, (非) 石倉 行男						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	人生の最終段階総論 人生の最終段階における、全人的苦痛、全身的变化、口腔内変化について学修する。	講義	藤井 航	人生の最終段階、終末期、ターミナルケア、全人的苦痛	6 1 5 講義室 Moodle
9	人生の最終段階における歯科的対応 人生の最終段階における、口腔衛生管理を中心とした歯科的対応について学修する。	講義	藤井 航	人生の最終段階、終末期、ターミナルケア、口腔乾燥症、口腔カンジダ症	6 1 5 講義室 Moodle

社会環境医学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩						

授業の概要

衛生学・公衆衛生学に該当する内容を学修する。具体的には、公衆衛生の法的根拠と国の責務、健康と疾病の概念、疫学の基本的な考え方、世界と日本の人口の動向、環境の概念と健康への影響、疾病の現状と予防対策、地域保健活動（行政組織の概要、母子保健、成人・高齢者保健、学校保健、精神保健等）、産業保健、災害時の保健医療対策、国際保健協力等について学習し、衛生学・公衆衛生学について理解を深める。

学生の到達目標

- ①公衆衛生の法的根拠と国の責務、健康の定義、予防医学の概念、疫学の概要を説明できる。
- ②人口静態統計、人口動態統計、健康に関連した各種指標を説明できる。
- ③環境の概念、空気の成分、温熱環境、水質基準、放射線防護対策、地球温暖化対策、廃棄物処理等について説明できる。
- ④感染症対策、食品の安全管理対策、栄養摂取基準、国民健康・栄養調査等を説明できる。
- ⑤地域保健活動の概念、健康日本21（第2次）等の健康づくり対策、歯科保健目標を説明できる。
- ⑥精神保健対策の意義と活動を説明できる。
- ⑦産業保健の概念、職業性疾病、労働災害、安全衛生管理体制と健康管理対策等を説明できる。
- ⑧労働における疲労及びその予防、メンタルヘルス対策、職業適性を説明できる。
- ⑨災害時の保健医療対策と活動
- ⑩世界保健機関の活動、諸外国との国際協力等を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
デンタルスタッフのための衛生学・公衆衛生学 第2版	日高勝美	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会
保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
事後レポート	30%

その他

（学習相談）口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。 ・秋房 住郎:月～金16:30～17:30・邵 仁浩:月～金16:30～17:30

社会環境医学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	健康と予防医学の概念、疫学 公衆衛生の法的根拠と国の責務、健康の定義、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション及び予防医学の概念について学習する。また、疾病の発生・流行状況を表す指標、疫学の概要について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	健康の定義、予防医学の概念	6 1 4 講義室 Moodle
2	人口の動向、人口動態 人口の年次推移および将来予測、国勢調査、人口動態統計、合計特殊出生率及び年齢調整死亡率の動向、死因別死亡率等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	国勢調査、人口動態統計、死因別死亡率	6 1 4 講義室 Moodle
3	健康と環境 環境の概念、空気の成分、温熱環境、水質基準、放射線の種類、地球温暖化、廃棄物処理等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	外部環境、空気の成分、廃棄物処理	6 1 4 講義室 Moodle
4	感染症対策、食品と健康 感染成立の要因、感染症対策と感染症の分類、新興感染症・再興感染症等について学習する。また、食品の安全管理対策、食中毒、栄養摂取基準、国民健康・栄養調査等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	感染症の分類、新興感染症・再興感染症、食中毒	6 1 4 講義室 Moodle
5	地域保健活動、健康づくり対策 地域保健の概念、地域保健の行政組織、保健所・市町村保健センターの役割等について学習する。また、健康づくり対策の変遷、健康日本21（第2次）、歯科保健目標等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	邵 仁浩	保健所・市町村保健センター、健康日本21（第2次）、歯科保健目標	6 1 4 講義室 Moodle
6	精神保健 精神保健対策のあゆみと現況、精神障害者医療の概要、精神障害者福祉及び社会復帰対策、精神障害者の歯科保健等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	邵 仁浩	精神障害者の定義、精神障害者の歯科保健対策上の課題、精神障害者医療の概要	6 1 4 講義室 Moodle

社会環境医学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	産業保健① 産業保健の概念、安全衛生管理体制、作業環境要素、環境条件や労働による人体の機能の変化、職業性疾病、作業環境管理、作業管理等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	邵 仁浩	職業性疾病、労働衛生の3管理	6 1 4 講義室 Moodle
8	産業保健② 安全衛生管理体制（統括安全衛生管理者、衛生管理者、産業医）と健康管理、健康診査と事後措置、健康の保持増進対策、疲労及びその予防、メンタルヘルス対策、職業適性等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	邵 仁浩	産業医、衛生管理者、一般健康診断、特殊健康診断	6 1 4 講義室 Moodle
9	災害保健、国際保健 災害保健活動の概要、災害時の歯科保健医療対策、災害時の個人識別等について学習する。また、世界保健機関の役割、諸外国との国際協力・国際交流活動等について学習する。	講義資料配布 レポート課題 提示	邵 仁浩	災害時のフェーズ、災害関連死、世界保健機関	6 1 4 講義室 Moodle

歯科麻酔学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司						

授業の概要

歯科麻酔学の分野が担当する臨床分野について網羅的に授業を行う。

学生の到達目標

歯科臨床で行われる麻酔法を理解し、歯科臨床の応用できる知識を身につける。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-1-1-2	一次救命処置(BLS)を理解している。
D-1-2-1-1	局所麻酔の特徴と目的及び種類を理解している。
D-1-2-1-2	局所麻酔薬の分類と、その作用機序を理解している。
D-1-2-1-3	局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を理解している。
D-1-2-1-4	血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を理解している。
D-1-2-1-5	局所麻酔の実施法と合併症(偶発症)を理解している。
D-1-2-2-1	精神鎮静法の特徴と目的及び種類を理解している。
D-1-2-2-2	吸入鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症(偶発症)を理解している。
D-1-2-2-3	静脈内鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症(偶発症)を理解している。
D-1-2-2-4	精神鎮静法の周術期の管理を理解している。
D-1-2-3-1	全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を理解している。
D-1-2-3-2	全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を理解している。
D-1-2-3-3	全身麻酔の適応と禁忌、合併症(偶発症)及び周術期の管理を理解している。
D-2-3-2	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を理解している。
D-3-1-10-11	口腔、顎顔面領域の慢性の痛みの原因、症状及び治療法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学	佐久間泰司 百田義弘	学研書院

参考書

タイトル	著者	出版社
なし		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験	100%

その他

特になし

歯科麻酔学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科麻酔の役割	ビデオによる講義	椎葉 俊司	特になし	
2	局所麻酔法	ビデオによる講義	椎葉 俊司	教科書	
3	精神鎮静法	ビデオによる講義	椎葉 俊司	教科書	
4	全身麻酔法	ビデオによる講義	椎葉 俊司	教科書	
5	歯科治療時の偶発症	ビデオによる講義	椎葉 俊司	教科書	
6	有病者の歯科治療	ビデオによる講義	椎葉 俊司	教科書	
7	救急救命処置	ビデオによる講義	椎葉 俊司	教科書	
8	ペインクリニック	ビデオによる講義	椎葉 俊司	教科書	
9	まとめ	対面講義	椎葉 俊司	特になし	

救急救命学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	8	単位数	0.5
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

授業の概要

本講義は、第1種衛生管理者資格指定科目「K. 救急処置」の内容を学ぶ。その内容は、主に救急蘇生法として、一時救急処置及び応急手当の手順、一次救命処置<BLS>を学修する。さらに外傷の応急手当についても学修する。

学生の到達目標

- ①救急蘇生法の概要を説明できる。
- ②BLSの基本を説明できる。
- ③外傷の応急手当を説明できる。
- ④急病・中毒の応急手当、救急資材等の準備と防災組織づくりを説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
衛生管理 上 第1種用	中央労働災害防止協会	
歯科のための内科学		南江堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】8:30-17:00に口腔保健学科 1 1 オフィスにて受け付ける。メールは随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	救急蘇生法 ・一次救急処置及び応急手当における衛生管理者の役割を学ぶ。 ・手当の重要性、救命及び応急手当の手順を学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前学修】衛生管理 p 342-346	6 1 4 講義室 Moodle
2	BLSの基本 ・一次救命処置の具体的方法について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前学修】衛生管理 p346-356	6 1 4 講義室 Moodle

救急救命学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	8	単位数	0.5
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	外傷の応急手当 ・創傷と多量出血、熱傷、化学損傷、凍傷、眼窩内異物について学習する。 ・骨折、脱臼・肉離れ・アキレス腱断裂、打撲、急性腰痛、電撃症、有害光線、電離放射線又は放射性物質、溺水について学習する。	講義	佐藤 毅	【事前学修】衛生管理 p 356-365	6 1 4 講義室 Moodle
4	①急病・中毒の応急手当 ・熱中症、減圧症、心臓発作、呼吸困難、過換気症候群、脳卒中、ショックと意識障害、脳貧血、腹痛、痙攣、不安障害、化学物質による中毒、一酸化炭素中毒、酸素欠乏・硫化水素中毒、食中毒について学ぶ。 ②救急資材等の準備と防災組織づくり ・救急資材等の準備と防災組織づくりについて学習する。	講義	佐藤 毅	【事前学修】衛生管理 p365-377	6 1 4 講義室 Moodle

医療健康政策学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

歯科衛生士教育の専門基礎分野である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」の中で衛生行政および関係法規に該当する内容を学修する。具体的には、衛生行政と法制度、歯科関係法規、医療関係職種の資格法、薬事関連法規、地域保健関連法規、社会保険制度、社会福祉行政および社会福祉、医療施設や医療従事者の現況、国民の受療動向、国民医療費等の概要について学修する。

学生の到達目標

- ①衛生行政の目的と組織を説明できる。
- ②歯科衛生士法の目的、歯科衛生士の定義と業務を説明できる。
- ③歯科衛生士の免許制度と国家試験制度を説明できる。
- ④歯科医師法、歯科技工士法及び保健師助産師看護師法の概要を説明できる。
- ⑤その他の医療関係者の資格法規（④を除く）の概要を説明できる。
- ⑥地域保健法、健康増進法、母子保健法、学校保健安全法の概要を説明できる。
- ⑦薬事関連法規、その他の衛生法規（感染症法、食品衛生法等）の概要を説明できる。
- ⑧社会保険の仕組み、医療保険制度および介護保険制度の概要を説明できる。
- ⑨国民の受療動向、医療施設、医療従事者、国民医療費の概要を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 衛生士と法律・制度	歯科 全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 生態学	保健 全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
事後レポート	30%

その他

（学習相談）口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。 秋房住郎:月～金16:30～17:30

医療健康政策学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	衛生行政と法制度、歯科衛生士法① 衛生行政の目的と組織、歯科衛生士法の成り立ち、歯科衛生士法の目的、歯科衛生士の定義と業務等について学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	衛生行政の仕組み、 歯科衛生士の業務	6 1 1 講義室 Moodle
2	歯科衛生士法② 歯科衛生士免許の登録、免許証の交付及び届出等に関する諸規定、相対的欠格事由、免許の取消・業務停止等に関する諸規定について学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	歯科衛生士免許制度、 相対的欠格事由	6 1 1 講義室 Moodle
3	歯科衛生士法③、歯科医師法 指定試験機関、歯科衛生士国家試験制度、歯科衛生士の業務上の義務等について学習する。また、歯科医師法の目的、歯科医師の業務や義務等について学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	歯科衛生士国家試験制度、 歯科衛生士の業務上の義務、 歯科医師の業務	6 1 1 講義室 Moodle
4	歯科技工士法、歯科口腔保健法、医療法 歯科技工士法および歯科口腔保健法の概要を学習する。また、医療法の目的、病院・診療所の定義、医療安全の確保、医療提供体制等について、学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	歯科技工の定義、病院・診療所の定義、 医療安全の確保	6 1 1 講義室 Moodle
5	その他の医療関係職種の法規 保健師助産師看護師法、診療放射線技師法、言語聴覚士法、医師法、薬剤師法、栄養士法等の医療関係職種の法規の概要を学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	保健師・看護師の業務、 診療補助の定義	6 1 1 講義室 Moodle
6	薬事関連法規、地域保健関連法規① 薬事関連法規（医薬品医療機器等法、毒物及び劇物取締法等）、地域保健関連法規（地域保健法、健康増進法、母子保健法、学校保健安全法等）の概要について学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	医薬品・医療機器の定義、 保健所・市町村保健センターの業務	6 1 1 講義室 Moodle

医療健康政策学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	地域関連法規②、その他の衛生法規、社会保険制度① 精神保健福祉法、食品衛生法、感染症法の概要について学習する。また、社会保険制度の仕組み、医療保険の種類、健康保険法の概要について学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	社会保障制度の仕組み、社会保険の種類	6 1 1 講義室 Moodle
8	社会保険制度② 国民健康保険法、高齢者医療確保法、審査支払機関、介護保険、年金保険、雇用保険、労災保険等の概要について学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	医療保険制度および介護保険制度の仕組み	6 1 1 講義室 Moodle
9	社会福祉、医療の動向 社会福祉行政、生活保護、児童福祉、障害者福祉、老人福祉の概要について学習する。また、国民の受療動向、医療施設、医療従事者、国民医療費の概要について学修する。	講義資料配布 レポート課題 提示	秋房 住郎	社会福祉行政の仕組み、医療従事者数、国民医療費	6 1 1 講義室 Moodle

先進歯科治療系 歯科インプラント学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3～4年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏						

授業の概要

歯科インプラント治療は、幅広い医学・歯学分野の集学的な知識のもとに成り立つものであり、低下した口腔機能の回復を目指すリハビリテーション医療に位置付けられる。本科目は、歯科衛生士としてインプラント治療に携わるために必要な歯科基礎医学的事項を整理して教示するとともに、歯科インプラント治療の基本的な手順、診療補助や手術介助、上部構造の作製やメンテナンス、偶発症への対応等、歯科インプラント治療に携わるチームの一員として歯科衛生士に必要なとされる事項を習得する。

学生の到達目標

- ①口腔インプラントの治療の利点と欠点を説明できる。
- ②口腔インプラントの種類と特性を説明できる。
- ③インプラント治療の適応と禁忌を説明できる。
- ④口腔インプラント治療に必要な解剖学を説明できる。
- ⑤口腔インプラントの治療過程について説明できる。
- ⑥口腔インプラントの手術術式について説明できる。
- ⑦口腔インプラントの補綴術式について説明できる。
- ⑧インプラント上部構造の種類とその特徴を説明できる。
- ⑨口腔インプラント治療におけるメンテナンスの重要性を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料は配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学		医歯薬出版
口腔インプラント治療指針 2024	(公社) 日本口腔インプラント学会 編	口腔インプラント学会 ホームページ参照 https://www.shika-implant.org

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

先進歯科治療系 歯科インプラント学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3～4年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】

歯科補綴学第2講座医局：12:00-13:00、16:30-17:00

メールは随時受付

正木：口腔再建リハビリテーション学分野

近藤：口腔再建リハビリテーション学分野

向坊：口腔再建リハビリテーション学分野

宗政：口腔再建リハビリテーション学分野

野代：口腔再建リハビリテーション学分野

※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科インプラント総論（診査と診断、治療計画の立案）：インプラントの歴史や基本構造を理解し、利点や欠点、種類や特性について学習する。インプラントに関する問題点や疑問点を患者の立場になり抽出する。	講義	正木 千尋	インプラント治療の流れ	611 講義室 Moodle
2	歯科インプラントにおける歯科衛生士の役割①：インプラント症例についてテュートリアル形式にて学習する。	講義	正木 千尋 向坊 太郎 宗政 翔	インプラントの基本構造と概念	611 講義室 Moodle
3	歯科インプラントにおける歯科衛生士の役割②：インプラント症例についてテュートリアル形式にて学習する。	講義	正木 千尋 向坊 太郎 宗政 翔	インプラントの基本構造と概念	611 講義室 Moodle
4	治療計画の説明とインフォームド・コンセント：抽出した問題点および疑問点に対する解決方法や解答を発表、議論することでインプラント治療に対する理解を深める。患者にインプラント治療について説明できるようになることを目的とし学習する。	講義	正木 千尋	インフォームド・コンセント	611 講義室 Moodle

先進歯科治療系 歯科インプラント学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3～4 年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	インプラント治療に必要な解剖学・骨代謝学：上顎骨や下顎骨の形態や骨質、インプラントで注意すべき血管、神経などを理解する。また、歯槽骨の経時的変化を把握する。	講義	向坊 太郎	頭頸部の解剖	6 1 1 講義室 Moodle
6	歯科用インプラントに必要な画像検査法と画像診断：CT読影に必要な撮影原理や用語を理解し、インプラントの術前検査および術後評価としてのCT像について学習する。	講義	森本 泰宏	放射線読影	6 1 1 講義室 Moodle
7	インプラント上部構造の種類と特徴：上部構造を作製するための印象法、作業模型の作製法を理解し、さまざまな上部構造の種類および特徴を学習する。	講義	野代 知孝	インプラント補綴	6 1 1 講義室 Moodle
8	インプラントの偶発症・合併症：インプラント治療の偶発症や合併症について学習する。	講義	近藤 祐介	インプラント偶発症	6 1 1 講義室 Moodle
9	インプラントのメンテナンス：インプラントメンテナンスの特殊性と歯科衛生士業務について学習する。	講義	宗政 翔	メンテナンス	6 1 1 講義室 Moodle

先進歯科治療系 歯科インプラント学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3～4 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏						

授業の概要

歯科インプラント治療は、幅広い医学・歯学分野の集学的な知識のもとに成り立つものであり、低下した口腔機能の回復を目指すリハビリテーション医療に位置付けられる。本科目は、歯科衛生士としてインプラント治療に携わるために必要な歯科基礎医学的事項を整理して教示するとともに、歯科インプラント治療の基本的な手順、診療補助や手術介助、上部構造の作製やメンテナンス、偶発症への対応等、歯科インプラント治療に携わるチームの一員として歯科衛生士に必要なとされる事項を習得する。

学生の到達目標

- ①口腔インプラントの治療の利点と欠点を説明できる。
- ②口腔インプラントの種類と特性を説明できる。
- ③インプラント治療の適応と禁忌を説明できる。
- ④口腔インプラント治療に必要な解剖学を説明できる。
- ⑤口腔インプラントの治療過程について説明できる。
- ⑥口腔インプラントの手術術式について説明できる。
- ⑦口腔インプラントの補綴術式について説明できる。
- ⑧インプラント上部構造の種類とその特徴を説明できる。
- ⑨口腔インプラント治療におけるメンテナンスの重要性を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料は配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学		医歯薬出版
口腔インプラント治療指針 2024	(公社) 日本口腔インプラント学会 編	口腔インプラント学会 ホームページ参照 https://www.shika-implant.org

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

先進歯科治療系 歯科インプラント学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3～4年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】

歯科補綴学第2講座医局：12:00-13:00、16:30-17:00

メールは随時受付

正木：口腔再建リハビリテーション学分野

近藤：口腔再建リハビリテーション学分野

向坊：口腔再建リハビリテーション学分野

宗政：口腔再建リハビリテーション学分野

野代：口腔再建リハビリテーション学分野

※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科インプラント総論（診査と診断、治療計画の立案）：インプラントの歴史や基本構造を理解し、利点や欠点、種類や特性について学習する。インプラントに関する問題点や疑問点を患者の立場になり抽出する。	講義	正木 千尋	インプラント治療の流れ	611講義室 Moodle
2	歯科インプラントにおける歯科衛生士の役割①：インプラント症例についてテュートリアル形式にて学習する。	講義	正木 千尋 向坊 太郎 宗政 翔	インプラントの基本構造と概念	611講義室 Moodle
3	歯科インプラントにおける歯科衛生士の役割②：インプラント症例についてテュートリアル形式にて学習する。	講義	正木 千尋 向坊 太郎 宗政 翔	インプラントの基本構造と概念	611講義室 Moodle
4	治療計画の説明とインフォームド・コンセント：抽出した問題点および疑問点に対する解決方法や解答を発表、議論することでインプラント治療に対する理解を深める。患者にインプラント治療について説明できるようになることを目的とし学習する。	講義	正木 千尋	インフォームド・コンセント	611講義室 Moodle

先進歯科治療系 歯科インプラント学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3～4 年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	インプラント治療に必要な解剖学・骨代謝学：上顎骨や下顎骨の形態や骨質、インプラントで注意すべき血管、神経などを理解する。また、歯槽骨の経時的变化を把握する。	講義	向坊 太郎	頭頸部の解剖	6 1 1 講義室 Moodle
6	歯科用インプラントに必要な画像検査法と画像診断：CT読影に必要な撮影原理や用語を理解し、インプラントの術前検査および術後評価としてのCT像について学習する。	講義	森本 泰宏	放射線読影	6 1 1 講義室 Moodle
7	インプラント上部構造の種類と特徴：上部構造を作製するための印象法、作業模型の作製法を理解し、さまざまな上部構造の種類および特徴を学習する。	講義	野代 知孝	インプラント補綴	6 1 1 講義室 Moodle
8	インプラントの偶発症・合併症：インプラント治療の偶発症や合併症について学習する。	講義	近藤 祐介	インプラント偶発症	6 1 1 講義室 Moodle
9	インプラントのメンテナンス：インプラントメンテナンスの特殊性と歯科衛生士業務について学習する。	講義	宗政 翔	メンテナンス	6 1 1 講義室 Moodle

健康づくりのための食生活論

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	16	単位数	1
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

「生活習慣と疾患(予防)」関連の話題について、e-learningの手法を用いてグループに分かれテュートリアル形式で学修を行う。テュートリアルでは「食と健康」に関するシナリオを読み、そこからキーワードを抽出し、関係する学修項目を考え数項目に絞る。学習項目を図書の書籍類やパソコン等から自己学修してまとめ、発表する。クリティカルシンキングおよびロジカルライティングを意識しながら他の学生の発表と自己学修を比べ、相違点や新たな疑問点などを討論によってあきらかにする。また、生活習慣と口腔疾患（う蝕）の関連について自己学修する。

学生の到達目標

- ①食と健康に関する横断的な知識について、書籍やパソコンによる自己学習ができる。
- ②論理的な討論を体験し、専門用語を知り、論理的思考と分かりやすい話し方を、討論の中で実践できる。
- ③聴衆の前で分かりやすくプレゼンテーションを行うための資料を作成し発表することができる。
- ④クリティカルシンキング/ロジカルライティングを意識してレポートを作成することができる。
- ⑤口腔内疾患（う蝕）と生活習慣との関連について説明できる。
- ⑥Teamsを用いて資料を共有しながら発表や討論ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔保健学科指定の教科書および（図書館）の関連図書		
信頼できる(大学、官公庁、学会など)インターネットのホームページ		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 辻澤利行 メールにて随時受け付ける。

健康づくりのための食生活論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	演習	時間数	16	単位数	1
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	テュートリアル教育の説明と具体的な方法、時間配分、日程、学生の班分け等を説明する。	講義	辻澤 利行	シラバスおよび配付資料の熟読	613講義室 Moodle
2	コアタイムTeamsでグループに分かれてシナリオを読み、学習課題を決めるためのキーワードを列挙し、現在知っている知識とわからない知識を整理しながら、シナリオの主人公の立場になって考え、問題解決をしていくための学習課題を決める。	テュートリアル (e-learning) 演習	辻澤 利行	Teamsのログインの仕方、共有画面の開き方	Microsoft Teams Moodle
3	自己学習学習項目を教科書、参考書、インターネットなどを使用して調べる。	テュートリアル (e-learning) 演習	辻澤 利行	シナリオ1で抽出した自己学習課題、Officeの使い方、ソフトのPDF化の仕方	Microsoft Teams Moodle
4	グループ発表・討論（資料を作成・提出）Teamsでプレゼンテーションを行う。そのための資料や原稿を作成・提出する。また、不足した課題について追加項目を調べる。	テュートリアル (e-learning) 演習	辻澤 利行	Teamsのログインの仕方、共有画面の開き方、プレゼンアプリの使い方	Microsoft Teams Moodle
5	自己学習Teamsでプレゼンテーションを行う。そのための資料や原稿を作成・提出する。また、不足した課題について追加項目を調べる。	テュートリアル (e-learning) 演習	辻澤 利行	各自が作成したレポートおよびプレゼン資料	Microsoft Teams Moodle
6	口腔内疾患（う蝕）と生活習慣との関連について学修する。	講義 演習	辻澤 利行	う蝕（むし歯）の原因について	Moodle
7	口腔内疾患（う蝕）と生活習慣との関連について学修する。	講義 演習	辻澤 利行	う蝕リスク検査の意義について	Moodle
8	課題の提出、テュートリアル総括とアンケート調査シナリオおよび学習項目を解説する。次年度の改善のための事後アンケートを実施する。	講義 演習	辻澤 利行	チェックシート記載の学習課題、各自が作成したレポートおよびプレゼン資料	613講義室 Moodle

数理学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業の概要

数理学は、数学と数学の応用をあわせた学術分野である。数学を応用して大量のデータを解析し解釈することも、数理学に含まれる。ここでは、大量のデータを解析し解釈する方法の1つとして、統計的手法について講義を行う。統計的手法は多方面で利用されている。特に、歯学を含む生命科学においては実験、調査結果にバラツキがあることも多く、これらのデータを解析し解釈する方法として統計的手法は有用である。講義では、確率論の概念を用いて統計的手法を数学的に基礎づけながら説明する。

学生の到達目標

- ①統計的手法の基礎となる確率論の概括を説明できる。
- ②統計的手法の考え方（母数、標本、統計量、仮説検定法など）を説明できる。
- ③統計的手法の方法および理論的根拠について説明できる。
- ④歯学によく現れる仮説検定法（母平均の検定、出現率の検定、適合度の検定など）を熟知し、演習を通しての統計的手法を体得できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
例題中心 確率・統計入門 (改訂版)	水原昂廣、 宇野力	学術図書出版 社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	90%
レポート	10%

その他

【オフィスアワー】
研究室：月、火、水、木16:20- 17: 15

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	統計学についてのガイダンス 試行、標本空間、事象について学 ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 集合に 関する復習（教科書 1-3 ページ） 【事後学修】 レポー トの問題を解く	3 1 2 講義 室

数理科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	確率論 (その1) 確率の定義について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 試行、標本空間、事象についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
3	確率論 (その2) 確率の性質について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 集合族についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
4	確率論 (その3) 確率変数の定義と離散型確率変数の平均と分散の定義について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 確率の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
5	確率論 (その4) 確率変数の独立性について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 確率変数の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
6	確率論 (その5) 離散型確率変数の平均と分散の性質について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 確率変数の独立の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
7	確率論 (その6) 正規分布、t-分布、カイ二乗分布について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 離散型確率変数の平均と分散の性質の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
8	統計学の考え方 母集団、母集団分布、標本について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 正規分布の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
9	統計的推定 区間推定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 母集団、母集団分布、標本についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室

数理科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	統計的検定 (1) 正規母集団の母平均の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 区間推定についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
11	統計的検定 (2) 2つの正規母集団の等平均の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 正規母集団の母平均の検定についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
12	統計的検定 (3) 出現率の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 2つの正規母集団の等平均の検定についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
13	統計的検定 (4) 適合度の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 出現率の検定についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
14	統計的検定 (5) 分割表による独立性の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 適合度の検定についての復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	3 1 2 講義室
15	確認テストを行う。	確認テスト	深井 康成	【事前学修】 第1回から第14回までの講義の復習 【事後学修】 確認テストで理解が十分でなかった部分の復習	3 1 2 講義室

医療健康統計学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

医療健康統計学では、歯科衛生士教育の専門基礎分野である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」の中で、歯科疾患の疫学と歯科保健統計に関する内容を学修する。具体的には、疫学の基本概念、保健医療統計調査の種類と概要、歯科疾患の指標、統計の基礎等について学修する。歯科衛生士は歯科疾患や口腔清掃状態の指数に基づき患者の歯科保健指導を行うことが多いことから、齲蝕の指数、歯周疾患の指数、口腔清掃状態の指数等については指数計算を実践することとしており、歯科領域における数量化、指数化の意義の理解を図る。

学生の到達目標

- ①公的統計の主な役割と国家統計の種類を説明できる。
- ②疫学研究の種類と特徴、エビデンスレベルを説明できる。
- ③疾病頻度の指標、スクリーニング検査の役割を説明できる。
- ④齲蝕、歯周病等の歯科疾患の疫学的特性を説明できる。
- ⑤齲蝕、歯周病等の各種指数を説明できる。
- ⑥口腔清掃状態の各種指数を説明できる。
- ⑦統計データの種類、度数分布、正規分布の特徴等を説明できる。
- ⑧衛生統計における有意差の考え方を説明できる。
- ⑨事業場における労働衛生管理統計を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学	眞木吉信 他 著	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 保健生態学	眞木吉信 他 著	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
確認テスト	20%
講義後レポート課題	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールにより随時質問を受け付ける。

医療健康統計学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	保健医療統計調査の概要と国家統計 保健情報および保健統計の概要、公的統計の主な役割と法的な根拠、国家統計の種類（一般統計および基幹統計）について学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	国家統計の種類、国勢調査	6 1 3 講義室 Moodle
2	疫学概念と疫学研究の概要① 疫学研究の種類と特徴、エビデンスレベル、標本の抽出方法及び因果関係、相関等について学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	疫学研究の種類、コホート研究、症例対照研究	6 1 3 講義室 Moodle
3	疫学概念と疫学研究の概要② 疫学研究の種類と特徴、エビデンスレベル、標本の抽出方法及び因果関係、相関等について学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	疫学研究の種類、コホート研究、症例対照研究	6 1 3 講義室 Moodle
4	疾病頻度の指標、スクリーニング有病率と罹患率の相違、粗死亡率と年齢調整死亡率の相違等を学ぶ。また、健診におけるスクリーニング検査の役割を学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	有病率、罹患率、スクリーニング検査	6 1 3 講義室 Moodle
5	歯科疾患の疫学 疫学総論と健康障害の発生要因、疫学の方法論、齲蝕、歯周病等の歯科疾患の疫学的特性について学ぶ。	講義 スライド資料 配布 確認テスト	邵 仁浩	齲蝕の特徴、歯周病の特徴	6 1 3 講義室 Moodle
6	歯科疾患の指数 齲蝕の診断基準と各種指数、歯周疾患の各種指数、不正咬合の指数及び歯のフッ素症の診断基準について学ぶ。	講義 スライド資料 配布	邵 仁浩	齲蝕に関する指数、歯周疾患に関する指数、第1回から第4回までの復習	6 1 3 講義室 Moodle
7	口腔清掃の各種指数 口腔清掃に関する各種指数の特色、診査部位、診査基準、評価方法、指数計算について学ぶ。	講義 スライド資料 配布 講義後レポート課題	邵 仁浩	Oral Hygiene Index、Plaque Control Record	6 1 3 講義室 Moodle

医療健康統計学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	衛生統計の基礎① 統計データの種類（量的データ及び質的データ）、度数分布、平均値、中央値、最頻値、正規分布の特徴等について学ぶ。	講義・演習 スライド資料 配布	邵 仁浩	度数分布、正規分布	613講義室 コンピュータ演習室 Moodle
9	衛生統計の基礎② 標準正規分布及びその応用例、推定及び検定の方法と特徴、衛生統計における有意差の考え方を学ぶ。	講義・演習 スライド資料 配布 確認テスト	邵 仁浩	推定と検定、有意差の考え方	613講義室 コンピュータ演習室 Moodle

Evidence-Based Dentistry

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹, (非)Valeria Gordan						

授業の概要

Evidence-Based Dentistryを実践する歯科医療人に必要な知識と応用力の涵養を目的とする。歯科医学文献を検索および批判的吟味し、科学的根拠に基づく診療の実践力を養う。臨床疫学・臨床統計学の基礎知識を身につけ、さらに国内外の診療ガイドラインの検索及び読解を行う。

学生の到達目標

- ①Evidence-Based Dentistry(EBD)の概念を理解することができる。
- ②国内外の歯科医学に関する情報を収集および検索できる。
- ③臨床疫学研究デザインに応じて、論文を批判的に吟味することができる。
- ④自らの歯科医療に関する疑問を定式化し、科学的根拠に基づき解決することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Evidence-Based Dentistry 入門	角館直樹	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド	角館直樹	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義で行われる小テスト	45%
演習の提出物(全6回)	35%
文献検索テスト	20%

その他

【オフィスアワー(学習相談)】角館直樹：相談は随時受け付け可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	Evidence-Based Dentistry (EBD) の概念について： EBDの定義と基本的理念、エビデンスレベルについて理解する。横断研究および症例対照研究のデザインについて学ぶ。	講義	角館 直樹	EBDの概念、エビデンスレベル、横断研究、症例対照研究(教科書2～11頁、26～28頁)	614講義室 Moodle

Evidence-Based Dentistry

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹, (非)Valeria Gordan						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	研究デザインとバイアス： コホート研究、ランダム化比較試験などの研究デザインについて理解し、3大バイアスについて学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	コホート研究、ランダム化比較試験、バイアス（教科書26～39頁）	614 講義室 Moodle
3	米国におけるEBDと Practice-based Research 米国におけるDental Practice-based Researchの概要について学ぶ。	講義 小テスト	(非)Valeria Gordan	Practice-based Researchについて（教科書66頁～73頁）	501 講義室 Moodle
4	文献検索演習①（研究論文の検索）： 診療上の疑問を解決するのに必要な論文等の文献を、インターネットを用いて英語と日本語で検索する方法を学ぶ。	演習	角館 直樹	文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁）	コンピュータ演習室 Moodle
5	論文の種類と構成： 医学系論文の種類、基本的な構成および読解法を理解する。臨床研究の事前登録についても学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	論文の種類・構成について（教科書40～42頁）	501 講義室 Moodle
6	論文の批判的吟味①（ランダム化比較試験）： ランダム化比較試験論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。	演習	角館 直樹	指定課題論文読解、教科書43～50頁	コンピュータ演習室 Moodle
7	データ統合型研究・診療ガイドライン システマティックレビュー・メタアナリシス・診療ガイドラインの詳細について学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	データ統合型研究・診療ガイドライン（教科書29～30ページ、51～63頁）	501 講義室 Moodle
8	文献検索演習②（データ統合型研究論文・診療ガイドラインの検索）： システマティックレビュー、メタアナリシスおよび国内外の診療ガイドラインに関する文献検索について演習を通して学ぶ。	演習	角館 直樹	文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁、57頁）	コンピュータ演習室 Moodle
9	論文の批判的吟味②（メタアナリシス）： メタアナリシス論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。	演習	角館 直樹	指定課題論文読解、教科書51～55頁	コンピュータ演習室 Moodle

Evidence-Based Dentistry

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹, (非)Valeria Gordan						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	文献検索演習③（疑問に基づく文献検索）： 具体的な歯科診療に関する疑問に基づいて文献検索を行い、抄録を読んでその結果を要約する。	演習	角館 直樹	文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁）	コンピュータ演習室 Moodle
11	文献検索テスト	テスト	角館 直樹		コンピュータ演習室 Moodle
12	文献検索演習④（疑問に基づく文献検索）： 学生各自の歯科診療に関する疑問に基づいて文献検索を行い、抄録を読んでその結果を要約する。	演習	角館 直樹	文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁）	コンピュータ演習室 Moodle
13	EBDのための臨床統計学の基礎① 論文の読解が必要となる、データの種類、統計学的仮説検定、P値および95%信頼区間、各種の統計学的検定方法について学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	統計学的仮説検定、相関係数、カイ2乗検定	501講義室 Moodle
14	EBDのための臨床統計学の基礎② 論文の読解が必要となる、各種の統計学的検定方法について学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	t検定、分散分析、多変量解析	501講義室 Moodle
15	EBDと臨床疫学研究 エビデンスを構築するための臨床疫学研究を実施するプロセスについて学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	EBDと臨床疫学研究について（教科書66頁～84頁）	501講義室 Moodle

卒業研究

開講学科	口腔保健学科			開講年次	4年	開講期	通年
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	150	単位数	5
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩						

授業の概要

大学が示す研究課題に沿って、実験・調査・論文抄読及び演習等を通して研究の意義を理解し、実験・研究の方法、データの解析方法、考察の仕方などについて学ぶことで、4年間で学修した研究にかかる学士力を素養する。

学生の到達目標

- ①保健・医療・福祉の研究成果について生涯を通じて学び、新しい知見を提供するリサーチマインドを身につけることができる。
- ②リサーチマインドを駆使して、生涯にわたり歯科保健医療の発展に貢献するための基本的態度を身につけることができる。
- ③自ら企画して臨床研究するための基礎的能力を身につけることができる。
- ④研究成果に応じて学会発表することも視野に入れて研究を行うことができる。
- ⑤探究心と研究能力を有し、国際的な研究活動ができる基礎的能力を身につけることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
卒業研究の手引き		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
卒業研究発表会（ルーブリック評価）	80%
概略評価（ルーブリック評価）	20%

その他

ルーブリックとは、成功の度合いを示す数レベル程度の尺度と、それぞれのレベルに対応するパフォーマンスの特徴を示した記述語（評価規準）からなる評価基準表のことである。ルーブリックは別途示す。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	別冊の「卒業研究課題一覧」を参照のこと。				その他

歯科診療補助論I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

授業の概要

歯科診療の補助は歯科衛生士の三大業務の一つである。円滑な歯科治療を実施する技術を身につけるために必要な歯科診療の補助を学修する。さらに、様々な患者に対応するため全身疾患の基礎知識について学修する。

この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「1. 歯科医療人としての素養」「5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。

学生の到達目標

- ① 歯科診療補助の概念について医療安全・感染症の語句を用いて説明できる。
- ② 歯科診療室の環境、受診の流れ、共同動作について説明できる。
- ③ 歯科医療に必要な臨床検査の目的と各種検査法を説明できる。
- ④ 歯科薬品・材料の適切な管理法を説明できる。
- ⑤ 歯科保存治療（修復・歯内療法）の特徴と必要器材を説明できる。
- ⑥ 歯周治療・歯周外科治療の特徴および必要器材を説明できる。
- ⑦ 歯科補綴治療の特徴および必要器材を説明できる。
- ⑧ 口腔外科治療、歯科麻酔の特徴および必要器材を説明できる。
- ⑨ 矯正治療時の診療補助、小児歯科治療の特徴および必要器材を説明できる。
- ⑩ 歯科診療で扱う歯科材料の特徴、種類、用途を説明できる。
- ⑪ 全身疾患の基礎知識を理解し口腔所見の特徴と診療補助の注意点を説明できる。
- ⑫ 周術期における口腔機能管理の概要を述べるができる。
- ⑬ 歯科訪問診療の概要を述べるができる。
- ⑭ 診療補助に重要な臨床検査値を述べるができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

歯科診療補助論I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯周病学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み1 保健生態学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

歯科診療補助論I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科材料	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科機器	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
課題レポート	40%

その他

【質問・相談】講義に関する質問や相談はe-mailにて受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	<p>【歯科診療補助の概念】 歯科診療補助の業務内容と法的解釈および保健医療制度での補助行為に関する業務概要について学修する。</p> <p>【医療安全】 医療安全の概念とその対策について学修する。 【救急処置】 救急処置の手順を学修する。</p>	講義	磯部 彩香	<p>【事前・事後学修課題】 歯科診療補助の概念、医療安全、救急処置 テキスト P2-17</p>	6 1 3 講義室
2	<p>【感染予防】 歯科医療における感染症の概念および感染予防対策について学修する。 消毒・滅菌について学修する。 医療廃棄物の取り扱いについて学修する。</p>	講義	磯部 彩香	<p>【事前・事後学修課題】 感染予防、医療廃棄物の取り扱い テキスト P18-49</p>	6 1 3 講義室

歯科診療補助論I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩, 磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	【歯科診療室の基礎知識】 歯科診療室の環境および設備について学修する。【共同動作】 歯科診療所における受診の流れ、歯科診療時の共同動作について学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 歯科診療室の基礎知識、共同動作 テキストP50-77	6 1 3 講義室
4	【歯科領域に必要な臨床検査】 臨床検査の補助の目的と検査の種類について学修する。【画像検査】 エックス線写真撮影、口腔内写真撮影の方法とその補助について学修する。【薬品(薬物)・歯科材料の管理】 薬品(薬物)・歯科材料の管理の適切な管理について学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 歯科領域に必要な臨床検査、画像検査、薬品(薬物)・歯科材料の管理 テキストP78-98	6 1 3 講義室
5	【保存修復時の診療補助】 歯科保存修復治療と診療補助の特徴を学修する。保存修復時の診療の流れを学修する。ラバーダム防湿、歯肉圧排法の目的と器具の用途について学修する。【ホワイトニング】 ホワイトニングの種類と方法について学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 ラバーダム防湿、歯肉圧排法、保存修復時の診療補助 テキストP99-124	6 1 3 講義室
6	【歯内療法時の診療補助】 歯内療法と診療補助の特徴を学修する。歯内療法時の診療の流れを学修する。【歯周外科治療時の診療補助】 歯周外科治療と診療補助の特徴を学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 歯内療法時の診療補助、歯周外科治療時の診療補助 テキストP125-137	6 1 3 講義室
7	【補綴治療時の診療補助】 歯科補綴治療と診療補助の特徴を学修する。補綴治療時の診療の流れを学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 補綴治療時の診療補助 テキストP138-152	6 1 3 講義室

歯科診療補助論I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	【口腔外科治療時の診療補助】 口腔外科治療と診療補助の特徴を学修する。口腔外科治療時の診療の流れを学修する。【歯科麻酔時の診療補助】 歯科麻酔時の診療補助の特徴を学修する。歯科麻酔時の診療の流れを学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 口腔外科治療時の診療補助、歯科麻酔時の診療補助 テキストP153-172	6 1 3 講義室
9	【矯正治療時の診療補助】 矯正治療と診療補助の特徴を学修する。矯正治療時の診療の流れを学修する。【小児歯科治療時の診療補助】 小児の診療と診療補助の特徴を学修する。小児歯科治療時の診療の流れを学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 矯正治療時の診療補助、小児歯科治療時の診療補助 テキストP173-191	6 1 3 講義室
10	【歯科診療で扱う歯科材料①】 ●印象採得 印象材の種類、特徴、用途について学修する。印象材の練和と管理法を学修する。 ●模型の作製 歯科用石膏の種類、特徴、用途について学修する。歯科用石膏の練和と管理法を学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 印象採得、模型の作製 テキストP192-221	6 1 3 講義室
11	【歯科診療で扱う歯科材料②】 ●合着・接着の補助 合着材・接着材の種類、特徴、用途について学修する。練和と取り扱いについて学修する。 ●成形歯冠修復の補助 成形歯冠修復材の種類、特徴、用途について学修する。成形歯冠修復の補助の流れについて学修する。 ●仮封・仮着の補助 仮封材・仮着材の種類、特徴、用途について学修する。練和と取り扱いについて学修する。 ●ワックス ワックスの種類と用途について学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 合着・接着の補助、成形歯冠修復の補助、仮封・仮着の補助、ワックス テキストP222-254	6 1 3 講義室

歯科診療補助論I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	【主な全身疾患と歯科診療補助での対応】 主な全身疾患の基礎知識と歯科診療上の注意点について学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 主な全身疾患と歯科診療補助での対応 テキスト P256-285	6 1 3 講義室
13	【周術期における歯科診療の補助】 周術期における口腔機能管理の概要を学修する。周術期の病態とその治療法、歯科治療時の役割を学修する。手術における術前・術中・術後の歯科衛生士の対応について学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 周術期における歯科診療の補助 テキストP286-291	6 1 3 講義室
14	【歯科訪問診療における対応】 歯科訪問診療の概要を学修する。訪問診療における口腔健康管理を学修する。訪問診療における感染予防対策について学修する。	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 歯科訪問診療における対応 テキストP292-306	6 1 3 講義室
15	【障害者（児）歯科治療時の診療補助】 障害者（児）歯科治療時の対応について学修する。【歯科診療補助のまとめ】	講義	磯部 彩香	【事前・事後学修課題】 臨床検査値 テキストP307-330	6 1 3 講義室

歯科診療補助論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

授業の概要

歯科診療の臨床における小児、高齢者、障害者、有病者などの対象者別の対応を学ぶ。他の医療従事者との連携に必要な知識、技術、態度を理解して、正確で迅速な医療行為を遂行できる基本的な技術を学ぶ。患者対応のための医療面接、コミュニケーション、エックス線撮影時の診療補助を学ぶ。歯周外科・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科等の診療補助を学ぶ。

この科目は本学の卒業コンピテンシー「1. 歯科医療人としての素養」「5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。 ※本講義は歯科診療補助実習Ⅰの進捗度により、講義順の変更を行う。

学生の到達目標

- ① 歯科診療室の管理と感染予防の説明ができる。
- ② 診療時の共同動作の基本について説明ができる。
- ③ 矯正歯科治療時の器具器材の説明およびエックス線写真撮影法の説明ができる。
- ④ ラバーダム、隔壁、歯冠分離、歯肉圧排の目的、器具器材の種類、操作方法が説明できる。
- ⑤ 仮封材、合着・接着剤の管理と取扱について説明ができる。
- ⑥ 義歯作成時の検査および器材の説明ができる。
- ⑦ 歯内療法、ホワイトニングの器材準備と取り扱いが説明できる。
- ⑧ コンポジットレジン修復、インレー修復の器材準備と取り扱いが説明できる。
- ⑨ 歯周外科治療時の器具器材の説明ができる。
- ⑩ テンポラリークラウン作成時の器材準備の説明ができる。
- ⑪ 小児歯科治療時の対応ができる、説明ができる。
- ⑫ 歯科診療時、障害者患者に対応ができる。
- ⑬ 歯科診療時、全身疾患を有する患者に対応ができる。
- ⑭ 口腔外科治療時の器材準備の説明ができる。

※上記①～⑭の到達目標はレポート・定期試験により評価を行う。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
保健医療におけるコミュニケーション・行動科学	著) 高江洲 義矩 編著	出) 医歯薬出版
歯科衛生士教育マニュアル 新編 小児歯科学		出) クインテッセンス出版株式会社

歯科診療補助論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科 医療倫理学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科 放射線学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯周 病学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 保存 修復学・歯内療法学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科 矯正学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 口腔 外科・歯科麻酔学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・ 口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み1 保健生態学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

歯科診療補助論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科材料	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科機器	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
レポート	40%

その他

第一講時に配布される講義計画を熟読し、講義に臨むこと。【オフィスアワー（学習相談）】（月～金：9時～17時）内にメール、または61オフィスで受け付ける。

歯科診療補助論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	<p>【救急処置】救命処置の対応と手順について具体的に説明できる。</p> <p>【感染予防】感染予防、リスクアセスメント、標準予防策を学び、具体的に歯科における感染予防対策であるグローブ、マスク、ゴーグルの着用、手指消毒方法を説明できる。</p> <p>【消毒・滅菌】洗浄・消毒・滅菌の定義や各種滅菌法、消毒薬剤の種類と使用法、具体的な器具の滅菌レベル、消毒・滅菌済み器材の管理、医療廃棄物の取り扱いを説明できる。</p>	講義	磯部 彩香	<p>【事前学習課題】テキストP15-49 【小テストキーワード】一次救命処置、PPE、各種滅菌法</p>	615講義室 Moodle
2	<p>【歯科診療室の基礎知識】歯科診療室の環境、歯科用ユニットの各部位の名称とその操作方法、その他の設備・機器、薬品・歯科材料の管理を説明できる。</p> <p>【患者対応の流れ】歯科診療室における、歯科用ユニットまでの患者誘導、待合室への導出方法について説明できる。</p> <p>インシデント、アクシデントを未然に防ぐ留意点を具体的に説明できる。</p> <p>【診療補助の基礎的動作】診療補助時の共同動作についてと基礎的なポジショニングの留意点を説明できる。</p>	講義	磯部 彩香	<p>【事前学習課題】テキストP50-77 【小テストキーワード】インシデント・アクシデント、バキューム、ポジショニング</p>	615講義室 Moodle
3	<p>【歯科材料の取り扱い】各種仮封材、合着・接着材の取り扱いと操作、片付けについて説明できる。</p>	講義	磯部 彩香	<p>【事前学習課題】テキストP222-250 【小テストキーワード】各種合着材の特徴、各種仮封材・仮着材の特徴</p>	615講義室 Moodle

歯科診療補助論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	【歯科保存修復時の診療補助①】 直接修復法の手順および使用器材を説明できる。インレー修復の目的、種類、製作法、器具器材を説明できる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP111-120 【小テストキーワード】直接修復の手順と使用器材、間接修復の手順と使用器材	6 1 5 講義室 Moodle
5	【エックス線写真撮影時の診療補助】 歯科におけるエックス線撮影法の種類、撮影時の注意点、エックス線防護法、エックス線撮影補助、フィルムの準備、取り扱い、管理について説明できる。【薬物・歯科材料の取り扱い】 薬物・歯科材料の使用目的および取り扱い時の注意点を述べる事ができる。【矯正歯科治療時の診療補助】 歯科矯正治療の使用目的別器具の種類を説明できる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP90-98、P173-182 【小テストキーワード】 口内法の種類、矯正治療時の患者指導、矯正装置	6 1 5 講義室 Moodle
6	【歯科補綴治療時の診療補助①】 歯科補綴治療（義歯作製）の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を説明できる。印象材、模型材料、ワックスの種類と使用方法、用途について述べる事ができる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP138-143、P192-221、P251-253 【小テストキーワード】 義歯装着後の保健指導、ワックスの種類と用途、印象採得の流れと留意事項	6 1 5 講義室 Moodle
7	【歯科保存修復時の診療補助②】 ホワイトニングの術式、使用器具器材、薬剤の名称と使用方法について説明できる。【歯内療法時の診療補助】 歯内療法術式の術式、使用器具器材、薬剤の名称と使用方法について説明できる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP121-132 【小テストキーワード】 ホワイトニングの種類と使用器材、根管処置に使用する物品と目的	6 1 5 講義室 Moodle

歯科診療補助論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	【障害者（児）歯科治療時の診療補助】障害者の歯科医療における困難さ、特徴、患者対応の基本、行動調整法の種類と具体的方法、非意識下の歯科治療、全身麻酔法、鎮静下歯科治療法、口腔管理、介助者への対応、リスク・安全管理について述べるができる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】直前の講義で指示	6 1 5 講義室 Moodle
9	【小児歯科治療時の診療補助、周術期口腔機能管理の診療補助】小児・障害児の歯科処置の困難さ、歯科治療時に参考となる症状と反応、小児の治療時の対応法の基本、小児の発達段階、小児の歯科治療時の留意点を説明できる。周術期等口腔機能管理とその際の診療補助について説明できる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP183-191、P286-291 【小テストキーワード】小児歯科治療時の診療時の配慮、行動療法的対応法、がんの病態と治療法	6 1 5 講義室 Moodle
10	【歯周外科治療の診療補助】歯周外科治療の目的、分類、使用器具器材、薬物療法、歯周パックの目的、術式、患者指導について説明できる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP133-137 【小テストキーワード】歯周外科治療時の業務、フラップ手術前後の患者指導	6 1 5 講義室 Moodle
11	【歯科保存修復時の診療補助③】ラバーダム防湿法、隔壁法、歯冠分離法、歯肉圧排法の目的、器具器材の種類、操作方法について述べるができる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP99-114 【小テストキーワード】ラバーダム防湿の目的と使用器具、歯肉圧排法の目的と使用物品	6 1 5 講義室 Moodle
12	【歯科補綴治療時の診療補助②】歯科補綴治療（ブリッジ、クラウン）の流れおよび使用器具について診療補助の概要を説明できる。テンポラリークラウン製作とその目的、各種製作法と手順について述べるができる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP144-148 【小テストキーワード】ブリッジ・クラウン装着後の保健指導、テンポラリークラウン装着後の患者指導	6 1 5 講義室 Moodle

歯科診療補助論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	【口腔外科治療時の診療補助】口腔外科処置時の歯科衛生士の役割、普通抜歯・難抜歯時の使用器具器材の名称と使用手順、縫合器具、歯科麻酔法、歯科用注射針、抜歯鉗子、外科器具の種類と取り扱いについて述べることができる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】テキストP149-172 【小テストキーワード】抜歯後の管理と患者指導、歯科麻酔の適応と薬品・使用器具	615講義室 Moodle
14	【歯科診療時の全身疾患患者の対応】全身疾患患者の歯科治療時の対応について説明できる。具体的には、バイタルサインの把握とそのモニタリング、てんかん、高血圧とその処置について述べるができる。	講義	磯部 彩香	【事前学習課題】直前の講義で指示 【小テストキーワード】糖尿病・骨粗しょう症・循環器疾患の口腔症状と歯科診療上の注意点	615講義室 Moodle
15	歯科診療補助実習Ⅰにおいて必要となる、各歯科専門領域における処置内容および器具器材の準備について述べるができる。	講義	磯部 彩香	【準備】これまでの講義で質問しそこねた事や、理解が難しかった内容に対する質問があれば準備し、質問を行うこと	615講義室 Moodle

口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 本田 尚郁						

授業の概要

口腔保健論では、多様な対象者の口腔内状態をアセスメントし、必要な口腔清掃法や器具用具を選択して、実施、評価できる歯科衛生ケアプロセスの基本的な知識、技術を習得する。この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。

学生の到達目標

- ① 歯科衛生士の専門性を理解し、生涯学習者としての基本姿勢を身につける。
- ② 口腔清掃指導に必要な知識、技術および態度を習得する。
- ③ 正常な歯・歯周組織と口腔の機能について概説できる。
- ④ 歯・口腔の健康状態を把握するための項目が列挙できる。
- ⑤ プラーク・歯石の形成過程と成分について説明できる。
- ⑥ う蝕の原因と進行、予防法について説明できる。
- ⑦ 歯周病の原因と分類、進行および予防法について説明できる。
- ⑧ 歯周病における検査を説明できる。
- ⑨ 口腔清掃状態の指標を説明できる。
- ⑩ 歯ブラシや各種清掃用具の選択と使用法が説明できる。
- ⑪ 歯磨剤・洗口剤の選択と使用法が説明できる。
- ⑫ 手用スケーラーの種類と特徴を説明できる。
- ⑬ 超音波スケーラーの種類と特徴を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論	著) 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ	Jill S. Nield-Gehrig 著/ 監訳 訳	医歯薬出版
ザ・ペリオドントロジー	【編集主幹】 沼部幸博 齋藤 淳 梅田 誠 山本 松男 岩田 隆紀	永松書店

口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 本田 尚郁						

タイトル	著者	出版社
ウィルキンス 歯科衛生士の臨床 原著第11版	E・M・ウィルキンス 著/遠藤圭子・中垣晴男・西真紀子・眞木吉信・松井恭平・山根瞳・若林則幸 監訳	医歯薬出版
系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術 I	茂野香おる	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
授業中に実施する確認試験、ポートフォリオ、レポート	30%

その他

【オフィスアワー】学習相談等については、授業終了後あるいは口腔保健学科オフィス（61オフィス）、またはメールにて随時受け付ける。
月～金：8：00～17：30（オフィスアワー以外には対応しない。）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	<p>【口腔保健論の授業概要】 口腔保健論の授業の概要と到達目標について理解する。</p> <p>【基礎知識①】 歯科予防処置の定義、う蝕や歯周疾患の予防、口腔の健康を維持・増進させるための専門的な知識・技能および態度を学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁	歯科予防処置論の定義	Moodle 611講義室

口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	【基礎知識②】 正常な歯・歯周組織と口腔の機能について学ぶ。口腔の付着物・沈着物（プラークや歯石等）の形成過程と成分について学ぶ。	講義	本田 尚郁	口腔の基礎知識 う蝕と歯周病の基礎知識	Moodle 611講義室
3	【歯周疾患の基礎知識①】 歯周病の原因と分類について学ぶ。歯周病の検査について学ぶ。	講義	本田 尚郁	口腔内の情報収集 歯周基本検査法 CAL 歯の動揺度（Millerの分類）	Moodle 611講義室
4	【歯周疾患の基礎知識②】 手用スケーラーについて学ぶ。手用スケーラーの種類と特徴を学ぶ。各種スケーラーの操作方法を学ぶ。ポジショニングについて学ぶ。	講義	本田 尚郁	手用スケーラー ポジショニング	Moodle 611講義室
5	【歯周疾患の基礎知識③】 超音波スケーラー・エアスケーラーについて学ぶ。超音波スケーラーの種類と特徴を理解し、使用方法を学ぶ。超音波スケーラーとエアスケーラーの違いを学ぶ。	講義	本田 尚郁	超音波スケーラー エアスケーラー	Moodle 611講義室
6	【う蝕予防処置の基礎知識①】 歯面研磨・歯面清掃の目的を理解し、操作方法を学ぶ。	講義	本田 尚郁	歯面研磨 歯面清掃 PMTc PTC 歯面清掃器	Moodle 611講義室
7	【予防商品について】 販売されている口腔衛生用品のマーケティング状況を調査し、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。	講義	本田 尚郁	歯ブラシ 歯磨剤 清掃補助用具 洗口剤	Moodle 611講義室

口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	【予防商品について】 販売されている口腔衛生用品のマーケティング状況を調査し、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。	講義	本田 尚郁	歯ブラシ 歯磨剤 清掃補助用具 洗口剤	Moodle 6 1 1 講義室
9	【プラークコントロール①】 予防商品（歯ブラシ・補助的清掃用具）について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。	講義	本田 尚郁 (非)	歯ブラシ 清掃補助用具	Moodle 6 1 1 講義室
10	【プラークコントロール②】 予防商品（歯ブラシ・補助的清掃用具）について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。	講義	本田 尚郁 (非)	歯ブラシ 清掃補助用具	Moodle 6 1 1 講義室
11	【プラークコントロール③】 予防商品（歯磨剤）について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。	講義	本田 尚郁 (非)	歯磨剤 洗口剤	Moodle 6 1 1 講義室
12	【プラークコントロール④】 予防商品（電動歯ブラシ）について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。	講義	本田 尚郁 (非)	歯ブラシ 歯磨剤 電動歯ブラシ	Moodle 6 1 1 講義室
13	【プラークコントロール⑤】 予防商品（電動歯ブラシ）について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。	講義	本田 尚郁 (非)	歯ブラシ 歯磨剤 電動歯ブラシ	Moodle 6 1 1 講義室
14	【2年次の実習に向けての総括】 2年次より開始する『歯周疾患予防処置実習Ⅰ・Ⅱ』を想定した知識の整理を行う。配布資料、テキストを参照し、これまでの講義のまとめや疑問点の解決を行う。	講義	本田 尚郁	今までの授業内容・ テキスト・配布資料 の復習	Moodle 6 1 1 講義室

口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	【2年次の実習に向けての総括】 2年次より開始する『歯周疾患予防処置実習Ⅰ・Ⅱ』を想定した知識の整理を行う。配布資料、テキストを参照し、これまでの講義のまとめや疑問点の解決を行う。	講義	本田 尚郁	今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	Moodle 611講義室

歯科予防処置論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 山口 紫乃						

授業の概要

「歯および口腔の疾患を予防して健康な状態を維持・増進するために行われる専門的な処置」である「歯科予防処置」は、歯科衛生士にとって臨床における主要な業務である。「歯科予防処置論」では、「う蝕予防処置」「歯周病予防処置」に必要な基礎知識を学修し、口腔衛生管理に関する清掃用具、歯磨剤、洗口剤、保湿剤の基礎知識について学修することで、口腔健康管理が適切に実践できる能力を養う。

学生の到達目標

- ①う蝕の分類と原因について説明できる。
- ②口腔衛生管理に関する清掃用具について説明できる。
- ③フッ化物歯面塗布法、フッ化物洗口法について説明できる。
- ④小窩裂溝填塞法の有効性を説明できる。
- ⑤歯面研磨・歯面清掃の術式を説明できる。
- ⑥口腔内の器質的問題について説明できる。
- ⑦歯周治療の流れと必要な検査を説明できる。
- ⑧スケーラーの種類と使用目的、操作方法を説明できる。
- ⑨超音波スケーラーの適応と操作方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生士の臨床原著第9版	Esther M. Wilkins著	医歯薬出版株式会社
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I、II、III		医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
講義中に行う小テスト、課題・レポート	30%

歯科予防処置論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 山口 紫乃						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯・歯周組織の構造について学修する。	講義 小テスト	本田 尚郁	歯・歯周組織の構造	Moodle 6 1 1 講義室
2	歯・口腔の付着物・沈着物について学修する。	講義 小テスト	本田 尚郁	歯・口腔の付着物・沈着物	Moodle 6 1 1 講義室
3	歯周治療の流れと歯周病診査・検査の目的・観察ポイント・レントゲン読影について学修する。	講義 小テスト	本田 尚郁	歯周病の原因・分類・進行及び予防方法、口腔内写真、エックス線写真	Moodle 6 1 1 講義室
4	歯科衛生アセスメントに必要な歯周病検査と方法について学修する。	講義 小テスト	本田 尚郁	歯周病に関連する検査	Moodle 6 1 1 講義室
5	歯周基本治療におけるスケーリング・ルートプレーニングの意義・目的、方法について学修する。	講義 小テスト	本田 尚郁	スケーラーの種類と使用目的	Moodle 6 1 1 講義室
6	歯周基本治療におけるスケーリング・ルートプレーニングの意義・目的、方法について学修する。	講義 小テスト	本田 尚郁	スケーラーの種類と使用目的	Moodle 6 1 1 講義室
7	歯周基本治療における超音波スケーリングの意義・目的、方法について学修する。	講義 小テスト	本田 尚郁	超音波スケーラー	Moodle 6 1 1 講義室
8	う蝕の分類と原因について学修する。	講義 小テスト	山口 紫乃	う蝕の分類と原因	6 1 5 講義室 Moodle
9	口腔衛生管理に関する清掃用具について学修する。	講義 小テスト	山口 紫乃	口腔衛生管理に関する清掃用具 歯ブラシ、洗口剤、保湿剤	6 1 5 講義室 Moodle
10	口腔衛生管理に必要なブラッシング方法について学習する。	講義 小テスト	山口 紫乃	ブラッシング方法	6 1 5 講義室 Moodle

歯科予防処置論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 山口 紫乃						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	う蝕予防処置におけるフッ化物の基礎知識について学修する。	講義 小テスト	山口 紫乃	フッ化物の基礎知識	6 1 5 講義室 Moodle
12	う蝕予防処置におけるフッ化物歯面塗布法、フッ化物洗口法について学修する。後期、「う蝕予防処置実習」実施に必要な知識を学修する。	講義 小テスト	山口 紫乃	フッ化物歯面塗布法、フッ化物洗口法	6 1 5 講義室 Moodle
13	フッ化物配合歯磨剤について学修する。	講義 小テスト	山口 紫乃	フッ化物配合歯磨剤	6 1 5 講義室 Moodle
14	う蝕予防処置における小窩裂溝填塞法について学修する。	講義 小テスト	山口 紫乃	小窩裂溝填塞法	6 1 5 講義室 Moodle
15	歯面研磨・歯面清掃について学修する。後期、「う蝕予防処置実習」実施に必要な知識を学修する。	講義 小テスト	山口 紫乃	歯面研磨、PTC・PMTC、歯面清掃	6 1 5 講義室 Moodle

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、本田 尚郁、磯部 彩香						

授業の概要

患者に安全で安心な歯科診療を実施するために歯科診療の補助に必要な知識と技術を学ぶ。診療室の管理、患者対応、滅菌消毒、共同動作、ラバーダム防湿、印象採得、模型製作、テンポラリークラウン製作を習得する。治療前準備では歯肉圧排法、歯間分離等を行い、対象患者へ配慮をした歯科診療補助ができる手技を習得する。この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「1. 歯科医療人としての素養」「5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。 ※本実習は適宜習得手技順の変更を行う。

学生の到達目標

- ① 歯科ユニット操作、器具の消毒・滅菌ができる。
- ② 一般患者の対応と指導ができる。
- ③ 共同動作ができる。歯科材料の製作ができる。
- ④ 保存治療前準備ができる。
- ⑤ 仮封材、合着・接着材の取扱いができる。
- ⑥ 各種印象材の取扱いができる。
- ⑦ 印象採得・模型製作ができる。
- ⑧ 口腔内の印象採得、模型製作ができる。
- ⑨ 歯周パットの練和、装着ができる。
- ⑩ テンポラリークラウンの製作ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 小児歯科	著) 全国歯科衛生士協議会 監修	出) 医歯薬出版
歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 放射線学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、本田 尚郁、磯部 彩香						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯周病学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み1 保健生態学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、本田 尚郁、磯部 彩香						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科材料	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科機器	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
技能評価	30%
レポート	30%
製作物	40%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】（月～金：9時～17時）内にメール、または61オフィスで受け付けます。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	【歯科診療室の管理・感染防御の実際】歯科診療室の設備・器材の管理、歯科用ユニットの名称とその操作方法を学ぶ。衛生的手洗い、すり込み式消毒法、グローブの着脱、患者誘導、器具の洗浄、滅菌・消毒法、滅菌パック、オートクレーブ操作を実施する。	実習	磯部 彩香 本田 尚郁	【事前学習課題】歯科ユニットの名称、手洗い方法、ラビング法、器具滅菌	相互実習室

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、本田 尚郁、磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3, 4	【診療時の共同動作の基本（1）】入室から退室までの患者対応を学び、フォーハンドシステム、バキュームテクニック、スリーウェイシリンジテクニック、ライティングを実施する。・歯科衛生材料（綿球、ロールワッテ、綿栓など）について学び、製作を実施する。	実習	磯部 彩香 本田 尚郁	【事前学習課題】フォーハンドシステム、バキュームテクニック、綿球・ロールワッテ・綿栓の製作手法	相互実習室
5, 6	【診療時の共同動作の基本（2）】患者を誘導し、術者・補助者・患者の位置と姿勢を学ぶ。バキュームテクニック、ライティングの復習を行い実施する。	実習	磯部 彩香 本田 尚郁	【事前学習課題】患者誘導の注意事項、ポジショニング、バキュームの際の口腔内禁忌部位、ライティング	相互実習室
7, 8	【仮封材、合着・接着材の取扱い】各種仮封材の管理と操作を学ぶ。水硬性仮封材、テンポラリーストッピング、仮封用軟質レジン、仮封用セメント、酸化亜鉛ユージンールの取り扱いと操作、片付けを実施する。各種合着・接着材の操作を実施する。ガラスアイオノマーセメント、カルボキシレートセメント、接着性レジンセメント、リン酸亜鉛セメントの操作、片付けを実施する。	実習	磯部 彩香	【事前学習課題】仮封材、接着材の操作手技	シミュレーション実習室
9, 10	【印象採得実習（1）】概形印象採得、精密印象採得を行う。各種印象材の取扱いを学ぶ。アルジネート印象採得、シリコンラバー印象採得の取り扱いと操作、片付けを実施する。	実習	磯部 彩香	【事前学習課題】アルジネートの練和および操作手順と手技、シリコンラバー印象材の練和および操作手技	技工室 石膏室
11, 12	【印象採得実習（2）】印象採得と模型製作を行う。顎模型の印象採得、石膏注入、片付け、トリミングを実施する。	実習	磯部 彩香	【事前学習課題】印象採得の際の注意点、石膏練和手技	石膏室

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 本田 尚郁, 磯部 彩香						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、本田 尚郁、磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13, 14	【印象採得実習（3）】相互印象採得と模型製作を行う。学生相互で印象採得をしてスタディモデルを作製する。トレーの滅菌、印象物と器具の消毒、石膏注入、模型製作、片付けを実施する。	実習	磯部 彩香	【事前学習課題】印象採得手技、石膏模型の製作手技	相互実習室 石膏室
15, 16	【歯周パック練和装着と石膏模型処理】歯周外科処置後を想定し、歯周パックの練和、装着、除去を実施する。15, 16回で製作した石膏模型の処理、台付けを行う。※製作した石膏模型は提出し評価を受ける。	実習	磯部 彩香	【事前学習課題】歯周パックの使用手法、石膏模型の台付け	石膏室
17, 18	【保存治療前準備】ラバーダム防湿法、歯肉圧排法、歯間分離法を実施する。顎模型にラバーダムを着脱する。ウェッジ、アイボリー型セパレーターを使用し、歯間分離法を実施する。ジンパッカーを用いて歯肉圧排糸を歯肉溝に着脱し、歯肉圧排法を実施する。	実習	磯部 彩香	【事前学習課題】ラバーダム防湿、歯肉圧排、歯間分離の操作手技	シミュレーション実習室
19, 20	【暫間被覆冠作製】既成冠を用いて前歯部の暫間被覆冠を製作する。臼歯部は直接法で暫間被覆冠を製作する。※製作したテンポラリークラウンは提出し評価を受ける。	実習	磯部 彩香	【事前学習課題】テンポラリークラウンの製作手順とテンポラリークラウンの意義	技工室 石膏室

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 磯部 彩香, 佐藤 毅, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 福原 正代, 藤井 航, 若杉 奈緒, 水原 正博, 白川 智彦, 有田 正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅, 邵 仁浩, 磯部 彩香 (矯正歯科) 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 (内科) 福原 正代 (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (歯科放射線科) 若杉 奈緒 (義歯科) 有田 正博						

授業の概要

歯科保健医療に関する基本的な知識と技術を学んだうえで、多様な患者対応および患者への最良かつ安全な歯科診療の提供について、特別支援学校見学、全身管理法等の相互実習を通じて学修する。また、歯科医師との連携に必要なコンポジットレジン修復の手技、歯内療法の手技、口蓋床の製作、エックス線撮影時の補助、口腔外科処置時の器具の取り扱い、矯正歯科の検査等についての実習を行い技術を習得する。

学生の到達目標

- ①コンポジットレジン充填・研磨ができる。
- ②抜髄処置、根管充填処置の補助ができる。
- ③臨床実習前に必要な診療補助業務ができる。
- ④障害を持った児童生徒の生活全般が理解できる。
- ⑤バイタルサイン、モニタリング、意識レベルの把握ができる。
- ⑥抜歯、小手術、縫合器具の種類、用途、取り扱いができる。
- ⑦パノラマエックス線撮影の相互実習を通してその技術を理解できる。
- ⑧現像実習を通して操作を理解できる。
- ⑨エックス線写真撮影の補助ができる。
- ⑩口内法エックス線撮影の相互実習を通して技術を理解できる。
- ⑪口蓋床製作に必要な器具器材の取り扱いができる。
- ⑫歯科矯正におけるセファロ分析ができる。
- ⑬臨床実習に必要な歯科診療補助ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 磯部 彩香, 佐藤 毅, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 福原 正代, 藤井 航, 若杉 奈緒, 水原 正博, 白川 智彦, 有田 正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅、邵 仁浩、磯部 彩香 (矯正歯科) 郡司掛 香織、黒石 加代子、水原 正博、白川 智彦 (内科) 福原 正代 (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (歯科放射線科) 若杉 奈緒 (義歯科) 有田 正博						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯周病学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔学 第2版	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み1 保健生態学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 磯部 彩香, 佐藤 毅, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 福原 正代, 藤井 航, 若杉 奈緒, 水原 正博, 白川 智彦, 有田 正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅、邵 仁浩、磯部 彩香 (矯正歯科) 郡司掛 香織、黒石 加代子、水原 正博、白川 智彦 (内科) 福原 正代 (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (歯科放射線科) 若杉 奈緒 (義歯科) 有田 正博						

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科材料	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科機器	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	80%
臨床技能到達度評価試験	20%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】実習の前後、またはメールにより随時質問を受け付ける。

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 磯部 彩香, 佐藤 毅, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 福原 正代, 藤井 航, 若杉 奈緒, 水原 正博, 白川 智彦, 有田 正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅, 邵 仁浩, 磯部 彩香 (矯正歯科) 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 (内科) 福原 正代 (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (歯科放射線科) 若杉 奈緒 (義歯科) 有田 正博						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	保存治療前準備、ホワイトニングトッフルマイヤーリテナーを使用してマトリックスバンドを着脱する隔壁法を実習する。ラバーダム防湿法を実習する。	実習	磯部 彩香	【事前学修課題】タッフルマイヤーリテナーを用いた隔壁法, ラバーダム防湿法について 【事後学修課題】実習内容の復習	シミュレーション実習室
3, 4	器材準備・成形修復 (コンポジットレジン修復) 前歯歯頸部齲蝕と、臼歯部隣接面齲蝕に対するコンポジットレジン修復を実習する。	実習	邵 仁浩 磯部 彩香	【事前学修課題】保存治療学・成形修復について 【事後学修課題】実習内容の復習	シミュレーション実習室
5, 6	器材準備・歯内療法 透明根管を使用し、根管治療の各ステップ (根管形成、根管洗浄、根管貼薬、根管充填等) を実習する。	実習	邵 仁浩 磯部 彩香	【事前学修課題】保存治療学・歯内療法について 【事後学修課題】実習内容の復習	シミュレーション実習室
7, 8	特別支援学校見学 特別支援学校の学校開放日にグループに分かれて見学し、障害を持った児童生徒の生活全般を理解する。学校の位置、学内の設備、配置、生徒の様子を確認して、臨床実習のために何を事前学修しておくかを検討する。	実習	藤井 航 磯部 彩香	【事前学修課題】特別支援学校について 【事後学修課題】実習内容の復習	615 講義室 その他

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 磯部 彩香, 佐藤 毅, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 福原 正代, 藤井 航, 若杉 奈緒, 水原 正博, 白川 智彦, 有田 正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅, 邵 仁浩, 磯部 彩香 (矯正歯科) 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 (内科) 福原 正代 (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (歯科放射線科) 若杉 奈緒 (義歯科) 有田 正博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9, 10	歯科臨床の全身管理 バイタルサインである血圧、脈拍、呼吸、意識レベルなどの評価方法、モニタリングを学修する。 心電図について学ぶ。 ①心電図のとり方を学ぶ。 ②自分の心電図を調べ、心臓の構造と機能を学ぶ。 ③脈拍と血圧等の測定方法を学ぶ。 ④モニタリングを学ぶ。 ⑤BLSの流れを学ぶ。	実習	福原 正代 佐藤 毅 磯部 彩香	【事前学修課題】 バイタルサインの評価方法について 【事後学修課題】 実習内容の復習 刺激伝導系、心電図、脈拍、血圧	相互実習室 診療室_病院
11, 12	器材準備・口腔外科 抜歯、小手術、縫合器具の種類、用途、取り扱いについて実践的に学修する。	実習	佐藤 毅 磯部 彩香	【事前学修課題】 口腔外科学・抜歯、小手術、縫合について 【事後学修課題】 実習内容の復習	615講義室 相互実習室
13, 14	器材準備・歯科補綴学 口蓋床の製作実習を通して、補綴治療に必要な材料や器具およびその使用方法を学修する。	実習	有田 正博 磯部 彩香	【事前学修課題】 即時重合レジンの使用方法。レジン研磨。Streamで学習 【事後学修課題】 実習内容についての振り返り。口蓋床装着の感想	技工室
15, 16	歯科用エックス線写真撮影 歯科用エックス線撮影装置及びフィルムを用いてその実際を学修する。パノラマエックス線写真撮影 パノラマエックス線撮影装置及びフィルムを用いてその実際を学修する。	実習	若杉 奈緒 磯部 彩香	【事前学修課題】 歯科用エックス線写真について 【事後学修課題】 実習内容の復習	診療室_病院 Moodle

歯科診療補助実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, 磯部 彩香, 佐藤 毅, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 福原 正代, 藤井 航, 若杉 奈緒, 水原 正博, 白川 智彦, 有田 正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅、邵 仁浩、磯部 彩香 (矯正歯科) 郡司掛 香織、黒石 加代子、水原 正博、白川 智彦 (内科) 福原 正代 (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (歯科放射線科) 若杉 奈緒 (義歯科) 有田 正博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
17, 18	セファロ分析 矯正歯科について、矯正器具およびセファロ分析を踏まえながら、歯科矯正治療の概要を学修する。	実習	郡司掛 香織 黒石 加代子 水原 正博 白川 智彦 磯部 彩香	【事前学修課題】 歯科矯正治療、セファロについて 【事後学修課題】 実習内容の復習	技工室 相互実習室
19, 20	診療補助の実際→臨床実習前に必要な診療補助業務について 各歯科専門領域における器具器材の準備と使用方法について学修し、臨床現場で必要な器具の受け渡し等総合的に学修する。	実習	磯部 彩香	【事前学修課題】 歯科診療補助に必要な技術について 【事後学修課題】 実習内容の復習	相互実習室 技工室 シミュレーション実習室

歯周疾患予防処置実習I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	45	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	本田 尚郁, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 本田 尚郁, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃						

授業の概要

歯周疾患予防処置実習は、歯周疾患を予防し、歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。卒業コンピテンシー「歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識・技能および態度を修得する」に資する授業である。

学生の到達目標

- ①歯科衛生士の専門性を理解し、生涯学習者としての基本姿勢を身につける。
- ②医療における安全性への配慮と感染予防を実施できる。
- ③歯科ユニット操作、器具の消毒・滅菌を実施できる。
- ④最善の医療を提供するために必要な医療面接を実施できる。
- ⑤歯周病における検査を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 (第2版)	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I、II、III	Jill S. Nield-Gehrig 著/監訳 訳	医歯薬出版株式会社
ウィルキンス 歯科衛生士の臨床 原著第11版	Esther M. Wilkins	医歯薬出版株式会社
ザ・ペリオドントロジー	【編集主幹】 沼部幸博 齋藤 淳 梅田 誠 山本松男 岩田隆紀	永松書店
系統看護学講座 基礎看護学[2] 基礎看護学技術 I	茂野香おる 他	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	70%
小テスト・レポート・ポートフォリオ	30%

歯周疾患予防処置実習I

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	45	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	本田 尚郁, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 本田 尚郁, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃						

その他

学習相談等については、授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス（61オフィス）、またはメールにより随時質問を受け付ける。

事前にmoodle上にアップロードしてある資料を確認し、自己学習に活用すること。

【オフィスアワー（学習相談）】8時00分～17時30分（オフィスアワー以外には対応しない。）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	歯周疾患予防処置実習の授業概要： 授業概要と到達目標、生涯学習としてポートフォリオの活用について理解する。実習室使用方法、実習の心得について：シミュレーション実習室の設備・器材の管理、歯科用ユニットの名称とその操作方法を修得する。実習の際の身だしなみや態度について学ぶ。	実習	本田 尚郁	「口腔保健論」の授業内容、配布資料の復習、医療安全と感染予防、ポジショニング、口腔内の観察方法	シミュレーション実習室
3, 4	口腔内診査器具の取り扱い： 口腔内診査法、ポジショニングを実践する。ミラー・探針・プロープ等の口腔内診査器具操作を修得する。	実習	本田 尚郁	医療安全と感染予防、ポジショニング、口腔内の観察方法、口腔内診査法、0' LearyのPCR	シミュレーション実習室
5, 6	口腔内診査器具の取り扱い： 口腔内診査法、ポジショニングを実践する。ミラー・探針・プロープ等の口腔内診査器具操作を修得する。	実習	本田 尚郁	医療安全と感染予防、ポジショニング、口腔内の観察方法、口腔内診査法、0' LearyのPCR	相互実習室
7, 8	口腔内診査器具の取り扱い： 口腔内診査法、ポジショニングを実践する。ミラー・探針・プロープ等の口腔内診査器具操作を修得する。	実習	本田 尚郁	医療安全と感染予防、ポジショニング、口腔内の観察方法、口腔内診査法、0' LearyのPCR	相互実習室

歯周疾患予防処置実習I

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	45	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	本田 尚郁, 邵 仁浩, 船原 まどか, 磯部 彩香, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 本田 尚郁、邵 仁浩、船原 まどか、磯部 彩香、山口 紫乃						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9, 10	歯周組織検査法： 模型上でプロービングや動揺度検査等を行い、歯周疾患の検査に必要な手技を学習する。	実習	本田 尚郁	歯周組織検査法、CAL、GML、歯の動揺度 (Millerの分類)	シミュレーション実習室
11, 12	歯周組織検査法： 模型上でプロービングや動揺度検査等を行い、歯周疾患の検査に必要な手技を学習する。	実習	本田 尚郁	歯周組織検査法、CAL、GML、歯の動揺度 (Millerの分類)	シミュレーション実習室
13, 14	歯周組織検査法： 相互実習を通じて、模型実習では経験できない歯周組織検査の実際を体験し、技術を修得する。	実習	本田 尚郁	歯周組織検査法、CAL、GML、歯の動揺度 (Millerの分類)	相互実習室
15, 16	歯周組織検査法： 相互実習を通じて、模型実習では経験できない歯周組織検査の実際を体験し、技術を修得する。	実習	本田 尚郁	歯周組織検査法、CAL、GML、歯の動揺度 (Millerの分類)	相互実習室
17, 18	歯周組織検査法： 相互実習を通じて、模型実習では経験できない歯周組織検査の実際を体験し、技術を修得する。	実習	本田 尚郁	歯周組織検査法、CAL、GML、歯の動揺度 (Millerの分類)	相互実習室
19, 20	実技試験： 歯周疾患予防処置実習を通じて身につけた知識・技術を客観的に評価する。	実習	本田 尚郁 邵 仁浩 山口 紫乃 船原 まどか 磯部 彩香	今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	シミュレーション実習室
21	前期実習総括①： 実技試験のフィードバックを行う。実習のまとめや疑問点の解決を行う。	実習	本田 尚郁	今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	シミュレーション実習室
22, 23	前期実習総括②： 実技試験のフィードバックを行う。実習のまとめや疑問点の解決を行う。	実習	本田 尚郁	今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	相互実習室

歯周疾患予防処置実習II

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅						

授業の概要

歯周疾患予防処置実習は、歯周疾患を予防し、歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。卒業コンピテンシー「歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識・技能および態度を修得する」に資する授業である。

学生の到達目標

- ①歯石探知ができる。
- ②各種手用スケーラーの特徴と使用方法を説明できる。
- ③シックルスケーラーを安全に実施できる。
- ④スケーラーのシャープニング方法や使用する器材を説明できる。
- ⑤スケリング・ルートプレーニングができる。
- ⑥超音波スケーラーとエアスケーラーを実施できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A	医の原則

テキスト

タイトル	著者	出版社
新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 (第2版)	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
目で見るとペリオドンタルインスツルメンテーション I、II、III		医歯薬出版株式会社
ウィルキンス 歯科衛生士の臨床 原著第11版	Esther M. Wilkins	医歯薬出版株式会社
ザ・ペリオドントロジー		永松書店
系統看護学講座 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I	茂野香おる	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	50%
小テスト、レポート	30%
臨床技能到達度評価試験	20%

歯周疾患予防処置実習II

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅						

その他

学習相談等については、授業前後、担当教員オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。事前にmoodle上にアップロードしてある資料を確認し、自己学習に活用すること。

【オフィスアワー（学習相談）】8時30分～17時15分（オフィスアワー以外には対応しない。）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	歯石探知：人工歯石を付着した模型上でエクスプローラーを用いて歯石を探知する手法を学ぶ。シャープニングの方法について学ぶ。	実習	佐藤 毅	エクスプローラーの使い方、シャープニングの方法	シミュレーション実習室
3, 4	スケーリング・ルートプレーニング：模型上でシクルスケーラーを用いて、操作方法やストローク、注意点について学ぶ。	実習	佐藤 毅	シクルスケーラー、ポジショニング	シミュレーション実習室
5, 6	スケーリング・ルートプレーニング：人工歯石を付着した模型上でシクルスケーラーあるいはキュレットスケーラーを用いて、操作方法やストローク、注意点について学ぶ。	実習	佐藤 毅 邵 仁浩	シクルスケーラー、ポジショニング	シミュレーション実習室
7, 8	スケーリング・ルートプレーニング：模型上でキュレットスケーラーを用いて、操作方法やストローク、注意点について学ぶ。	実習	佐藤 毅	キュレットスケーラー、ポジショニング	シミュレーション実習室
9, 10	スケーリング・ルートプレーニング：人工歯石を付着した模型上でシクルスケーラーあるいはキュレットスケーラーを用いて、操作方法やストローク、注意点について学ぶ。	実習	佐藤 毅	キュレットスケーラー、ポジショニング	シミュレーション実習室
11, 12	実技試験：歯周疾患予防処置実習を通じて身につけた知識・技術を客観的に評価する。	実習	佐藤 毅 邵 仁浩	今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	シミュレーション実習室

歯周疾患予防処置実習II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13, 14	超音波スケーラー・エアスケーラー： 模型上で超音波スケーラーとエアスケーラーの使用方法、操作上の注意について学ぶ。	実習	佐藤 毅	超音波スケーラー、エアスケーラー	シミュレーション実習室
15, 16	超音波スケーラー・エアスケーラー： 相互実習で超音波スケーラーとエアスケーラーの使用方法、操作上の注意について学ぶ。超音波スケーラーとエアスケーラーのアシスタント業務について学ぶ。	実習	佐藤 毅	超音波スケーラー、エアスケーラー	相互実習室
17, 18	超音波スケーラー・エアスケーラー： 相互実習で超音波スケーラーとエアスケーラーの使用方法、操作上の注意について学ぶ。超音波スケーラーとエアスケーラーのアシスタント業務について学ぶ。	実習	佐藤 毅	超音波スケーラー、エアスケーラー	相互実習室
19, 20	超音波スケーラー・エアスケーラー： 相互実習で超音波スケーラーとエアスケーラーの使用方法、操作上の注意について学ぶ。(補助者がいない場合)	実習	佐藤 毅	超音波スケーラー、エアスケーラー	相互実習室

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 船原 まどか						

授業の概要

生涯にわたる歯や口の健康づくりについて対象者を生活者として支援していくことは歯科衛生士の重要な役割である。歯科保健指導論Ⅰでは、これまで学修してきた専門基礎科目や並行して学修する口腔衛生学・公衆衛生学・臨床歯科医学の内容が、対象者との関りの場面でどのように関連していくのかを理解する。はじめに、健康の概念・健康行動理論・コミュニケーション法を含む医療面接技術など歯科保健指導に必要な基礎的知識を学ぶ。次に、対象者の歯科衛生問題を適切に把握するための科学的思考法である歯科衛生過程を理解し専門的実践能力の基盤を身に着ける事に主眼を置く。

学生の到達目標

- ①ヘルスプロモーションの考え方と歯科衛生活動の対象・領域を説明できる。
- ②行動変容の理論を記述できる。
- ③情報収集の目的と歯科保健指導に必要な情報について記述できる。
- ④対象把握のためのコミュニケーション技術を説明できる。
- ⑤歯科衛生過程の意義を説明できる。
- ⑥歯科衛生ヒューマンニーズ理論を説明できる。
- ⑦歯科衛生アセスメントを説明できる。
- ⑧歯科衛生診断文を説明できる。
- ⑨歯科衛生介入計画を説明できる。
- ⑩歯科衛生介入およびプロセスの評価を説明できる。
- ⑪POS, SOAP (IE) を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学	会の仕組み1 保健生態学 全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
歯科衛生ケアプロセス実践ガイド	佐藤陽子, 齋藤淳 編著	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
レポート課題	30%

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 船原 まどか						

その他

【オフィスアワー】オフィスアワーは原則16：20～17：15とする。
質問や相談は状況によりメールでも随時対応を行う。メール送信先や資料についてはmoodleの本科目ページを参照のこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	・口腔保健教育の概要 歯科保健指導の内容、ヘルスプロモーション、予防の概念と歯科衛生活動などから、口腔保健教育の意義と目的を学修する。	講義	船原 まどか	【事前学修課題】健康教育、個人・集団、疾患の予防レベル 【事後学修課題】予防のレベルと歯科衛生業務	615講義室 Moodle
2	・歯科保健指導の基礎知識 口腔の機能と役割を理解し、歯科衛生士として食生活指導・咀嚼指導を行うために必要な知識を学修する。	講義	船原 まどか	【事前学修課題】口腔の構造と機能、う蝕・歯周病、咀嚼の定義・仕組み・効用 【事後学修課題】口腔の機能と咀嚼	615講義室 Moodle
3	・行動変容のための理論 生活習慣やライフスタイルに応じた支援ができるよう、健康信念モデル、学習理論、社会的認知理論、行動変容ステーモデルなどの理論を用いた保健指導の方法を学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】行動変容ステーモデル、オペラント条件付け、自己効力感	615講義室 Moodle
4	・コミュニケーションの基礎 コミュニケーションの基礎を学び、医療面接における情報収集と信頼関係の構築について学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学習課題】動機づけ面接法、認知行動療法、インタラクティブコミュニケーション、ゼロポジション、ペーシング	615講義室 Moodle

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	・情報収集 対象者の口腔保健上の問題を把握するために必要な情報は何かを理解し、得た情報にどのような意味があるか解釈する。	講義	船原 まどか	【事前学修課題】主観的情報・客観的情報、生活習慣、保健行動、受療行動 【事後学修課題】演習事例の情報整理および解釈	615講義室 Moodle
6	・歯科衛生過程の基礎1 歯科衛生過程の定義と構成要素を復習し、科学的・論理的思考と判断の重要性を学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】歯科衛生過程の構成の要素、臨床推論、ICF, OHR, QL, クライアント・セルフケア・コミットメントモデル	615講義室 Moodle
7	・歯科衛生過程の基礎2 情報を科学的に分析するための理論を学修する。歯科衛生ニーズ概念モデルの8つの歯科衛生ニーズの内容を理解する。	講義	船原 まどか	【事前学修課題】歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、歯科衛生ニーズの定義 【事後学修課題】歯科衛生ニーズの定義をもとに8つの領域に該当する情報の修得・定着	615講義室 Moodle
8	・歯科衛生過程の基礎3 ヒューマンニーズ理論をもとに情報を整理・分類し、情報の持つ意味や情報間の関係について深く考察する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】情報の種類、全身の健康状態、生活環境 【事後学修課題】演習事例の情報整理および解釈	615講義室 Moodle

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	・ 歯科衛生過程の基礎 4 歯科衛生ヒューマンニーズの枠組みごとに演習事例を分析し、歯科衛生上の「問題」とその「原因」を抽出する。これをもとに歯科衛生診断文を作成する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】演習事例の歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル理論を用いた分析 【事後学修課題】歯科衛生問題とその原因の抽出。診断文の作成とプロブレムリストの作成。	6 1 5 講義室 Moodle
10	・ 歯科衛生過程の基礎 5 8つの枠組みごとの歯科衛生診断文について優先順を決定する。一つの歯科衛生診断文に対して、歯科衛生介入計画を立案する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】長期目標、短期目標、C-P、E-P、O-P 【事後学修課題】歯科衛生診断文に対する介入計画の立案	6 1 5 講義室 Moodle
11	・ 歯科衛生過程の基礎 6 歯科衛生介入計画に対する介入後の評価と介入時の記録 (SOAPによる業務記録) について演習事例で学修する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】問題志向型診療録、SOAP、歯科衛生評価 【事後学修課題】SOAPIEの事例演習	6 1 5 講義室 Moodle
12	・ 歯科衛生過程の展開 1 演習事例を用いて歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデルの枠組みごとに情報の分類、解釈・分析を行う。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】第6-11回の授業資料 【事後学修課題】歯科衛生アセスメントレポート	6 1 5 講義室 Moodle
13	・ 歯科衛生過程の展開 2 歯科衛生アセスメントをもとに歯科衛生診断文を作成し、優先順を付す。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】第6-11回の講義資料、歯科衛生アセスメントレポート 【事後学修課題】プロブレムリストレポート	6 1 5 講義室 Moodle

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	・ 歯科衛生過程の展開 3 歯科衛生診断文の優先順 # 1, # 2 に対して介入計画を立案する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】 第 6-11回の講義資料、歯科衛生アセスメントシート、歯科衛生プロブレムリスト 【事後学修課題】 歯科衛生介入計画立案レポート	6 1 5 講義室 Moodle
15	・ フィードバックとまとめ 演習事例の全プロセスについてフィードバックを行う。受講生の理解が困難であった内容を聴取し再度講義する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】 第 6-14回講義・演習資料 【事後学修課題】 歯科衛生アセスメント・プロブレムリスト・歯科衛生計画立案レポート修正	6 1 5 講義室 Moodle

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか(口腔保健科), (非)猪原 光 ※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

生涯にわたる歯や口の健康づくりについて対象者を生活者として支援していくことは歯科衛生士の重要な役割である。歯科保健指導論ⅡではⅠでの学びをさらに発展させる。はじめにライフステージごとの対象者(個人あるいは集団)の一般的特徴および口腔の特徴を理解し、各ライフステージにおける歯科衛生士としての着眼点を学ぶ。次に、学校や保健センター等で行う地域歯科保健活動に関する知識と具体的な指導方法を学修する。

学生の到達目標

- ①口腔保健教育活動の概要を説明できる。
- ②各ライフステージにおける一般的特徴ならびに口腔の特徴、および望ましい歯科保健行動を説明できる。
- ③各ライフステージにおける食生活指導(口腔機能と咀嚼指導を含む)を説明できる。
- ④各ライフステージにおける個人および集団を対象とした口腔保健教育計画を説明できる。
- ⑤個別の歯科保健指導方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
「咀嚼の本1」、「咀嚼の本2」	日本咀嚼学会編	口腔保健協会

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
レポート課題	20%
臨床技能到達度評価試験等	20%

その他

【オフィスアワー(学習相談)】(平日:9時-17時)内にメールまたは講義担当者の居室訪問で受け付ける。

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか(口腔保健科), (非)猪原 光 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	＜口腔保健教育活動の対象と理解＞ライフステージにおける歯科衛生活動の視点と地域歯科保健活動の概要、対象ごとの法的な位置づけと歯科衛生士の役割を理解する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】ライフステージに対応した歯科衛生介入；テキストp 310-311、地域歯科保健活動；テキストp 396-419、保健生態学の関連ページ	6 1 5 講義室 Moodle
2	＜ライフステージ別教育法：妊産婦・乳児期＞妊産婦・乳幼児期の一般的特徴を理解した上で、口腔機能の獲得について全身の発育・発達を踏まえた離乳期の歯科保健指導に必要な知識を学修する。	講義	船原 まどか	【事前学修課題】妊産婦・乳幼児、テキストp 312-330 【事後学修課題】離乳期の口腔機能の発達と摂食行動	6 1 5 講義室 Moodle
3	＜ライフステージ別教育法：乳幼児期＞乳幼児期の全身の発達と口腔機能の獲得に資する離乳期の歯科保健指導について学修した知識を定着させる。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】妊産婦・乳幼児、テキストp 312-338 【事後学修課題】離乳期の口腔機能の発達と摂食行動、テキストp 312-330	6 1 5 講義室 Moodle
4	＜ライフステージ別教育法：幼児期前半＞幼児期の一般的特徴を理解した上で、1歳半・3歳児健診時の歯科保健指導について学修する。口腔機能の発達に応じた食事指導を行うための知識を修得する。	講義 演習	船原 まどか	【事前・事後学修課題】テキストp 330-338 (特にp 332-335)	6 1 5 講義室 Moodle
5	＜ライフステージ別教育法：幼児期後半＞幼児期後期の一般的特徴を理解した上で、口腔保健教育の目的・意義および歯科衛生士の役割を学修する。幼稚園で行う集団歯科保健指導の内容を考案する。小児の口腔機能発達不全症の評価および指導方法を学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】テキストp 330-338、口腔機能発達不全p 289-291、403-407	6 1 5 講義室 Moodle

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか(口腔保健科), (非)猪原 光 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	＜ライフステージ別教育法：学齢期＞学齢期の一般的特徴、口腔の特徴を理解し、小学校における集団歯科保健指導の目的・意義および歯科衛生士の役割を学修する。小学校で行う集団歯科保健指導の内容を考案する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】テキスト p 338-344、 p 407-412	6 1 5 講義室 Moodle
7	＜ライフステージ別教育法：学齢期（中学校・高等学校）・青年期前期＞学齢期（中学生・高校生）の一般的特徴・口腔の特徴を理解し、自律した健康管理を培う歯科衛生活動について学修する。青年期の口腔保健および生活行動（食生活）の問題を理解する。	講義・演習	船原 まどか	【事前・事後学修課題】学齢期の口腔健康問題、青年期の食生活、テキスト p 344-350	6 1 5 講義室 Moodle
8	＜ライフステージ別教育法：成人期①＞成人期の一般的特徴を理解し、歯科疾患予防による残存歯の維持と全身の健康との関係について学修する。口腔疾患予防として行う禁煙支援の内容を学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】テキスト p 350-359、禁煙支援 p 297-305	6 1 5 講義室 Moodle
9	＜ライフステージ別教育法：成人期②＞生活習慣病と口腔保健の関連について学修し、全身の健康を目指した指導を行うための視点を学ぶ。生活習慣病予防のための咀嚼能力の評価方法と咀嚼指導法について学修する。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】テキスト p 350-359、生活習慣指導 p 293-297、糖尿病教育入院 p 417-418、咀嚼能力と口腔機能評価、 p 421-429	6 1 5 講義室 Moodle
10	＜ライフステージ別教育法：老年期①＞要介護者の口腔保健の現状と訪問歯科診療による歯科的介入およびQOLを支える歯科衛生士の役割の実際を学ぶ。	講義	船原 まどか (非)猪原 光	【事前・事後学修課題】テキスト p 360-382、要介護高齢者の歯科保健指導・食生活指導	6 1 5 講義室 Moodle
11	＜ライフステージ別教育法：老年期②＞高齢者に対する口腔機能低下予防の実際を学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前学修課題】テキスト p 360-371、口腔機能低下 p 291-293、介護予防事業 415-416	6 1 5 講義室 Moodle

歯科保健指導論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか(口腔保健科), (非)猪原 光 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	＜配慮を要する人に対する口腔保健教育と支援＞障がい児者、大規模災害被災者、労働者の口腔保健について学修する。特に、災害被災者に対する口腔保健の視点を理解する。	講義	船原 まどか	【事前学修課題】 p381-386、406-412、大規模災害被災者、産業歯科保健	6 1 5 講義室 Moodle
13	＜個人に対する歯科保健指導の実践①＞成人に対する個別の歯科保健指導を実践するために、症例に合った歯ブラシや補助的清掃用具を選択し指導する方法を学ぶ。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】 p 268-289 【学生準備物】歯ブラシセット、補助的清掃用具	6 1 5 講義室 Moodle
14	＜個人に対する歯科保健指導の実践②＞演習症例に対する指導計画とシナリオを作成し、模型を用いたシミュレーションにより知識を内面化する。	講義 演習	船原 まどか	【事前学修課題】各自で作成した指導案とシナリオ 【学生準備物】顎模型、歯ブラシセット、補助的清掃用具	6 1 5 講義室 Moodle
15	＜まとめとフィードバック＞対象者のライフステージ、身体的状況、環境を考慮した上で、口腔の状態に適した歯科保健指導を実施する知識と技術について授業を通して身に着いた事を確認する。	講義 演習	船原 まどか	【事前・事後学修課題】各自で作成した指導案とシナリオ	6 1 5 講義室 Moodle

う蝕予防処置実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩(口腔保健科), 山口 紫乃(口腔保健科)						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

う蝕予防処置実習は、う蝕を予防し人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的技術および態度を修得する。口腔内写真撮影技術、口腔衛生管理に関する清掃用具の使用技術、機械的な歯面清掃・歯面研磨、フッ化物塗布法、小窩裂溝填塞の技術を修得する。卒業コンピテンシー「う蝕予防を安全に行うため、フッ化物塗布において必要な基本的知識、技能および態度を修得する」に資する授業である。

学生の到達目標

- ①歯ブラシの選択と正しいブラッシング法ができる。
- ②個人に適した清掃用具を使用して説明指導できる。
- ③歯面研磨・歯面清掃を実践できる。
- ④口腔内写真撮影を実践できる。
- ⑤フッ化物歯面塗布法を実践できる。
- ⑥小窩裂溝填塞法を実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
フッ化物についてよく知ろう	飯島洋一	デンタルダイヤモンド社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	50%
レポート・確認テスト	30%
臨床技能到達度評価試験	20%

その他

【オフィスアワー(学習相談)】実習の前後、またはメールで受け付ける。

う蝕予防処置実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩(口腔保健科), 山口 紫乃(口腔保健科) ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1. 2	口腔衛生管理に関する清掃用具① (相互) 歯ブラシの選択と正しいブラッシング法を修得する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 口腔衛生管理に関する清掃用具、洗口剤、保湿剤	相互実習室
3. 4	口腔衛生管理に関する清掃用具② (相互) 歯垢を染め出しPCRで評価し、個人に適した清掃用具を使用して説明指導する技術を修得する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 口腔衛生管理に関する清掃用具、洗口剤、保湿剤、歯垢の指数	相互実習室
5. 6	歯面研磨・歯面清掃・エアフロー (顎模型) 模型上における歯面研磨・歯面清掃の技術を修得する。歯面清掃器を使用するための技術を修得する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 歯面研磨、歯面清掃、研磨剤、歯面清掃器エアフロー	シミュレーション実習室
7. 8	口腔内写真撮影・歯面研磨・歯面清掃 1 (相互) 口腔内写真撮影の技術を修得する。相互実習を通じて歯面研磨・歯面清掃の技術を修得する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 口腔内写真撮影方法、歯面研磨、歯面清掃、研磨剤	相互実習室
9. 10	口腔内写真撮影・歯面研磨・歯面清掃 2 (相互) 口腔内写真撮影の技術を修得する。相互実習を通じて歯面研磨・歯面清掃の技術を修得する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 口腔内写真撮影方法、歯面研磨、歯面清掃、研磨剤	相互実習室
11. 12	口腔内写真撮影・歯面研磨・歯面清掃 3 (相互) 口腔内写真撮影の技術を修得する。相互実習を通じて歯面研磨・歯面清掃の技術を修得する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 口腔内写真撮影方法、歯面研磨、歯面清掃、研磨剤 (P168～) (P222～)	相互実習室
13. 14	フッ化物歯面塗布法 相互実習に向けてフッ化物歯面塗布法の適応歯と術式を学修する。小窩裂溝填塞 小窩裂溝填塞法の適応歯と術式を学修する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 フッ化物歯面塗布法、小窩裂溝填塞法	シミュレーション実習室

う蝕予防処置実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩(口腔保健科), 山口 紫乃(口腔保健科) ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15. 16	フッ化物歯面塗布法 (相互) 相互にフッ化物を歯面塗布する技術を修得する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 フッ化物歯面塗布法	相互実習室
17. 18	実技試験 う蝕予防処置実習を通じて修得した技術を確認する。	実習	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 実習内容の復習	シミュレーション実習室
19. 20	う蝕予防処置実習総括 実技試験のフィードバック、確認テスト	実習 確認テスト	邵 仁浩 山口 紫乃	【事前・事後学修】 う蝕予防処置	シミュレーション実習室

歯科保健指導実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか, 本田 尚郁						

授業の概要

地域住民に対する口腔保健教育活動の実践過程を学修するために、対象集団の特性と口腔保健上の課題を把握し、効果的な実施計画に基づいた媒体を作成しプレゼンする。本科目は卒業コンピテンシー「すべての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に該当する。

学生の到達目標

- ①個人と集団の対象に応じた教育活動について説明できる。
- ②対象集団の特性と口腔機能の成長発達および口腔保健上の課題を説明できる。
- ③地域住民（幼児・成人・高齢者）を対象とした口腔保健教育の指導案を作成できる。
- ④地域住民（幼児・成人・高齢者）に適した媒体を用いて口腔保健教育活動のプレゼンテーションができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
咀嚼の本1, 2	日本咀嚼学会	口腔保健協会
臨地実習HAND BOOK	眞木吉信/合場千佳子ほか	クインテッセンス

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題成果物	70%
レポート	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】（平日：9時～17時）内にメールまたは講義担当者の居室訪問で受け付ける。
* 成果物を地域歯科保健活動に用いる場合がある。

歯科保健指導実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか, 本田 尚郁						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	・地域住民を対象とした口腔保健教育活動① 成人のライフステージ上の特徴と口腔保健上の問題について考察する成人集団の特性を考慮し、全身の健康に資する口腔保健の内容で指導案を作成する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】 歯科保健指導Ⅱの学修内容、地域歯科保健活動 【事後学修課題】 指定書式による指導案	コンピュータ演習室
3, 4	・地域住民を対象とした口腔保健教育活動② 指導案に基づき媒体（リーフレット/ポスター）を作成する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】 歯科保健指導Ⅱの学修内容、地域歯科保健活動 【事後学修課題】 作成した集団歯科保健指導媒体	コンピュータ演習室
5, 6	・地域住民を対象とした口腔保健教育活動③ 作成した媒体を用いた発表のフィードバックを受け指導案・媒体を修正する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】 指導案、作成した集団歯科保健指導媒体 【事後学修課題】 修正した指導案、集団歯科保健指導媒体	コンピュータ演習室
7, 8	・高齢期の地域住民を対象とした口腔保健教育活動① 高齢者（個人）の口腔機能低下と口腔保健上の問題を理解し、介護予防事業の口腔機能向上における歯科衛生士の役割を踏まえて、指導案を作成する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】 歯科保健指導Ⅱの学修内容、地域歯科保健活動 【事後学修課題】 指定書式による指導案	7 2 実習室
9, 10	・高齢期の地域住民を対象とした口腔保健教育活動② 指導案に基づき、参加型の効果的な媒体を作成する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】 歯科保健指導Ⅱの学修内容、地域歯科保健活動 【事後学修課題】 作成した集団歯科保健指導媒体	7 2 実習室

歯科保健指導実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	船原 まどか, 本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11, 12	・高齢期の地域住民を対象とした口腔保健教育活動③ 指導案に基づき、参加型の効果的な媒体を作成する。作成した媒体を用いて発表し、教員の評価と指導をうける。フィードバックを受け指導案・媒体を修正する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】指導案、集団歯科保健指導媒体 【事後学修課題】修正した指導案・集団歯科保健指導媒体	7 2 実習室
13, 14	・幼児期・学童期の口腔保健教育活動① 幼稚園・小学校における口腔機能および歯科保健上の問題を検討し、歯科保健指導論Ⅱの学修もとに指導案を作成する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】歯科保健指導Ⅱの学修内容、地域歯科保健活動 【事後学修課題】幼稚園・小学校の集団歯科保健指導案	7 2 実習室
15, 16	・幼児期・学童期の口腔保健教育活動② グループで検討した指導案に基づき講話および参加型媒体を作成する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前・事後学修課題】幼稚園・小学校の集団歯科保健指導案、媒体	7 2 実習室
17, 18	・幼児期・学童期の口腔保健教育活動③ 指導案に基づき、媒体を作成し、シミュレーションする。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前・事後学修課題】幼稚園・小学校の集団歯科保健指導案、媒体	7 2 実習室
19, 20	・幼児期・学童期の口腔保健教育活動④ 指導案に沿って作成した媒体を用いた集団歯科保健指導のプレゼンテーションを行い、指導内容・態度・円滑な運営について評価を受ける。フィードバックを受け指導案・媒体を修正する。	実習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前学修課題】幼稚園・小学校の集団歯科保健指導案、媒体 【事後学修課題】修正した指導案と媒体	7 2 実習室

歯科衛生学演習I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	20	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、山口 紫乃						

授業の概要

歯科予防処置と歯科保健指導は歯科衛生士の職務の根幹となるものである。専門家として歯科衛生過程を活用し、アセスメント、情報収集、計画立案に基づき、口腔の疾患を予防するために口腔衛生管理の重要性および対象者に応じた歯科予防処置や歯科保健指導を行うことを理解し実践する。この科目は、本学の卒業コンピテンシー「5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。

学生の到達目標

1. 歯科衛生過程を概説する。
2. 対象者から情報収集する。
3. 収集した情報を分類・整理、統合し、記録する。
4. 対象者の歯科衛生関連の問題を明確化する。
5. 明確化した問題の関連因子を特定する。
6. 歯科衛生診断文を作成し、優先順位をつける。
7. 歯科予防処置を安全に実践する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	高阪利美ほか	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート・提出物	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

歯科衛生学演習I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	20	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、山口 紫乃						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1.2	スキルアップ実習 歯科保健指導、歯科予防処置のスキルアップ実習を行う。	実習	山口 紫乃	【事前学修】メンテナンス、口腔内写真 【事後学修】メンテナンス、口腔内写真	相互実習室
3	歯科衛生アセスメント1 (情報収集・情報整理) 医療現場における歯科衛生士の役割歯科衛生士として様々なニーズにあった支援をするために、問題発見および問題解決能力を引き出し、論理的思考について学習する。業務記録の作成方法について学習する。	講義・演習	山口 紫乃	【事前学修】歯科衛生過程の6つの構成要素 【事後学修】歯科衛生アセスメント	614講義室
4	歯科衛生アセスメント2 (情報の分析・問題と原因) 収集した情報から対象者の抱える問題点や課題などを明らかにするための解釈・分析を行う方法を学習する。	講義・演習	山口 紫乃	【事前学修】歯科衛生ニーズ 【事後学修】歯科衛生ニーズ	614講義室
5.6	スキルアップ実習 歯科保健指導、歯科予防処置のスキルアップ実習を行う。	実習	山口 紫乃	【事前学修】メンテナンス、歯周組織検査 【事後学修】メンテナンス、歯周組織検査	相互実習室
7.8	スキルアップ実習 歯科保健指導、歯科予防処置のスキルアップ実習を行う。	実習	山口 紫乃	【事前学修】メンテナンス、超音波スクレーリング 【事後学修】メンテナンス、超音波スクレーリング	相互実習室
9	歯科衛生診断 歯科衛生診断とは、対象者が抱える歯科衛生上の問題と原因を明確に表現するプロセスである。歯科衛生アセスメントをもとに歯科衛生診断文を作成し、優先順位をつける方法を学習する。	講義・演習	山口 紫乃	【事前学修】歯科衛生診断 【事後学修】歯科衛生診断文	614講義室

歯科衛生学演習I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	20	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、山口 紫乃						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	歯科衛生計画立案 歯科衛生診断文について優先順を決定し、一つの歯科衛生診断文に対して、歯科衛生介入計画を立案する。	講義・演習	山口 紫乃	【事前学修】長期目標、短期目標、C-P、E-P、O-P 【事後学修】C-P、E-P、O-P	6 1 4 講義室

歯科衛生学演習II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	20	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、山口 紫乃						

授業の概要

歯科予防処置と歯科保健指導は歯科衛生士の職務の根幹となるものである。専門家として歯科衛生過程を活用し、アセスメント、情報収集、計画立案に基づき、口腔の疾患を予防するために口腔衛生管理の重要性および対象者に応じた歯科予防処置や歯科保健指導を行うことを理解し実践する。この科目は、本学の卒業コンピテンシー「5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。

学生の到達目標

1. 歯科衛生診断文を作成し、優先順位をつける。
2. 歯科衛生介入を立案する。
3. 歯科衛生過程の介入計画を実践する。
4. 歯科衛生介入の経過記録を記載する。
5. 歯科衛生評価を行う。
6. 歯科予防処置を安全に実施する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	高阪利美ほか	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート・提出物	50%
口頭発表	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

歯科衛生学演習II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	20	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 山口 紫乃						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 邵 仁浩、山口 紫乃						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科衛生計画立案 歯科衛生診断文について優先順を決定し、一つの歯科衛生診断文に対して、歯科衛生介入計画を立案する。	講義・演習	山口 紫乃	【事前学修】長期目標、短期目標、C-P、E-P、O-P 【事後学修】C-P、E-P、O-P	6 1 4 講義室
2	歯科衛生介入 対象者の病状回復、病態の改善、健康の維持・向上の過程に歯科衛生士が介入することである。介入後との記録方法等を学習する。	講義・演習	山口 紫乃	【事前学修】「SOAP」形式の実施記録の方法 【事後学修】「SOAP」形式の実施記録の方法	6 1 4 講義室
3.4	スキルアップ実習 歯科保健指導、歯科予防処置のスキルアップ実習を行う。	実習	山口 紫乃	【事前学修】メンテナンス 【事後学修】メンテナンス	相互実習室
5	歯科衛生過程について（まとめ） 歯科衛生評価を行う。	講義・演習	山口 紫乃	【事前学修】歯科予防処置論・歯科保健指導論 P. 100~120 【事後学修】歯科予防処置論・歯科保健指導論 P. 100~120	6 1 4 講義室
6-10	症例検討①～⑤ 歯科衛生過程を活用して行った担当患者の口腔衛生管理について、症例発表を行う。	演習	山口 紫乃	【事前学修】症例発表の作成 【事後学修】症例発表の修正	6 0 1 講義室

労働衛生学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, (非) 柿木 保明, (非) 森本 泰夫, (非) 品川 隆, (非) 大神 明, (非) 伊澤 三樹, (非) 渡邊 裕晃, (非) 樋上 光雄						

授業の概要

本学科目は第1種衛生管理者資格免許との関連から、労働衛生の概論として働く人々の安全と健康を守り、快適職場形成のための理論と方法について学ぶ。労働衛生の実際活動のうち作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育、健康保持増進活動を中心に学び、更に職業性疾患の成因と対策を知り予防に結びつける。これに加えて企業における労働衛生管理の実際についても学ぶ。

学生の到達目標

- ①労働における安全と健康の重要性を認識し、それらに関する理論と方法を理解し、働く人々の安全と健康が確保できる。
- ②産業保健の意義と特徴を説明できる。
- ③労働衛生統計を理解できる。
- ④産業保健における管理体制を概説できる。
- ⑤作業管理、作業環境管理、健康管理を説明できる。
- ⑥労働衛生教育について説明できる。
- ⑦産業保健活動の現状を説明できる。
- ⑧産業保健対策における一般健康診査と事後措置を説明できる。
- ⑨産業保健対策における特殊健康診査と事後措置を説明できる。
- ⑩産業保健対策における健康保持増進対策を説明できる。
- ⑪労働衛生におけるメンタルヘルスについて説明できる。
- ⑫産業保健における労働衛生管理を行うために必要な知識を修得できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
新衛生管理 上 第1種用	厚生労働省 安全衛生部 編	中央労働災 害防止協会

参考書

タイトル	著者	出版社
産業保健マニュアル	和田攻 編	南山堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	94%
講義後の小テスト、確認テスト、あるいはレポート	6%

その他

【オフィスアワー】質問等については、科目責任者（秋房）にメールで連絡を取り、その指示を仰ぐこと。

労働衛生学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, (非) 柿木 保明, (非) 森本 泰夫, (非) 品川 隆, (非) 大神 明, (非) 伊澤 三樹, (非) 渡邊 裕晃, (非) 樋上 光雄						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	労働衛生の目的、歴史、労働災害・労働災害と労働衛生管理の歴史、現状を概観し、労働衛生管理の目的と労働衛生管理者の役割について理解する。	講義	(非) 柿木 保明	【事前学修】労働衛生管理、三管理【事後学修】講義内容レポート	6 1 4 講義室 Moodle
2	労働衛生統計 ・労働衛生統計から見た労働衛生および労働災害の現状及び問題点を説明し、疫学的特徴を理解する。	講義	邵 仁浩	【事前学修】労働災害、業務上疾病【事後学修】講義資料の確認問題	6 1 4 講義室 Moodle
3	労働衛生管理体制 ・衛生管理体制の整備、作業巡視、リスクアセスメントとマネジメントについて説明し、衛生管理の進め方を理解する。	講義	秋房 住郎	【事前学修】作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生組織【事後学修】確認テスト	6 1 4 講義室 Moodle
4	作業環境による職業性疾病の成因と対策 ・職業性疾病のうち作業環境を要因とする職業癌、職業性肺疾患、振動障害、熱中症等について理論と実際を学び、対策方法を考える。	講義	(非) 森本 泰夫	【事前学修】歯科技工士の肺障害、粉じんによる肺障害、熱中症、睡眠障害【事後学修】小テスト	6 1 4 講義室 Moodle
5	作業環境管理（1） ・作業環境管理の意義と目的、作業環境の要素及び測定について説明し、作業管理の進め方の基礎を理解する。	講義	(非) 樋上 光雄	【事前学修】粉じん，有機溶剤，特定化学物質，サンプリング，分析【事後学修】小テスト	6 1 4 講義室 Moodle
6	作業環境管理（2） ・作業環境測定のデザイン・サンプリング・分析、また結果に基づく評価、改善に関する実際について実例を挙げつつ説明する。	講義	(非) 樋上 光雄	【事前学修】作業環境測定，デザイン，管理区分，作業環境改善，局所排気装置【事後学修】小テスト	6 1 4 講義室 Moodle
7	労働衛生教育 ・労働安全衛生法における労働衛生教育の目的と意義、企画、実施方法について学び、労働衛生教育の進め方を理解する。	講義	邵 仁浩	【事前学修】労働衛生教育【事後学修】講義資料の確認問題	6 1 4 講義室 Moodle

労働衛生学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, (非) 柿木 保明, (非) 森本 泰夫, (非) 品川 隆, (非) 大神 明, (非) 伊澤 三樹, (非) 渡邊 裕晃, (非) 樋上 光雄						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	健康管理 ・ 健康管理の意義と目的、健康診断（一般及び特殊健康診断）、及び事後措置について学び、健康障害の防止対策を考える。	講義	(非)品川 隆	【事前学修】健康管理、健康診断、事後措置 【事後学修】レポート課題	6 1 4 講義室 Moodle Microsoft Teams
9	作業管理 ・ 作業態様、保護具、作業態様による職業性疾病（VDT作業障害、腰痛、難聴等）について理解する。	講義	(非)大神 明	【事前学修】VDT作業、腰痛、保護具 【事後学修】小テスト	6 1 4 講義室 Moodle
10	健康保持増進活動（THP） ・ THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）の理念と概要、健康測定と健康指導の実際について学ぶ。	講義	佐伯 桂	【事前学修】健康保持増進対策 【事後学修】課題	6 1 4 講義室 Moodle
11	作業関連疾患対策 ・ 過重労働対策を中心として、事例にあたりながらその課題と解決方法について考える。	講義	(非)伊澤 三樹	【事前学修】作業関連疾患、過重労働 【事後学修】小テスト	6 1 4 講義室 Moodle Microsoft Teams
12	快適職場の形成 ・ 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の概要、基本的要素とPDCAサイクルを学び、OSHMSの整備における留意点について事例を挙げて理解する。	講義	佐伯 桂	【事前学修】労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）、リスクアセスメント、PDCAサイクル 【事後学修】課題	6 1 4 講義室 Moodle
13	労働衛生におけるメンタルヘルス対策 ・ 心と体の健康づくりについて、THPと衛生管理者の役割を説明し、職場における心の健康づくりのあり方について学ぶ。	講義	邵 仁浩	【事前学修】メンタルヘルス、ストレス簡易調査票 【事後学修】復習問題	6 1 4 講義室 Moodle
14	企業における労働衛生管理の実際 ・ 事業場における安全衛生の水準の向上を図ることを目的として事業者が一連の過程を定めて行う自主的活動（危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置を含む）について学ぶ。	講義	(非)渡邊 裕晃	【事前学修】労働安全衛生マネジメントシステム、安全衛生活動評価、労働者の参加 【事後学修】小テスト	6 1 4 講義室 Moodle

労働衛生学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, (非) 柿木 保明, (非) 森本 泰夫, (非) 品川 隆, (非) 大神 明, (非) 伊澤 三樹, (非) 渡邊 裕晃, (非) 樋上 光雄						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	企業における歯科保健管理の実際・歯科特有の職業性疾患の種類と対策方法を学ぶとともに、事業所における歯科保健の進め方について実例を示しながら説明し、歯科衛生士としての役割についても考える。	講義	佐伯 桂	【事前学修】産業歯科保健活動、口腔保健教育、職業性歯科疾患 【事後学修】課題	6 1 4 講義室 Moodle

基礎臨床実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	270	単位数	6
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩						

授業の概要

参加型臨床・臨地実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

- ①全人的歯科医療および口腔保健を体得できる。
- ②医療従事者としての必要な態度を身につけることができる。
- ③医療安全・感染予防を説明することができ、その実際を実践できる。
- ④医療制度を説明することができ、個々の運用実例を体験できる。
- ⑤医療におけるMinimal Interventionを説明できる。
- ⑥患者実習を通じて一口腔単位の診療（水準1、2）を体験し、予防処置、診療補助と歯科保健指導の知識・技能を身につけ実践できる。
- ⑦自験では、歯科衛生士の3大業務を実践できるとともに、歯科衛生過程の基礎的知識を得ることができる。
- ⑧患者実習を通じてプロフェッショナリズムを身につけ実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
臨床実習の手引き		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケース数等（必須ケースの取得、レポート提出等）	50%
知識検定試験	50%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	口腔保健科ほか各科における参加型臨床実習など（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）				614講義室 診療室_病院

応用臨床実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	315	単位数	7
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 藤井 航, 邵 仁浩						

授業の概要

参加型臨床・臨地実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

- ①全人的歯科医療および口腔保健を体得できる。
- ②医療従事者としての必要な態度を身につけることができる。
- ③医療安全・感染予防を説明することができ、その実際を実践することができる。
- ④医療制度を説明することができ、個々の運用実例を体験することができる。
- ⑤医療におけるMinimal Interventionを説明できる。
- ⑥患者実習を通じて一口腔単位の診療（水準1、2）を体験し、予防処置、診療補助と歯科保健指導の知識・技能を身につけ実践することができる。
- ⑦専門ユニットでは、見学を通して第2、3次医療および先進的歯科医療の知識を身につけ体験することができる。
- ⑧学外実習においては、ライフステージごとの生活の有り様を体験するとともに、他の医療・福祉職との多職種連携を体験することができる。
- ⑨患者実習を通じてプロフェッショナリズムを身につけ実践できる。
- ⑩患者実習を通じてコミュニケーション能力を涵養できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
臨床実習の手引き		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケース数等（必須ケースの取得、レポート提出 等）	50%
知識検定試験	50%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	口腔保健科ほか各科における参加型臨床実習および学外実習施設における臨床実習（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）				614講義室 診療室_病院

発展臨床実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	315	単位数	7
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 藤井 航, 邵 仁浩						

授業の概要

参加型臨床・臨床実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

I. 歯科衛生活動の基盤

- ①情報を聴取し、クライアントと良好な信頼関係を築くための知識、技能および態度を修得できる。
- ②感染を予防し安全な歯科衛生活動を実践するための知識、技能および態度を修得できる。
- ③クライアントの全身状態を把握するための知識、技能および態度を修得できる。
- ④歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を修得できる。

II. 歯科診療の補助

- ⑤全ての世代に応じた歯科診療補助において必要な知識、技能および態度を修得できる。
- ⑥歯科診療の内容に応じた患者指導において必要な知識、技術および態度を修得できる。
- ⑦周術期から回復期・維持期の適切な口腔保健管理に必要な知識、技能および態度を修得できる。
- ⑧全ての世代に対する歯科保健・医療に必要な薬剤の基本的知識を修得できる。

III. 歯科予防処置

- ⑨う蝕予防を安全に行うため、フッ化物塗布において必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
- ⑩幼若永久歯小窩裂溝部における予防填塞に必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
- ⑪歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。

IV. 歯科保健指導

- ⑫全ての世代に対する歯科保健指導および食生活指導の知識、技術および態度を修得できる。
- ⑫-1 個人および集団を対象とした指導方法を修得できる。
- ⑫-2 歯科疾患の予防を目的とした指導方法を修得できる。
- ⑫-3 口腔機能の成長発達に応じた指導方法を修得できる。
- ⑫-4 口腔機能の維持・回復を目的とした指導方法を修得できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
臨床実習の手引き		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケース数等（必須ケースの取得、レポート提出 等）	50%
臨床実習後技能評価試験	50%

発展臨床実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	315	単位数	7
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 藤井 航, 邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	口腔保健科、総合診療科における参加型臨床実習および学外実習施設での臨床実習（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）				611 講義室 診療室_病院 その他

労働衛生法規I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)阿部 留美子						

授業の概要

人口のうちほぼ半数が男女を含めた雇用労働者である。雇用労働者の生活と健康を守る具体的な法令は労働法であり、労働契約法・労働基準法その他の特別法と労働安全衛生法を中心に構築されている。本講義では、労働関係法規の基本的事項を概説するとともに、労働衛生行政の基本的体系と実際について概要を講述する。

学生の到達目標

- ①労働法の体系や他の法律との関係における労働法の位置づけを理解する。
- ②労働契約の締結過程と労働契約の成立に関する基本的事項を理解する。
- ③労働契約における労働条件とその決定システムを理解する。
- ④労働契約の展開や終了に関する基本的事項を理解する。
- ⑤雇用における平等と労働者の自由と人権を理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
判例労働法入門〔第8版〕	野田進＝山下昇＝柳澤武	有斐閣

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー】質問等は何時でも受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	労働法の課題と役割（第1章） 労働法の体系や労働法と他の法律との関係について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	労働法と民法の関係 。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
2	労働法上の当事者（第2章） 労働基準法、労働契約法、労働組合法の当事者について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	労働基準法上の労働者と使用者とは何か 。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams

労働衛生法規I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)阿部 留美子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	労働契約の締結過程と成立（第3章） 労働契約の締結過程と労働契約の成立の意義について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	採用内定とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
4	有期労働契約（第4章） 有期雇用労働者を保護するための法規制について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	労働契約における期間の定めはどのような意味をもつか。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
5	労働契約の展開と権利・義務（第5章） 労働契約の展開と労働契約を形成する権利・義務の構造について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	労働契約の履行とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
6	就業規則と労働契約（第6章） 就業規則と労働条件の決定システムについて学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	就業規則がどのように労働契約の内容を形成するのか。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
7	労働契約の変更（第7章） 労働契約の変更と労働契約の基本原則である「合意の原則」との関係について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	労働条件を変更するにはどのような方法があるか。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
8	懲戒（第10章） 判例を題材に、使用者の労働者に対する懲戒の有効性について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	懲戒の種類にはどのようなものがあるか。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
9	解雇（第11章） 解雇の種類と解雇権濫用法理について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	解雇権濫用法理とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
10	雇用平等（第13章） 男女同一賃金や男女雇用機会均等法の変遷や内容について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	男女同一賃金とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams

労働衛生法規I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)阿部 留美子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	労働者の自由と人権（第14章） 労働者の人権保障規定や雇用におけるプライバシー、職場の人間関係におけるパワハラなどについて、労働者の自由と人権という観点から学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	労働憲章とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
12	賃金（第16章） 賃金の決定・変更や最低賃金を含む賃金支払いに対する法規制について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	福岡県の最低賃金はいくらか。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
13	労働時間（第17章） 労働時間の意義や変形労働時間制、三六協定に基づく時間外・休日労働について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	三六協定とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
14	休憩・休日と年次有給休暇（第18章） 休憩・休日・年次有給休暇について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	年休自由利用の原則とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams
15	確認テスト	試験	(非)阿部 留美子		6 1 1 講義室 Moodle Microsoft Teams

労働衛生法規II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)阿部 留美子						

授業の概要

労働安全衛生法は、労働基準法と相まって、労働災害の防止のための危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的計画的な対策を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。本学科目では、労働衛生に係る最近の動向や労働安全衛生法上の諸規制の意義や災害防止の実際を概説する。また労働現場における安全衛生管理体制等の詳細を理解する。

学生の到達目標

- ①労働安全衛生法の概要を理解する。
- ②労働者災害補償保険制度の概要を理解する。
- ③労災補償や労働衛生に係る法規を実際の労働現場で活用できるようになる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
よくわかる社労士合格テキスト (2) 労働安全衛生法 2024年度		
判例労働法入門 [第8版] (前期テキスト)	野田進=山下昇=柳澤武	有斐閣

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー】質問等は何時でも受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	労働安全衛生法の総則 労働安全衛生法の目的や労働安全衛生法の事業者と労働者の義務について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	なぜ労働安全衛生法が必要なのか。	611 講義室 Moodle

労働衛生法規II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)阿部 留美子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	労災補償 (1) 労災補償制度の概要について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	業務災害とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle
3	労災補償 (2) 過労死・過労自殺の業務起因性と過労死・過労自殺の予防について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	過労死・過労自殺をめぐる報道。	6 1 1 講義室 Moodle
4	労災補償 (3) 通勤災害と労災民訴について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	通勤災害とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle
5	年少者・妊産婦等に関する法規制 年少者や妊産婦等を保護するための法規制について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	マタハラとは何か。	6 1 1 講義室 Moodle
6	安全衛生管理体制 (1) 総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、産業医、安全衛生推進者、衛生推進者、作業主任者について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	安全管理体制とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle
7	安全衛生管理体制 (2) 統括安全衛生責任者、元方安全衛生管理者、安全衛生責任者、店社安全衛生管理者について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	建設業の作業現場での安全管理体制とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle
8	機械等及び危険・有害物 (1) 機械等に関する規制について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	特定機械等にはどのようなものがあるか。	6 1 1 講義室 Moodle
9	機械等及び危険・有害物 (2) 危険・有害物に関する規制について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	製造等禁止物質とは何か。	6 1 1 講義室 Moodle
10	就業管理 就業制限と安全衛生教育について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	安全衛生教育の種類は何か。	6 1 1 講義室 Moodle

労働衛生法規II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, (非)阿部 留美子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	健康の保持増進のための措置 (1) 作業環境測定と健康診断について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	健康診断の種類は何か。	611 講義室 Moodle
12	健康の保持増進のための措置 (2) 面接指導とストレスチェック制度について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	ストレスチェックと面接指導の実施の流れはどのようになっているか。	611 講義室 Moodle
13	特別安全衛生改善計画等、監督等及び雑則等 安全衛生改善計画と監督組織について学ぶ。	講義	(非)阿部 留美子	安全衛生改善計画とは何か。	611 講義室 Moodle
14	全体の総括 これまでの授業の補足説明と全体の総括を行う。	講義	(非)阿部 留美子	理解できていない問題をチェックする。	611 講義室 Moodle
15	確認テスト	試験	(非)阿部 留美子		611 講義室 Moodle

ワンヘルス学入門

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, 口腔保健学科長, 歯学科長, 有吉 渉, 邵 仁浩, 山崎 亮太, 東 泉 各大学講師						

授業の概要

ワンヘルス (One Health) とは、「人と動物の健康と環境の健全性は生態系のなかで密接につながり強く影響しあう一つのもの」と捉え、これらを一体的に守ろうという考え方で、世界的にその取組が進められている。人、動物、環境の各分野にまたがる問題の解決には、それぞれ分野の専門家をはじめ、行政、県民、企業、民間団体などが一緒にワンヘルスを推進していくことが重要である。本講義では、ワンヘルスに係る、福岡県内の大学における各分野の専門家の講義をオンデマンド形式で実施する。

学生の到達目標

- (1) ワンヘルスの多様性を理解し、諸課題の解決に必要な論理的・多角的思考を身につける。
- (2) ワンヘルス学を学際的・分野横断的な視点で捉え、ワンヘルスアプローチを実践するうえで求められる知識を醸成する。
- (3) 入学時までに培ってきたワンヘルスアプローチを基盤に、ワンヘルスに関する知識・技能・態度をさらに高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて事前に資料を配布の上、学習項目を提示		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
各講義後課題と最終レポート	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

ワンヘルス学入門

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, 口腔保健学科長, 歯学科長, 有吉 渉, 邵 仁浩, 山崎 亮太, 東 泉 各大学講師						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	コースのねらい 福岡県におけるワンヘルスアプローチの事例を知ったうえで、様々な視点で、「人の健康」「動物の健康」「環境保全」の相互関係にもたらされる新たな社会について学び、今後の専門教育に活かしてもらえるよう多様な授業を設定していることなど、この授業全体の説明をする。	講義 Moodle	歯学部長		Moodle
2	福岡県が推進するワンヘルス ワンヘルスの考え方や福岡県におけるワンヘルスの取組みについて解説する。	作成：福岡県 ワンヘルス課 ・青少年政策課 Moodle	歯学部長		Moodle
3	「開発」と「豊かさ」を考える 人口増加、食料不足、環境破壊、機構変動などの問題は「開発」と密接な関係がある。授業では、「開発」を推進することで、「豊かさ」や「幸せ」を拡大することができるのかという点について、統計データを参照しながらワンヘルスの在り方を解説する。	作成：福岡女子大学 Moodle	歯学部長		Moodle
4	地球温暖化（環境）と動物の生理・生態との相関関係 環境問題を、地球温暖化問題を中心としながら、人を含めた動物との直接的な関係性について遺伝子レベルで多角的に解説する。	作成：福岡県立大学 Moodle	歯学部長		Moodle
5	環境保全と生物多様性 健全な環境を保全するためには、生物の多様性を字することが不可欠である。授業では、生物多様性の種類（レベル）について説明していくなかで、なぜ生物の多様性を維持することが大切なのかについて解説する。	作成：福岡女子大学 Moodle	歯学部長		Moodle

ワンヘルス学入門

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, 口腔保健学科長, 歯学科長, 有吉 渉, 邵 仁浩, 山崎 亮太, 東 泉 各大学講師						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	人の健康と動物・環境 人獣共通感染症の概略（疫学的分類・関連法規等）を紹介し、人と動物の健康及び環境との関連を解説する。	作成：産業医科大学動物研究センター Moodle	歯学部長		Moodle
7	人獣共通寄生虫症（原虫症） ペット・家畜・野生動物等が関係する原虫症の感染経路・病態・検査・治療について、分かりやすく解説する。	作成：産業医科大学免疫学・寄生虫学 Moodle	歯学部長		Moodle
8	医科学の進歩と動物研究 感染症予防などの治療法開発のプロセス、動物研究により創出された科学技術、動物福祉のための原則と法令を通して、人と動物の共生について解説する。	作成：福岡県立大学 Moodle	歯学部長		Moodle
9	薬剤耐性菌による医療への影響について 医療における薬剤耐性菌により引き起こされた事象を解説し、具体的に薬剤耐性化の様々な病気の予防対策等について解説する。	作成：第一薬科大学 Moodle	歯学部長		Moodle
10	感染症治療薬の基礎と耐性菌発症メカニズム 社会的に話題となった薬剤耐性菌の話題を通じて、耐性菌発症に関する基礎知識と耐性獲得のメカニズムを分子レベルで解説する。	作成：九州歯科大学 Moodle	東 泉 竹内 弘		Moodle
11	感染症に対する多職種連携アプローチ バイオテクノロジーを用いたワンヘルスアプローチの事例を産学官連携の視点に立った研究をもって解説する。	作成：九州歯科大学 Moodle	山崎 亮太 有吉 渉		Moodle

ワンヘルス学入門

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, 口腔保健学科長, 歯学科長, 有吉 渉, 邵 仁浩, 山崎 亮太, 東 泉 各大学講師						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	疫学の視点に立った食生活・栄養による疾病の予防について 国内外の疫学調査研究で示されている食生活・栄養と生活習慣病との関連性を示し、ワンヘルスアプローチの視点に立った予防方法について解説する。	作成：福岡女子大学 Moodle	歯学部長		Moodle
13	動物に由来する感染症について 人獣共通感染症について、社会生活を送るなかでの危険性をいくつかの症例を示しながら分かり易く解説する。	作成：福岡大学病院感染制御部 Moodle	歯学部長		Moodle
14	システム思考とデザイン思考による思考方法 ワンヘルスアプローチを遂行していくなかで求められるシステム思考とデザイン思考の統合的かつ補完的関係性について分かり易く解説する。	作成：九州工業大学情報工学部 Moodle	歯学部長		Moodle
15	ワンヘルスに関連する感染症とモニタリング・評価指標 ワンヘルスの視点から感染症(1)種類・分類、(2)発生・拡大のメカニズム、(3)予防対策ほか、感染症の監視、予防に使用される評価指標(感染率、発症率、有病率、致死率など)とそれらの解釈方法について解説する。	作成：九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 研究推進部門 Moodle	歯学部長		Moodle

食べ物と健康

開講学科	口腔保健学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

口腔保健と栄養をむすぶために必要と思われる主に食品についての知識を学ぶ。他職種と連携していきながら「食べ方」を通して、生涯にわたって安全で快適な食生活を営むことや口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができることを視点とした食育を推進したり、栄養のバランスをとりながらしっかりと噛むことの重要性を訴えていくために必要と思われる食品についての知識、食事環境、食事計画、口腔の健康に役立つ食品、食品の機能性および食品の安全性について学修する。

学生の到達目標

- ①食生活と健康との関連について説明できる。
- ②近年の食行動の特徴について説明できる。
- ③食育基本法について説明できる。
- ④食生活指針について説明できる。
- ⑤食品群(三分類、四分類、六分類)について説明できる。
- ⑥植物性食品と動物性食品について説明できる。
- ⑦食品成分表について説明できる。
- ⑧保健機能食品について説明できる。
- ⑨う蝕と食品(甘味食品)について説明できる。
- ⑩食品添加物について説明できる。
- ⑪食中毒とその予防について説明できる。
- ⑫糖質の種類と働きについて説明できる。
- ⑬食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本人体の構造と機能2 栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版
八訂食品成分表2022	香川芳子 監修	女子栄養大学出版部
「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル	武見ゆかりら編	第一出版
わかりやすい栄養学第5版 臨床・地域で役立つ食生活指導の実践	中村美和子・長谷川恭子 編	ヌーヴェルヒロカワ

食べ物と健康

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

講義は、配布プリントを中心に行う。【オフィスアワー（学習相談）】辻澤利行：メールで随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔機能と栄養・食育とはなぜ歯学部で栄養学を学ぶのか。口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。食育とは何か。食育基本法と食育推進基本計画など食育全般について学修する。	講義	辻澤 利行	食育基本法，食育推進基本計画，食育白書	6 1 3 講義室 Moodle
2	食事環境・食事計画 食料供給や流通の状況など広義の食事環境と五感で食べることの妨げとなる食事に関わる空間に関する狭義の食事環境について学習する。また、食品の購入と保存、料理計画、盛りつけと配膳など食事計画の考え方や食生活指針について学習する。	講義	辻澤 利行	食事環境・食事計画，食生活指針，スマートミール	6 1 3 講義室 Moodle
3	食事計画に用いる食品分類 三分類、四分類、六分類など食品と栄養のバランスについて学習する。食事バランスガイドについて学習する。	講義	辻澤 利行	三分類、四分類、六分類、食事バランスガイドの5つの料理区分	6 1 3 講義室 Moodle
4	日本食品標準成分表2020年版（八訂） 日本食品標準成分表2020載項目の概要、活用分野、七訂版との変更点、成分表利用上の注意点および栄養価の計算方法について学習する。	講義	辻澤 利行	日本食品標準成分表2020年版（八訂），食品成分表の使い方	6 1 3 講義室 Moodle

食べ物と健康

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	植物性食品 1 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主に主食・副菜の食材料となる食品およびその加工品の種類、特徴、含有栄養素 および非栄養成分について学習する。	講義	辻澤 利行	主食・副菜に用いる食材料量(穀類、野菜、海藻、きのこ、いも類)の特徴、主食とは	6 1 3 講義室 Moodle
6	植物性食品 2 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主に主菜・果物の食材料となる食品およびその加工品の種類、特徴、含有栄養素 および非栄養成分について学習する。	講義	辻澤 利行	主菜に用いる食材料量(大豆・大豆製品)・果物の特徴、主菜とは	6 1 3 講義室 Moodle
7	動物性食品1 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主に主菜の材料となる食品およびその加工品の種類、特徴、含有栄養素について学習する。	講義	辻澤 利行	主菜に用いる食材料量(肉類、魚介類)の特徴	6 1 3 講義室 Moodle
8	動物性食品2 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、卵類と牛乳・乳製品およびこれらの加工品の種類、特徴、含有栄養素について学習する。	講義	辻澤 利行	主菜に用いる食材料量(卵)・牛乳・乳製品の特徴	6 1 3 講義室 Moodle
9	食品の機能性および規格・表示 食品の機能性とは何か、食品の持つ1次機能、2次機能、3次機能について学習する。食品の規格基準であるJAS規格制度ほ食品表示法で規定される食品の表示、栄養成分表示や“シュガーレス”などの強調表示について学習する。	講義	辻澤 利行	食品の機能性、食品の表示、抗酸化物質、強調表示、素材情報データベース	6 1 3 講義室 Moodle
10	保健機能食品と特別用途食品 健康食品、栄養機能食品、機能性表示食品、特定保健用食品および特別用途食品について学習する。	講義	辻澤 利行	保健機能食品、栄養機能食品、特別用途食品、機能性表示食品、特別用途食品	6 1 3 講義室 Moodle

食べ物と健康

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	食品の安全性1 食品安全基本法、食品衛生法、食品添加物・食品による窒息について学ぶ。	講義	辻澤 利行	食品添加物（甘味料や酸味料など）、食品安全委員会、食品の安全性、食品衛生法、食品安産基本法	6 1 3 講義室 Moodle
12	食中毒1 食品の安全性のうち、微生物による食中毒と食中毒の防止法について学習する。	講義	辻澤 利行	細菌、ウイルス、外毒素、食中毒による食中毒	6 1 3 講義室 Moodle
13	食中毒2 食品の安全性のうち、化学物質、自然毒、寄生虫による食中毒について学習する。	講義	辻澤 利行	化学物質、自然毒、寄生虫による食中毒	6 1 3 講義室 Moodle
14	食品のう蝕誘発性 1シュガーコントロールと間食のあり方を考えるために栄養状態および咀嚼、糖質の摂取量、ショ糖の摂取量と摂取方法とう蝕について、また代用甘味料について学習する。	講義	辻澤 利行	う蝕の原因、甘味料、転化糖・異性化糖、代用甘味料、糖アルコール	6 1 3 講義室 Moodle
15	間食のあり方を考える 菓子類や嗜好飲料水の食品の表示項目を調べ、食品表示、栄養成分表示、強調表示について学習する。また使用されている甘味料や飲料水のpHを調べることで、補食・間食について学習する。	演習	辻澤 利行	栄養成分表示、強調表示（シュガーレス等）、飲料水のpH、歯科口腔保健に関わる特別用途食品	6 1 3 講義室 Moodle

栄養科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

口腔保健と栄養をむすぶために必要と思われる主に栄養素とその代謝、エネルギー摂取の考え方について学ぶ。バランスのとれた食生活（栄養摂取）は、生命の維持および健康な身体を維持するのに必要である。偏った栄養摂取は生活習慣病をはじめとする種々の疾患を引き起こす。適正な栄養摂取を行うために必要な栄養素とその代謝に関する基本的事項、食事摂取基準および国民栄養の現状とその問題点について学修する。また、口腔機能の発達・維持・回復に関わる食形態についても学ぶ。

学生の到達目標

- ①三大栄養素の消化と吸収について説明できる。
- ②五大栄養素について説明できる。
- ③食事摂取基準について説明できる。
- ④糖質の種類と働きについて説明できる。
- ⑤タンパク質の種類と働きについて説明できる。
- ⑥脂質の種類と働きについて説明できる。
- ⑦ビタミンの種類と働きについて説明できる。
- ⑧口腔疾患とビタミンについて説明できる。
- ⑨無機質の種類と働きについて説明できる。
- ⑩食生活と健康との関連について説明できる。
- ⑪国民健康・栄養調査（国民栄養の現状と課題・近年の食行動の特徴）について説明できる。
- ⑫食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
- ⑬う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
- ⑭特別な支援が必要な者への食事指導（食事の調理形態）について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本人体の構造と機能2 栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版
わかりやすい栄養学第5版 臨床・地域で役立つ食生活指導の実際	中村美和子・長谷川恭子 編	ヌーヴェルヒロカワ

参考書

タイトル	著者	出版社
日本人の食事摂取基準 2020年版	厚生労働省 策定	第一出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

栄養科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

その他

〔使用テキスト〕 講義は、配布プリントを中心に行う。

【オフィスアワー（学習相談）】 辻澤利行：メールで随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	食事摂取基準1 口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。栄養管理をする上で必要なエネルギーや各種栄養素の基準値について学習する。推定エネルギー必要量（基礎代謝量・身体活動レベルを含む）、推定平均必要量、推奨量、目安量、耐容上限量、目標量について学修する。	講義	辻澤 利行	食事摂取基準2020年、食事事摂取基準で示される5つの指標	615 講義室 Moodle
2	食事摂取基準2 栄養管理の基本的な考え方を学ぶ。基礎代量とその求め方について学習する。必要エネルギーの基本的な考え方について学ぶ。タンパク質、脂質、炭水化物、カルシウムやナトリウムなど主な栄養素の食事摂取基準について学習する。国民栄養の現状1 国民健康・栄養調査の結果を中心に国民栄養の現状について学習する。	講義	辻澤 利行	基礎代謝を求める計算式、推定平均必要量、国民健康栄養調査報告の概要、栄養素/食品摂取量の経年的変化	615 講義室 Moodle
3	国民栄養の現状2 国民健康・栄養調査の結果を中心に（食）生活習慣の現状、食生活指針について学習する。	講義	辻澤 利行	やせと肥満の現状、朝食欠食の現状、食生活指針	615 講義室 Moodle
4	消化と吸収 食物中の栄養素が消化・吸収される過程を学習する。	講義	辻澤 利行	消化管の特徴、主な消化酵素の特徴、プロバイオティクス、プレバイオティクス	615 講義室 Moodle
5	炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝1 炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学習する。	講義	辻澤 利行	糖質の種類、糖質の代謝、食物繊維の定義・生理作用、主な供給源、炭水化物の摂取基準	615 講義室 Moodle

栄養科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝 2 炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学習する。脂質の代謝 1 脂質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学習する。	講義	辻澤 利行	飽和脂肪酸、多価不飽和脂肪酸、n-3系・n-6系脂肪酸、必須脂肪酸、トランス脂肪酸	6 1 5 講義室 Moodle
7	脂質の代謝 2 脂質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安、必須脂肪酸の欠乏症について学習する。	講義	辻澤 利行	脂質の代謝、リポタンパク質、脂質の食事摂取基準、主な供給源	6 1 5 講義室 Moodle
8	タンパク質の種類と代謝 タンパク質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安、タンパク質の栄養価、エネルギー不足やタンパク質不足による栄養障害について学習する。	講義	辻澤 利行	必須脂肪酸、分岐鎖アミノ酸（BCAA）、タンパク質の栄養価、たんぱく質を多く含む食品、たんぱく質の食事摂取基準	6 1 5 講義室 Moodle
9	ビタミンの種類と栄養学的役割 1 脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンの種類と栄養的意味、過剰症と欠乏症について学習する。	講義	辻澤 利行	水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、ビタミンを多く含む食品、主なビタミンの食事摂取基準	6 1 5 講義室 Moodle
10	無機質の種類と栄養学的役割 主要無機質と微量無機質の種類と栄養的意味について学習する。	講義	辻澤 利行	主要ミネラル、微量ミネラル、無機質を多く含む食品、主なミネラルの食事摂取基準	6 1 5 講義室 Moodle
11	水・電解質の代謝 水分と電解質の役割について学習する。	講義	辻澤 利行	脱水、熱中症、スポーツドリンク、経口補水液	6 1 5 講義室 Moodle
12	食形態1 授乳・離乳の支援ガイド、離乳の進め方について学ぶ。	講義	辻澤 利行	授乳・離乳の支援ガイド、離乳の進め方	6 1 5 講義室 Moodle
13	食形態2 嚥下調整食分類2018、テクスチャー特性の物性値（硬さ、付着生、凝集性）、嚥下調整食分類2021について学ぶ。	講義	辻澤 利行	嚥下調整食分類2018、嚥下食ピラミッド、嚥下調整食分類2021	6 1 5 講義室 Moodle

栄養科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	食形態3 テクスチャー特性の物性値（硬さ、付着性、凝集性）、嚥下調整食分類2021とスマイルケア食品などについて学習する。	講義	辻澤 利行	ユニバーサルデザインフード、特別用途食品、高齢者ソフト食、スマイルケア食品	615講義室 Moodle
15	栄養学のまとめ 講義中に配布した練習問題を解くことによって、理解度を再確認する。	講義	辻澤 利行	事前に配布した練習問題	615講義室 Moodle

臨床検査学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)引地 尚子						

授業の概要

臨床検査は大きく検体検査と生理機能検査の2種類に分けられ体系化されているのでその体系を学ぶ。診断治療における臨床検査の重要性を学ぶ。口腔疾患および口腔疾患に関連した全身疾患の診断・治療に必要な臨床検査の知識を学ぶ。臨床検査学は、生理学、生化学、解剖組織学などの幅広い基礎医学的知識が礎になっていることを学ぶ。

学生の到達目標

- ①臨床検査の意義を説明できる。
- ②生理検査について説明ができる。
- ③尿検査について説明ができる。
- ④血液学的検査について説明ができる。
- ⑤生化学的検査について説明ができる。
- ⑥感染・免疫学的検査について説明ができる。
- ⑦病理組織学的検査について説明ができる。
- ⑧顎口腔領域の検査について説明ができる。
- ⑨画像検査について説明ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
系統看護学講座-別巻 臨床検査	奈良 信雄 / 和田 隆志 編	医学書院

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生学シリーズ 臨床 検査	一般社団法人全国歯科 衛生士教育 協議会 監 修	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

臨床検査学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)引地 尚子						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	臨床検査学の概要 ・臨床検査の流れを概説し、血液・尿などの検体採取法について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】検体採取 臨床検査 p 4-65 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle
2	一般検査・血液検査 ・一般検査・血液検査の内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】一般検査、血液検査 臨床検査 p 66-120 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle
3	生化学的検査（その1） ・肝機能検査などの生化学的検査の内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】生化学的検査、肝 臨床検査 p 121-150 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle
4	生化学的検査（その2） ・腎機能検査などの生化学的検査の内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】生化学的検査、腎 臨床検査 p 150-169 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle
5	免疫・血清検査、ホルモン検査 ・血液型の検査を含む免疫・血清検査を中心にホルモン検査も含めその内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】免疫、ホルモン 臨床検査 p 171-223 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle
6	微生物・病理組織学的検査 ・微生物検査、病理組織学的検査の内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】微生物検査、病理組織学的検査 臨床検査 p 225-272 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle

臨床検査学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)引地 尚子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	生理検査（その1） ・血圧測定などの生理機能検査の内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】生理（機能）検査 臨床検査 p 273-293 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle
8	生理検査（その2） 顎口腔領域の検査・呼吸機能検査などの生理機能検査と味覚検査などの顎口腔領域の検査の内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】顎口腔領域の検査 臨床検査 p 293-317 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle
9	生理検査（その3） 生理機能検査に用いる画像検査およびその他の生理機能検査・超音波検査、磁気共鳴画像（MRI）検査などの内容およびその臨床における意義について学修する。	講義	(非)引地 尚子	【事前学修課題】画像検査 臨床検査 p 318-352 【事後学修課題】e-learning課題による復習	6 1 5 講義室 Moodle

ライフステージ歯科栄養学I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

歯科医療人としてまたは管理栄養士など他職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要なライフステージごとの栄養学の知識を学ぶ。食べる機能の発達・維持・回復期に応じて、成長期では離乳食や幼児食、間食のあり方について、若年成人では栄養・食生活上の問題点について、中高年以降では生活習慣病や低栄養の予防などについて学ぶ。

学生の到達目標

- ①食生活と健康との関連について説明できる。
- ②国民健康・栄養調査（国民栄養の現状と課題・近年の食行動の特徴）について説明できる。
- ③食育基本法について説明できる。
- ④食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
- ⑤歯の発達に必要な栄養素について説明できる。
- ⑥う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
- ⑦歯周病と食品について説明できる。
- ⑧ライフステージと食育について説明できる。
- ⑨生活習慣病と食育について説明できる。
- ⑩生活習慣についての把握・食生活の把握についての説明ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
最新歯科衛生士教本人体の構造と機能2 栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版
わかりやすい栄養学第5版 臨床・地域で役立つ食生活指導の実際	中村美和子・長谷川恭子 編	ヌーヴェルヒロカワ
歯科医院で伝えたい栄養のこと	手塚文栄 編著	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
楽しくわかる栄養学	中村丁次	羊土社
臨床歯科栄養学	花田信弘 監修	一般財団法人口腔保健協会
口腔保健と栄養をむすぶエビデンスブック	深井稜博 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 辻澤利行：メールで随時受け付ける。

ライフステージ歯科栄養学I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	栄養評価について1 口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。栄養管理の基本的な考え方や栄養評価の概要について学修する。	講義	辻澤 利行	栄養評価（身体計測・臨床検査・食事調査）	6 1 5 講義室 Moodle
2	栄養評価について2 栄養管理の基本的な考え方や栄養評価の概要について学修する。	講義	辻澤 利行	栄養評価（身体計測・臨床検査・食事調査）	6 1 5 講義室 Moodle
3	歯科からの食育推進について 食育基本法、第4次食育推進基本計画、食育推進宣言、健康づくりのための食育推進共同宣言について学修する。	講義	辻澤 利行	食育推進基本計画、食育推進宣言、健康づくりのための食育推進宣言、食育白書	6 1 5 講義室 Moodle
4	妊娠・授乳期の栄養 妊婦および授乳婦における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	妊婦・授乳婦の特徴、妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針、授乳・離乳の支援ガイド	6 1 5 講義室 Moodle
5	乳児期における栄養1 乳児期における食育支援に必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	乳児期の特徴、授乳・離乳の支援ガイド、離乳食、	6 1 5 講義室 Moodle
6	乳児期における栄養2 乳児期における食育支援に必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	乳児の口腔機能の発達と離乳食の進め方	6 1 5 講義室 Moodle
10	幼児期における栄養1 幼児期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	幼児期の特徴、幼児食、間食のあり方	6 1 5 講義室 Moodle
7	幼児期における栄養2 幼児期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	幼児期の栄養上の問題点、食生活上の問題点	6 1 5 講義室 Moodle

ライフステージ歯科栄養学I

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	学童期・思春期における栄養 学童期および思春期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	学童期・思春期の特徴、学童期・思春期の栄養上の問題点	6 1 5 講義室 Moodle
9	成人期における栄養 1 成人期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	成人期における食生活・栄養に関する問題、運動・スポーツと栄養、各種生活習慣病のガイドライン	6 1 5 講義室 Moodle
11	更年期における栄養 更年期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	更年期の特徴、生活習慣病の栄養指導、	6 1 5 講義室 Moodle
12	高齢期における栄養 1 高齢期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	高齢者の特徴、栄養評価	6 1 5 講義室 Moodle
13	高齢期における栄養 2 高齢期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学修する。	講義	辻澤 利行	高齢者に不足しがちな栄養素、嚥下調整食	6 1 5 講義室 Moodle
14	ストレス・環境と栄養 高温・低温環境、高圧・低圧環境、騒音・振動環境、ストレスと栄養について学修する。	講義	辻澤 利行	ストレスの種類、環境と栄養、ストレスと栄養	6 1 5 講義室 Moodle
15	ライフステージ歯科栄養学のおまとめ 講義中に配布した練習問題を解くことによって、理解度を再確認する。	講義	辻澤 利行	事前に配布した練習問題	6 1 5 講義室 Moodle

ライフステージ歯科栄養学II

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 邵 仁浩, 船原 まどか						

授業の概要

地域密着型食育活動を通して、他職種と協働した地域歯科保健活動を経験することで地域住民の健康づくりを支援するための歯科衛生士の役割および具備すべき能力について学修する。毎年実施される西南女学院大学と協働で行う地域密着型食育活動に参加する。

学生の到達目標

- ①地域保健のシステムと歯科衛生士の役割が説明できる。
- ②地域密着型食育活動の内容が説明できる。
- ③対象集団への歯科衛生活動計画を説明できる。
- ④地域歯科衛生活動を実践できる。
- ⑤地域住民の健康づくりに関わる人々と連携できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
なし		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔保健学科指定の教科書および参考書および図書館の関連図書		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー（学修相談）】 辻澤利行：随時メールにて受け付ける。中道敦子：月～金 16：30～17：30/内線又はメール

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	実習	辻澤 利行		614 講義室
2	地域歯科保健活動を行うための資料（ポスター発表）の作成・発表練習地域歯科保健活動で行う検査法等の手順を学修	実習	辻澤 利行 邵 仁浩 船原 まどか	口腔保健支援実習で作成した資料および事前に呈示した検査法等の手順	614 講義室

ライフステージ歯科栄養学II

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 邵 仁浩, 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	地域歯科保健活動を行うための資料（ポスター発表）の作成・発表練習地域歯科保健活動で行う検査法等の手順を学修	実習	辻澤 利行 邵 仁浩 船原 まどか	口腔保健支援実習で作成した資料および事前に呈示した検査法等の手順	614講義室
4	地域歯科保健活動を行うための資料（ポスター発表）の作成・発表練習地域歯科保健活動で行う検査法等の手順を学修	実習	辻澤 利行 邵 仁浩 船原 まどか	口腔保健支援実習で作成した資料および事前に呈示した検査法等の手順	614講義室
5	地域密着型食育活動を通じた他職種と協働した地域歯科保健活動の実践	実習 (西南女学院大学)	辻澤 利行 邵 仁浩 船原 まどか	地域密着型歯科保健活動の概要	その他
6	地域密着型食育活動を通じた他職種と協働した地域歯科保健活動の実践	実習 (西南女学院大学)	辻澤 利行 邵 仁浩 船原 まどか	地域密着型歯科保健活動の概要	その他
7	地域密着型食育活動を通じた他職種と協働した地域歯科保健活動の実践	実習 (西南女学院大学)	辻澤 利行 邵 仁浩 船原 まどか	地域密着型歯科保健活動の概要	その他
8	地域密着型食育活動における他職種の役割についてレポートとしてまとめる地域歯科保健活動報告をレポートとしてまとめる	実習	辻澤 利行 邵 仁浩 船原 まどか	地域（歯科）保健活動における歯科衛生士および他職種の役割	Moodle

摂食嚥下リハビリテーション論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航(口腔リハビリテーションセンター), 泉 繭依(口腔保健科), 久保田 潤平(口腔リハビリテーションセンター), 辻澤 利行, (非)荒金 英樹						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

摂食嚥下に関わる解剖、機能と発達を理解したうえで、摂食嚥下障害のスクリーニング法と機能訓練について学修する。また、高齢者および要介護高齢者に対する栄養摂取と栄養管理についての理解を深め、医師、管理栄養士等、多職種連携の実践を学修する。さらに、歯科衛生士が担う高齢者に対する口腔健康管理とは何かを学修し、歯科衛生過程に基づいて、問題抽出、解釈分析、診断文をもとに口腔健康管理計画の立案法を学修する。口腔健康管理を実施するにあたり必要となる車椅子操作や移動、体位の確保に関する介護技術や、口腔衛生管理、口腔機能管理について学修する。 ※本講義により得られる卒業コンピテンシー：5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生生活動：6. 多職種連携の実践

学生の到達目標

- ①摂食嚥下障害患者に対する歯科衛生士の役割を認識できる。
- ②摂食嚥下障害患者に対する多職種連携の必要性について説明できる。
- ③摂食嚥下に関わる解剖と機能について説明できる。
- ④小児の摂食嚥下障害について説明できる。
- ⑤摂食嚥下障害のスクリーニング方法について説明できる。
- ⑥摂食嚥下障害の検査法について説明できる。
- ⑦直接訓練について説明できる。
- ⑧間接訓練について説明できる。
- ⑨摂食嚥下障害に応じた食事について説明できる。
- ⑩病態に応じて必要な口腔清掃用具を説明できる。
- ⑪全身状態および口腔清掃状態の評価法を説明できる。
- ⑫口腔衛生管理に必要な吸引について説明できる。
- ⑬全身状態や口腔状態に応じた口腔健康管理の方法を説明できる。
- ⑭高齢者や要介護者に対する義歯の取り扱いと清掃方法を説明できる。
- ⑮高齢者や要介護高齢者に対する歯科衛生課程の展開を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション第2版	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店
歯科補防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会 監	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一 他編	医歯薬出版
関連図から見た口腔ケア	日本口腔ケア学会 編	永末書店

摂食嚥下リハビリテーション論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航(口腔リハビリテーションセンター), 泉 繭依(口腔保健科), 久保田 潤平(口腔リハビリテーションセンター), 辻澤 利行, (非)荒金 英樹						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	20%
定期試験	80%

その他

【オフィスアワー 8:30~16:00 (学習相談)】講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	摂食嚥下総論 摂食嚥下機能の発達や障害、リハビリテーションについて学修する。摂食嚥下障害の原因、診断、治療方針、診療の実際について学修する。	講義	藤井 航	摂食嚥下機能、摂食嚥下リハビリテーション	615 講義室 Moodle Microsoft Teams
2	摂食嚥下機能の発達を理解し、発達機能障害患者指導への応用を含めた摂食嚥下障害について学修する。	講義	久保田 潤平	小児の摂食嚥下障害	615 講義室 Moodle Microsoft Teams
3	摂食嚥下障害のスクリーニング口腔機能および摂食嚥下機能のメカニズムに関連した症状や心身機能をスクリーニングするテスト方法を理解し、実施手順、評価などについて学修する。	講義	藤井 航	摂食嚥下障害、摂食嚥下スクリーニング	615 講義室 Moodle Microsoft Teams
4	摂食嚥下障害の検査法である嚥下造影検査(VF)、内視鏡下嚥下機能検査(VE)を用いた検査法ならびに評価について学修する。	講義	藤井 航	嚥下造影検査、内視鏡下嚥下機能検査	615 講義室 Moodle Microsoft Teams
5	間接訓練・直接訓練口腔機能のアセスメントに基づいた、間接訓練および直接訓練の適応、前提条件、実施手順、評価などについて学修する。	講義	藤井 航	間接訓練、直接訓練	615 講義室 Moodle Microsoft Teams

摂食嚥下リハビリテーション論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航(口腔リハビリテーションセンター), 泉 繭依(口腔保健科), 久保田 潤平(口腔リハビリテーションセンター), 辻澤 利行, (非)荒金 英樹						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	嚥下調整食・介護食口腔機能や摂食嚥下障害の状態に応じた、安全な食事形態や調理方法、食事提供の工夫などについて学修する。	講義	藤井 航	嚥下調整食、介護食	615講義室 Moodle Microsoft Teams
7	高齢者および要介護者・有病者に対する栄養摂取と栄養管理高齢者や要介護高齢者・有病者に対する身体活動レベルに応じたエネルギー必要量および栄養摂取の考え方や栄養管理について学修する。増粘剤や嚥下調整食の成分、食事形態によるエネルギー量の変化等を理解し食事提供の工夫について学修する。	講義	辻澤 利行	高齢者の栄養管理	615講義室 Moodle Microsoft Teams
8	医師の関わりを通して、摂食嚥下障害患者に対する多職種連携の実際を学修する。医師、看護師、栄養士、PT、OT等の役割を理解するとともに、歯科衛生士の役割と機能を発揮するために必要な知識・態度について学修する。	講義	(非)荒金 英樹 泉 繭依	多職種連携、口腔健康管理の方法	615講義室 Moodle Microsoft Teams
9	様々な疾患によって引き起こされる口腔の問題と摂食嚥下障害の特徴さらに口腔健康管理を実施する際の注意事項を学修する。	講義	泉 繭依	疾患に伴い多く見られる摂食嚥下障害	615講義室 Moodle Microsoft Teams
10	老年期の口腔の特徴と口腔健康管理(口腔機能管理・口腔衛生管理・口腔ケア)について学修する。	講義	泉 繭依	口腔健康管理、口腔衛生管理、口腔機能管理、口腔ケア	615講義室 Moodle Microsoft Teams
11	地域包括ケアシステムにおける多職種連携および多職種共通の全身状態及び口腔状態の評価法について学修する。	講義	泉 繭依	地域包括ケアシステム、多職種連携、全身状態の評価	615講義室 Moodle Microsoft Teams
12	地域包括ケアシステムにおける介護予防と口腔機能向上の関連と必要性について学修する。	講義	泉 繭依	地域包括ケアシステム、口腔機能向上、介護予防	615講義室 Moodle Microsoft Teams

摂食嚥下リハビリテーション論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航(口腔リハビリテーションセンター), 泉 繭依(口腔保健科), 久保田 潤平(口腔リハビリテーションセンター), 辻澤 利行, (非)荒金 英樹						
	※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	疾患に応じた要介護高齢者に対する口腔健康管理法について口腔ケアに必要な介護技術を含めて学修する(脳卒中・認知症)。	講義	泉 繭依	要介護高齢者、口腔ケア用品、口腔洗口剤、介護技術の基本	615講義室 Moodle Microsoft Teams
14	疾患に応じた要介護高齢者に対する口腔健康管理法について口腔ケアに必要な介護技術を含めて学修する(四肢麻痺・寝たきり者)。	講義	泉 繭依	要介護高齢者、口腔ケア用品、口腔洗口剤、介護技術の基本	615講義室 Moodle Microsoft Teams
15	疾病に応じた要介護高齢者に対する歯科衛生過程(問題の抽出・解釈分析・計画書の作成)の事例を学修する。	講義	泉 繭依	歯科衛生過程、口腔ケア用品、口腔洗口剤、介護技術の基本	615講義室 Moodle Microsoft Teams

摂食嚥下リハビリテーション実習

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航（口腔リハビリテーションセンター）, 泉 繭依（口腔保健科） ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

「摂食嚥下リハビリテーション論」で基本的知識を身につけたうえで、摂食嚥下機能訓練を含む口腔健康管理の技術を修得する。それに伴って必要となる高齢者、要介護者の移乗や移動、体位の確保等の介護援助技術について相互実習により修得する。口腔機能管理においては、摂食嚥下評価、間接訓練、直接訓練、食事介助、食事支援を相互実習により修得する。口腔衛生管理においては、学生が相互に要介護高齢者の口腔内を再現し、吸引器、スポンジブラシ等を使用してケアを行う技術を習得する。さらに「摂食嚥下リハビリテーション論」で立案した症例の口腔健康管理計画に基づいたケアを実施し、実施した内容をSOAP形式で記録する実践力を養い臨床実習へつなげることをねらいとする。（※本講義により得られる卒業コンピテンシー：5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生生活動：6. 多職種連携の実践）

学生の到達目標

- ①意識状態とバイタルサイン（脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和濃度）の確認ができる。
- ②視覚障がい者や車椅子使用者の誘導ができる。
- ③口腔健康管理に必要な介護援助技術ができる。
- ④摂食嚥下機能評価ができる。
- ⑤高齢者や有病者、要介護者に対して立案した口腔衛生管理ができる。
- ⑥口腔衛生管理に必要な口腔内の吸引ができる。
- ⑦スポンジブラシを用いたケアができる。
- ⑧SOAP形式のケア記録を記載できる。
- ⑨摂食嚥下機能訓練（間接訓練）ができる。
- ⑩摂食嚥下機能訓練（直接訓練）ができる。
- ⑪食材に適した増粘剤を使用できる。
- ⑫高齢者や有病者、要介護高齢者の状態に応じた食事支援ができる。
- ⑬義歯の清掃指導ができる（義歯安定材使用を含む）。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 第2版	公益社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一 他編	医歯薬出版
歯科衛生ケアプロセス実践ガイド	佐藤陽子 他編著	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	40%
実技テスト	40%
確認テスト	20%

摂食嚥下リハビリテーション実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航（口腔リハビリテーションセンター）, 泉 繭依（口腔保健科） ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

【オフィスアワー 8:30～16:00（学習相談）】講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	バイタルサイン測定と視覚障がい者や車椅子使用者の誘導・移動 高齢者や有病者、要介護者における意識状態とバイタルサイン（脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和濃度）の確認方法を相互実習する。 視覚障がい者や車椅子使用者の誘導・移動方法について相互実習する。	実習	泉 繭依	バイタルサイン、車椅子、視覚障がい者	相互実習室 Microsoft Teams Moodle
3, 4	摂食嚥下機能検査と診断・評価 摂食嚥下機能検査とその診断基準を理解し摂食嚥下機能の評価を相互実習する。	実習	泉 繭依 藤井 航	摂食嚥下障害、摂食嚥下障害のスクリーニング	相互実習室 Microsoft Teams Moodle
5, 6	間接訓練・口腔機能訓練適応や前提条件、訓練開始の判断目安、実施手順、評価などに基づく訓練法を相互実習する。	実習	泉 繭依 藤井 航	間接訓練	相互実習室 Microsoft Teams Moodle
7, 8	直接訓練・口腔機能訓練適応や経口摂取開始の前提条件、訓練開始の判断目安、実施手順、評価などに基づく訓練法を相互実習する。	実習	泉 繭依 藤井 航	直接訓練	相互実習室 Microsoft Teams Moodle

摂食嚥下リハビリテーション実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航（口腔リハビリテーションセンター）, 泉 繭依（口腔保健科） ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9, 10	<p>口腔健康管理を行う上での移動、移乗、体位の確保高齢者や有病者、要介護者に対して口腔健康管理を実施する為に必要な移動、移乗、体位の確保を相互実習する（仰臥位の横移動、側臥位にしてうがい、ユニットから車椅子への移乗）。</p> <p>高齢者や要介護者に口腔健康管理を行う際使用する口腔衛生用具等を理解する歯ブラシ、タフトブラシ、粘膜ブラシ、スポンジブラシ、洗口液、保湿剤の使用方法を理解したうえで、自分の口腔内で実習し技術を修得する。</p>	実習	泉 繭依	<p>介護援助技術（移乗、移動、体位の確保）</p> <p>口腔健康管理、口腔衛生管理、口腔機能管理</p>	相互実習室 Microsoft Teams Moodle
11, 12	<p>増粘剤や種々の介護食品に対する理解（義歯使用者を含む）高齢者や要介護者へ保健指導を行う為に必要な下記体験実習を行う。飲料に応じた増粘剤の使用量や使用量について実習する。また、種々の介護食品を調理実習し一口量を介助にて相互に摂取する。さらに、歯科保健医療連携実習で各自が作成した口蓋床を義歯安定材を用いて装着し食品を摂取する。外した口蓋床に付着した残渣と安定材を除去する方法を実習する。</p>	実習	泉 繭依 藤井 航	嚥下調整食、介護食、義歯安定剤	相互実習室 Microsoft Teams Moodle
13, 14	<p>高齢者や有病者、要介護者に対する口腔衛生管理立案した口腔健康管理計画に基づいて、高齢者や有病者、要介護者に対して行う口腔衛生管理を相互実習する。片麻痺の患者の口腔内を再現し、残渣や痰をスポンジブラシ、歯ブラシ、補助的清掃用具を用いて除去する。実施した内容をSOAP形式のケア記録に記載する。</p>	実習	泉 繭依	口腔ケア、清掃用具	相互実習室 Microsoft Teams Moodle

摂食嚥下リハビリテーション実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航（口腔リハビリテーションセンター）, 泉 繭依（口腔保健科） ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15, 16	口腔内吸引(病院や施設、在宅へ訪問した際を想定した実習)高齢者、要介護者の中で、嗽(うがい)ができない患者(寝たきり状態)に対して口腔衛生管理を行う際に使用する吸引器を用いた技術を相互実習する。それに伴って、感染予防の為に吸引器の前準備や清掃方法について実習する。実施した内容をSOAP形式のケア記録に記載する。	実習	泉 繭依	口腔ケア、吸引器、吸引カテーテル	相互実習室 Microsoft Teams Moodle
17, 18	口腔衛生管理総括口腔衛生管理について、立案した口腔健康管理計画をもとに実施できるか確認する(バイタルサインの確認、体位の移動、スポンジブラシを用いたケア、側臥位での嗽(うがい)の一連について)。実施した内容について、SOAP形式の口腔ケア記録に記載し、必要に応じて口腔健康管理計画の評価と修正を行う。	実習	泉 繭依	バイタルサインの確認、体位の移動、スポンジブラシを用いた口腔ケア、含嗽	相互実習室 Microsoft Teams Moodle
19, 20	間接訓練、直接訓練総括口腔機能管理について、間接訓練および直接訓練に関する重要事項を国家試験問題を参考に確認する。	実習（実習試験）	泉 繭依	間接訓練、直接訓練	相互実習室 Microsoft Teams Moodle

基礎介護学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)竹並 正宏						

授業の概要

他で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開して、介護計画を立案する方法を理解し、介護計画に基づく適切な介護サービスを提供するために必要な知識を得て、介護過程の実践的展開を行う。介護を受ける利用者は様々な状態・状況にあることを理解し、どんな状態にある利用者であっても尊厳保持の観点を持ち、自立支援の視点に立つ介護の提供を習得する。

学生の到達目標

- ①事例を通じて生活支援の課題、目標、ニーズを捉える視点を養い、的確な記録や記述の方法を身につけることができる。
- ②介護過程とチームアプローチの関係について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義資料は適宜配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義時間前後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	介護の社会化 社会の中で困っている人がいればお世話したり助け合うことの理解	講義	(非)竹並 正宏	社会的課題としての介護問題	6 1 4 講義室 Moodle
2	介護の概念 社会福祉士及び介護福祉士法の職務等の概念の理解	講義	(非)竹並 正宏	社会福祉士及び介護福祉士法	6 1 4 講義室 Moodle
3	利用者の理解と援助関係 一人ひとりの利用者の存在そのものを大切にするという理解と援助関係の理解	講義	(非)竹並 正宏	社会をも対象とする援助	6 1 4 講義室 Moodle

基礎介護学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)竹並 正宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	介護援助の方法 個性・多様性・変化のリズムを刻みながら思いの実現に向けた援助方法を学ぶ	講義	(非)竹並 正宏	利用者との直接的なかわりに用いられる技術	6 1 4 講義室 Moodle
5	介護過程の概要 尊厳をさせる介護の提供意義についての考え方を学ぶ	講義	(非)竹並 正宏	くつろぎの場、安心できる場、環境整備	6 1 4 講義室 Moodle
6	さまざまな場における介護活動 住みよい地域環境の改善や必要と思われる資源の開発について学ぶ	講義	(非)竹並 正宏	利用者を取り巻く環境に対して用いられる技術	6 1 4 講義室 Moodle
7	よりよい介護のための連携 介護を展開するうえでかわり深い ICF「リハビリテーション」地域との連携を学ぶ	講義	(非)竹並 正宏	地域社会の現状と医療福祉	6 1 4 講義室 Moodle
8	介護従事者の健康と安全 質の高い介護提供のため自身の心と身体の状態を整えておくことの理解	講義	(非)竹並 正宏	人的な生活環境の重要性と介護職の気持ち	6 1 4 講義室 Moodle

総合医科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅, (非)牧村 美佳, (非)尼田 覚, (非)高島 健, (非)池 志保						

授業の概要

総合医科学では、全身疾患と口腔疾患の関連について、歯科医療従事者の視点から学び、全身疾患に対応できる口腔保健医療を提供するための知識を習得する。また、口腔保健医療が全身に及ぼす影響を理解し、歯科疾患を予防することが全身の健康維持や全身疾患の予防に効果があることを学ぶ。さらに、小児科学では成長発達の過程と保護者の心理状態、産婦人科学では妊娠・分娩・出産、精神科学では精神保健に関する事も学修する。本講義は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生 f. 健康管理、g. メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」の内容を含んでいる。

学生の到達目標

- ①代謝・内分泌疾患と口腔の関連について説明できる。
- ②消化器疾患と口腔の関連についてを説明できる。
- ③循環器疾患・血液疾患と口腔の関連について説明できる。
- ④呼吸器疾患と口腔の関連について説明ができる。
- ⑤腎・泌尿器疾患と口腔の関連について説明ができる。
- ⑥免疫疾患・膠原病と口腔の関連について説明ができる。
- ⑦感染症と口腔の関連について説明できる。
- ⑧神経疾患・精神疾患と口腔の関連について説明できる。
- ⑨妊娠、産科・婦人科疾患と口腔の関連について説明できる。
- ⑩第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生 f. 健康管理、g. メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」を説明できる。

小児科学

- ①正常発達：標準的な成長発達が説明できる。
- ②発達異常：遠城寺式乳幼児分析的発達検査による発達指数が計算できる。
- ③小児の心理支援：チャイルドライフスペシャリストの役割について説明できる。
- ④保護者の心理支援：子育てで頻度の高い問題点とその解決策について説明できる。
- ⑤小児の代表的な口腔疾患（感染症、外傷、血液疾患、血管炎、薬剤副作用）について説明できる。
- ⑥予防接種（定期・任意）について説明できる。

産婦人科学

- ①代表的な婦人科疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌）を説明できる。
- ②妊娠、分娩、産褥の生理と代表的な異常妊娠（子宮外妊娠、妊娠中毒症、前置胎盤、切迫早産）を説明できる。
- ③妊産期の就労者の健康管理について説明できる。

精神科学

- ①代表的な精神疾患（統合失調症・気分障害・器質性精神障害）および精神保健の基礎的な考え方について説明できる。
- ②代表的な精神疾患（摂食障害・パーソナリティ障害・不安障害）および代表的な発達障害（知的能力障害・自閉スペクトラム症・注意欠如・多動症）について説明できる。
- ③就労者のメンタルヘルスについて説明できる。

総合医科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅, (非)牧村 美佳, (非)尼田 覚, (非)高島 健, (非)池 志保						

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック	橋本賢二他 編著	医歯薬出版 株式会社
衛生管理 上 第1種用	中央労働災 害防止協会	
小児科学、産婦人科学、精神科学では資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科治療に必須の全身リスク診断と対応	佐藤毅 編 著	医歯薬出版 株式会社
学生のための精神医学		医歯薬出版 株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	95%
小テスト	5%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	代謝・内分泌疾患と口腔の関連 代謝・内分泌疾患と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 代謝・内分泌疾患と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
2	消化器疾患と口腔の関連 消化器疾患と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 消化器疾患と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
3	循環器疾患・血液疾患と口腔の関連 循環器疾患・血液疾患と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 循環器疾患・血液疾患と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
4	呼吸器疾患と口腔の関連 呼吸器疾患と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 呼吸器疾患と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle

総合医科学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅, (非)牧村 美佳, (非)尼田 覚, (非)高島 健, (非)池 志保						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	腎・泌尿器疾患と口腔の関連 腎・泌尿器疾患と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 腎・泌尿器疾患と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
6	免疫疾患・膠原病と口腔の関連 免疫疾患・膠原病と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 免疫疾患・膠原病と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
7	感染症と口腔の関連 感染症と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 感染症と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
8	神経疾患・精神疾患と口腔の関連 神経疾患・精神疾患と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 神経疾患・精神疾患と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
9	妊娠、産科・婦人科疾患と口腔の関連 妊娠、産科・婦人科疾患と口腔の関連について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前・事後学修課題】 妊娠、産科・婦人科疾患と口腔の関連	6 1 4 講義室 Moodle
10	小児科学① ・小児の正常発達と異常発達、さらに小児と保護者に対する心理支援とコミュニケーション技術を学ぶ	講義、Moodleで小テスト	佐藤 毅 (非)牧村 美佳	【事後学修】 復習問題	6 1 4 講義室 Moodle
11	小児科学② ・小児の代表的な口腔疾患と予防接種について学ぶ。	講義、Moodleで小テスト	佐藤 毅 (非)牧村 美佳	【事後学修】 復習問題	6 1 4 講義室 Moodle
12	産婦人科学① ・代表的な婦人科疾患を学ぶ。	講義、Moodleで小テスト	佐藤 毅 (非)尼田 覚	【事後学修】 復習問題	6 1 4 講義室 Moodle
13	産婦人科学② ・妊娠、分娩、産褥の生理と異常妊娠を学ぶ。	講義、Moodleで小テスト	佐藤 毅 (非)高島 健	【事後学修】 復習問題	6 1 4 講義室 Moodle
14	精神科学① ・代表的な精神疾患および精神保健の基礎的な考え方について学ぶ。	講義、Moodleで小テスト	佐藤 毅 (非)池 志保	【事後学修】 復習問題	6 1 4 講義室 Moodle
15	精神科学② ・代表的な発達障害を学ぶ。	講義、Moodleで小テスト	佐藤 毅 (非)池 志保	【事後学修】 復習問題	6 1 4 講義室 Moodle

周術期口腔機能管理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・実	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, 船原 まどか, 本田 尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (口腔保健科) 船原 まどか, 本田 尚郁						

授業の概要

チーム医療では複数の医療専門職がそれぞれの専門スキルを発揮することが求められる。本講義では歯科衛生士としてチーム医療に参加し、患者の現病からの回復、生活の質（QOL）の維持・向上をサポートするために必要な知識・技術・態度について学習することを目的とする。急性期口腔機能管理の考え方について講義を行い、次いでシミュレーターを用いた演習により急性期口腔管理の技術を習得する。この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「6. 多職種連携の実践」に資する。

学生の到達目標

- ①周術期口腔機能管理とその概要とチーム医療における歯科衛生士の役割や意義について説明できる。
- ②がん手術療法・放射線治療・化学療法の概要と全身・口腔に関わる有害事象について説明できる。
- ③緩和ケアの概要と口腔に関わる有害事象や取り組みについて説明できる。
- ④術後ICU入室患者症例に対する口腔管理計画を立案できる。
- ⑤感染予防に留意した急性期患者に対する口腔管理手技の模倣ができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
がん患者の口腔ケア	編集) 日本口腔ケア学会学術委員会	医学書院
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	編著) 梅田正博、五月女さき子	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	70%
技能評価	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】（平日：9時～17時）内にメールまたは講義担当者の居室訪問で受け付ける。

周術期口腔機能管理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・実	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, 船原 まどか, 本田 尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (口腔保健科) 船原 まどか、本田 尚郁						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	【急性期口腔機能管理総論】急性期とは何か、急性期における歯科の意義、チームとして急性期に関わる歯科衛生士に求められる事柄について学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題・小テストキーワード】急性期、病院におけるチームとその役割 (NST、RST等)	6 1 4 講義室 Moodle
2	【がん治療における支持療法(1)】手術療法の概要について、全身、口腔に関わる有害事象と、歯科衛生士としての関わり、多職種との連携について学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題・小テストキーワード】手術療法、口腔がん術後感染、術後肺炎、VAP、バイタルサイン	6 1 4 講義室 Moodle
3	【がん治療における支持療法(2)】化学療法および放射線療法の概要について、全身、口腔に関わる有害事象と、歯科衛生士としての関わり、多職種との連携について学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題・小テストキーワード】化学療法の口腔関連有害事象、口腔がん放射線治療の口腔関連有害事象、ナディア期、口腔粘膜炎	6 1 4 講義室 Moodle
4	【緩和医療と口腔機能管理】急性期における緩和医療と口腔に関わる有害事象について学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題・小テストキーワード】緩和ケアの定義、グリーフケア、トータルペイン、全身的症状	6 1 4 講義室 Moodle
5	【がん以外の全身疾患と歯科】口腔に関連のあるがん以外の全身疾患に対する対応と留意点について学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題・小テストキーワード】IE、薬剤関連顎骨壊死、睡眠時無呼吸症候群	相互実習室

周術期口腔機能管理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・実	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, 船原 まどか, 本田 尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航 (口腔保健科) 船原 まどか, 本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6, 7	【急性期における口腔衛生管理手技(1)】病室および集中治療室における感染予防策と急性期における口腔管理の留意すべき点について学ぶ。口腔内診査、口腔ケアの基本的な手技、バイタルモニターの見方について学ぶ。	演習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前・事後学修課題】事前の講義で指示	相互実習室
8	【急性期における口腔衛生管理手技(2)】急性期に口腔粘膜炎等を有する患者への対応および口腔衛生管理時を行う際の留意点や手技について学ぶ。	演習	船原 まどか 本田 尚郁	【事前・事後学修課題】事前の講義で指示	6 1 4 講義室 Moodle
9	【演習の振り返り】科学的根拠に留意した口腔管理計画の立案について学ぶ。	講義	船原 まどか	【事前・事後学修課題】事前の講義で指示	6 1 4 講義室 Moodle

回復期口腔機能管理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・実	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, 泉 繭依, (非)我那覇 生純						

授業の概要

回復期病院および在宅・施設等で生活する要介護高齢者に対して、歯科医療人として多職種と連携しながら口腔機能の維持回復を行うために必要な知識・態度について学修する。また、歯科衛生過程に基づいて、在宅・施設復帰等、社会性の回復を視野に入れた口腔健康管理計画を立案する力を養う。さらには、主介護者(模擬)および患者(模擬)に対して立案した口腔健康管理を実施する力を養う。(※本講義により得られる卒業コンピテンシー：5.全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動)

学生の到達目標

- ①回復期患者に対して全身の健康や社会性の復帰を視野に入れた口腔健康管理計画が立案できる。
- ②歯科訪問診療における歯科衛生士の役割が説明できる。
- ③回復期患者や施設等で生活する要介護高齢者の環境について説明できる。
- ④患者の状態を把握し、ベッドから車椅子への移乗や体位変換ができる。
- ⑤患者の状態を把握し、患者および家族へ義歯の取り扱いを含めた義歯清掃法に関する保健指導ができる。
- ⑥患者の状態を把握し、舌負荷訓練等の摂食嚥下機能訓練が実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会 監	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生ケアプロセス実践ガイド	佐藤陽子他編著	医歯薬出版
初めて学ぶ歯科口腔介護 第2版	新井俊二、小椋秀亮 監修	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義後課題	50%
実技試験	40%
確認テスト	10%

その他

【オフィスアワー 8:30～16:00 (学習相談)】講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

回復期口腔機能管理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・実	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, 泉 繭依, (非)我那覇 生純						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	回復期患者に対する口腔健康管理計画 症例患者の全身状態および口腔内状態および精神状態を評価し、歯科衛生過程に基づいて問題抽出と解釈分析を行う。社会性の回復を視野に入れた診断文を作成し、口腔健康管理計画を作成する。	講義	泉 繭依	【事前・事後学修課題】 歯科衛生過程 要介護高齢者の口腔内状態	6 1 4 講義室 Moodle Microsoft Teams
2	自立支援を目的とした歯科保健指導案の作成 自立支援を目的とした口腔清掃用品の使用方法を学修する(吸盤付き義歯ブラシ、粘膜ブラシ)。片麻痺がある患者に対して義歯の取り外しや清掃指導を行う際のシナリオを作成する。また患者や介護者に対して舌負荷訓練を行う際のシナリオを作成する。	講義	泉 繭依	【事前・事後学修課題】 自立支援 口腔清掃用品 吸盤付き義歯ブラシ 粘膜ブラシ	6 1 4 講義室 Moodle Microsoft Teams
3, 4	歯科訪問診療の実際 歯科訪問診療に必要な書類や器具器材の準備、往診先での印象採得などの診療補助業務について学修する。回復期病院および在宅・施設で生活する患者の病態および身体状況に応じた診療補助や介助方法を学修する。回復期病院患者・在宅療養者・高齢者施設入所者の社会的背景や環境を理解するとともに、チーム医療における歯科衛生士の役割及び多職種を理解するために必要な知識・態度について学修する。	講義	(非)我那覇 生純 泉 繭依	【事前・事後学修課題】 歯科訪問診療 自立支援を目的とした歯科保健指導案の作成	6 1 4 講義室 Moodle Microsoft Teams
5	歯科保健指導の実施と口腔健康管理計画の修正 片麻痺がある患者に対して義歯の取り外しや清掃指導を相互で実習する。立案した口腔健康管理計画のケアplan、教育プラン、評価planが内容に添ったものであるかを確認し修正を行う。	講義実習	泉 繭依	【事前・事後学修課題】 自立支援 口腔清掃用品 吸盤付き義歯ブラシ 粘膜ブラシ	相互実習室 Moodle Microsoft Teams

回復期口腔機能管理学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・実	時間数	18	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航, 泉 繭依, (非)我那覇 生純						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	ベッドから車椅子への移乗 症例患者のバイタルサインの把握を行い、ベッドから車椅子への移乗する介護技術を学修する。車椅子上で、シミュレータに対して義歯の取り扱いと清掃方法の指導を行う。	講義実習	泉 繭依	【事前・事後学修課題】移乗・移動介助 義歯の取り扱い 義歯清掃方法	相互実習室 Moodle Microsoft Teams
7, 8	口腔健康管理計画の実施 シミュレータに対して、バイタルサインの測定、ベッドから車椅子への移乗、義歯の取り扱いと清掃方法、舌負荷訓練の実施と介護者への指導といった一連の計画を実施する。	講義実習 実技 試験	泉 繭依	【事前・事後学修課題】舌負荷訓練	相互実習室 Moodle Microsoft Teams
9	口腔健康管理計画の評価 実施した口腔健康管理計画に対する評価を行い、新しい計画を立案する。	講義 確認テスト	泉 繭依	【事前・事後学修課題】歯科衛生過程	6 1 4 講義室 Moodle Microsoft Teams

摂食嚥下支援系 臨床栄養学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	8	単位数	0.5
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅, 辻澤 利行 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅						

授業の概要

臨床栄養管理の意義、栄養アセスメントや臨床検査値の判定、栄養ケア計画、栄養サポートチーム (NST) などの事項を解説する。

学生の到達目標

- ①臨床栄養管理の意義、栄養アセスメント、栄養ケアプラン、モニタリング、評価からなる栄養管理の一連の流れを説明できる。
- ②栄養投与ルートの種類（静脈栄養、経胃栄養、経腸栄養）と方法およびその管理を説明できる。
- ③栄養サポートチーム (NST) および栄養サポートチームが行う栄養管理について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科のための内科学		南江堂

参考書

タイトル	著者	出版社
管理栄養士養成シリーズ 臨床栄養学	下田妙子	化学同人
NST完全ガイド	東口高志	照林社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】メールは随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	栄養サポートチーム (NST) の実際 NSTの目的、役割について学ぶ。	講義	佐藤 毅	【事前学修】 NST	611 講義室 Moodle
2	栄養必要量の算定について学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学修】 栄養必要量の算定	611 講義室 Moodle
3	栄養サポートチーム (NST) における 歯科衛生士としての関わり方について学ぶ	講義	佐藤 毅	【事前学修】 NST における 歯科衛生士の役割	611 講義室 Moodle

摂食嚥下支援系 臨床栄養学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	8	単位数	0.5
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅, 辻澤 利行 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔保健科) 佐藤 毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	歯科が行う栄養管理について学ぶ	講義	佐藤 毅	【事前学修】歯科での栄養管理	611講義室 Moodle

基礎看護学

開講学科	口腔保健学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)加藤 法子, (非)於久 比呂美, (非)藤野 靖博						

授業の概要

この科目では、看護学全般の概念をとらえ、看護の位置づけと役割を理解できるよう講義を展開していく。看護の概念である人間、健康、環境、看護について概説し、また、看護の歴史の変遷を踏まえつつ現代看護に求められる看護職の役割や保健医療システムの中における看護の役割についても学修する。

学生の到達目標

- ①看護の目的、対象、方法を説明できる。
- ②社会における看護の役割・活動を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリントを配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
看護学概論 第5版	松木光子	ヌーヴェルヒロカワ
看護覚え書き 改訳第7版	F・ナイチンゲール著 湯槇ます 他 訳	現代社
看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯槇ます・小玉香津子 訳	日本看護協会出版会

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事前課題	10%
レポート	50%
小テスト	40%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義時間前後に受け付ける。

基礎看護学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)加藤 法子, (非)於久 比呂美, (非)藤野 靖博						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	看護とは① 看護とは何かについて、看護の概念や理論などを通して理解する。	講義	(非)加藤 法子	【事前学修課題】 看護という言葉聞いて思い浮かぶこと、印象などについてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle
2	看護とは②/看護の歴史の変遷 看護とは何かについて、社会的側面から理解する。看護の概念がどのように発展していったかを、社会状況の変化や歴史の変遷から理解する。	講義	(非)加藤 法子	【事前学修課題】 検索した資料や文献を参考に、「ナイチンゲールとはどのような人物か」についてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle
3	看護における人間のとらえ方① 看護の対象となる「人間」について基本的欲求、成長・発達課題、主要な看護モデルなどの視点から理解する。	講義	(非)於久 比呂美	【事前学修課題】 検索した資料や文献等を参考に、あなたが捉えた「人間」についてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle
4	看護における人間のとらえ方② 看護の対象となる「人間」を取り巻く環境について外部環境、内部環境の視点から理解する。	講義	(非)於久 比呂美	【事前学修課題】 検索した資料や文献等を参考に、あなたが捉えた「環境」についてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle
5	看護における健康のとらえ方 健康の概念を学習し、看護における健康の考え方について理解する。	講義	(非)江崎 千尋	【事前学修課題】 検索した資料や文献等を参考に、あなたが捉えた「健康」についてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle
6	看護における生活のとらえ方 看護の視点から生活をとらえ、生活を整える過程について理解する。	講義	(非)江崎 千尋	【事前学修課題】 検索した資料や文献を参考に、あなたが捉えた「生活」についてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle

基礎看護学

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長, 邵 仁浩, (非)加藤 法子, (非)於久 比呂美, (非)藤野 靖博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	看護の機能と看護活動① 看護の機能と役割を理解した上で、具体的な看護業務について学習する。さらに、看護活動の基盤となる看護過程について理解する。	講義	(非)藤野 靖博	【事前学修課題】 検索した資料や文献を参考に、「保健医療福祉に関わる職種」についてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle
8	看護の機能と看護活動② 保健医療システムにおける看護の機能について理解する。さらに、看護活動において重要な看護管理および看護倫理について理解する。	講義	(非)藤野 靖博	【事前学修課題】 検索した資料や文献を参考に、「倫理とは何か」についてまとめてくる。	6 1 5 講義室 Moodle

英語

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業の概要

この科目では、読む力を中心に総合的な英語運用能力を向上させるために、授業の内外で様々な課題に取り組む。授業では、医療従事者に必要な知識や情報を英語で収集する力を養う。授業を通して、意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につけるとともに、パラグラフ単位で英文の内容を理解する力を身につけてもらう。また、医療に関わる語彙を増やすことにも力を入れる。読む力の向上を最も重視するが、書く力、聞く力、話す力の基礎を固めるための活動も行う。更には、グローバルマインドやリサーチマインドの涵養も行う。

学生の到達目標

1. 専門分野に関する情報を英語で収集するための基礎を身につける。
2. 意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につける。
3. パラグラフごとにメイン・アイディアを把握しながら読むことができる。
4. 自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現することができる。
5. 医療に関することが話題になっている会話を聞いて、内容を理解することができる。
6. テキストで扱われている題材や身近な話題について自分の考えを言うことができる。
7. 語彙力の増強（とりわけ、医療に関わる語彙）
8. 適切な英語の学習習慣を身につける。
9. 積極的に英語を用いてコミュニケーションを取る習慣を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
The Hospital Team: English for Medical Specialists 医療系学生 のための総合英語	高津昌宏他	南雲堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト（毎回実施）	10%
提出物	20%
演習での活動	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】月～金曜日に随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

英語

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	講義、演習	海寶 康臣	【事前学修課題】 英語による1分程度の自己紹介ができるように準備しておくこと。	6 1 3 講義室
2	事前テスト Unit 1 The Human Body 人間の体について英語で学ぶ。	講義	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 1 Homework	6 1 3 講義室
3	Unit 1 The Human Body 人間の体について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 2 HomeworkUnit 1 The Human Bodyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	6 1 3 講義室
4	Unit 2 Nutrition and Fitness 高カロリーと健康について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 3 HomeworkUnit 2 Nutrition and Fitnessの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	6 1 3 講義室
5	Unit 3 Common Diseases 伝染病について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 4 HomeworkUnit 3 Common Diseasesの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	6 1 3 講義室
6	Unit 4 Hygiene and Public Health 個人と公衆の衛生管理について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 5 HomeworkUnit 4 Hygiene and Public Healthの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	6 1 3 講義室

英語

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	Unit 5 Reforming Japanese Healthcare 日本の医療の改善策について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 6 HomeworkUnit 5 Reforming Japanese Healthcareの予習と 歯科医学および医学 関連の単語の学習	6 1 3 講義 室
8	Unit 6 Needlestick Injuries in Medicine 医療における「針刺し 損傷」について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 7 HomeworkUnit 6 Needlestick Injuries in Medicineの予習と歯 科医学および医学関 連の単語の学習	6 1 3 講義 室
9	Unit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan 北里柴三郎と医療について 英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 8 HomeworkUnit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan の予習と歯科医学お よび医学関連の単語 の学習	6 1 3 講義 室
10	Unit 8 The Medical Laboratory Technologist 臨床検査技師の仕 事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 9 HomeworkUnit 8 The Medical Laboratory Technologistの予習 と歯科医学および医 学関連の単語の学習	6 1 3 講義 室
11	Unit 9 Clinical Engineering 臨 床工学技士の仕事について英語で 学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 10 HomeworkUnit 9 Clinical Engineeringの予習 と歯科医学および医 学関連の単語の学習	6 1 3 講義 室

英語

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	Unit 10 Radiological Technology 診療放射線技術について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 11 HomeworkUnit 10 Radiological Technologyの予習と 歯科医学および医学 関連の単語の学習	6 1 3 講義 室
13	Unit 11 Physical Therapy 理学療法士とその仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 12 HomeworkUnit 11 Physical Therapyの 予習と歯科医学およ び医学関連の単語の 学習	6 1 3 講義 室
14	Unit 12 Working in Occupational Therapy 作業療法士の仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 13 Homework Unit 12 Working in Occupational Therapy作業療法士 の仕事について英語 で学ぶ。	6 1 3 講義 室
15	Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary? チーム医療の必要性について英語で学ぶ。 事後テスト	演習、小テスト	海寶 康臣	【事前学修課題】 Week 14 Homework Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary?の予習と 歯科医学および医学 関連の単語の学習	6 1 3 講義 室

医学英語入門

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海賓 康臣						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業の概要

This course helps students develop listening and speaking fluency through engaging content and practical exercises. It takes a systematic, step-by-step approach, and the content and exercises put the tools of the language into students' hands as they learn the patterns used in daily life. The topics are related to our personal lives (introductions, family, friends,), our interests (music, movies, shopping), common discussion topics (abilities, online activities, the future), and so on.

学生の到達目標

The aim of the course is to increase confidence and motivation regarding English usage in general, and oral communication in particular.

テキスト

タイトル	著者	出版社
Four Corners 1A: Student's Book	Richards & Bohlke	Cambridge

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Class Participations and Assignments	80%
Final Exam	20%

その他

【Office Hours】講義時間の前後に対応

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	Syllabus / Introducing Yourself	Active learning	(非)James Edward Hicks	page 2	6 1 3 講義室
2	Names and Titles	Active learning	(非)James Edward Hicks	page 6-9	6 1 3 講義室

医学英語入門

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海賓 康臣						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	Yes/No Questions with Be	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 10-13	6 1 3 講義室
4	Nationalities/Phone Numbers/Email	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 15-19	6 1 3 講義室
5	Family Members	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 20-23	6 1 3 講義室
6	Demonstratives/a & an/Plurals	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 25-29	6 1 3 講義室
7	Clothes/Colors/Possessive Pronouns	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 30-33	6 1 3 講義室
8	Review Units 1-3	Active learning	(非)James Edward Hicks	Video Worksheets	6 1 3 講義室
9	Transportation/Time	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 35-39	6 1 3 講義室
10	Time/Routines	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 40-43	6 1 3 講義室
11	Online Activities/Adverbs of Frequency	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 45-49	6 1 3 講義室
12	Numbers and Prices	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 50-53	6 1 3 講義室
13	Jobs and Workplaces	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 55-59	6 1 3 講義室
14	Abilities/Can & Can't	Active learning	(非)James Edward Hicks	pages 60-63	6 1 3 講義室
15	Review Units 4-6 / Final Test Preparation	Active learning	(非)James Edward Hicks	Video Worksheets	6 1 3 講義室

第2外国語I(ドイツ語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非) 梶原 将志						

授業の概要

授業では、ドイツ語の初級文法をひとつおわり終え、辞書と教科書さえあれば自力でドイツ語のテキストを読めるレベルまで訓練する。暗記による負担は極力減らすよう工夫し、語学を挫折せず継続するコツも習得する。

学生の到達目標

- ①ドイツ語特有の母音・子音の発音が正確にできる。
- ②正確なアクセント・イントネーションでドイツ文を読み、話すことができる。
- ③名詞の性・数・格について説明できる。
- ④動詞の現在人称変化を説明できる。
- ⑤基本的なドイツ文の構成を理解し説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プロムナード やさしいドイツ語文法 (改訂版・CD付)	荻原耕平 / 山崎泰孝	白水社
アクセス独和辞典 (第4版)		三修社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末テスト	70%
小課題 (累積)	30%

その他

【オフィスアワー】 口頭での質問や相談は、講義の前後。メールによる質問や相談は、常時受付。

第2外国語I(ドイツ語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非) 梶原 将志						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション ヨーロッパやドイツについてのイメージをしぼって明確にする。今後の授業の進め方について説明する。ドイツ語のABC	講義	(非) 梶原 将志	教科書についているCDを聴く 教科書6～7頁	6 1 1 講義室
2	ドイツ語のあいさつ ドイツ語の発音	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(7頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
3	ドイツ語の発音 名詞の性と格	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(14～15頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
4	名詞の性と格(復習) 動詞の人称変化 人称代名詞	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(10～11頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
5	動詞の人称変化(復習) 人称代名詞(復習)	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(10～11頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
6	冠詞: 英語でいうa/the	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(18～19頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
7	冠詞(復習)	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(18～19頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
8	前半の復習	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(6～19頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
9	名詞の複数形	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(14～15頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
10	前置詞	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ(30～31頁)を一読しておく	6 1 1 講義室

2025年度

科目コード： 120703

第2外国語I(ドイツ語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非)梶原 将志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	前置詞（復習）	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ（30～31頁）を一読しておく	6 1 1 講義室
12	命令文	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ（26～27頁）を一読しておく	6 1 1 講義室
13	人称代名詞：発展編	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ（22～23頁）を一読しておく	6 1 1 講義室
14	人称代名詞（復習）	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ（22～23頁）を一読しておく	6 1 1 講義室
15	1学期の総復習	確認テスト	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ（6～31頁）を一読しておく	6 1 1 講義室

第2外国語I(中国語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非)張 景珊						

授業の概要

14億以上の人口を有する中国は、全体の92%を占める漢民族と55の少数民族によって構成されている。我々が普段いう「中国語」は漢民族の言語のことで、「漢語」と称する。「漢語」を母語とする人は約12億人、第二言語としても約2億人が使用していると言われており、世界最大の母語話者人口を有する。本講義は、中国語の発音、基本文型及び表現を中心に授業を行う。初級段階の聞く、話す、読む、書くの訓練を通して、中国語圏に留学、旅行した際にすぐに使える中国語能力の養成を目標とする。

学生の到達目標

- ①中国語の発音が習得できる。
- ②中国語入門・初級文法が習得できる。
- ③中国語入門・初級会話が習得できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
シンプルチャイニーズ 北京 文法篇	早稲田大学 理工学術院 中国語部会	朝日出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業中の課題	40%
確認テスト	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義時間の前後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	概説～声調の発音について学ぶ。	講義演習	(非)張 景珊		3 1 2 講義室
2	声調の復習をする。 単母音の発音を学び練習する。	講義演習	(非)張 景珊	単母音の予習	3 1 2 講義室

第2外国語I(中国語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非)張 景珊						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	単母音の発音の復習をする。子音の発音について学び、発音練習する。	講義演習	(非)張 景珊	子音の予習	3 1 2 講義室
4	前回の授業内容の復習をする。複合母音の発音練習をする。	講義演習	(非)張 景珊	複合母音の予習	3 1 2 講義室
5	前回の授業内容の復習をする。鼻母音の発音練習をする。	講義演習	(非)張 景珊	鼻母音の予習	3 1 2 講義室
6	ピンインの総復習 これまでの授業内容の復習をする。	講義演習	(非)張 景珊		3 1 2 講義室
7	本文の学習に入る判断を表す「是」(「～です」)文型について学び、名前の訪ね方、答え方を学ぶ。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練習問題。	3 1 2 講義室
8	前回の授業内容の復習をする。動詞述語文について学び、会話、単語の練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポイント、会話の予習	3 1 2 講義室
9	前回の授業内容の復習をする。さまざまな疑問文について学び、作文・会話練習を行う。副詞「也」「都」について学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	本文の予習、練習問題	3 1 2 講義室
10	前回の授業内容の復習をする。指示詞について学び、作文・会話練習を行う。助詞「的」について学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、本文の予習	3 1 2 講義室
11	前回の授業内容の復習をする。中国語で簡単な自己紹介を練習する。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練習問題	3 1 2 講義室
12	前回の授業内容の復習をする。所有を表す「有」について学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポイントの予習	3 1 2 講義室

第2外国語Ⅰ(中国語Ⅰ)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非)張 景珊						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	前回の授業内容の復習をする。 家族の言い方、家族紹介について 学び、作文・会話練習を行う。 年齢の言い方、尋ね方について学 ぶ。	講義演習	(非)張 景珊	本文の予習、練習問 題	3 1 2 講義 室
14	前回の授業内容の復習をする。 形容詞述語文について学び、作文 ・会話練習を行う。常用形容詞 を使って作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練 習問題	3 1 2 講義 室
15	前期学習内容のまとめをする。 基本的な中国語の構成について再 確認する。 確認テスト	確認テスト	(非)張 景珊	前期の学習内容の復 習	3 1 2 講義 室

第2外国語I(韓国語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

授業の概要

書舎を対象とし、韓国語（ハングル）の自然な発音を身に付けることが本授業の主な目的である。ハングルの仕組みを覚え、特に日本語にはない音節の発音方法を理解し、何度も発音することで、韓国語の発音を体系的にマスターすることを目指す。簡単な文型や、日常的に使用される挨拶フレーズを学習する。また韓国の社会事情や文化なども学習し、韓国に対する理解を深めながら、韓国語の基礎的な能力の定着を図る。

学生の到達目標

- ①韓国語を正しく読み、書くことができる。
- ②韓国語の正しい発音と聞き取りができる。
- ③簡単な挨拶や自己紹介ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
できる韓国語 I 初級	李志暎	アスク出版

参考書

タイトル	著者	出版社
日韓電子辞書（スマートフォン）		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義時間の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション、韓国・韓国語についての概念 文字と発音（基本母音・基本子音の発音と書き方）	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 5-9 【事後学修課題】母音・子音まとめ	301 講義室

第2外国語I(韓国語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非)朴 祗佑, (非)竹並 正宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	ハングル文字の書き順と発声を練習する。	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 5-9 【事後学修課題】ハングル字母まとめ	301 講義室
3	平音・激音・濃音の書き方を学び、発声を練習する。	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 10-19 【事後学修課題】子音まとめ	301 講義室
4	パッチム(終音子音)がつく文字の発声を練習する。	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 20-24 【事後学修課題】パッチムまとめ	301 講義室
5	合成母音・子音の名称を覚える。	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 25-32 【事後学修課題】合成母音まとめ	301 講義室
6	発音の変化を練習する。「有声音化・連音化・鼻音化・弱音化・激音化 濃音化・流音化・口蓋音化・二重パッチム」	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】発音の変化まとめ	301 講義室
7	小テスト、韓国映画鑑賞	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 5-32 【事後学修課題】映画感想文	301 講義室
8	教科書 第1課 「私は日本人です」	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第1課 語彙まとめ	301 講義室
9	教科書 第2課 「日本人ではありません」	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第2課 語彙まとめ	301 講義室
10	教科書 第3課 「それは何ですか」	講義演習	(非)朴 祗佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第3課 語彙まとめ	301 講義室

2025年度

科目コード： 120705

第2外国語I(韓国語I)

開講学科	口腔保健学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	小テスト、韓国映画鑑賞	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】映画感想文	301 講義室
12	教科書 第4課 「約束があります」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第4課 語彙まとめ	301 講義室
13	教科書 第5課 「会社はどこにありますか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第5課 語彙まとめ	301 講義室
14	教科書 第6課 「週末は何をしますか」、韓国語で学ぶ歌	講義演習	(非)竹並 正宏	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第6課 語彙まとめ	301 講義室
15	まとめ	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181	301 講義室

国際歯科医学実習

開講学科	口腔保健学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 竹内 弘, 国際交流部会長吉居 慎二						

授業の概要

九州歯科大学国際交流プログラム (Kyushu Dental University Global Scholarly Exchange Program: KDU-GSEプログラム) に参加し、本学と連携協定を締結している海外の歯科大学・歯学部との間で国際交流を体験する。これにより、“Think globally, act locally”を実践する歯科医療人に必要な国際的視野と国際的コミュニケーション能力を身につけることを目的とする。

学生の到達目標

- ①海外の歯科医療・歯科医学教育について学ぶことで、国際的な視野で考える能力を身につけることができる。
- ②国際交流体験を通じて、国際的コミュニケーション能力を身につけることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プログラムの内容に応じてプリントを配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実施報告書	100%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】 吉居 慎二：メールにて受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	(1) 本年度交流予定大学 ・シーナカリンウィロート大学 (タイ) ・ランシット大学 (タイ) ・高雄医科大学・台北医科大学 (台湾) (2) 実習方法 ・プログラム説明会において配布する資料のとおり	実習		配布資料にて説明する。	

再)口腔保健論

開講学科	口腔保健学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 口腔保健学科長, 本田 尚郁						

授業の概要

【再履修用科目】

口腔保健論では、歯科衛生士の業務である歯科予防処置に必要な知識を学修する。歯科予防処置を実施するために必要な、歯科予防処置の定義や歯科衛生士法に基づく概要を理解する。この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。

学生の到達目標

- ① 歯科衛生士の専門性を理解し、生涯学習者としての基本姿勢を身につける。
- ② 歯・歯周組織の常態を説明できる。
- ③ プラク・歯石の形成過程と成分について説明できる。
- ④ 歯周病の原因と分類、進行および予防法について説明できる。
- ⑤ 歯周病における検査を説明できる。
- ⑥ 歯面研磨・歯面清掃の目的・特徴・有効性を説明できる。
- ⑦ 歯面研磨・歯面清掃の器具を列挙できる。
- ⑧ 超音波スケーラーの種類と特徴を説明できる。
- ⑨ 超音波スケーラーの使用方法を説明できる。
- ⑩ 超音波スケーラーとエアスケーラーの違いを説明できる。
- ⑪ 手用スケーラーの種類と特徴を説明できる。
- ⑫ 手用スケーラーの操作方法を説明できる。
- ⑬ 安全な歯科衛生活動を実践するための感染予防について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論	著) 全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I、II、III	Jill S. Nield-Gehrig 著/ 監訳 訳	医歯薬出版
ザ・ペリオドントロジー	【編集主幹】 沼部幸博 齋藤 淳 梅田 誠 山本 松男 岩田 隆紀	永松書店

再)口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 口腔保健学科長, 本田 尚郁						

タイトル	著者	出版社
ウィルキンス 歯科衛生士の臨床 原著第11版	E・M・ウィルキンス 著／遠藤圭子・中垣晴男・西真紀子・眞木吉信・松井恭平・山根瞳・若林則幸 監訳	医歯薬出版
系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術 I	茂野香おる	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
授業中に実施する確認試験、ポートフォリオ・レポート及び授業参加態度	30%

その他

【質問・相談】講義に関する質問や相談はe-mailにて受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	【口腔保健論の授業概要】 口腔保健論の授業の概要と到達目標について理解する。 【基礎知識①】 歯科予防処置の定義、う蝕や歯周疾患の予防、口腔の健康を維持・増進させるための専門的な知識・技能および態度を学ぶ。	講義	本田 尚郁	歯科予防処置論の定義	613講義室 Moodle

再)口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 口腔保健学科長, 本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	<p>【基礎知識②】 正常な歯・歯周組織と口腔の機能について学ぶ。口腔の付着物・沈着物（プラークや歯石等）の形成過程と成分について学ぶ。</p> <p>【歯周疾患の基礎知識①】 歯周病の原因と分類について学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁	口腔の基礎知識 う蝕と歯周病の基礎知識	6 1 3 講義室 Moodle
3	<p>【歯周疾患の基礎知識②】 歯周病の検査について学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁	口腔内の情報収集 歯周基本検査法 CAL 歯の動揺度（Millerの分類）	6 1 3 講義室 Moodle
4	<p>【手用スケーラー】 手用スケーラーの種類と特徴を学ぶ。各種スケーラーの操作方法を学ぶ。ポジショニングについて学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁	手用スケーラー ポジショニング	6 1 3 講義室 Moodle
5	<p>【超音波スケーラー・エアスケーラー】 超音波スケーラーの種類と特徴を理解し、使用方法を学ぶ。超音波スケーラーとエア スケーラーの違いを学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁	超音波スケーラー エアスケーラー	6 1 3 講義室 Moodle
6	<p>【歯面研磨・歯面清掃】 歯面研磨・歯面清掃の目的を理解し、操作方法を学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁	歯面研磨 歯面清掃	6 1 3 講義室 Moodle
7	<p>【予防商品について①】 予防商品について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁 (非)	歯ブラシ 歯磨剤 清掃補助用具 洗口剤	6 1 3 講義室 Moodle
8	<p>【予防商品について②】 予防商品について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。</p>	講義	本田 尚郁 (非)	歯ブラシ 歯磨剤 清掃補助用具 洗口剤	6 1 3 講義室 Moodle

2025年度

科目コード：

再)口腔保健論

開講学科	口腔保健学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	18	単位数	1
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩, 口腔保健学科長, 本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	【2年次の実習に向けての総括】 2年次より開始する『歯周疾患予防処置実習Ⅰ・Ⅱ』を想定した知識の整理を行う。配布資料、テキストを参照し、これまでの講義のまとめや疑問点の解決を行う。	講義	本田 尚郁	今までの講義内容、テキスト、配布資料の復習	613講義室 Moodle